

ても、國家總動員を事實上に構成し、工業地帯の中心を敵の攻撃又は空中襲撃に對して安全なるウラル方面に選定しつゝあるのであつて、計畫完成後にあつてはソヴェート聯防の國防は盤若の泰きに至るであらう。

ソ聯邦共產黨中央委員會政治局員、ソ聯邦陸海軍人民委員、兼革命軍事會議議長ヴオロシロフ氏の一九三三年一月二十日モスクワ衛戍地黨積極分子會議に於ける黨中央委員會及統制委員會合同總會の報告中五ヶ年計畫と國防に關する部分の概要を次に紹介しよう。之によつてソ聯邦における産業五ヶ年計畫と國防の關係がより一層明らかになるだらう。

周知の理由に依り、私は五ヶ年計畫遂行の結果より生じたる勞農赤軍の状態を詳細に述べる譯には行かぬので重要問題の概要に止めることにする。

赤軍は、國內の生産力及び技術の發展水準に遅るゝことなく發展し増大したこれは當然なことである。赤軍は社會主義祖國防禦のために存在するもの

既に今日我々は自働裝填銃、數種の自働銃、機關銃式ピストル、自働式ピストルを有してゐる、而して有事の際には赤軍に所要量の自働銃を供給し得る。新なる工業根據地を創設した。

次に赤軍の砲兵の裝備であるが、これは機關銃よりも一層不良であつた。現代の戰鬪に於て砲兵の重要なるは周知の如くであつて、各國は大戦後大砲に種々改良を加へて、射程と殲滅力の發揮に努力した。我々はこの領域に於ては殆んど何等の専門家もなかつたので、構造者を養成し、構造局を組織して頗る複雑なる作業を新規に始めなければならなかつた。斯かる次第であるから砲兵の兵器改善に於て到達した進歩は高く評價せねばならぬ。尤も赤軍の砲兵裝備問題は全部解決された譯ではなく、まだ大なる作業が控へてゐる。

この期間に我々は舊式の大砲を改善して射程と殲滅力を發揮した。今では我が國の大砲はヨーロッパの諸式に劣らぬものとなつた。我々は新式の重砲

大口徑機關銃が出現した。これらは何れも防禦に異つた機能を遂行するものである。

一九二八年に於ける赤軍は、機關銃の裝備に於て良い重機關銃としては舊式の「マクシム」型以外何にも有してゐなかつた。然も餘り多くなかつた。又國産の輕機關銃はなく、裝備に用ひられてゐたものは悉く外國式のものであつた(シオシ、ルユイス、コルト)、況んや國産の飛行機用機關銃もなければ、高射機關銃もなく、戰車用機關銃は全くなかつた。

斯かる次第であるから、兵器改善の五ヶ年計畫に於ては先づ現代式の強力なる機關銃を赤軍に供給するために我々は努力した。その結果我々は外國の現代の型に劣らない各種の機關銃を有するに至つた。加之、狙撃用、機關銃用兵器の構造及び發明に關する専門家技術家、銃工等の有力なる幹部を造り上げたので、彼等は赤軍の狙撃技術の諸問題を解決するに至るであらう。

高射砲、小口徑砲を組立て、製造した。又對戰車砲、特別歩兵砲、近距離の機關銃集射砲等を有してゐる。其他異つた機能を有する各種の新型の大砲も組立て、試験を行ひ好結果を得たので目下工場で製造してゐる。

赤軍は全く戰車裝備を有してゐなかつた。蓋し國內戰當時白軍から分捕した數十臺の戰車を以つて戰車裝備を考へることが出来ないからである。これらの戰車は「レノ」型、「リカルド」型等であつて、これを基礎として、一九二七年新型の戰車を組立てたが、これはその戰鬪能力に於て「レノ」型に劣るものであつた。そこで外國の新型の獲得に努力し遂ひに現代式戰車を組立て、製造するに至つた。これは外國の有名な型に劣らない若干の特殊性を有するものである。

空軍について數言述べる。我が空軍は既に一九二八年には弱いものではなかつた。此領域に於ては第一次五ヶ年計畫前に著しい進歩を見た。然し我が

國の飛行機及び發動機の性能は、上昇度、塔積力、行動半徑に於て世界航空技術より後れてゐる。飛行機製作の領域に於てはこの四年間に前進を見、我が飛行機工業を創設したが、然しまだ世界的現代技術に追及してゐない。殊に發動機製作に於て然うである。だが一九二八年頃のやうな状態ではない。今では若干の新型飛行機發動機を有してをり、その内の或るものは大量生産を行つてゐる。又飛行機組立研究家の立派な幹部があるから、近き五ヶ年計畫に於ては世界的飛行技術の水準に達するものと信ずる。

次に軍事化學工業が最近如何に躍進したかは、一例としてソ聯邦硫酸生産高激増によつても立證される。即ち軍事化學工業其他に廣汎な需要をもつ硫酸のソ聯邦に於ける産額は五ヶ年計畫によつて多大の躍進を遂げたが、今、全聯邦商業會議所の發表にかゝる數字によれば、一九二一年には僅かに一萬一千噸の生産高に過ぎなかつたものが、

一九二六年度には十四萬四千四百噸、一九二八・二九年には二十三萬六千七百噸、一九二九・三〇年には四十三萬七百噸に、又昨年度に於ては一躍八十萬噸に激増し五ヶ年計畫によつて五倍の生産増加を示してゐる。これによつて見るにソ聯邦當局が如何に軍事化學工業の發展に努力を拂つてゐるか窺はれる。

三、國際情勢とソ聯邦國防の關係

現下の複雑にして、前途逆路を許さぬ國際情勢とソ聯邦國防關係を知ることも亦緊急事項である。この問題に關して陸海軍人民委員ヴォロシロフ氏は昭和八年二月十九日のコルホーズ突撃隊員の大會に於て「コルホーズの急速なる振興と鞏化」と題する演説中國際情勢とソ聯邦國防の鞏化に關し左の如く語つた。
社會主義を建設しつゝある世界唯一の勞農國は、勞農民を壓迫してゐる資本主義國に氣に入る譯はない。故に我

も絶へず平和政策を實施し、他國の事には絶對に干渉せず、且つ我が全聯邦との親善關係の發展に努めてゐる。

既に我々は一年前に日本政府に對し不侵略條約の締結を提議し、且つ再三我々の提議に對し注意を促した。然るに日本政府は、ソ聯邦との經濟的聯繫の改善と平和を希望する多數有力者の賢明なる聲よりも寧ろ勇敢なる帝國主義者の説に聽從してゐるものと見え不侵略條約の我が提議は差し當り回避された。茲に於て我々はソヴェート極東國境の國防施設に對しこの不安なる事態を考慮に入れざるを得ないのである。云々

四、勞農赤軍建軍の要旨

勞農赤軍の建設の目的は資本主義諸國の攻撃に對しソヴェート聯邦を擁護するを主とするも、尙狀況によつては資本主義×××のプロレタリアートの×××××に際し之を×××するを認めて居る。赤軍野外教令の綱領中に赤軍の任務とし

々は外部からの侵略に對し完全に保障されてゐるものと考へることは出來ない。従つて黨及び政府は諸事件に對し深甚なる注意を拂ひ、又赤軍に於てはソヴェート國境の防備と國防に絶へず準へてゐる。

我が政府は絶へず平和政策を行つて來た。然し平和政策のみでは我が國には十分ではない。我が國を多少安全且つ鞏固とするには、強力なる工業、發展せる農業が必要である。勿論又鞏固なる軍備と軍隊の必要なることは言ふまでもない。而して我々は良く組織され現代式に武装され、且つ勞農民の事業に絶對に信服してゐる軍隊を有してゐるのである。

最近ある西歐諸國と我が國との關係が著しく好轉して、我々の提議せる不侵略條約が締結せられたことは満足に堪へない。殊に最近まで不安を感じられた波蘭及び佛國との不侵略條約が調印され批准されたことは注目し値ひす。

て次の如く述べてゐる。

「前略——赤軍は更にその存在する事實を以て×××の被壓迫勞働者の大衆が×××の爲めに×××する×××を×××しつゝあるものなり」と。

之れ婉曲に其積極的任務を表明するものにして過去ソ聯邦政府の對外施設を見るに、その然るは外蒙古並に「エストニア」事件に徴し明瞭である。

前述の如くソヴェート聯邦に於ける國防は露國民の祖國の防禦にあらずして勞農×××たるソ聯邦の擁護なるをもつて、國防は只×××××の權利にして二者以外外の階級は劍を執つて國防に任ずるの權利を附與せられぬ。従つて私營商業従事者、雇傭勞働者を使用する農工業者は軍隊に編入せられず、その代償として一定の金額を徴するか、若しくは雜役勤務に當て居る。又入營したる者でも精神狀態の怪しい者は直ちに除隊せしめて社會的制裁を受けるやうにしてある。

五、勞農赤軍の編制

不侵略條約は侵略の全然不可能なることを證明するものではないが、斯かる條約の締結は一定の意義を有するものである。その意義とは、即ち我が國との條約に調印せる政府は我々の成功増大及び力を正當に評價し、我々との關係を激化することよりも改善することが有利であると理解したことである。斯くの如く我が西方國境の形勢は著しく改善されたと言ふことが出来るが、東方（私は極東を指す）は依然として我が全國の油断なき注意を必要とする領域となつてゐる。

尤も最近南京政府の提議に依つて支那との國交は恢復し、又日本との當面の關係も正常であるかの如く見える。然し、日本の一部の有力なる政治家や社會活動家特に軍人は新聞又は公開の席上で我が國との戰爭の可能なることは戦争の必要なることを公然と論じてゐる事實は、我々の不安とせざるを得ないのである。我々は他の凡らゆる方面に於けると同様極東方面に於て

大要

然らば右の如き主旨に従つて建設されたる勞農赤軍は如何なる編成を有するかと言ふに、先づ中央統轄機關から述べねばならぬ。軍務に關する最高問題たる宣戰講和の大權は最高主權を有する聯邦ソヴェート大會（閉會中は中央執行委員會及び同幹部會）之を有し、人民委員會に於ける軍務の代表は陸海軍人民委員會議長である。

常備兵額、軍事豫算及び毎年徵集すべき兵員數は人民委員會議長を議長とする勞働國防會議之を決定する。換言すれば此の勞働國防會議は世界大戰中に於ける列強の軍事内閣に相當するものである。國務と軍務との調和を計るものである。軍隊の編制、常備兵額並に毎年徵集すべき兵員の配置、配屬其他陸海空軍に關する一切の業務は陸海軍人民委員會議長を議長とする革命軍事會議之れを管掌する。即ち革命軍事會議は日本の陸海軍省、參謀本部、海軍軍令部教育總監部等

を合併したるものであつて、總參謀部、赤軍本部兵器本部、政治部、海軍本部、空軍本部其他種々の本部から成立されてゐる。地方に於ける最高統轄機關は前述した軍管區司令部(獨立軍司令部)である。軍管區司令官を議長とする軍管區革命軍事會議を置き、軍管區に屬する軍團、師團等を統轄してゐる。軍團、師團等の編制は餘りに細部になるから、此處には述べないが我が日本と違つてゐるのは師團には二通りあつて、一つは日本の如き正規團であり、一つは日本に例のない民兵部隊である。

茲に少しく民兵制度に就いて説明することにする。民兵軍は基幹部隊と交代部隊とよりなり、基幹部隊は正規軍と同様の基礎の下に成立し、民兵軍の基幹部隊の教官たるものであつて、正規軍と殆ど同様の各級指揮官を有し、その數、その質に於いても正規軍に劣らないものである。民兵軍、交代部隊は當該徵募區より召集するものであつて、第一年度に於いて三ヶ月間の教育を受け、第二年度から第

五年度までは兵種によつて違ふが毎年一二月の軍事教育を受けるものである。此交代部隊は毎年夏期野營地で、所謂戰時編制教育を受けるのであつて、其服役期間は割合に短い、純粹の軍事教練を仕込まれるので、其戰闘能力は相當なものであると言はれてゐる。因に此交代部隊の第二年乃至第五年の召集兵數は民兵師團の戰闘編制の人員に相當するものであつて、現在に於いては約六十萬人と言はれてゐる。

此民兵部隊は軍縮會議に於ける兵力の算定方式たる日割計算に依れば極めて僅かな兵力になるが、大體正規師團に比し半額の費用を以て五年間に有爲なる軍隊を編成するといふことは面白い制度である。この制度は目下歩兵師團のみならず騎兵師團にまで及されてゐるのであるが日本等に於いては些と採用し難いものである。何となれば基幹部隊は僅少の馬匹を有するに過ぎないから、夏の召集時に於いては多數の馬を入れねばならぬが、ソヴェート聯邦に於いては必要なる馬は

兵隊と一緒に召集されて来るが、日本の如き馬匹數の少ない馬の能力の悪い、馬に馴れてゐない國に於いてはソヴェートの眞似をすることは出来ないからである

六、赤軍の階級構成

ソ聯邦では勤勞者のみが赤軍に入營することが出来る。此のことは兵役基本法に次の如く明確に規定されてゐる「武器を手にしてソ聯邦を防衛するものは勤勞者のみに限る」従つて召集の場合には權利を剝奪された者や、富農の子弟が赤軍に入込むのを防ぐために、新兵に對する階級的嚴選がなされる。

最近年迄に於ける赤軍の階級構成は次の如くである、一九二一年の赤軍は勞働者一八%、農民七%、其他一%であつた。二八年には、勞働者二%、農民六七%、其他一二%であつたが、三三年には勞働者四三%、農民四七%、其他一〇%の割合にして、その内在營農民の七二%はホルホズ員に依つて占められてゐる。右數字の示す如く一九二八年から

三三年に至る間に赤軍の社會的構成に大なる變化が行れた。此變化は革命的分子を入隊せしめるやうにした爲めでもあるが、それよりも、五ヶ年計畫中勞働階級が數的に倍加し、農民階級の三分の二はホルホズ化した爲めである。

次に走軍内部の黨員の割合も少なからぬ變化をなした。一九二一年には赤軍内部の黨員の割合は七%、二八年には黨員一二・八%、青年黨員一四・五%であつたが三三年には黨員三五%、青年黨員二四%にして、これらは赤軍全體の五九%を占めてゐる。

次に指揮官の構成状態に就き簡単に述べる。赤軍の建設期に於ける指揮官の構成人員は頗る貧弱であつた。これがため指揮官の充實に全力を傾注し、今日ではプロレタリアの事業に絶對に忠實な指揮官の構成體を有するに至つた。彼等の大部分は國內戰に遭遇し、ソヴェートの學校で教育を受けたものであり、過半数は勞働者農民の出身である。赤軍は若き指揮官を増大せしめたのみならず、舊軍隊

の軍事専門家をポリシエヴィキ的環境に順應せしめたので、彼等は今日では黨員となつてゐる。

指揮官の基幹部の概要に就き若干の數字を引用しよう。軍管區長は全部黨員、狙撃軍團長も全部黨員、その内三三%は陸軍大學卒業、六七%は最高級幹部講習所卒業、狙撃師團長の九三%は黨員、その内二五%は陸軍大學卒業、七五%は最高級幹部講習所卒業。騎兵師團長の九五%は黨員、その内四三%は陸軍大學卒業、他

は最高級幹部講習所卒業。狙撃隊長の八八%は黨員、その内一三%は陸軍大學卒業、他は講習所卒業。騎兵隊長も大體これと同様である。大隊長の七二%、中隊(小隊を含む)長の六九%は黨員。航空旅團長の七八%、航空大隊長の七七%、獨立航空部隊長の八五%は黨員である。指揮官中、現在の職務の正規軍事教育を受けざるものは殆んど無いと云つてもよい程である。黨員、指揮官の大部分は優秀なる軍事専門家である。彼等は各部隊の立派な指揮者であるのみならず、陸軍

大學の教官若しくは學術研究者である。要するに赤軍はポリシエヴィキ的指揮官の養成に於ては大なる好成績を獲得した。然し非黨員の指揮官を赤軍は不要であると考へてゐない。非黨員指揮官の割合は非常に少い。彼等は偶然な形式的原因に依つて黨外にゐるが、赤軍は黨員と同様彼等に信頼してゐる。

七、赤軍の兵力

赤軍の平時兵力は歩兵師團七十五(常備師團三十三、民兵師團四十二)騎兵師團二十一(内獨立騎兵旅團八を含む)にして、正規軍約五十六萬二千人を基幹とし、之に民兵軍約六十萬、ゲ・ペ・ウ約十五萬、護送軍隊約八萬、陸軍協力空軍部隊約二萬三千、合計約百四十一萬五千人、海軍約三萬一千、海軍協力空軍部隊約二萬、合計約三萬三千、總計約百四十四萬八千人に達する。尙戰時に於ては歩兵師團は一倍半乃至二倍に擴大されるのだから、戰時兵力は約三百萬人になる譯である。

次に赤軍の基幹をなす歩、騎兵師團に就き一九三二年度現在数と一九二七年並に一九三〇年度との現在数を比較すれば左の如し

兵種部隊	一九二七年	一九三〇年	一九三二年
歩兵師團	充	七	壹
騎兵師團	二	三	三
獨立騎兵旅團	九	九	八

飛行機数	一九二七年	一九三〇年	一九三二年
	七〇〇臺	一、六〇〇臺	三、五〇〇臺

(内水上機三〇〇臺)

戦車数	一九二八年末	二二〇臺
	一九二九年末	三〇〇臺
	一九三〇年末	三五〇—四〇〇臺
	一九三一年六月	五〇〇臺(内約四〇〇臺はソ聯製)
	一九三三年一月	一、五〇〇臺

即ち、右二表に依れば、飛行機臺數に於て八千人である。但し空車は近時大に擴張された故、實兵力は之以上であらうと思はれる。

八、軍事義務制度

各加盟共和國憲法の條文に「社會主義的祖國防護を以て、共和國全人民の義務なりとし、人民皆兵の制を定む。武器を手にして、革命を防護するの名譽權は勤勞民衆にのみ之を與へ、非勤勞分子は他の軍務に服せしむ」と規定してある。即ち男子が兵役に服することは名譽なる權利であつて、之に服することを許されない者(非勤勞分子、身體に缺陷ある者、宗教上の信念によつて軍務に服せざる者)等は、國家的作業、災害救済防止等の事業に賦役せしめられ、又は特別の税金を徴收される。

服役年限は十九歳から四十歳までで次の如く區分せられる。
一、徵集前教育期を二年とす。十九歳より二十一歳まで、毎年一ヶ月づゝ居住地區の訓練所に召集せられ、軍事準備教育及政治教育を受く
二、現役勤務を五年とす。二十一歳に達すれば抽籤により正規軍に徵集せらる

殘餘の者は民兵軍に又その殘餘の者は隊外勤務兵に編入せらる。近時の統計によれば一ケ年に現役勤務に徵集せられる人員は八十萬にして、内二十六萬人は正規軍に、二十萬は民兵軍に、三十四萬は隊外勤務兵に編入せらる。正規軍の種類及在隊、歸休年限は次の如し

赤軍	在隊二年、歸休三年
空軍	在隊三年、歸休二年
海軍	在隊四年、歸休一年

で、歸休期間には短期の勤務演習に召集される。

民兵軍は五ケ年間に、歩、砲兵は八ヶ月騎兵は十一ヶ月の教育を受け、殘餘期間は歸休として、短期の勤務演習に召集せらる。

隊外勤務兵は、五ケ年間に六ヶ月の軍事教育を受ける。民兵軍及隊外勤務兵の教育期間は五ケ年の合計にして、之を各年度に分割するものとす
三、豫備役期間を十四年とす。二十六歳より二十四歳までを第一豫備役、三十

五歳より四十歳までを第二豫備役とす豫備役の期間内には合計三ヶ月の勤務演習に召集せらる。以上のほかに志願兵制度があつて十八歳より三十四歳までの勤勞者(婦女をも含む)は、志願兵たることを得、その期間は一年以上とされてゐる。
右によつて明らかなるが如く、ソ聯邦に於いては入營前に二ヶ月間の教育を施してゐること及苟くも體格検査に合格した者は正規軍に入るか、又は民兵軍に入るか、或は隊外現役として必らず軍事教育を受け、名實共に極端なる國民皆兵主義を實施してゐることは吾人の注目を要する所である。

九、勞農赤軍の素質

兵卒——帝政時代の露軍に於いても現在の赤軍に於いても、兵卒の大部分は農民出身であつて、體格強健、困苦缺乏に堪へ、忍耐力に富み、上官の命令に絶對服従することは、今も昔も大差なく兵卒としては或る意味に於いて日本より優つ

た所があるやうである。
下士——目下赤軍に於いては下士と云ふ階級はないが之に相當する下級幹部がある。此下級幹部は長期在營する者がその割に少ないやうであつて、確かに一つの缺點と認めることが出来るが多數の短期の下級幹部を有してゐることは我々として美しい次第である。

將校——ソヴェト軍に於いては將校と云ふ階級はないが之に替るに中級幹部(我が尉官に相當する)、高級幹部(我が佐官に相當する)、最高級幹部(我が將官に相當する)がある。士官學校に於いては餘り高遠なる學理を教育せず、又普通學の程度も確かに劣るけれども、初級指揮官として、又教官としての技能は充分に教育せられてゐるので、職務相當の技能は之れを具備し、且つ、聯隊等に於いては、多數の幹部を有することは、確かに勞農赤軍の強味である。高級幹部以上は殆ど歴戰家であり、又年齢が非常に若い事は赤軍に潑瀾たる士氣を與へるものであつて、陸海軍次官の如き、海軍本

部長の如きも、三十代の新進氣鋭な士である。そして此等の若い要職にある人々は既に數年乃至十數年の實務を経験してゐるのだから、年齢が若いからとて働かないと言ふことは云へないのである。否、戰時急造された此等の指揮官は戰後着々と陸軍大學校補習科等に於いて補習教育を施されその成績も見るべきものであると言はれてゐる。

赤軍には忠君愛國と云ふことはないが之れに替るに熱烈なる主義に對する理想がある。又軍紀も嚴正であつて、決して自墮落な軍隊ではない。軍隊内に於ける共產黨員の數も漸次に増加せられ、幹部の半數以上は共產黨員であつて、黨員外の指揮官に對し目付役であつたコミサル制度も漸次廢止せられつゝある。之れは赤軍の團結が益々固められて最早コミサル制度を置く必要がなくなつたことを示すものであつて、赤軍は精神的にも既に安全なる域に達したと云ふことが出来るやう。

一〇、赤軍の教育

赤軍は毎年入營して来る青年を如何に教育してゐるかに就いて述べれば、一九二四年の入隊者中一〇％は黨員であつたが、二年後の二六年には除隊兵中二八％は黨員であつた。二八年には二〇％の黨員を入隊せしめ、三〇年に四〇％の黨員を除隊せしめた。又三〇年に二七％を入隊せしめ三二年に六七％の黨員を除隊せしめた。

赤軍兵士に對しては政治教育や軍事教育のみならず一般教育も行つてゐる。一九二四年以降十年間に亘り除隊兵中文盲者は一人もなくなつた。又兵員に對し各種の専門教育を大規模に實施し、自動車やトラクターの運轉手、畜産やコペラーチヤの専門家、文化活動員、其他の専門家を養成してゐる。然し除隊兵は悉く斯かる専門家といふ譯ではないが、彼等は何れも意識的積極的市民であり、良心的労働者であり、都市の工場、農村のホルホーズに於ける労働紀律の組織者である。

而してソヴェートの各種機關が赤軍除隊兵の信頼し得ることを知り彼等を悦んで仕事に採用してゐることはその特長である。

次に指揮官の養成に就いて一言する。廣大なる戦線、巨大なる軍隊及び多種多様の技術は、現代の戦闘指揮を頗る複雑ならしめてゐる。斯かる大規模の機構を正しく、巧妙に、組織的に指揮するには最高教育を受けた軍事専門家を充分に有する必要がある。斯かる専門家を陸軍大學で養成してゐる。陸軍を改造した結果、最高軍事教育を有する指揮官を多數必要としたので、既設の陸、海、空、軍政各大學及び新設の若干の軍事大學に多數を校せしめるに至つた。目下軍事大學の在校生は一九二二年の數倍に増加してゐる。増加の最も大なるものは技術部隊の指揮官及び軍事技術各種部門の技術専門家である。指揮官の養成は學校に限られてゐるのではなく、彼等は學校外に於いても絶えず各種の作業に参加して一日たりとも、一ヶ所に立つてゐない。赤軍

はその専門を修得したポリシエヴィキ的人員を有してゐるが、これを以つて足れりとせず、ソ聯邦の最高科學者は不撓不屈研究を繼續してゐる。又研究室で書籍を調べるのみではなく、實際との聯絡を失はぬやうに努めてゐる。

一一、特殊軍

ソ聯邦に於いては一般軍隊の外にゲ・ベ・ウ軍隊、護送軍隊があり、ゲ・ベ・ウ軍隊の如きはその數十五萬を算し、護送軍隊も七八萬人に達するものと思はれるが、ゲ・ベ・ウ軍隊は國內の叛亂鎮定、交通の保護、國境警備に任ずるものであつて、一朝事のある際國內の治安維持は此のゲ・ベ・ウ軍隊が保持するものである。護送部隊は主として後方勤務、即ち捕虜の護送、軍需品の輸送監視等に任ずるものであつて、ソ聯邦軍事當局の注意の周密さを如實に現はして居るものである。

一二、國民の軍事化

國民の軍事化と言ふことはソ聯邦の

ローガンであつて恐らく國民の軍事化に就いてソ聯邦の右に出づる國はあるまい十六歳から十八歳までの學校、又は地方毎に行はれる青年訓練、高等教育機關に於ける強制的軍事科目及び夏期に於ける野營の如きは一例であつて、青年訓練所を卒業せざる者は官吏に就職することも出来ねば職業同盟に入ることも許されず、又選舉權も被選舉權も與へられぬのである。尙國民の軍事化に就いて重大なる役割を演じてゐるのは一千萬に垂なんとする會員を有する半民半官の國防飛行化學協會(オソアヴィアヒム)である。

此協會は多數の俱樂部、射擊會、乗馬會、軍事科學研究會、瓦斯研究會、航空研究所を有し、軍部と密接に連絡をして軍事思想の普及に努め、又民間より寄附金を募つて飛行機、戰車等を軍部に寄贈してゐる。飛行機の如きは既に七百臺位寄贈したもと思ふ。

ソヴェート聯邦においては各部隊に其部隊の保護者が指定されてゐる。これをシエフストヴォと言ふ。例へば某飛行聯

海軍

一、概観

革命後既に十五年になるが、露國の海軍は漸く整理時代の第一期を了つたに過ぎぬ。前節にも述べた如く、露國は先づ第一に陸軍と空軍に力を注いだ結果、海軍に對して彌が上にも消極的方針に出でざるを得ず、艦艇の如き苟も修繕の出来る限り之を利用し、愈々望みなきものは廢艦處分を行つて、その缺陷は新兵器を以て補填する方策に出た。一九二九年五月露國陸海軍部長は公會の席上に於て赤色海軍は過去二年間に着々整理を進め、六隻廢艦處分を行ひ十隻新造せるを以て實勢力に於て一萬三千噸を増加したと聲

明してゐるが、要するに其十隻は特殊な小型軍艦であつた。

翻て從前の海軍工廠を見るに、勿論今日と雖も艦艇の建造修繕を行ふが、一齊に經濟的工業機關と化し、主として普通船舶の建造修理と農具製作に力を振つてゐる。即ち根本に於て工廠の性質が一變した。

上述の理由により、露國軍艦には革命前既に老齡なりしもの多く、從て驅逐艦或は潜水艦中に若干新式のものある以外に他は悉く老朽艦である。但し一九二九年から小規模ながらも外海の演習を行ひ或は獨逸訪問に出勤せるが如き事實に徴しても、露國海軍は今や整理時代を了つて漸く充實期に入つたものと見るべきであらう。

注目すべき點は航空母艦二隻、海軍航空隊二十五中隊(三百機)、を有してゐることである。

二、ソ國海軍軍港及要港

(軍港)芬蘭方面「レニングラード」
「クロンシュタット」
黒海「セヴストポール」
(要港)歐露「アルハンゲルス」
海「ニコラエフ」「オデッサ」
裏海「バクー」
極東「ハバロフスク」
(準要港)歐露「ムールマンスク」
海「バツム」
極東「浦蘆斯德」

三、ソ國艦隊の大勢

A バルチック艦隊——
戰艦 二六、〇〇〇噸型 三隻
巡洋艦 一五、〇〇〇噸乃至七、〇〇〇噸 三隻
大型驅逐艦 一、三〇〇噸乃至一、七〇〇噸 九隻
小型驅逐艦 六〇〇噸内外 三隻
潜水艦 平均七〇〇噸 八隻
砲艦 一、三〇〇噸乃至三、〇〇〇噸 四隻
潜水母艦 三、〇〇〇噸内外 三隻
練習艦 一〇〇噸乃至一〇、〇〇〇噸 五隻

掃海艦 二、〇〇〇噸乃至五、〇〇〇噸 三隻
掃海艇 五〇噸未満 二五隻
其他雜役船 八隻
B 黒海艦隊——
戰艦 一隻
巡洋艦 六、八〇〇噸 二隻
大型驅逐艦 一、二〇〇噸乃至一、三〇〇噸 四隻
小型驅逐艦 三〇〇噸 三隻
潜水艦 五〇噸内外 五隻
潜水母艦 一隻
砲艦 一、五〇〇噸 一〇隻
其他雜役船 數隻
C 裏海艦隊——
驅逐艦 三〇噸乃至五〇噸 一三隻
砲艦 六〇噸 二隻
其他雜役船 數隻
D 極東艦隊——
(ハバロフスク)
河用砲艦 大型 一、〇〇〇噸 八隻
小型 三〇〇噸 一〇隻
其他雜役船 數隻
特務艦 三、〇〇〇噸未満 五隻

四、海軍養成機關

ソヴェート海軍の養成機關は左の如し
(一) 海軍兵學校 此兵學校に二科あり
(イ) 生徒科 我國の兵學校に同じ、入學資格としては海軍兵又は九年學業修了者にして年齢十六歳以上二十歳以下の者たる事を要する、入學志願は主として、青年共産黨の地方機關を通じて行はれ、願書を其の細胞に提出すべく、青年共産黨に關係のない者も出願するを得るが細胞の推薦を要する。入學には労働者及其の子が優先する。
(ロ) 補習科 兵學校出身の尉官中より選抜して砲術、航海、水雷等の専門により教育を施す。
(二) 機關學校 兵學校生徒科に準ずる
(三) 海軍政治學校 海軍の政治部員を養成する事を目的として社會科學の外に兵學並に普通教育をも授ける。入學資格は兵學校生徒科と大同小異である
(四) 海軍航空學校 海軍飛行將校を養成する。

空軍

一、概説

「ソ」聯邦は其の海軍力に於て劣勢なるに鑑み、これを充足するといふ見地から空軍の大擴張をなし、その充實を急ぎ、殊に近時航続力の大なる飛行機、航空船の製作に特別の力を注いでゐることは我國として大に刮目に價する。
殊に、民間航空事業に對しては、多大なる政府の援助を與へ、特設された機關によつて、各種の困難を切りつゝ其の充實計畫に邁進してゐる。一九三〇年十一月十五日より同二十四日までを、「國防十日間」と豫定して大々的宣傳を行ひ赤軍の技術的進出、民間の航空發達の促進、國防飛行化學協會の擴大などの方針のもとに、軍事展覽會、各種集會、大演

二、空軍の編制及兵力

全航空部隊は赤軍空軍本部長之を統べ革命軍事會議に直屬する。軍管區司令官は作戰及び衛戍關係に於てのみ、管内に所在の航空部を統轄し、空軍本部長は教育、補給、人事等自餘の業務に就き、軍管區航空部長を通じて航空部隊を指揮してゐる。
空軍は左の兵力を用途として整備中であつて、其偵察隊、氣球中隊、及航空中隊は概ね豫定數に達して居ることである。そして、現時飛行隊の兵力は、陸上部隊約百七十中隊、其機數は約一割の海軍機を含み、約千六百機である。
陸上 偵察隊 七四中隊
戰闘隊 五〇中隊
爆撃隊 四九中隊
攻撃其他 一二中隊

成する。
(五) 海軍水路學校 航空航海に關する將校を養成する。
(六) 海軍大學 「レーニングラード」に在り修業年限は三年であつて左の二科に大別する。
(イ) 兵學科 戰略戰術等を教へる。
(ロ) 技術科 機械、電氣、造船、海圖、砲術の諸科がある。
學生は大體尉官級である。
因みに海軍々人の總人員は二萬九千八百人にして、その内二千三百九十七人は士官階級以上である。

五、海軍内の教化成績

赤海軍々人は怯せず上官と對談し知識の啓發に努めてゐる。好んで選ぶ問題は國際問題及其他の時事問題である。一九二六年除隊となつた海軍々人には黒海々軍々事務局が匿名試問を行つた際其九九・八%は新聞の讀者であり同じく七五%は社會機關事業實際加入者であつた。又入隊の際有神論者三七・三%であつたが、

計 水上 偵察隊 一八五中隊
六中隊

戦闘隊 四中隊
爆撃隊 一〇中隊

計 二〇中隊
總計 一〇五中隊

航空船 一〇中隊
二中隊 (更に
四隊増加の計畫あり)
尙、空軍の嚴防を充實するため、「ソ」

聯邦は一九二二年以來獨・伊・英・米・佛等の諸國より飛行機を購入し、又國內に於ける航空機製造工場の整備を急ぎ、所定の編制を完成せんことに努力して居る。

三、空軍の擴張

革命以後に於ける空軍擴張の概要を示せば次の通りで、その擴張率の大なること特に戦闘機及爆撃機の増加が目立つて居る。

種類	一九二二年 (中隊數)	一九二五年 (中隊數)	一九二八年 (中隊數)	近き將來
偵察隊	五七	七四	一	一
戦闘隊	一一	一五 (攻撃機共 他を含む)	七一	七一
爆撃隊	九	一二	四九	四九
計	約二〇	七八	一	一九四

オソアヴィアヒム

ソヴェート聯邦航空國防の第一線に立つ組織はオソアヴィアヒム(國防飛行化學協會)である。これは一九三二年四月

現在一千二百萬人の會員を有する大組織であるが、一九三三年迄に千七百萬人に達せしめんとするものである。一九三二年三月オソアヴィアヒムの第三次中央會議總會が開催され、該機關の再組織が決

飛行船建造

大衆的軍事的及び軍事技術的宣傳作業が不充分である。又幾多航空學校に於ても教習の水準が低い。それからニジノヴゴロツト地方、西部地方、中央アジア等では會費徴収がうまく行つてゐない。或る所では又資金の使途及び利用が合理的に行はれてゐない。即ちオソアヴィアヒムに屬する支部團體の財政規律状態が不十分である。

ソ聯邦では最近新式の國防用武器として飛行船建造に大なる注意を向け、一九三〇年八月獨逸エツケナー博士をモスクワに招き、ツエツペリン型飛行船數隻を全國民の贖金により建造することとなり一九三一年四月迄に一千萬留の資金を得

この飛行船は教練用として使用するもので、その容積は二千立方方米、七十五馬力のモーターが裝備されてゐる。塔乗者は四人。

使用材料は悉く國産品で、設計及び製作は「デイリジヤブレストロイ」に於て行はれたものである。「ヴェ・五」號に次いで、容積の一層大なる半硬式飛行船を製作することになつてゐる。

陸海軍人民委員部及 革命軍事會議

人民委員兼革命軍事會議々長

カ・エ・ウオロシロフ	同代理	ヤ・ベ・ガマルニク
エム・エヌ・ツヘチエフスキ	同	エス・エス・カーメネフ
ヤ・イ・アルキニスIIアスト	同	ロフ
エス・エム・ブヂヨンニ	同	ア・イ・エゴロフ

そこでこの際斷然是等の缺陷を取除けオソアヴィアヒムをして更に活潑な國防強化増進機關に改善しようとしてゐるのである。而して之が改善の主要眼目は要するに航空作業、防空準備、化學準備、軍事技術的宣傳等に社會の勢力及び資金を集中し直接國防的意義を有せざる作業部門はこれを縮小し、且つこれが爲に要する資金は削減しようといふにある。

オソアヴィアヒムの幹部左の如し
▽幹部會議——議長モロトフ、委員セマシコ、ウンシリフト、マリノフスキー、リペリス。

同 イ・エ・ヤキル
 同 エル・ア・ムクレウイチ
 同 ゲ・カ・オルヂヨニキーゼ
 同 ウエ・エム・オルロフ
 同 イ・ペ・ウボレウイチ

**白系軍事組織・露西
 亞軍事總同盟**

ソヴェート聯邦の國防の項を終るに當つて、世界に亘つて結成されてゐる白系軍事組織たる露西亞軍事總同盟の機構を紹介しよう。

世界に散在する二百二十萬の白系露人は佛蘭西及び極東を二大中心として十五年一日の如く反ソヴェート運動に策動し所謂祖國奪還運動に狂奔しつゝあるが、此の中武装し得る白衛軍はウランゲル將軍の調査によれば、十二萬五千名にて十萬人は既に軍事訓練を有する旨發表されてゐるが、此の最高軍事組織は巴里に本部を置く露西亞軍事總同盟である。同盟の創立を見たのは一九二四年で故ニコライ・ニコラエウイチ大公の信任厚かりし

クテボフ將軍が其長官であつたが、一九三〇年一月將軍が何者かに誘ひ失墜して以後はミルレル將軍が全世界白系露人の輿望を擔ふて、反ソヴェート戦争の挑發と白衛軍事訓練の強化に努めつゝあり、ソ聯邦では佛蘭西始め資本主義諸國の反ソヴェート對立關係激化と日ソ關係惡化の風説に關連して大なる注意を向けつゝあるが今軍事總同盟の全世界に亘る組織機構を示せば左の如し。

總同盟本部

- 一、長官 陸軍中將ミルレル將軍
- 二、副長官 アブラーモフ將軍、ケドローフ提督
- 三、顧問 ホリムセン大將、ドラゴミエロフ大將、アルハンゲリスキー中將、ブレドフ中將、クソンスキー中將、ルコムスキー中將
- 四、陸軍大學長 リヤーリン將軍
- 全世界支部
 - 一、カナダ(ケベック市)イオノフ少將

- 二、遼洲(プリズベーン市)ボボフ大佐
- 三、南米(パラグアイ國)エルン少將
- 四、米國第二支部(紐育) ニコラエフ大佐
- 五、米國第一支部(桑港) 男爵アドベルグ中將
- 六、極東支部(上海)デトリツクス中將
- 七、第一支部(パリ) シヤチエロフ騎兵大將
- 八、第二支部(ベルリン) フォン・ランベ少將
- 九、第三支部(ソフィヤ市) アブラーモフ中將
- 一〇、第四支部(ベルグラード市) エツク歩兵大將
- 一一、第五支部(ブラツセル市) ガルトマン大將
- 一二、第六支部(ブライト市) ホドロウイチ少將

産

業

工業

(一) 工業の管理組織

一、最高國民經濟會議の改造

ソヴェート聯邦工業の最高指導統制機關は最高國民經濟會議で同會議は我國でも別名を工務省と呼ばれた位であるが、ソヴェート産業の新たな發展情勢に伴ひ同機關は一九三二年一月五日付をもつてソヴェート聯邦中央執行委員會並に人民委員會により、重工業、輕工業の三人民委員部に再組織されることとなつた同日付命令左の如し。

一、輕工業 林業及木材加工業に關する業務は、ソ聯邦最高國民經濟會議の所

産 業

管より之を分離す。而して同會議は聯邦單一重工業人民委員部に組織替へする

- 二、輕工業を指導する爲聯邦合同輕工業人民委員部を組織す
- 三、林業及木材加工業を指導する爲聯邦單一林業人民委員部を組織す
- 四、加盟各共和國の最高國民經濟會議は之を輕工業人民委員部に組織替へすべきことを加盟各共和國中央執行委員會に提議す
- 五、重工業、輕工業、林業の各人民委員部の所屬となるべき工業部門を十日以内に設定すべきことをソ聯邦人民委員會に委任す
- 六、重工業、輕工業、林業の各人民委員部に對し、當該人民委員部の官制案を作成し一ヶ月以内に立法機關に提出すべきことを委任す。

二、供給人民委員部

以上の外ソヴェート聯邦工業中、肉類、魚類、蔬菜罐詰を始め食品工業に屬するものは従來通り、これを供給人民委員部の所管に屬せしめることとなつた。

三、國營企業合同に關する法令

ソヴェート政府は國營企業の合同(オプエジネーニエ)を組織し經營の合理化を計る目的を以て一九三〇年二月十三日附を以て大要左の如き法律を發布した。

- 一、聯邦最高國民經濟會議に對し、人民委員會又は勞働國防會議の認可を得て國營工業の各部門管理の爲全聯邦的合同を組織するの權利を與ふ。
- 二、聯邦最高國民經濟會議に對し左の權限を與ふ
 - イ、管下「トラスト」及國營株式會社の行動を終止すること
 - ロ、合同の定款の認可、資本金額の決定

ハ、合同の構成を定め此等合同構成機
關(分子)に關する規定を認可するこ
と

ニ、合同に加入するとせざることを問
はず全聯邦的意義を有する新「トラ
スト」の設立

ホ、「トラスト」に加入するか又は直接
合同に加入する生産企業に關する模
範的規定の認可

三、共和國的又は地方的意義を有する企
業のソヴェート聯邦最高國民經濟會議
への移管問題は同會議と當該聯邦構成
共和國の人民委員會又は經濟評議會
との協議により之を決す

四、第二イ、ニ、ホ、第三はソヴェート
聯邦の他の人民委員部に對しても之を
適用す

五、聯邦構成各共和國政府に對し本法に
準じ、共和國的及地方的意義を有する
工業管理組織改革手段を講ずべきこと
を提議す

四、全聯邦的意義を有

同) 「ソユーズ・ソーリ」(全聯邦製鹽業合
同)

「フセスピーチプロム」(全聯邦燐寸工
業合同)

「ソユーズ・スタンコインストルーメン
ト」(全聯邦織機、器具類製造工業合
同)

「ソユーズ・ステクロフアルフォル」(全
聯邦硝子、陶器製造工業合同)

「ソユーズ・ストロイ」(全聯邦建築及び
建築用石材類製産工業合同)

「ソユーズ・タバ業」(全聯邦煙草製造工
業合同)

「テクスチリ」(全聯邦織物工業合同)

「フセヒムプロム」(全聯邦化學工業合
同)

「ヴェオ」(全聯邦電氣工業合同)

(二)工業の生産状態

一、重工業

一九二三年のコミンテルン第四回會議

産 業

する企業合同

前記企業合同に關する法令に依り左の
如き全聯邦的意義を有する企業合同を生
じた。

「レクテスイリョー」(藥品及び技術的
製品原料類製造販賣合同)

「ソユーズ・ルイバ」(全聯邦漁業合同)

「ソユーズ・モロコ」(全聯邦牛乳バタ企
業合同)

「ソユーズ・コンセルヴ」(全聯邦罐詰工
業合同)

「ソユーズ・ミヤソ」(全聯邦製肉事業
合同)

「ソヴェート・ゾーロト」(全聯邦有色金
屬、金及びプラチナ採掘精製、販賣
事業合同)

「ソユーズ・フレープ」(全聯邦穀物合
同)

「ソユーズ・ブテイツェプロドウクト」
(全聯邦鳥類産物事業合同)

「ソユーズ・プロドオヴォシチ」(全聯邦
果物野菜類事業合同)

に於てレーニンは「ロシアを救ふために
は、單に農作を計り又は農民に消費物を
供給する輕工業を興すに止らず、重工業
をも亦盛んならしむる事が必要である」
といふ意味のことを言つた。又共產黨第
十回大會に於て、スターリンは「我が農
工業を自力を以て必要なる施設を生産し
得る工業國に變ぜしむるのが黨の根本方
針である」といつた。それ程ソ聯邦は重
工業の發展に重點をおいたのである。従
つてその發展は、實に目覚ましきものが
ある。

因みに第一次五ヶ年計畫の完成により
國內には多數の重工業關係の大工場の建
設を見たが、その實績並に第二次五ヶ年
計畫の第一年たる一九三三年度の豫定計
畫については次項第二次五ヶ年計畫中で
詳述するであらう。

第一次五ヶ年計畫の完成により相當の
發達を示し、生産額絶對數に於ては可な
り増額を見たが、國內一般の需要を満た
すには至らない。政府當局もこの状態を
考慮し、一九三三年度に於ては輕工業の

「ヴァトー」(全聯邦自動車トラクター
製造工業合同)

「ミネラル・ロード」(全聯邦非金屬礦物
採掘精製販賣事業合同)

「ウオストウーゴリ」(ソヴェート聯邦
東部石炭鑛業合同)

「ゾコ」(全聯邦皮革工業合同)

「コトロトウルビナ」(全聯邦タービン
製造工業合同)

「ソユーズ・レース」(全聯邦木材業合
同)

「ソユーズ・ラスマスロ」(全聯邦植物性
油製造工業合同)

「スターリ」(全聯邦冶金、鐵及滿俺鑛
業合同)

「ソユーズ・ウエルファイ」(全聯邦海上船
舶製造工業合同、全聯邦河川用船舶
製造工業合同)

「ソユーズ・ネフチ」(全聯邦石油事業合
同)

「レジンノオブエジネーニエ」(全聯邦ゴ
ム及びアスベスト工業合同)

「ソユーズ・サーハル」(全聯邦製糖業合
同)

生産品を増大すべくあらゆる方法を講じ
つゝある。これがためには原料の供給を
圓滑にする必要があるので、農業の發達
をも圖り、且つ運輸機關の作業力をも向
上せしめる計畫である。

電 化

一、電化の重要性と統
制機關

ソヴェート聯邦の産業中、革命前に比
して最も長足の進歩を遂げ來つたものは
電化である。

レーニンは曾てソヴェートのやうに經
濟的技術的に遅れた國家を社會主義化す
る上に絶對必要な手段は電化であるとな
し、前國家計畫委員會議長にして電氣技
師たりし、クリヂャノフスキー氏其他と
計り、一九二〇年ゴエルロ(國立電化委
員會)を組織し、同年十二月の第八回全
露ソヴェート聯邦において有名な電化十
年計畫を立案報告した。爾來電化は他の

産業部門に比し、より急速なるテンポをもつて發展し來つたが、現在この電化を組織し統制する國家機關は左の如し。

電化の最高管理機關は聯邦國民經濟最高會議幹部會であつたが一九三二年一月同會議が重工業、輕工業、林業の三人民委員部に分割再組織されてから、電化事業は重工業人民委員部の所屬となり、同委員部内に燃料及動力部があり、之がエネルギーゴツエントル(全聯邦動力經濟合同)を監督し、エネルギーゴツエントルは電化事業關係のトラスト及び地方事務所を統制してゐる。之等機關の名稱及び所在地を擧ぐれば次の如くである。

- A 合同、エネルギーゴツエントル——モスクワ、トラスト(一)エネルギーゴストロイ——モスクワ、(二)ギドロエレクトロストイ——モスクワ、
- B 地方事務所(一)モゲス——モスクワ(二)エレクトロトクトク——レニンラグド、(三)セフカフエネルギーゴウブラウレーニエ——ドン河岸ロストフ、(四)ウラルエネルギーゴ——スウエルドロフス

然るに一九一六年以後ソヴェート革命の目標とする社會主義建設は國家經濟の農業的基礎、換言すれば、農主、工従を變じて、工主、農従の國家たらしむると共に、進んでこの農業の經營形態をも社會化することが絶対に必要であつた。

勿論一九一七年十一月の革命によつて地主、教會その他に屬した土地を收奪してこれを農民に分ち與へ、土地革命を遂行した。然しながら、土地革命だけでは農業革命は遂行されなかつた。土地を分ち與へられた農民の間には、何時の間にかその主體的並に客觀的條件の相違に應じて貧農の懸隔が著しくなり富農(クラーク)、中農(スレスニヤク)、貧農(ベズニヤク)の三階層が発生した。一九二一年新經濟政策の採用によつて富農に或程度の經濟的讓歩が與へられるに至りこの三階層中最も有力となり來つたものは富農である。彼等は商品穀類の主たる生産者となり、ソヴェート濟經生活において不可欠の要素となつた。新經濟政策の持つ重要意義の一は、實にこの富農に讓

- ク、(五)ドンエネルギー——ハリコフ、(六)ザクエレクトロトクトク——チフリス、(七)イワノヴォ・ウオズネセンスコエネルギー——イワノヴォ・ウオズネセンスク、(八)ニジエネルギーゴツエントル——ニジニイ・ノウゴド、(九)プレス——ブリヤンスク(十)ホゲス——ハリコフ、(十一)ニジウオルエネルギーゴ——サラトフ(十二)ベルネエネルギーゴ——白ロシア共和國(十三)スレドネウオルエネルギーゴ——サマラ、(十四)ズウクエネルギーゴ——キエフ、(十五)ユジウクエネルギーゴ——オデッサ

二、電化事業概説

聯邦に於ける電氣事業は、レーニンの提案による全國電化委員會の活躍に基礎を有し、他の部門に比し極めて迅速に發展し、國民經濟の發達に資する所大である。一九二八年には大發電所十八を有しその出力六十一萬キロワット、發電量五十億キロワット時であつた。昨年は大發電所は四十四に増加し、その出力二百五

歩して彼等の經濟的能力を有効に利用することであつた。其後一九二五年に至りソヴェート政府はトロツキ、チノヴィエフ、カメネフ等反對派の反對を斥けて農村における土地賃貸の自由、農村労働者雇傭の自由等を認め、いはゆる新々經濟政策を施行して富農及び上農上層部分への第二の讓歩を示した。

然るにかゝる讓歩の結果、富農の經濟力は高まり、その弊害も亦増大するに至つた。即ち彼等の投機性による穀物供給の逆調急速に發展する社會主義的大工業との矛盾の増大、貧農に對する搾取的傾向の増大、ソヴェート國內資本主義的殘存諸力の培養等はその主要なものである。そこでソヴェート國家として農業を舊態のまゝとゞめておくことが不可能となつた。斷乎たる手段をもつて富農の搾取的傾向を闘ひ、之を清算して、農業革命を遂行することが當面の必要となつて來た。

一九二七年十二月の第十五回共產黨大會は實にこの農業革命への決定的轉向を

十萬キロワット發電量百三十五億キロワット時に達した。

十萬キロワット以上の出力を有する發電所は十個所にして次にその現在の出力はモスクワ發電所(十萬七千)、バク發電所(十萬九千)、チエリヤビンスク發電所(十二萬一千)、レニングラド發電所(十一萬一千)、シヤトラ發電所(十三萬六千)ズエラ發電所(十五萬)ドンバス發電所(十五萬七千)ゴリキー發電所(十五萬八千)カシラ發電所(十八萬六千)ドネブル發電所(三十一萬)等である。

農業

(一)ソヴェート農業政策

由來露西亞は世界屈指の農業國として發達し來り、カナダと共に歐羅巴の穀倉と呼ばれて來た。従つてロシアにおける小麦の豐凶は、世界の小麦値段を支配するほど大きな影響をもつて來た。

指示した點で、記憶すべき大會であつた而してこの農業革命の手段としては從來極度に細分され、半封建的生産の形態にとゞまつて來た農業を大農式に集團化し社會化することであつた。と共に行政的手段をも含めて、富農の活動を制減し、進んで階級としての富農を清算し去ることであつた。一九二八年から着手の五年計畫は別項當該欄に掲載の通りその主要目標をこの點においてゐたのである。

この新政策への轉換は然しソヴェート國內において重要な反對に逢つた。ブハリリン、トムスキ、ルイコフ、ウダラーノフ等を中心とする共產黨の一部幹部は、かゝる急激なる農業革命の斷行に反對し、富農との協調持續を主張して、スターリン、モロトフ、カガノウイチ等左翼幹部の前に脆くも敗れた。

爾來、ソヴェートの農業は、史上にも曾て見ない急激なるテンポをもつて集團化、社會化の道を急ぎ、一九三二年末第一次五年計畫の最終年度には全國貧農中の全部は基礎的に集團化を終つた。

以上がソヴェート政府農業政策變遷の概要である。

(二) 農業社會化

過程

ソヴェート農業の急激なる社會化過程は農業社會化に關する數字によつて知ることが出来る。

穀物耕作面積移動(百分比)

ソフホズ	個人農
一九二八年	一・二
一九二九年	一・六
一九三〇年	三・六
一九三一年	七・五
一九三二年	一〇・〇
一九三三年度	七〇・〇

國營農場 五千八百二十個所、其の耕地一千三百四十萬ヘクタール。協營農場 二十一萬一千個所、其の耕地一億二千二百九十萬ヘクタール。シン・トラクター・ステーション 二千

四百九十八ヶ所、所屬トラクター八萬五千臺、自動車五千四百二十臺、コンバイン一千九百十臺、其耕作面積五千萬ヘクタール。農家一世帯當耕作面積は、個人農一・九八ヘクタール、トラクター・ステーションを持たないホルホーズ農三・九ヘクタール、トラクター・ステーションを有するホルホーズ農五・二ヘクタールとなる。

(三) 一九三三年度

農業計畫

一九三三年度全播種面積は一億三千三百五十萬ヘクタールとし、内春蒔九千五百萬ヘクタール、秋蒔三千八百五十萬ヘクタールと豫定してゐる。春蒔小麥二千三百萬ヘクタール、棉花一百六十八萬三千ヘクタール、亞麻二百三十萬ヘクタール、甜菜一百二十萬ヘクタールとす。なほホルホーズに屬する耕地は六千六百八十萬ヘクタールを播種す、マシン・トラクター・ステーションの働は三百二十個所を増加し、附屬トラ

クター總馬力は百四十八萬七千馬力とす。ソフホーズ所屬耕地千三百萬ヘクタールの内九百九十萬ヘクタールは春蒔、三百十萬ヘクタールは秋蒔とす、收穫率は穀物一三%、棉花八%、亞麻二〇%、甜菜三二%を最低增收率とする計畫なり、右による收穫は、穀物八億二百萬セントナール棉花千四百三十萬セントナール、亞麻五百五十萬セントナール、甜菜一億二千萬セントナールと豫定する。

生産手段の供給としては、トラクター八十七萬馬力、農業機械五億五千萬留を計上する。なほ家畜は本年度末の現在を次の如くに豫定すべし。牛、ソフホーズ二百五十萬頭、養牛場六百萬頭、牝牛、ソフホーズ百十六萬二千頭、養牛場二百五十萬頭、豚、ソフホーズ、百十五萬頭、養豚場、三百七十五萬頭、羊ソフホーズ四百三十四萬頭、牧羊場六百二十萬五千頭、社會化農業に對する全投資は二十一億四千七百七十萬留とす。

聯邦國家計畫委員會

議長	ウエ・ウエ・クイブイシエフ
同代理	ゲ・イ・ローモフ
同	エル・エヌ・クリツマン
同	イ・カ・ウンシユリフト
同	ウエ・ベ・ミリユーチン
同	イ・テ・ズミルガ
同	ウエ・ウエ・オシンスキー
同	イ・ゲ・アレクサンドロフ
同	ア・イ・ベルドニコフ
同	ベ・エ・ベズルキヒ
同	エム・エヌ・ブウロフ
同	ウエ・ウエ・シエミヤトフスキー
同	エス・エス・デイカンスキー
同	エヌ・ベ・ドルガレフ
同	ア・エム・ドゥブネル
同	ア・イ・エムシヤノフ
同	ア・イ・ガイステル
同	エス・エ・ヒユベルマン
同	テ・エス・フウエシン
同	ウエ・エ・コロコルキン
同	ア・ア・クラスノゴルスキー
同	ゲ・ウエ・ラウエル
同	エフ・ウエ・レンダニク

同	ウエ・ア・レーヴィン
同	ウエ・エル・マルクス
同	エル・カー・マルテン
同	ア・エス・メンデルソン
同	エス・ウエ・ミナエフ
同	ア・エム・ニコラーエフ
同	エス・エス・ニコラーエフ
同	エヌ・エム・ウシヤコフ
同	エス・エル・ローニン
同	エム・イ・ルビンステイン
同	ゲ・イ・スミルノフ
同	エス・ゲ・ストルミリン
同	エル・エ・ウエイズベルグ
同	ウエ・ア・ザール

聯邦國家計畫委員會直屬
中央社會・經濟統計局

局長	ウエ・ウエ・オシンスキー
同代理	エス・ウエ・ミナエフ
同	エス・ゲ・スツルミリン

重工業人民委員部

人民委員	ゲ・カ・オルヂョニキーゼ
------	--------------

同代理	イ・ベ・ハウルノフスキー
同	イ・ウエ・カシオル
同	ウエ・イ・メジラウク
同	ゲ・エル・ビヤタコフ
同	ア・イ・グウレウイチ
同	ア・ベ・セレブロフスキー
同	エム・エム・カガノウイチ
同	ベ・イ・バラノフ
同	エス・イ・アフアナシエフ
同	カ・エム・ベツゲ
同	エス・ベ・ビリマン
同	ゲ・エス・ピトケル
同	ア・エ・プリスニチエンコ
同	ウエ・エス・ボグシエフスキー
同	デ・エフ・ブドニヤーク
同	エヌ・イ・ブハリン
同	エヌ・エム・シユウエリニク
同	ヤ・ハ・ダフチヤン
同	ア・エヌ・ドルゴフ
同	イ・エス・ドツエンコ
同	エフ・ゲ・エゴ
同	ユ・ベ・ファイガトネル
同	エス・エム・ガニシン

五ヶ年計畫

第一次五ヶ年計畫

(一) 該計畫の概説

聯邦國民經濟五ヶ年計畫は、一九二七年十二月全聯邦共產黨第十五回大會に於て、本計畫が提唱せられ、其の實施に關する政治的、經濟的一般方針が決議せられたるに始まるものにして、計畫の大目的は聯邦の工業化、農村の社會主義化、國內經濟體制に於ける資本主義的要素の克服と社會主義要素の強化にある。

本計畫の作成は主として國家計畫委員會が中心となり、老なる規模を以て諸資料を研鑽調査し、一九二九年四月最高國民經濟會議に於て國家計畫委員會の提案を基礎とし聯邦加入各共和國の代表者參加の下に労働國防會議と協同し成案を

作成し、同五月聯邦政府の承認を得、同月二十日の全聯邦ソヴェート第五回大會に於て之を裁可した。

五ヶ年計畫は一九二八—二九年度より一九三二—三三年度即ち一九三三年

九月末日を以て完了する豫定で着手されたものであるが、其後實施中作業の進捗の程度に關聯し、多少の變更を行ひ、且つ曆年と合計年度を合致せしむるため、一九三〇年十月より十二月末日までを特別會計年度とした結果、全計畫は一九三二年末日を以て完成したので正味四年三月月で終了したことになる。次に計畫の立案せられた當時一切の國營産業を統制してゐた最高經濟會議は其後分割せられて、重工業、輕工業、林業の三つの産業委員會となつた。(産業委員會は從來も食糧人民委員會が存してゐた)此の改造が統計編成方法に變化を與へたことは明

かである。第三に原計畫が適用せられる筈であつた工業的企業の数、實行期間中同一のまゝでは留まらないで逐年増加したのであるから、(A)最初から計畫に入つてゐた國營企業(計畫に従つて新設されたものを含む)と(B)最初は入つてゐなかつたが實行期間中に五ヶ年計畫に入られたものとを區別しなければならぬ。

(二) 工業第一次五ヶ年計畫の實績

一九三三年一月にモスクワに開かれた共產黨中央委員會及統制委員會全體會議(七日—十二日)とソヴェート聯邦中央執行委員會の常例會議(二十三日—三十日)とに於ける第一次五ヶ年計畫の全期間に於けるソ聯邦の産業の發達と第二次五ヶ年計畫の第一年たる一九三三年に於ける産業問題の見透しとに關するスタトリン、モロトフ、クイブイシエフの諸氏の諸報告の供する情報は、第一次五ヶ年計畫の實

績について、正確な圖面を與へてゐないが、これらの諸報告と會議の可決した諸決議とを摘要すれば左の通りである。

ソヴェート聯邦人民委員會々議々長モロトフ氏提出の報告によると、前述したAグループとBグループとを合計した生産價格は、一九二六—二七年現在の價格にて、一九三一年には二百七十一億一

千一百万ルーブル、一九三二年には二百九十二億ルーブルで、前年より八五%増である。一九三一年にはAグループの生産價額は二百二十億二千一百万ルーブルであつたから、右の八・五%増をこの計數にあてはめると五ヶ年計畫による一九三二年の生産價額は二百四十億ルーブルと見積られる。五ヶ年計畫の最後の年(一九三二—三三年)の計數は原計畫では三百四億四千五百万ルーブルであつたが、その後變更された一九三二年の計數はAグループから三百六億六千二百万ルーブル、AB兩グループ合計から三百八十三億ルーブルの生産を期待したのであつた。結局、原計畫は五ヶ年間に一千三

十七億六千一百万ルーブルとなつた。斯うして第一表の示す通り、四年四分の一の實行期間に於ける工業生産價額は原計畫の五年間の豫定總額のおよそ八〇%に達したのである。

第一表 第一次五ヶ年計畫の工業生産價額。(單位百萬ルーブル)

年次	原計畫に入る企業	豫定計畫
一九二八—一九二九	一三、三六	
一九二九—一九三〇	一六、〇九	
一九三〇—一九三一	一九、六四	
一九三一—一九三二	二四、三〇	
一九三二—一九三三	三〇、四五	
合計	一〇三、六一	

實行成績

年次	原計畫に入る企業	一切の國營企業
一九二八—一九二九	一四、〇九	一六、四三
一九二九—一九三〇	一七、三七〇	二一、〇五〇
一九三〇(四半期)	五、七六	六、七三
一九三一	三三、〇二	三七、一一
一九三二	約 四〇、〇〇	約 三九、三〇

合 計 八、六五 一〇〇、二六
 翻つて、一九二八年十月一日から一九三二年十二月三十一日までの四年四分の一の間に工業に投ぜられた資本は二百三十三億ルーブルであつたが、最初に全五ヶ年の分として、計畫された投資額は百八十八億ルーブルであつたのである。

ソヴェート當局は五ヶ年計畫が四年間に充分には實行せられなかつたことを認めてゐるが、然し計畫の規定する主要任務、即ち工業、運輸及農業に於ける新技術の骨組の組立を完成したと信じてゐる。

前記の諸報告の示す所によると五ヶ年計畫は重工業に於て最も充分に實行され、此の部門の一九三二年の生産價額は五ヶ年計畫の最後の一年の豫定額を八・四%だけ超過したといはれる。食糧産業は豫定額を生産し得たが、輕工業と木材工業とは大いに遅れてゐる。

輕工業の發達遅々たるは、ソ聯邦が其の手持外國手形を重工業の裝備に費し、かくて輕工業用原料(棉花、皮革、ゴム等々)の輸入を殆んど全くやめてゐると

云ふ事實によるのである。

一、工業化政策

急速な工業化政策の採用の結果は最も近代的な技術装置を施した多数の企業の新設をみた。なかでも、マグニトゴールスク及クヅネーツクの機械工場、ベレズニキ化学工業、コンバイン、ドニエプル発電所等々は實に大規模なものである。前記の二會議の決議も、過去四年間に新設又は擴張せられた多くの産業、例へばトラクターの製造(スタールィングラードカルコフ)、自動車(モスコウ、ニジニノヴゴロド、ヤロスラウ)、飛行機、機械器具の製造等々を列挙してゐる。さらに、石炭及鐵の中心地方一つ(ウラルIIクズネットク)及紡織地域二つ(中央アジアと東シベリア)が最近數年間に新に開かれた。

工業化政策は工業生産と農業との關係を一變してしまつた。五ヶ年計畫の始め(一九二八年)には工業生産額はソ聯邦の一切の生産額の四八%であつたの

に、一九三二年には七〇%となつた。工業生産の毎年の平均増加は二二%であつた。同期間に於て一切の工業生産に對する重工業の比率は四四・五%に増加した。

二、機械工業、石炭

石油

産業別の詳細な生産統計はまだ發表されないが、諸報告は總て機械工業の成功を強調してゐる。五ヶ年計畫の最後の年の豫定は五四%も超過され、生産額は一九二八年當時の四倍半となつた。尤もその後擴大された一九三二年度豫定計畫(六十八億ルーブル)は七九%しか實行されなかつた。

石油採取も原案の規定より大であつたが(原案二千一百七十萬噸に對し二千二百二十萬噸)、更改された一九三二年度計畫(二千八百萬噸)は完全には實行されなかつたのみか生産は一九三一年(二千二百三十萬噸)に比してやゝ減じた位である。石炭、鐵等の若干部門に關する限り、

五ヶ年計畫の成績は機械工業よりずつと劣つてゐる。ソ聯邦の新聞紙に毎月發表される暫定數字によると、原計畫の七十五萬噸及更改計畫の九十萬噸の代りに、一九三二年には僅かに六十三萬噸の石炭が生産されたにすぎない。四年四分の一の實行期間中の石炭生産總額は二億二千萬噸のほり、最初の五ヶ年計畫(二億八千二百萬噸)の七八%にあたる。しかし、同期間中に炭業に投下された資本十八億ルーブルは原計畫の十二億五千萬ルーブルをかなり凌駕してゐる。今では炭業の七〇%は機械化されたが、機械の利用状態はまだ劣悪である。次表は一九二八年以降の石油及石炭の生産の發達を示す。(單位百萬噸)

五ヶ年計畫

年次	石油	石炭
一九二八—一九二九	一三・一	四・〇
一九二九—一九三〇	一四・八	四七・四
一九三〇—一九三一	一六・九	五五・一
一九三一—一九三二	一九・一	六三・六

一九三二—一九三三 實行成績

年次	石油	石炭
一九二八—一九二九	一三・七	七五・〇
一九二九—一九三〇	一七・七	四〇・六
一九三〇(四半期)	五・七	四七・五
一九三一	三・三	三三・八
一九三二	三・三	五五・〇

三、鐵

製鐵業の進歩は依然として遅々として

をりいまだに五ヶ年計畫の第三年の豫定段階に到達しかねるばかりか一九三二年度更改計畫は原計畫の最終年よりも一層内輪なものがあるに拘らず、それさへやつと六〇%乃至七〇%しか實行されなかつた。鉄生産は一九三一年より二七%増加したけれども、鋼鐵及展鐵の生産増はそれ〴〵九%と五%とに過ぎなかつた。第一次五ヶ年計畫の期間中の鐵生産を示せば次の如くである。(單位百萬噸)

年次	鉄	鋼	展鐵
一九二八—一九二九	三・八八	四・〇一	四・七〇
一九二九—一九三〇	五・五〇	四・九七	五・五五
一九三〇(四半期)	一・五五	一・二三	一・八〇
一九三一	八・〇〇	四・九〇	五・三〇
一九三二	九・〇〇	六・二五	五・八〇
年次	鉄	鋼	展鐵
一九二八—一九二九	四・〇七	三・六	三・八
一九二九—一九三〇	四・六	三・六	三・八
一九三〇—一九三一	五・〇	四・三	四・三
一九三一—一九三二	五・三	四・三	四・三
一九三二—一九三三	五・三	四・三	四・三

一九三〇年以來、多くの新企業が開かれたに拘らず生産の増加は豫期通りの速さを示してゐない。現在では、一九二八年當時に比して、鼓風爐は十七基、マルチン爐は四十五基、展鐵機は十一臺、いづれも増加してゐるばかりでなく、鼓風爐二十三基、マルチン爐二十一基、展鐵機十二臺は全く改造せられた。一九二八年には七百立方米を超える容積の鼓風爐は一基だけしかなかつたのに、一九三二年にはそれが七基であつて、その内二基の容積は各千八百立方米である。

四、電化

電力生産は一九二八年の五十億キロワット時から一九三二年の百三十五億キロワット時に増加し、發電所の發生する總電力は一四五%だけ増加した(百八十五萬キロワットから四百六十萬キロワットへ)。一九二八年には十萬キロワット以上を發する發電所は一つもなかつたのに、一九三二年には三十一萬キロワットのドニエプル發電所を始めとして、それは十

個もあつて、この十個所だけでロシアの消費電力全体の三三%を發生する。しかし五ヶ年計畫の數字——百七十億キロワット時及四百八十四萬二千キロワット（一九三二年度更改計畫では五百六十萬キロワット）——には及ばなかつた。

五、その他の諸工業

一九三二年度計畫は輕工業人民委員會管下の企業からの生産價額を百億ルーブルと定めてあつた。充分にして詳密な成績はまだ發表されてゐないが、クイブイシェフ氏の報告は一九三三年度生産を前年より一〇%増して八十八億ルーブルとすべしと豫告してゐるから、これから推定すると一九三二年の生産の價額はおよそ八十億ルーブルと見積り得るであらう公表された統計によると同年の最初の三つの四半期は第一季二十一億、第二季二十一億二千萬、第三季十八億、合計六十億二千萬ルーブルである。クイブイシェフ氏報告によると食糧人民委員會管下の企業の一九三二年度生産は四十一億ルーブルであつた。

最近四ヶ年間に二、四四六ヶ所の機械トラクター・ステーションが新設され、新式の農具、農具修繕、自動車等々を供給した。

最近三ヶ年間に二〇〇千の集團經濟、（コルホーズを含む）が組織され農民經濟の六〇%播種總面積の七五%が集團化された。尙ほ同期間に五、〇〇〇のソヴェート經濟粒穀牧畜及機械耕作サフホーズが組織された。従つてコルホーズ及サフホーズの兩經濟を合すれば播種總面積の約八〇%が集團化されたのである。

以上の結果

(一) クラーク階級が崩壊され、農業に於ける資本主義分子が根こそぎにされ、この結果農村に於ける社會主義の勝利が保證され、コルホーズ經濟は社會主義建設の鞏固なる支柱となつた。
(二) 小規模なる、個人主義的なる、分散せる農民經濟を社會主義的大農のレーンへ誘引し、ソ聯邦は小農國より大農國へ轉換した。

ルで同年度計畫の僅か五七%にすぎない木材人民委員會管下の企業は一九三二年度計畫（二十八億ルーブル）を七二%だけ（二十億三千萬ルーブル）實行した。尤も、原計畫では最終年の生産を二十二億六千萬ルーブルと規定してゐたのである製紙高は四十七萬噸で一九三一年より五%少ない（原計畫の最終年は七十萬噸の豫定）。

六、生産性と生産費

勞働生産性は一九二八年以來四〇%増したが、原計畫は五年間に七〇%を増す豫定であつた。一九三二年度の増加は二%と豫定せられたが、實際には若干の重工業をのぞけば何等の増加もなかつたし、これら重工業の増加もたかゞ五%を出でない。生産性の減じた場合もあるので、工業全體としての増加は僅か一%にすぎなかつた。

一九三二年中に七%を減する筈の生産費は生産増の總額が名目賃金の上昇より少なくなつたので、僅か年々増した。五

(三) 播種面積は一九二七——二八年に比較し二千百萬ヘクタール増加した。特に、機械耕作は一九三二年千五百萬ヘクタールに達した。蓋し、五ヶ年計畫の課題は一九三二——三三年に於て千一百万ヘクタールであつた。

(四) 農業の發展に據り國內に於ける商品穀物が増加した。即ち、一九二七——二八年には七〇〇百萬封度の穀物が國家に納入され、此の内コルホーズ及サフホーズからの納入は約一〇%に過ぎなかつたが（一九三二——三三年には一、四〇〇百萬封度が納入され此の内約七五%が、コルホーズ及サフホーズから納入されてゐる）

(五) 牧畜業は種々の缺陷のため不振であつたが、五ヶ年計畫はこれらの缺陷を清算し大有角獸は一九三二年末に於て大規模なるサフホーズ及其販賣所には七、六百萬頭、（此の内サフホーズに二、一百万頭コルホーズ經營の販賣所に五百萬頭）に増加した。蓋し一九二八年には三三二千頭に過ぎなかつた。豚は一九二八年の七五千頭より三、六百萬頭（サフ

ヶ年計畫の最初の二年間に、生産費は一六・七%だけ減つたが、一九三一年中には又も三・七%だけ上昇した。かくて五ヶ年計畫の豫定では三二%を減する筈の生産費は差引僅か一〇%ばかり減じただけであつた。

工業従業人口の最近の調査によると、一九三二年の總數は六百四十一萬六千人であつて、一九二八年の三百二十萬四千四百人に比すると、その増加は原計畫の豫定よりも五七%も多くなつてゐる。工業勞働者一人當りの平均名目賃金は一九二八年水準よりも六七%だけ原計畫の豫定よりも一八%だけ、いづれも増加してゐる。

(三) 農業第一次五ヶ年計畫實績

五ヶ年計畫期間に農業へ（一）一、九〇〇千馬力のトラクター一、二〇千臺餘（二）一六〇〇百萬留の農業機械を供給した。即ち農業への供給は一九二八年の二倍でホーズに九五〇千頭、販賣所に二、六百萬頭）に増加した。羊は一九二八年の九七〇千頭より九、九百萬頭（サフホーズ——四、四百萬頭、販賣所——五、六百萬頭）に増加した。

第二次五ヶ年計畫の展望

(一) 該計畫の概説

第一次五ヶ年計畫が、其の各年度の豫定を期間内に遂行し、若干の部門に於ける缺陷を除けば全般的に成功し、殊に基礎的部門に偉大なる成果を收めたることは全計畫を四ヶ年、即ち一九三二年末までに完成し得る見透を確實ならしむると共に、更に第二次五ヶ年計畫を一九三三年度より實施し得ることの確信を與へたるを以て、聯邦政府は之に對する實際的準備を行ひ、一九三二年初頭これが方針を決定し、五月二十日聯邦人民委員會議

は國家計畫委員會に基本的計畫の立案を命じ、其の提出の期限を八月十五日迄と指定した。國家計畫委員會ではクイブイシエフ議長以下七十三名の委員を以て特別委員會を組織して、計畫案の作製に従事し、一般的成案を得た。

第二次五ヶ年計畫の基本的政治的課題は資本主義的分子並に一般階級の徹底的清算、階級的差別と搾取とを生ずる原因の完全なる絶滅、經濟及人々の意識中にある資本主義の殘滓の克服、無階級的社會主義社會の意識的積極的建設者としての全勤勞大衆の轉向等にして、經濟的課題は第一次五ヶ年計畫にて開始せられたる急速なる國對發展計畫の連續を以て、自給自足の經濟を確立し從來重工業のためには犧牲に供せられたる輕工業の發展により勞農大衆の福利の増進を謀るにある。第二次五ヶ年計畫實施に於て、特に重要視されるのは、國民經濟の全部門に互る技術的改造、斬新なる機械的技術の應用である。之の完全なる實施を保障するものは機械工業なるを以て、政府當局は

勤勞大衆に對し、技術の收得を熱心に奨勵しつゝあり、第二次五ヶ年計畫の投下資本額は大體一千五百億留にして、第一次計畫の豫定投資額(八百六十億留)に比して約二倍弱に、又其の實行投資額(千六百六十億留)の三分の二に相等する。斯くの如き老成なる資本を消化する方面について第一次計畫の終年たる一九三二年度を標準として一九三七年度の豫定を略述すれば次の通りである。

機械工業は生産額を三倍乃至三倍半に増加す。次に廣汎なる電化を行ふ目的を以て發電力量は六倍し、少くとも一千億キロワット時とす。之がためにはウオルガ地方、アンガラ地方にドネプル發電所の規模を十數倍に増加した發電所の建設が必要となる。次に石炭の採掘量は二億五千萬噸に上昇せしめ、石油の採取は二倍半乃至三倍に増額するだらう。次に鐵道は二萬五千乃至三萬軒の新線を建設しウオルガ、ドンと裏海、黑海を連絡する大運河を開鑿する豫定である。聯邦政府は、この第二次五ヶ年計畫後

初めて歐洲第一の國家として、從來提唱せられた「資本主義的世界經濟の隸屬者となる事を防ぐための、經濟的自主の保障」を完全に把握する地位に達するものと確信しつゝある。

此の廣汎なる第二次五ヶ年計畫中初年度即ち一九三三年に於て實施すべき計畫は、本年一月聯邦共產黨中央委員會及中央統制委員會の合同會議並に聯邦中央執行委員會の會議の席上で發表され、中央執行委員會に於て決定的に之を裁可したその中にて重要な項目は次の表中一九三三年度豫定の項に掲げた。

五ヶ年計畫對比表

五ヶ年計畫の主要項目について、各年度の原案並に実績を列記することは極めて興味あることであるが、茲には第一年度及最終年度の実績並に第二次五ヶ年計畫(前項参照)の第一年度の豫定を掲げて對比に便にするに止める。

項目	對目	一九二八—一九二九年度実績	一九三二年度実績	一九三三年度豫定
銑	鐵(噸)	三、三〇〇、〇〇〇	六、二〇〇、〇〇〇	九、〇〇〇、〇〇〇
鋼	鐵(噸)	四、二〇〇、〇〇〇	五、九〇〇、〇〇〇	八、九〇〇、〇〇〇
展	鐵(噸)	三、九〇〇、〇〇〇	四、三〇〇、〇〇〇	六、三〇〇、〇〇〇
石	炭(噸)	三、五〇〇、〇〇〇	六、二五〇、〇〇〇	八、四〇〇、〇〇〇
石	油(噸)	一一、九〇〇、〇〇〇	三三、二〇〇、〇〇〇	三四、四〇〇、〇〇〇
發電出力(キロワット)		一、八七五、〇〇〇	四、六〇〇、〇〇〇	五、七〇〇、〇〇〇
發電力量(キロワット時)		五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	一三、五〇〇、〇〇〇、〇〇〇	一六、三〇〇、〇〇〇、〇〇〇
トラクター製作(臺)		一、四九一	四〇、一六三	六〇、五〇〇
重工業生産高(留)		三、九八〇、〇〇〇、〇〇〇	一三、三〇〇、〇〇〇、〇〇〇	一八、元、〇〇〇、〇〇〇
化學工業生産高(同)		三、四〇〇、〇〇〇、〇〇〇	一、〇一〇、〇〇〇、〇〇〇	八、八〇〇、〇〇〇、〇〇〇
輕工業生産高(同)		—	—	七、四〇〇、〇〇〇、〇〇〇
食品工業生産高(同)		—	—	七、〇七〇、〇〇〇、〇〇〇
林業生産高(同)		—	—	七、九一〇、〇〇〇、〇〇〇
生産協同組合生産高(同)		—	—	—
機械トラクター配給所數		—	二、四四六	三、六八
國營農場數		—	五、八三〇	—
協營農場數		—	二一、一〇〇	—
播種面積(ヘクタール)		—	二二、九〇〇、〇〇〇	—
國營農場の分(同)		—	一、七〇〇、〇〇〇	—
協營農場の分(同)		—	一、三〇〇、〇〇〇	—
穀物作付面積(同)		—	九、一五〇、〇〇〇	—

棉花作付面積(同)	1,240,000,000	2,600,000,000	11,000,000
甜菜作付面積(同)	1,100,000,000	50,500	1,100,000
亞麻作付面積(同)	2,300,000,000	1,175	1,100,000
鐵道輸送貨物(噸)	1,240,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000
一日平均積込(車)	1,240,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000
機關車製作(臺)	1,240,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000
航空運輸延(料)	1,240,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000
空運旅客(人)	1,240,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000
空運貨物(噸)	1,240,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000
空運郵便物(同)	1,240,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000
空中測量(方料)	1,240,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000
平均労働時間(時)	1,240,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000
労働者平均年收(留)	1,240,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000
労働者數(人)	1,240,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000
婦人(人)	1,240,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000
初等學校生徒數(人)	1,240,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000
中等學校生徒數(人)	1,240,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000
技術學校學生數(人)	1,240,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000
專門學校學生數(人)	1,240,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000
文盲者(對全人口)%	1,240,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000
産業投資(留)	1,240,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000
重工業(同)	1,240,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000
輕工業(同)	1,240,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000

運輸(同)
 農業(同)
 公益施設投資(同)
 住宅建設投資(同)
 文化事業投資(同)

(一) 第二次五ヶ年
 計畫の第一年
 たる一九三三
 年度の國民經
 濟計畫

ソ聯邦國家計畫委員會議長クイブイシ
 エフ氏は、一月二十四日の聯邦中央執行
 委員會々議に於て「第二次五ヶ年計畫の
 初年度たる一九三三年度國民經濟計畫」
 に關し、工業、二、農業、三、運輸及
 び通信、四、投資、五、質的指標、六、
 物質文化水準の高揚、七、階級的反抗者
 の撃滅に就いて報告演説をなした。茲に
 は其の内工業、農業の二項を紹介しよう。

五ヶ年計畫

一、工業

第二次五ヶ年計畫の第一年たる一九三
 三年度の工業の發展は、生産總額に於て
 一六・五%の増加を特徴としてゐる。そ
 の中A群は二一・二%、B群は一〇・五%
 である。工業のこの發展速度に應じて、
 工場建設投資額は百一億八百萬留(昨年
 度に比し約十億留増加)が計上され、そ
 の内重工業に對し八十五億二千七百萬留
 輕工業に對し十五億八千八百萬留投資す
 ることになつてゐる。工業に對するプロ
 グラムは概略以上の如くである。
 次に重要工業部門に對しては一九三三
 年度に如何なる生産任務が課せられて居
 るかを見やう。

1. 冶金業

黑色冶金業の五ヶ年計畫の結果はこれ
 を要約すれば次の如くである。第一次五
 ヶ年計畫の四年間に、改造及び新設され
 た溶鑪は四十基、マルテン式爐は六十
 六基、展鐵機二十三基を有するに至つた
 而して是等のものは、何れも五ヶ年計畫
 以前聯邦領内に在つた舊い機械とは全く
 その面目を異にするもので、遙かに大
 なる生産能力を有する最新技術の精華であ
 る。
 既にケルチエンスキー冶金工場、クズ
 ネットキー工場、マグニトストロイ等の大
 工場が生産を開始した。
 第二の石炭、冶金根據地たるウラル・
 クズバクが樹立され、また南部地方の全
 工場及びウラル地方の多數工場に重要な
 改造が行はれた。そして冶金業の第一次

五ヶ年計畫にとつて、最も重要なことは自國の機械製作根據地の建設されたことである。五ヶ年計畫以前のソ聯邦は、此の點に於て輸入に訴へる他なかつたが今や多數の冶金機械を製造供給し得るクラマトルスキー工場、及びウラル機械工場を有するに至つた。

次に示すは三三年に於ける黑色冶金業の生産、技術根據地の概要である。黑色冶金業生産能力の増大は三三年にも繼續され、之に對し二十一億九千七百萬留が計上されて居る。之は更に新しい溶鑛爐、マルテン爐、展鐵機等の建設に投資するのである。即ち最新式裝備を施した溶鑛爐十五基、マルテン爐四十五基、電氣爐十五基、ブリューミング四基、展鐵機十五基が三三年中に新設の豫定である。機械の新設、舊き機械に於ける作業の改善、三二年末に完成して未だ威力を發揮するに至らない溶鑛爐、マルテン爐、展鐵機等の生産力増進によつて三三年度には、鉄鐵九百萬噸、鋼鐵八百九十萬噸、展鐵六百二十萬噸を生産する計畫である。

三三年度の冶金業の基本的課題は、鉄鐵のみならず、鋼鐵及び展鐵の増産にも努めて冶金業の全班を確實に把握するにある。これがためには、建設時にも、運用時にも、展鐵機及びマルテン爐の立運を許さぬ様にしなければならぬ。鉄鐵なくして鋼鐵が出来ないことは言ふまでもないが、我々の必要とするのは最後の産物たる展鐵で、これが機械製作、建築用軌條用に供せられるのである。尙ほ我國はボイラー鐵板、上等展鐵、鐵管其他が必要である。それ故黑色冶金業の総合的發展は、冶金工業に關係ある冶金技師及び總ての團體の基本的課題でなければならぬ。

我國に於ける再製用鉄鐵と鑄造用鉄鐵間の割合は、後者が前者に比して比較にならない程多く、米國又は獨逸よりも遙かに割合が高い。米國では鉄鐵總額中鑄造用鉄鐵の割合は一六・七%であり、獨逸では一七%であるに對して、我が國では二八%である。つまり鉄鐵の二八%は其れを鋼鐵に更に展鐵に作り變へること

なかつた大規模なニツケル工場である。カズボリ金屬工場(鉛)、電氣鑄造亞鉛工場二ヶ所、其の内一ヶ所はチエリヤビンクス市に、他の一ヶ所はオルジョニキーズ市に建設、ウラル綜合工場、カラト及びカラバン其他に於ける貧鑛處理工場である是等の工場によつて有色冶金業の威力を増し、三三年度の生産高が増加する筈である。

ロ、燃料

燃料工業に就いて述べるならば、先づ燃料全體(鑛物性及び木質燃料を含む)の六〇%を占める石炭業に就いて語らなければならぬ。三二年度には六千四百萬噸の石炭を採掘し、その前年度の三二年よりも一千萬噸多かつた。然し諸君も御承知の如く我が各種産業の發達は石炭業の生産増加を要求して已まない。而して三三年度には八千四百萬噸を採掘する筈で、即ち三〇%の増産の豫定である。

採炭總量八千四百萬噸の中、五千百八十萬噸はドンパス炭坑に振當てられるが同炭坑としては、前年度に比し一八%の

なく、鑄造用として供給されてゐる。勿論斯様な比率は之を正則的と見做すことは出来ない。これソ聯邦が鋼鐵及び展鐵に特に力を入れなければならぬ所以であるが、勿論鉄鐵に對する努力も弛緩させることは出来ないのである。

ソ聯邦は既存の製鋼作業場、マルテン爐、電氣爐其他の作業の改善に努力しなければならぬ。何んとなれば是等が生産總額に對して支配的な重要性を有するからである。その數字を擧げて見れば、三二年度に五百七十萬噸の鋼鐵を生産したる舊來の機械は三三年度には六百九十萬噸の生産を行ふべきであり、一晝夜に從來の機械だけで一萬八千九百噸の生産をなし、新規のものと合すれば上述の如く八百九十五萬噸の鋼鐵、即ち毎日の生産高約二萬四千噸となる筈である。尙ほ運轉故障による休業を減じ、マルテン溶鑛爐より産する合格鑄造物の割合増大等に努力しなければならぬ。

展鐵については舊設の展鐵機による生産力を二四%だけ引上げなければならぬ

増加となる。然しドンパスが採炭總量に對して壓倒的な地位を占めてゐるにせよ其他の炭坑地方に於ける増産も注目に値し、其の増産率に於てはドンパスを凌駕する勢を示してゐる。例へばウラル地方の採炭量は五五%増加し、モスクワウゴリ炭坑にありては六二%、カラカンド炭坑に於ては一四三%等の増加となつてゐる。またトウクワルチエリ炭、極東地方産炭等が新に出現して來たが、勿論ドンパスが依然主要な産炭地方である。

三三年度の石炭業に對する投資額は七億七百萬留の豫定であつて重要な支出としては既に開始された炭坑の完成に當てられる。今年度に經營を開始される新炭坑は七十個に上り、仕上げを行つて今年中にその全威力を發揮する炭坑は百を超える。今年中經營に移る新坑と三二年に經營に移されたけれども幾らか仕上げを必要とするものを合すれば、採炭總量の三分の一を供給するに至る。石油の問題は三三年度に於て國民經濟上大きな問題となつて居り、石油は我が

い。指定生産高は非常に大きいけれども舊い展鐵機の改造されたことを考慮に入れなければならぬ。例へばモーターは取替へられ、展鐵機の一時間の生産力を引上げる多くの處置が講ぜられたことを思ひ、また、三三年には新しい展鐵機として例へばスターリングラド市のクラースヌイ、オクチャイブリ工場の鐵條用展鐵機の如き、クズネツキー工場に於ける軌條鐵梁機の如き、またトムスキー工場に一個、ゼルジンスキー工場に一個出来る新しい國産ブリューミング機やマグニトゴルスキー工場の展鐵作業場、其他の展鐵機を考慮に入れ、更に此二年來少しも減じない故障による休業を減する方策を極力講ずるならば、展鐵の生産高の増加は疑もなく可能であるから、之を實現しなければならぬ。黑色冶金業の状況は以上述べた通りである。

有色冶金業方面では三三年度に次の如きものが新設される計畫である。ドニエブル・アルミニウム綜合工場、ウファ・ニツケル綜合工場。これは我國に從來見

國の工業化、就中農村機械化の頗る重要な要素である。また飛行用燃料であり、航海用、ディーゼル用等として必須である。其れ故今年度は石油工業に對して一層大なる注意を拂はなければならぬ。

三二年度の採油量は比較的多く、二千二百萬噸であつたが、石炭の場合と同様系統的に増加して居るに拘らず國民經濟の需要に對して、幾らか立ち遅れて居る状態である。三三年度の採油豫定量は二千四百五十萬噸であつて、重點は依然としてアズネフチ(アジヤ石油トラスト)に集中され、アズネフチに於ては約六百の油井が採油を開始する計畫である。其の他新しい採油地域としてグルズネフチ、ステルリタマク等が數萬噸を産する筈である。尤も此の數量は國民經濟に對し大した結果を示し得ないが是等の油田は大なる埋藏量を有して居るので近き將來に於てそれを大産油地たらしめる意味で今から計畫して置く必要があるのである。將來の採油量を増す上に重要な要素となつてゐる掘鑿に對しては、特に注意を

拂はなければならぬ。今年度の採油豫定計畫を實現するには、百十萬四千米に及ぶ(掘鑿)ボーリングを必要とする。今年度の掘鑿が大規模に上るのは噴油が減じて深部掘鑿を要するも、割合が増したことにも因るのであつて(一千米以上の深さのもの)是はクロズヌイに於て特に然りである。それでこの目的のために、ステルリタマク、グルズネフチ、トウルクメンネフチ其他の地方に對する投資額の激増を來たし、過去一年間に大約倍加してゐる。三三年度には、石油工業に對し設備品及び主要材料の供給を大に増加する必要がある。

石油工業の工場建設事業に就いては、現在進行中の工場建設に對して大部分の支出が行はれることになる。而して可なり多くの工場が三三年中に作業開始の運びになつてゐる。現在六個のクレッキンク綜合工場を建設中であるが、その四個が三三年末に作業を開始する。サラトフには八個のクレッキンク綜合工場を建設中で、その内四個は三三年末に作業開始

の豫定になつてゐる。

次に混炭及び油母頁岩に就いて少し申上げたい。第一次五ヶ年計畫の結果、從來専ら困難な手工業的泥炭業が大規模の工業と化し、三三年度には一千七百七十萬噸の泥炭を採掘する筈でその増加率は二八%に當る。故に是は我が國の燃料總生産高中相當の位置を占めるのである。尙ほ此の場合注意をすべきことは泥炭業は其の機械化の増進に俟つものが多いと云ふことである。三三年度の機械的採掘の割合は六四%となる筈で是によつて労働能率は二〇%向上することとなる。油母頁岩は五十六萬噸を採掘する計畫である。此の工業は未だ新しく燃料總量の内僅少の數量を占めてゐるに過ぎないけれども、將來益々發展する性質のものにして三三年度には前年度に比して七〇%の増加を見る豫定である。油母頁岩は從來はレニングラード州及びヴォルガ中流地方の舊い半手工業的炭坑から採取してゐたのであるが、三三年度には初めて三個の機械化された大規模な鑛山から採掘

されることになる。それは即ちレニングラード州のグドフスキー(生産能力二十萬噸)、ヴォルガ中流のカンピルスキー(生産能力一萬噸)及びヴォルガ下流の一鑛山(生産能力五十萬噸)の三ヶ所である。さて各種類の燃料が増加したにも拘らず、燃料の供給状態は依然として緊張を繼續し、燃料問題は一九三三年度に於ても重要問題中の一をなすものである。三三年度に於ける各種燃料の需要總量は一億千九百五十萬噸にして、即ち前年度よりも一六%五需要増加を見る筈で此の數量と最少限貯藏量分とを採掘するには一億二千三百萬噸、即ち前年度よりも二二%方多く採掘する必要がある。これが爲には各企業が自ら各種燃料の買付を行ふことが必要で、この自己買付を以つてそれら企業の燃料計畫の重要素としなければならぬ。同時に自己の地方に産する泥炭や油母頁岩等を出來るだけ利用しなければならぬ。我々は豫定の燃料節約を充分に實行し、燃料資源の巧妙にして弾力ある利用に努めなければならぬ。

ハ、電 化
ソ聯邦は五ヶ年計畫に於て獲得したる強力な電力供給根據地の創設及びボイラー、タービン其他の動力機械製作根據地の確立の領域に於ける成功を基礎として三三年度に發電所の大規模な増設を行つて、我國の電力供給の水準を更に向上させやうと計畫してゐるのである。

全聯邦を通じ新舊發電所に於いて一ヶ年間に合計百拾萬キロワットの新規發電を行ふ計畫である。其の内七十五萬キロワットは小管區發電所に屬する。斯くしてソ聯邦の全發電所の總生産力は一九三二年度の四百七十萬キロワットから五百七十萬キロワットに即ち二三・六%だけ増大することとなる。これが爲めには重要な工業地方の動力供給源の擴大強化、遠隔移入燃料の使用を縮少するため地方的動力資源を利用する變電所の擴張に力を注がねばならぬ。

モスクワ州に於てはモスタワ近郊の石炭を使用するボブリコフスカヤ發電所の建設と作業開始が最大の課題となつて居る。更に五萬キロワットの發電所が作業を開始しシヤトウルスカヤ發電所の擴張(四萬キロワット)が行はれ、熱力工學研究所の火力發電所が新に作業を開始する後者は非常に高壓のもので、且つ世界の熱力工學が作り得た最新式の機械を使用する。此の火力發電所の實驗によつて今後火力發電所の普及と、國內に於ける高壓發電機の製作開始が決定する筈である。レニングラードに於てはスウイリの大規模な發電所(九萬六千キロワット)と、泥炭を使用するドウブロフスカヤ發電所(各五萬キロワット機二基)の作業開始に向つて努力してゐる。此の二發電所によつてレニングラードの電力供給は著しく改善され、遠隔移入燃料の需要が減ずることとなる。

部ウラルに於ては、ベレズニコフ及びキゼリから、ベルム及びウエルフナヤ・トウラに分枝する發電網を作つたが、重要工業部門たる冶金業、機械製作業、化學工業等に對する電力供給は充分確實でない。其の主要な原因は「ベレズニコフ化學」綜合工場高壓發電所の設備の利用不充分とキゼリ發電所の運轉上の不結果にある是等の缺陷の排除に對しては最大の努力を要し、三三年度は是が非でも之を解決しなければならぬ。

中部ウラル地方のスワエルドロフスク及びタギル地方に於ては機械製作工業及び冶金業の異常な發達の結果電力供給の狀態が緊張を呈してゐる。三三年度の計畫として新に中部ウラル發電所が建設される豫定で、是は三三年度に於ては中部ウラル地方の工業に對する確實な動力供給源となる筈である。三三年度電化計畫に於けるウラル地方は、恰度第一次五ヶ年計畫の際にドンバス地方に特別の努力が注がれたと同様に多大の注意が拂はれてゐるドンバスに對する電力供給の問題

機械製作の作業を尙ほ一層正確にすることを要求してゐる。又發電所に對する設備品の供給を圓滑にすることも必要である。この事は電氣設計畫實施上最も重要な條件の一である。

二、化學工業

三三年度の化學工業の生産總額は十八億三千九百萬留（一九二六・二七年の價格にて）の豫定で三二年度に比して一七・九%の増加に當る。或種の化學工業、例へば過燐酸、アンモニア、合成ゴム等に於ては増加の率は更に大である。ポプリコフスキー化學綜合工場に於ては各種の化學工業品の生産が開始され、チエリノレテエンスキー工場の擴張が行はれ、過燐酸貧礦處理工場一と、染料工場一が作業を開始し、グロスネンスキーのアセチリン染料作業が開始され、ゴム工業方面ではヤロスラフスキー綜合工場の多數の作業場が業務を開始する筈で、同工場では世界中で嘗つて見たことのない、大規模で、原料としてソヴェート工場産の合成ゴムを使用する筈である。尙ほ當地

は一部の未完成はあるにせよ既に我々に依つて解決を見たのであるが、今や我々の目前に控える課題は急速に發展しつつあるウラル地方の工業に對する動力供給源を擴張することである。此の課題も我々は最短期間に解決しなければならぬ。其他の各地方に於ても多數の發電所が竣工せんとして居り、三三年度には後高加索地方のリオン發電所、タシケントのカドウイリン水力發電所、ケメル發電所、ウオロネジ發電所、其他が發電作業を開始する。其他マグニトゴルスク、リベツク、クズネツク等の冶金工場の大規模な發電所の新設や擴張も行はれる。

巨大な發電所以外に三三年度には小規模な發電所の建設にも注意が拂はれる。即ち小工業特に都市經濟に供給する發電所の建設これである。是等の發電所は三三年度中に合計五萬キロワット時の能力のものが建設をみる豫定で、其の中にはハバロフスク、ムルマンスク及びヘルソンスクの發電所が含まれてゐる。最後に三三年度計畫の重要部分をなすものとして

モスクワ州のエフレモフに合成ゴムの工場が開設を見る豫定である。三三年度に大體二十七の化學工業關係の工場が操業を開始する筈で、その内空素工業四工場、中央化學トラスト三工場、ウクライナ化學トラスト一工場、ウラル化學工業關係三工場、過燐酸工業一工場、アニリン合同二工場、染料二工場、ゴム合同一工場、合成ゴム一工場、彫塑泥五（作業場）、ウオヒムフアルム關係四となつて居る。是等の工場の作業開始と共に化學工業施設は非常に有力となり、幾多の全く新しい生産が開始されることとなり、將來化學工業の此種部門の素晴らしい發達の基礎となるわけである。

ホ、輕工業

第一次五ヶ年計畫の結果輕工業は確乎たる地歩を築かれるに至つた。即ち第一に輕工業の原料根據地が國內に確立され第二には輕工業用の機械製作根據地が國內に確立された。三三年度には紡織用機械の製作だけでも一億一千萬留の巨額に及ぶ豫定であるが、一九二七―二八年度

は既存發電所の改造、タービン發電機の能力に對するボイラー能力の立遅れ、清算之れである。

以上の諸方策を基礎として我々は三三年度には電力生産量を従來の百三十三億キロワット時から百六十三億キロワット時に増大する計畫である。これは三二年度に比して、實に三十億キロワット時に、即ち二二%の増加となるのである。其の内小管區發電所としては八十三億キロワット時から百五億キロワット時に、即ち三二年度に比して二六%だけ増大することとなる。

此の新増加の重要さを強調するには、帝政ロシア當時の電力生産が二十億キロワット時であつたと云ふことを指適しなければならぬ。然るに現在では三三年度一個年の増加分が三十億キロワット時に當るのである。斯様な課題を自らに課し得るものはボリシエビキ以外にはない。

電氣方面の斯様な計畫、發電所にタービン發電機、ボイラー其他を供給する

には此の生産額は一千七百萬留に過ぎなかつた。つまり六倍半の増加を有することとなる。輕工業に使用される機械が斯様に盛大に製作されるために、タシケントやバルナウルの大紡織綜合工場を始め新に建設中の輕工業諸工場はソヴェートの工場に於いてソヴェートの材料で製作された設備品を使用して操業することとなる。

三三年度に輕工業に對する投資額は前年度の約三億留に對して、七億三千萬留に増加する。此の投資は全部國產機械に向けられる原料に就いても同様である。數年前までは國外から棉花、羊毛、原料皮革其他を莫大に輸入して居た。一九二八年には棉花だけの輸入に對して一億五千萬金留以上を支出するの餘儀ない状態であつたが、其の後斯かる事態の根本的改善に努力し、第一次五ヶ年計畫の期間に於て輕工業の基本的原料の自給自足をなし得る状態に到達したのである。亞麻及び皮革に於ては年々非常な増加を見て居る。最後に指摘すべきことはケンダイ

リ、ケナフ、南國麻、ラミ等新しい種類の纖維原料を獲得するに至つたこと、主要原料の代用品たる人絹、人造羊毛、人造皮革、合成脂肪酸其他の生産の勃興である。

三三年度に輕工業は以上に述べた資源を利用して三二年度に比して一〇%だけ生産の増加を計り、約八億留の生産品を餘分に提供しなければならぬ。而して紡織工業だけで五億留の生産品を提供しなければならぬのである。斯くして我が國は綿織物に於て二億米多く、靴に於て二百萬足多く、メリヤス等に於ても更に多く得ることとなる。輕工業の計畫實現の條件に就いて言ふならば、仕事の供給改善を強調しなければならぬ。即ち労働の組織を改善し、原料利用の改善、不合格率の減少、労働能率の向上を計ることが必要である。黨及び政府は輕工業の改善に必要なあらゆる條件の設定に努めてゐるが、此の條件を巧に利用し得ると否とは輕工業自身に俟つのである。然し同時に輕工業は其の生産品の質的改善

にも大いに努力しなければならぬ。當然有すべきは耐久力を有しない劣悪な商品は生産の減少を意味し、勤勞者の需要の満足を増進するものである。其れ故計畫の數量上の實現と共に生産品の質的改善が必要である。

へ、食料工業

政府の可決した計畫に依れば食料工業の總生産は一九二六—二七年度の價格にして四十六億留である。これは前年度に對し一二・四%の増加となつてゐる。或る部門に於ては増加の割合は更に大きい例へば製糖業は四六%、漁業は二〇%、家畜肉は一三・三%の増加となる。食料工業の是等重要部門に於ける生産増加は黨及び政府が労働者の物質的水準の向上と食料資源の増加に以何に意を用ゐて居るかを證するものである。

建設的固定投資は七億三千五百萬留の豫定であつて建設業務計畫の特色は他の部門同様近年既に建設を開始した。新しき工場 completion に力を注ぐことである。食料工業の全部部門に亘つて今年度は多數の

工場が新に作業を開始する筈である。左に固定投資總額の六〇%が充當される食料工業の代表的な三つの部門に就いて述べやう。

肉工業に於てはモスクワ、レニングラード、セミパラチンスク、パクーに大規模な食肉綜合工場が開設せられる筈で十三個の食肉綜合工場に對しては一部の作業場、主として屠殺及び冷藏作業場の建設が完了する筈である。

漁業に於ては年末迄に、アストラハン及びクリエフスクの綜合工場の第二期工事が終了を告げる筈であつて、此の工場は各々一ケ年に六千萬個の罐詰を生産する豫定である。更に浦鹽の冷藏庫の工事が終了しアゼルバイジャン及び極東地方の冷藏庫が竣成する筈である。漁獲計畫は一千五百萬セントネルであるがこれは新五ヶ年計畫の初までに施された漁業の設備替によつて實現されてゐる、三三年度の漁業設備に對する投資額は一億六千萬留で、是は主として建造中の船舶完成

と魚類加工工場の完成に支出せられる。製糖業に於ては中央黒土州のエルチリスキー工場と、東部のカルバルキンスキー工場及び極東のニコリハク・ウスリスキー工場（一晝夜に甜菜一萬二千セントネル加工能力の）工事が終結せんとして居る是等の作業を開始せんとする工場のほか、東部にはカザクスタンに、キルギズ地方に一、ウオルガ下流に一、同中流地方に一の工場が建設せられる豫定である御覽の通り製糖業に於ても我々は其の地理的位置を變じて東方に移しつゝあるが、之によつて砂糖の國內輸送を一層經濟的ならしめるものである。

罐詰工業に於ては新に七個の大規模な工場が作業を開始する筈で、今年度の生産計畫は罐詰八億五千萬個の豫定である食料工業は以上の如く發展を見てゐる。

ト、林業

林業人民委員部に對し三三年度に豫定されてゐる増産の割合は一・九%となつて居る。然し或る部分の増産割合は林業總體の割合よりも著しく大きくなつて

ゐる。例へば木工に於ては三二%、製紙業に於ては五十五萬噸の生産にして一七%の増産に當り、ベニヤ板に於ては（四十九萬六千立方米生産の計畫）一六・八%の増産に當る。三三年度の林業人民委員部の總生産額は二十二億七千二百萬留となつて居り、固定資本の投資額は四億四千五百萬留である。此の年度に作業を開始する重要工場は、スイクトウイクワルスキー木材工場（四梓）、東部シペリヤのクラスノヤルスク綜合工場（五梓及びその附屬の木造管、箱の作業場）ムロムスクのベニヤ板工場、パンキール地方チエルニホフスク綜合工場、ゴメリ綜合工場其他である。

二、農業

農業領域に於ける第一次五ヶ年計畫の業績は既に一度ならず報告せられた。この実績は、此の戦線で、我々が以如なる成功を勝ち得たかを示すと同時に、第二

次五ヶ年計畫の第一年たる一九三三年に於ける我々の仕事の發展を可能ならしめるものである。即ち我々は「農業の播種地擴張から今や、耕作法の改善、收穫の増大といふ現段階に於ける農業方面の主要課題に移るべき時機に到達した」聯邦人民委員會議及び共產黨中央委員會決議三二年九月二十九日附」といふ基本的條項に基いて仕事を展開し得るのである。是は即ち、一九三三年度の農業計畫の基本的課題に於て富農分子、妨礙分子に對する決定的闘争と、コルホーズ及びソフホーズよりの變裝又は變質異分子の一掃を行つて社會主義的農業の質的改善をなすことを意味するものである。此の爲めに、計畫に於ては播種面積の大なる増加を見込んでゐない。即ち三三年度の穀物收穫面積は三二年度の九千九百七十一萬一十ヘクタールに對して一億二十四萬ヘクタールの計畫である。

三三年度の穀物生産總量は一二・九%の増加、棉花の總收穫量は三二年度に比し五五%の増加、亞麻は一〇%、甜菜は五

○%の増加を見込んでゐる。總面積に變化なくして農産物の斯くの如き増加を得るには、收穫率と仕事の改善に大いに努力するを要する。三三年度計畫の收穫標準は粒穀物に於ては一ヘクタールより平均八セントネルとなつてゐるが、此の計算によれば三三年度の實際收穫高に比して、一三%だけ増加を見ることとなる。棉花は一ヘクタールから八セントネルを得べく、これは三三年度に比して八%の増加となる。亞麻纖維は二・四セントネルで二〇%の増收となり、向日葵は一ヘクタールに付、五・五セントネルにして二五%の増産、甜菜は一ヘクタールより一〇〇セントネルにして三二%の増收を見込んで居る。斯様な増産の課題を遂行するには經營單位としてのソフホーズ及びコルホーズに對する大なる注意を必要とすると共に、コルホーズ村落の輿論を收穫増進問題に集中させる必要がある。機械トラクター配給所はコルホーズに於ける増收運動の重要な槓杆とならなければならぬ。政治部機關も亦援助を與へ

なければならぬ。三三年度收穫の穀物を義務的に納入せしめる件に關して最近公布された法律は、増收に依る農業振興に關するコルホーズ及びコルホーズ全體の配慮を著しく眞剣ならしめる上に効果があると思ふ。其れと同時に我々の方策に對する富農及び妨礙分子の抵抗を斷然抑壓し北高架索地方の春季播種運動に關する人民委員會議及び中央委員會の最近の決議に定めてある様な方針によつて抵抗を抑壓しなければならぬ。増收運動に於いて大なる役割を課せられるのは、機械トラクター配給所であつて、機械トラクター配給所網は二千四百四十六ヶ所より二千七百六十八ヶ所に増大し、同配給所の春蒔播種計畫は三千八百五十萬ヘクタールの豫定で、コルホーズの全播種面積の五八%に當る。三三年度に農業は新に合計八十九萬馬力のトラクターと五億五千萬留の新しき農業機械を有することとなるが、是れによつて、増收のための技術的基礎が一層強大となる。増收を確保する一つの方策は合理的な

輪作である。此の點に於て各地方は其の地の商品用主要作物に應じて大きな仕事をしなければならない。近く各區に對する輪作播種の主要様式が決定せられ、正しく輪作播種の基礎が三三年度中に定まる様にしなければならぬ。重要な處置の一としては、優良種子の播種量を擴張することである。此の點に於いて三三年度は非常に大きな進展を見る筈である。粒穀物に於ける優良種の播種量は三三年度の三千百萬ヘクタールから四千三百八十萬ヘクタールに増大する。即ち増加は三一・二%から四三・三%となるわけである。農業技術上の處置に於いては努力の中心が三三年度の春季に移される。それは秋季に是等の處置の實行が不充分であつたからである。

三三年度に相當の面積を綠肥用種子採集場に充當して正しい輪作播種を發達させる確乎たる基礎を築かなければならぬ。次に礦物肥料の採取高は窒素肥料に於ても過燐酸、過燐粉、加里肥料に於ても増加を來たす、その内加里肥料は三三年度

度に初めて大規模に我が地に使用せられることとなる。これと同時に穀物及び特殊作物の肥料として糞肥、灰、泥炭、都市の廢物等を出來るだけ利用しなければならぬ。特に糞肥に力を注ぐ必要がある。確かに穢いものであるが近來の様な之に對する蔑視を放任することは出來ない。多くの者は農業が機械化され、空素肥料が使用せられ肥料の生産が増加しつゝある以上糞肥を云々する必要はあるまいと考へてゐる。然し斯様な考は斷然排斥すべきであり、此點については從來より遙に大きな注意を拂はなければならぬ。三三年度計畫中の野菜馬鈴薯に就いてツェントロソユーズ及び工業の郊外經營體に最大の注意が拂はれてゐる。その工業は今や多數工場に對する食料供給を自らの手に引受けて、ツェントロソユーズから郊外經營體を引継ぎ新に組織せんとしてゐるのである。

あるソフホーズ人民委員部及び農務人民委員部の投資總額の内四〇・七%はトラクター、自動車、勞役家畜及び農業機械に對する投資である。ソ聯邦は機械トラクター配給所に對する固定投資を増加させるが、是は右配給所が農業機械化の重要槓杆をなす以上當然なことである。今度は家畜に就いて述べなければならぬ。國內の家畜の總數は減少してゐるけれども、五ヶ年計畫の結果、社會主義的畜産部門は著しく増大して居ることが認められる。此の部門では、家畜頭數が莫大に増加してゐる。此事は極力強調する必要がある。何となればソ聯邦は此の方面に自國の畜産振興の重點を設けやうとしてゐるからである。ソフホーズ及びコルホーズに於ける第一次五ヶ年計畫期間の牛の増加は四十一倍で豚は四十二倍、羊及び山羊は二十倍であつた。ソフホーズ及び商品用コルホーズ畜産所に於ける畜産の發達と並んで家畜の雜種交配の基本を有するに至つた。社會化部門は種畜及び改良された家畜を何十萬頭も有して

飼料の状態は次の如くである。牧草の播種面積は一九一三年に比して四倍に増加し、五ヶ年計畫の豫定の一一二%に當り、つまり超過遂行を見た次第である。飼料に供せられる球根も激増した。又全く新に糧秣保存の事業が開始され發展を見つゝあるが、之は第一次五ヶ年計畫には全々見られなかつたものである。三三年度には九千萬セントネルの糧秣が處理保存された。最後に國營畜産農場の發達を説明する上に挙げねばならないのは、數百萬の家畜飼養所の建設である。畜産の社會化部門は我がソ聯邦の食料供給事業に於いて中心的位置を占め、總買付に對するその割合も非常に増大した。斯様な成功によつて三三年度には更に畜産の發達を可能ならしめるが、この事は次に示す指定課題によつて、窺ふことが出来る。ソフホーズ人民委員部の獸肉供給所に於ける家畜の増加割合は一一・四%商品用コルホーズ畜産は九九%、ソフホーズ人民委員部のバター・ソフホーズは六七%

養豚ソフホーズは二一・一%、商品用養豚所は實に四二・六%、ソフホーズ人民委員部の飼羊ソフホーズは九・七%、商品用のホルホーズ畜産所は一・五%の増加となる筈である。

畜産方面に於ても質的改善の努力は基本的課題となつてゐる。牛乳搾取率の増大は獸肉配給所に於ては一六・六%、バターソフホーズに於ては一七・二%とし養豚ソフホーズの仔豚の生産を増加せしめ、幼小家畜及び成育家畜の斃死率を減少させ、牝牛の不妊性を減少させ、交配計畫を無條件に實施させ、畜産ソフホーズに於ける原價を一三・一%だけ切下げ、生産組織を改善し就中出來高拂制の確立等に努力することが必要である。畜産關係のソフホーズに課せられた課題は、以上の如くである三三年度には馬匹改良方面のソフホーズも著しい發達を見る筈である。

極東第一次五箇年計 畫實績

相當するものにして、其の電流は單にマグニット・ストロイの工場用に供するのみならず、遠く郊外百軒米の範圍に亘る農村都市用にも供せられる。

現在出來上つて居るマグニット・ゴルスキー工場は一九一三年頃に九十の冶金工場の製鍊高を合したのより三倍以上の成績を示して居る。

三、マグニットゴルスク都市

驚異的短期間にマグニットゴルスクは都市に發達した。電化されたマグニットゴルスクは夜に至つても尙一大不夜場を現出して居る。マグニットゴルスキー工場は全ソ聯邦的建設でソ聯邦各地よりその建設のため數萬の労働者は此の地に集り、その外多數の技術幹部、技師、學者其他ソ聯邦の一大技師を網羅して居り全ソ聯邦の各工場はマグニット・ストロイのため所要の材料供給に従事してゐる既に二三の工場では亞米利加を超越して特殊製品を製造し始め今や之等の製品中

一、概 要

極東露領五箇年計畫の遂行は漁業、鑛業、林業、通商、全國民經濟の分野に於て、我國の利害に關連するところ多い爲め我國に於て多大の興味を以て見られるから、系統的に各産業部門について述べよう。

二、マグニット・ストロイ

ウラルには約五十三ばかりの古い冶金場があつてウラル・クズネツ・コンバイン用の金屬を精鍊してゐるが之等の工場には百五十年二百年等を経たものが多く殆んど使用に堪えないので、新たに精巧なる機械、機具、發動機、自動機等を設置して一時を糊塗して來たが、一九二九年末には遂に二大冶金場がマグニット・ゴルスキー丘の麓で建設に着手された。之が所謂マグニット・ストロイである。

マグニット・ストロイは其の規模の廣大さに於て世界第二位である(第一位はのあるものを反對に亞米利加より注文を受けるに至つた。かくて此地方は金屬によつて西伯利地方再改造の重要なポイントを抑むに至つた。

四、クズネツキー工場

マグニット・ストロイのみに止らず更に、クズネツキー工場でもマグニット・ストロイと同様な役割をなして居る。兩者は互に連絡を取り、互にその缺を補ひ合つてゐる。即ち一晝夜に貨車十四臺を以てクズネツキーより石炭をマグニット・ストロイに運び、歸りにはクズネツキー冶金工場用の生鐵を運搬する。

クズネツキー工場は西伯利第一の工場であるが、マグニット・ストロイより小規模であり、年に約百十萬噸の冶金製鍊高を示して居る。然し之でもモスクワ―浦鹽間の往復鐵道を敷設するに充分なものである。

五、有色金屬

此等の諸工場では鉛、アルミニウム

米國のゲリー工場

マグニット・ストロイの中には八つの熔鐵爐が設置され、その各熔鐵爐には二十階の鐵塔が附屬する筈で、一九三一年には第一熔鐵爐が完成し、同三二年には第二熔鐵爐が完成した。兩者の製鍊高は一晝夜二千噸以上で、即ち一年には七十萬噸以上に達する。

一九二八年には四十のウラル工場は全強で六十八萬九千噸の製鍊高で、之を前二者に比すれば四十を以てしても尙及ばない譯である。前記二熔鐵爐は一年に百萬噸の生鐵を消費するが、全八ヶ所の熔鐵爐の生鐵消費量は年千一百万噸と算定されて居る。之等の熔鐵爐と並んで五百五十二コークス爐を有する大コークス爐並に石炭より製出するガスを利用する化學工場とが建設される。而して之等のガスからベンゼン、アンモニヤ、フォルマリンその他の高價な化學製品が製精される。

マグニット・ストロイ中央大發電所はその能力はヴォルホフストロイの五倍に

錫等の有色金屬の補給を必要として居る銅は電線に、亞鉛はトタン板に、錫は水道管その他に使用されるが、此等の金屬は同時に又自動車、飛行機、潜水船、車輛、ラヂオ設計その他の工業用に使用される。

かゝる有色金屬は西伯利には豊富にあり、之が採掘製鍊の基礎は第一次五ヶ年計畫年度内に確立され、ソ聯邦當局はベロフ附近に亞鉛工場を設置したが、之の西伯利五ヶ年計畫先驅者は一年に約二萬噸の亞鉛産額を擧げて居る。之に續いて年額約五萬噸の大亞鉛工場及び二萬六千噸の鉛工場が建設中である。

その外ネルチンスキー地方にも大亞鉛工場建設が企畫されて居り、ミロヌンスキー地方には製銅工場、ベラ河岸には熔銅工場が建設中である。

六、西伯利の機械化

西伯利は今や自己開發に必要な總ての機械設備をなしてゐる。鑛業用機械コルホーズ、サフホーズのために自動車、ト

ラクターを、そして林産業用機械を製作せねばならぬとしてゐる。

ノウオシビルスクには鑛山用機械製作工場が建設され、起重機、深坑より石炭を引上げる機械、鑿孔機、抗道へ新鮮な空気を送る壓搾器、採掘された石炭を輸送するコンベール、その他の諸機械を毎年約二十七萬七千噸生産する豫定である。

七、西伯利コンバイン

モスクワを經る三千四百軒の東方クリヴンチエス停車場附近に西伯利コンバイン工場が聳えてゐる。之は世界最大の工場で一年約五千臺のコンバインを製造して居り、從來世界一とされて居たアメリカのホテル工場より一千臺以上多く生産してゐるが一九三三年度は更に年産額一萬五千臺、一九三四年度は二萬五千臺の豫定である。

八、全ソ聯邦の化學中心地

ソ聯邦では新西伯利をソヴェート聯邦

の化學の中心地とする計畫を立てゝゐるウラル・クズネツキー合同の化學的資源は莫大なものでウラルはソ聯邦唯一の硫化鑛の産地で、この硫化鑛から硫酸が製出される。ソリカムスキー地方には、肥料を製出する有名なカリウム鑛層があり、此のカリウム鑛からマグネシウム及輕金屬が製出される。クウルジンスキーステツプ地帯の湖沼には多量の酸化ナトリウム鹽が沈澱して居り、此のナトリウム鹽からソーダ、硫酸、セメント等が製される。かくの如く西伯利地方の化學工業が全ソ聯邦の紙、藥品、染料工業用油、爆藥類、肥料等の需要を一手に引受けるに至るであらう。

クズネツプ地方にある多數のコークス爐は鉄鑛用のコークスを製出するのみならず、その瓦斯から化學製品を多量に製出する。従つて此のコークス爐の附近には數十の化學工場が既に建設され或は目下建設中である。一九三〇年度には既に西伯利地方のコークスは西伯利地方の化學工場より生

産する肥料三萬八千噸以上の供給を受けて居る。

ケメロフスキー硫酸工場合同のみでも本年度に於て硫酸五萬噸、肥料五十萬噸の生産高を示して居る。

九、電力事業

一九三二年度だけでも西伯利に於ける電力は約十倍も増加して居る。

今や三發電所で西伯利は全部電力配給網が巡らされやうとしてゐる。第一配電區域はケメロフスキー發電所にして現在は十五萬キロワットの發電能力を有して居るが、五年後には五十六萬キロワットの發電能力を有するに至るべく、此處の配當を受けてゐるものは炭坑、亞鉛工場化學工場、都市、農村、村落等前記發電所を中心として數百露里の廣範圍に涉つてゐる。

第二配電區域はクズネツキー發電所です。同所では十二萬キロワットの電力をクズネツキーの諸工場に配電して居る。第三配電區域はノウオシビルスク發電

所を中心とするもので發電力十二萬キロワット、この發電所よりシブコンバインコルホーズ、サフホーズ、製油工場その他の諸工場へ配電する。之と同時に近き將來には此等中央大發電所を取圍んで十二發電所を設置し、西伯利の邊境地帯所謂「熊の遊園地」にまで配電する計畫である。

極東第二次五ヶ年計

畫の展望

一、該計畫の概要

以上によつて我國と直接最も密接な關係に結ばれてゐる極東露領の第一次五ヶ年計畫の實績が判明したから、愈々一九三三年から開始された第二次五ヶ年計畫を概説しよう。最近ソヴェート聯邦國家計畫委員會(ゴスプラン)は、極東ソヴェート計畫局の報告原案に基づき、基礎的諸計數を確認したが、それによれば左の通りである。

イ、人 口

五ヶ年計畫

極東露領の人口は今一九三三年中に一百九十萬人迄増加されるが第二次五ヶ年計畫期間中に移植民等の方法により更に九十萬人を増殖し、一九三七年末には二百八十萬人に達せしめる。

ロ、住 民

住民一人當りの平均住居面積は一九三三年に三・五平方米であるが、一九三七年には五平方米に擴張する。新住宅建築に對する投資は第二次五ヶ年計畫期間を通じて二億六千五百萬留を計上される

ハ、農 業

人口増殖と關連して農業の目覺しい發展が計畫され、一九三三に一九九萬ヘクタールまで擴張の播種面積は、第二次計畫中に一百二十一萬ヘクタールを増加し一九三七年には二百三十萬ヘクタールに達する豫定である。之と共に穀物集積に一大努力が傾注されなければならぬ。

ニ、電 化

次に産業社會化の根本動力たる電化の領域に於ても大發展が計畫され。即ち昨一九三二年度の電力量一萬八千五百キロワ

ットであつたものが、一九三三年には六萬キロワットに増加し、一九三七年には四十萬キロワットに激増の豫定で此期間の新投資額は一億四千五百萬留を計上される。

ホ、鐵道運輸

一九三三年の極東鐵道貨物運輸高は八百八十萬噸であるが一九三七年には三千五百萬噸に増加する。

ヘ、水 運

一九三七年の海運貨物總額は九百六十萬噸、其他水運(河川)は同じく四百六十萬噸を計畫されてゐる。

ト、其他交通

第二次計畫中に一萬六千軒の新道路を開設し、之に三億五千九百萬留を投資される。

チ、自治經濟

第二次計畫中の自治、經濟投資總額は二億五千萬留で、水道を有する都市數は一九三二年の四から一九三七年には二十七に増加される。又大溝渠を有する都市數は一九三二年の二から三七年には五に

増加される。次に市營バスを有する都市数は三三年の二から三七年には二十七に増加される。保健施設網の新規擴張に對しては新に二千億六千萬留を投資される

リ、含鐵金屬

第二次五ヶ年計畫中に極東露領合鐵金屬鑛業が創設され、一九三七年には四十四萬噸を産出するに至るべく、之に對して二億留を投資される豫定である。

又、製鉛鑛業

一九三三年の産鉛高一萬五千噸から三七年に三萬五千噸に増加する。

ル、化學工業

現在始んど未開拓状態にある化學工業の分野で沃度は一九三七年度に六千噸、アムモニアは五萬噸、計畫も五萬噸、クロール(鹽素)は一萬噸を生産する計畫である

ヲ、林業

現在我國を主要市場とする極東林業は一九三三年の伐採計畫一千一百萬立方米突に對して一九三七年には二千五百萬立方米突に増産すべく、又製材工場は三二年度に板材一百八十萬立方米突を三七年度

留を新規投資さるべく、此中五千萬留は原油精製工場の建設費である。

以上は極東石油新五ヶ年計畫の大綱であつて果して計畫通りの實績を擧げ得るやハソ側の資金、勞働力並に北樺太の地理的、風土的條件等よりして疑問なしとしないが、所謂社會主義的統制經濟の強味とする重點集中主義により大體計畫に近いつつまで漕ぎつけ得ることは第一次五ヶ年計畫の全般的實績に見るも想像し得べく、かゝる増産は極東露領工業化並に農業社會化計畫の遂行上にもその動力的基礎を保障するため必要とすべきも亦一方石油の輸出的價値と對日滿市場開拓の好望を充分にその増産計畫の中に打算してゐることは言ふまでもあるまい。殊に高架索産油の對日輸出が運賃の點でアメリカ油に比し稍不利なるに反し、北樺太産油は全くこれと正反對の有利な立場にあるに於ておやで、業界の前途大いに注目を要する。

ロ、西比利の大發電所建設と日本機械何事にも世界第一(フアースト・イン・

五ヶ年計畫

に四百六十萬立方米突を製造する計畫である。

ワ、漁業

漁業は一九三七年に八百萬ツェントネルの漁獲を豫定され、之に二億五千萬留を投ぜられる。

カ、石炭

石炭産額は一九三三年の三百萬噸から三七年には一千二百萬噸を産出される。

ヨ、石油

石油は一九三三年の三十萬噸から三七年には一百五十萬噸に激増する。

一、極東第二次五ヶ年計畫と日本

極東第二次五ヶ年計畫の概要は以上述べた通りであるが日本と關係深い極東石油の第二次五ヶ年計畫その他特殊問題についてや、詳しく述べることとする。

イ、極東石油の第二次五ヶ年計畫

我國と地理的に最も接近し隨つて我國を主要市場に當込む極東露領の石油生産

ザ・ウォールド)を誇りナンバー・ワンを指すヤンキーも最近のソ聯邦工業界の躍進には流石に度膽を抜かれさうだ。自動車製造でも今日のソ聯邦は一日に三百三十臺を造り、米國に追付かうといふ形勢である。石油の産出高でも昨年は南米の産油國ヴェネズラを抜いて世界第二位となり、米國に迫つてゐる。

本年の十一月十日竣工式を擧げた南露ウクライナの有名なドネブル水力發電所の如き歐洲第一は勿論のこと、米國のナイヤガラ大瀑布の發電所にも優る大規模のもので、設計の任に當つた米人技師クーパー(レーニン功勞章を受く)も世界一の折紙をつけたが、來年度から開始される第二次五ヶ年計畫では、シベリヤのアンガラ河に是こそ世界最大の水力發電所建設案が目論まれてゐる。是は「アンカラ・ストロイ」と稱し六巨大發電所の總稱で一年の電力總生産高は六百四十億キロワット時「ドネプロ」發電所の二十五億キロワットとは到底比較にもならない超弩級發電所である、而してアンカラ發電

第二次五ヶ年計畫(一九三三年—一九三七年)がモスクワ重工業人民委員部の中央燃料局(グラウドプ)によつて、九月十二日附審議されたが、それによると計畫最終年度たる一九三七年度に於ける極東露領ソ側原油生産總額は實に二百萬噸に達すべく、之を一九三二年度の豫定ブラシたる原油三十萬噸と比較すればその増率約七倍、二百七十萬噸であつて、一九三七年までには浦鹽とハバロフスク(一九三三年完成の見込)の極東大都市に原油精製工場二工場を建設し、その精製能力一百四十萬噸を豫定されてゐる。此中製油別内譯は

- 一、揮發油 一七九、〇〇〇噸
- 二、石油 一三三、〇〇〇噸
- 三、潤滑油 五六、〇〇〇噸
- 四、アスファルト 一四〇、〇〇〇噸
- 五、モーター油 三七〇、〇〇〇噸
- 六、燃料油 一七〇、〇〇〇噸
- 七、コークス 三〇、〇〇〇噸

尙ほ以上の如き大增産並に原油精製のため新五ヶ年計畫に於て二億四千五十萬

所を中心に、炭礦、冶金、化學、其他の大工場が設立され、同發電所の電力を利用して世界一の工業都市を出現せしめやうといふのである。指詰め第一期工事としては「アンガラ・バイカル」と「バルハトフスキー」兩發電所が建設に着手される事になり、アンガラ・バイカル發電所はイルクーツクから八キロの地點に建設される。生産電力量五十二萬五千キロワット又バルハトフスキーは八十萬キロワットで、チェレムホフ附近に出来る。尙此のチェレムホフ附近には本年度既に工事に着手した三十萬キロワットの火熱動力による發電所がある。同發電所の電力によつて鉄鐵年産百萬噸、鉛年産五十萬噸、亞鉛六萬噸、硫酸十二萬噸を製造する冶金化學等の大工場が産れる譯で、既に發電所敷地には築堤の大工事が嵐の如きテンポで進められ、年内には同工事も完成する見込みであるが、右アンカラ發電所工事はドネブル以上の大工事であり、且つ地理的に日本とは接近してゐるので、新任駐日ソ聯邦通商代表コチエトフ氏が

本社記者に語つたやうに同工事には各種の機械設備を日本から輸入する必要があり日本としては將來の極東に於ける同發電所の政治的經濟的意義の外に、當面の貿易關係からしても大いに注目に値する。

ハ、ブリヤート蒙古共和國の第二次五ヶ年計畫案

現下極東問題の中心をなす外蒙に接續し、且つ多數の蒙古人を含有する事により注目されてゐるソ聯邦ブリヤート蒙古共和國は、第一次五ヶ年計畫において農牧中心國から工業化へ巨歩を踏み出したが、更に今度立案の第二次五ヶ年計畫においては、同國の電動力を數十萬キロワットまで増大する外、ゴロイン炭坑の企業を飛躍的に擴張して、一九三七年には二百七十萬噸の石炭を産出し、産業技術部隊の養成のため數個の技術専門學校を創設し、又同國經濟の科學的研究のため學術試驗所も數ヶ所に新設される。又農業においても生産の増大と共に機械化による社會主義化を達成するため一九

三三年中に二十五の機械トラクター配給所(MTC)を設置される計畫となつて居り、バイカルを東西に横く同國も第二次五ヶ年計畫においては近代的な社會主義的工業化國家に成長する筈である。

極東ビロビチヤンの五ヶ年(補遺)

ソ聯邦中央執行委員幹部會は、一九二八年三月二十八日付規定を以て極東地方ビロビチヤンを勤勞ユダヤ人の移民地と決定し、之をユダヤ民族の自治行政區域とした。同地は七萬平方呎の小區域に過ぎないが天然の富源頗る豊富で極東地方に於ても有望な地區である。例へば、ビロビチヤン西部の小興安嶺の支脈には五億噸の鐵礦、六億噸の磷狀石鉛礦、數百萬噸のマグネジト礦が埋藏されてゐる。尙北部のドイルマ、ブレヤ兩河の流域にはコークス用の良質炭が約三百億噸埋藏されてゐる事も判明した。其他石炭、大理石、粘土、石綿、スレート、泥炭、建築用石材等の非礦物類も豊富に在る。

第一次五ヶ年計畫の期間中にビロビチヤンが如何に成長したかは次の數字で明瞭である。即ち人口は一九二八年の三萬三千人から三二年の五萬四千人に、播種面積は一萬四千ヘクタールから二萬八千ヘクタールに夫々増大した。農業のコルホーズ化は一九二八年には農家の三・八%であつたが三二年には八五%に、トラクターの總馬力は三十馬力から四千八百馬力に増加し、發電能力は一九三二年には一十萬キロワットとなり、産業組合の生産高は三二年には二百萬留に達し、計畫投資總額は二千五百萬留に達した。斯くして第一次五ヶ年計畫の初年には何等の工業も有しなかつたビロビチヤンは既に操業中若くは建設中の工業企業を有するに至つた。

極東地方に於ける四十五ソフホーズ中六ソフホーズはビロビチヤンに在る。其他二學術農事試驗場も組織され、中等農學校、農業改良學校、ユダヤ人師範學校地方ソヴェート黨學校等も開設されてゐる。

財政・金融

ソヴェート財政概観

一、ソヴェート財政制度の特色

資本主義に於ける豫算收入は主として金と租税に依つてゐるが、ソヴェート聯邦の收入は、多く國家の經濟的活動(企業)によつて得られてゐる。勿論租税は收入の一部をなしてはゐるが、取引税を除き悉く人々の不勞働部分に重課されてゐる。他方支出に於いても、資本主義諸國では軍事費及び戰爭の結果としての債務の支拂ひにその大部分が支出されてゐるに反して、ソヴェート聯邦に於いては國民經濟に對する支出七五・九%にして資本主義諸國の三五%乃至一〇%のそれと比較するときは格段の相違が看取される。

しかも最近資本主義諸國に於いては、何れも赤字難に當面し、その豫算數字も現状維持或は減少、又假令増加を見ても極めて少額であるに過ぎないが、ソ聯邦では年々増加しつゝある。

財政々策に於いて、然し最も劃期的な事は一九三〇年特別四半期及び一九三一年度より適用された單一財政計畫である之によつて我々は最近に於けるソ聯邦の財政の實體を知悉することが出来やう、最近に於ける社會主義的建設の進展するに伴つて、ソ聯邦の計畫的建設の基礎をなす財政組織に關する重大なる改革が行はれた。それはこゝに於いて説明される統一的財政案の採用と信用及び會計組織の改造である。

資本主義諸國に於いては、國家の全收支は豫算によつて示され、豫算經濟と國家經濟とは一致するが、ソ聯邦に於いて

は全く之と異つてゐる、即ち豫算面の全收支と國家の全收支とは一致しない。それはソヴェート國家は豫算面に現はれない收支を有するからであつてこれは國家企業に於ける商業的勘定の導入によつて説明される。資本主義諸國に於いても亦商業的勘定は郵便或は鐵道等の如き諸企業に用ひられてゐる。之等諸企業の收支は何れも一般豫算面に現はれてゐないが或はその純益が極めて少額であるか、或はその一部が豫算に繰入れられてゐるに過ぎないかであつて、若し之によつて損失を生じた場合は國家は豫算のある收入を以て穴をふさいでゐる。

二、單一財政計畫

この資本主義諸國に於ける國家諸企業はソ聯邦の商業的勘定による諸企業とはかく類似してゐる。然しその類似は形式的であつて本質的のものではない。

然し商業的の基礎の上に社會化せる諸企業を置いた結果、ソ聯邦の豫算には、

その諸企業の利益の項と社會化企業の進展を計るために其の企業に對し國家の支出する金額を示す項とが含まれる。だから、ソ聯邦の國家經濟は豫算と非豫算の二つの部面が出来る譯である。國家豫算の非豫算部面はそれ自身の財政計畫即ち産業財政案、信用案、社會保險案、國家保險案等を有する。かくして國家經濟の豫算及び非豫算部面は共に各種の方法によつてその財源を作るから、全體に亘つてソヴェート國家によつて集められる全金額を知るドキュメントがない。しかもソヴェート國家財源の急速なる増加と非豫算部面の諸企業に於ける蓄積並にその蓄積及び財源の配分が著しく増大し且つ財源を要求に應じて廣汎なる範圍に亘つて配分し、國家の工業化と集中化に適應する必要に迫られたので益々このドキュメントが必須のものとなつた。

教育支出を例にとれば、從來この支出は國家及び地方豫算に於いて、取扱ふのみでなく、各企業労働組合、信用機關等からも支出されてゐたのであるが、單一

なりその活動によつて計畫と統制の問題を惹起するに至り、生産活動（貨銀物價市場等の上にある）は國家權力によつて統制され初めた、かゝる情勢の下に於いて、異つて雑多の國庫納入の如きは、計畫的諸活動を妨碍し、社會化諸企業の財政的及び行政的諸機關に多大の冗費を負担せしむるに至つた。故にこの國庫納入の大部分が一九三〇年九月より一個の税、即ち取引税に統一せられた。同税は消費税の如く從來施行せられた諸税國家保險基金の支拂、其他重要性の少い諸種及び從來利益金から支拂はるべき散雑種の支出金等々が悉く之に含まれてゐる。

社會保險に對しては二十二億留を支出してゐる。ソ聯邦では社會保險基金は全部労働者、採用者、即ち主として國家自身の負擔となつてゐるから、保險加入者自身の老後に於ける貧困及び疾病等の保險に關するソヴェート制度は大々的に労働者の物質的及び文化的レベル向上に對して支出されてゐるものである。國家保險は、社會保險が諸企業よりの

財政計畫なるものはこの不統一を統一し一定年度に於けるソヴェート國家の教育支出を明瞭にするものである。

即ち統一的財政案によつてソヴェート國家に於ける全般の收支を統轄し、各種の財政計畫を決定する極めて大なる重要性を持つものである。これは既に前述の如く一九三〇年特別四半期及び一九三一年度に於いて適用され、單一財政計畫は個別的な財政計畫、即ち産業案、保證案等々に先立つて編成され、後者のリミットは單一財政計畫によつて決定される。

ソ聯邦の國民經濟の發展と社會化の成功と共に、財政計畫及び國家豫算はある程度まで健全なる歩調を以て進んでゐる即ち普通の所謂「豫算」を抽出して見るに一九二五—二六年度に於いては四十二億七千二百萬留にして、一九三一年にはそれは二百七十五億四千二百九十六萬六千留に達した。因みに帝政ロシアの戦前、（一九一三年）の豫算は三十五億留であつた。

三、租稅收入の大宗

取引税の一部によつて賄はれてゐるやうに、その支出は農業的財源からなされてゐる。

四、直接收入

直接一般からの收入は主として公債と貯蓄である。

資本主義諸國に於いては、國家は戦時に多く公債を發行するが平時に於いて豫算に利用することは極めて少く、使用しても豫算編成難の場合が多い。然しソヴェート聯邦の國家信用は社會主義建設の歩調を早める手段である。即ち公債應募によつて工業化と集中化がより急テンポに行はれるものであり、貯蓄そのものも同様の意味を有する。

一九三一年の單一的財政計畫では、紙幣發行による收入を含んでゐない。一九二九—三〇年度の豫算に於いては、紙幣發行による收入が存在し、しかもその額が準備金より超過し、且つ當時に於いて物價が稍々昂騰したので、海外諸新聞はソ聯邦のインフレーション及び豫算の崩

取引税

租稅による收入は主として取引税によると云ふ事實に對しては特別の注意を拂はなくてはならぬ。之は統一的財政案によつて、從來まち／＼に徴收されてゐたのが、社會化企業より國庫納入が統一された結果生じたものである。

新經濟政策實施後、しばらく社會主義企業は餘儀なく個人企業に適用さるべき會計的方法を以て進んだ。即ち社會化企業は消費者の負擔となるべき諸税（消費税及び輸入税の如きもの）及び社會化企業はその得るところの利益に比例して收入の一定部分を各々まち／＼に國庫に納入し、且つ國債に對しても相當の支出をなさなくてはならなかつた。然しかゝる不統一なる制度は社會化の發展につれて全範圍に亘つて改造せらるゝに至つた。一九二九—三〇年度の中頃に於いては、商品の回轉に於いて個人的部面の占める部分は著しく低下し、個人資本は全く大規模企業の域外に追ひやられた。之に反し社會化企業組織のレベルが非常に高く

境を報ずるに至つた。ソ側の意見によれば一九二九—三〇年自由市場に於いて物價の昂騰せるは事實であるが、然しこれは國內貨物運輸の地位を支配し、労働者の大衆的消費に當てらるべき商品及び食料品を供する、社會主義的部面に於ける物價の昂騰を示すものではないといつてゐる。當時に於ては、個人商人は社會主義的攻撃の成功的壓迫を見、且つ彼等自身の終末の近づいたのを感じて數種商品の市價昂上げを行つたに外ならない。昨年の後半に於いてはかゝる商人の投機及び之に伴ふ物價の昂騰はなくなつてゐると。本年度に於ける財政計畫に紙幣發行による收入のないことは、ソヴェートループルの地位を更に強化するものだといはれてゐる。

信用機關よりの收入は九億二千六十萬留となつてゐる。資本主義諸國では銀行は金融資本の手段として最も利得の多いものであるが、ソ聯邦では單に財政組織の一部門を擔當し、單に金錢的事務を受け持つことである。

五、銀行の機能

銀行は信用の媒介者であるが、資本主義諸國では一見して仲介者として認め難いところがある。即ち多くの資本主義企業では工業家が貸で商品を賣り、又借で原料を購入するが如き商業的信用を用ひてゐる。しかも之等の工業家及び商人は常に銀行よりその生産或は販賣に必要な資金を借入れてゐる。工業家は銀行及び原料を購入する商人より信用を得て、其製品を販賣する商人に信用を與へる。之は即ち最初銀行が國民經濟の一定部に交付した信用が更に他の部門に銀行の手を借りず流れるから、この結果、銀行はその貸出した資金を一定の部門に止め置くことは出来ぬこととなる。即ち銀行は信用の仲介者として活動しながら、彼等の信用の配分に於いて非常に他の信用仲介者—工業家、商人—に依存しなくてはならぬ。だから信用の配分は極めて朦朧として、其秩序は單に返還しない債務に對して無理矢理に之を回復すると

云ふ、所謂信用の紀律によつて維持されてゐる。

一九三〇年中頃以前迄のソ聯邦に於ける信用の貸與及び配分は、之等の資本主義諸國の信用制度と略々同様のものではあつた。然し工業トラスト、シンジケート協同組合等がそれ自體の會計によつて銀行より與へられたる信用を自由に處分したので、國民經濟の各部門に財源を配分すると云ふソヴェエトの計畫に支障を來たし、ソヴェエト經濟との調和を失するに至つたので、竟にその改革が行はれた。その結果銀行より信用を借入れそれに依つて更に他の會社に商業的信用を與へると云ふ小機構の代りに、現在では銀行と資金を必要とする依頼者間との直接聯繫がなされることとなつた。従來一企業より成る商品を消費組合に販賣する場合、銀行は消費組合(購求者)に振出されたる手形に對して、一企業(販賣者)に信用を與へた。この場合銀行は一企業に信用を與へたのであるが、結果に於いては一企業を援助したのではなく、消費組合に援

助を與へたことになる。

現在ではかかる取引が行はれる場合、銀行は企業には信用を與へないで、直接消費組合に與へる。即ち銀行は現在商品購求のために金を必要とするものに仲介者なくして直接資金を供するものである。即ち資金を與へるのは購入者であつて、この場合販賣者に對しては行はれない。商品が手を代へる毎に販賣者は購入者より常に代金の全部を受取らなくてはならぬ。若しも購入者の銀行勘定が代金の支拂を行ひ得るときは購入者が銀行に振出した小切手に限つて、この販賣者に對して支拂をなし、若しかゝる銀行勘定がないときには、銀行は購入者に對してその必要額を貸與する。如何なる場合に於いても販賣者自身が信用を購入者に對して與へることは絶體にない。即ち商業的信用によつて、商品を貸與することがなく、信用は銀行のみによつて與へられることとなつたのである。

この結果銀行はソヴェエト經濟の複雑なる凡ての取引の金融的中心となり、銀行

が依頼者に貸與する短期信用及び信託者によつてなされる凡ての取引の全活動に對する鳥瞰圖を作ることが出来る。即ち之によつて銀行はソヴェエト國家の手段として國民經濟を調節する主體となつたわけである。

一九三二年國家豫算

全聯邦中央執行委員會議(ツイク)にて此程確認されたるソヴェエト聯邦の一九三二年度單一國家豫算は歳出入各二百七十五億四千二百九十六萬六千留であるがこれを各歳出入別に示せば左表の如し

Table with 2 columns: Category and Amount. Categories include 諸取引税, 單一農業税, 社會化企業税, 其他税, 國民經濟最高會議關係工業收益, 地方發電所收益, 國營農業收益. Amounts range from 15,600,000 to 88,000,000.

財政金融

(單位千留)

Table with 2 columns: Category and Amount. Categories include 供給人民委員會關係工業收益, 國營商業及株式會社收益, 外國貿易人民委員會企業收益, 國家信用機關收益, 國營保險機關收益, 其他企業收益, 特別商品基金, 鐵道收入, 河川及海運收入, 其他運輸收入, 國民通信收入, 貨幣收入, 旅客保險收入, 雜收, 公債收入, 第四回八分利附内債, 一割利附内債, 行政費削減, 歲入合計, 國民經濟最高會議關係工業, 其他工業. Amounts range from 1,017,400 to 175,000,000.

其他工業

Table with 2 columns: Category and Amount. Categories include 地方發電所, 農業, 自治經濟及住宅經濟, 商業、配給及食品工業, 外國貿易, 鐵道, 水運, 諸道路及自動車運輸, 全聯邦民間航空聯合, 國民通信, ソ聯邦單一海洋氣象施設, 其他施設, 教育, 保健, 勞働保護社會保障施設, 陸海軍人民委員會, 特別軍, 國民經濟規則並に行政社會文化諸機關, 全聯邦人民委員會基金, 其他基金, 公債支出, 國家保險資金. Amounts range from 20,000,000 to 62,400,000.

國家保險資金

労働者及び勤務員社會保險	六〇、〇〇〇
地方豫算への委讓資金	一、四九八、六〇〇
労働者及勤務員社會保險に對する控除金	六〇
露共和國一九三一年度負債消却	四三
ゴスバンクとの決済	五〇
歳出合計	二七、〇四一、九六六
準備金	五〇〇
歳出總額	二七、五五一、九六六

一九三三年度國家豫算

ソ聯邦中央執行委員會は、本年一月二十日を以て、次の如き一九三三年度國家豫算を裁可した。其の金額三百五十億千九十二萬留にして、一九三二年度の二百七十五億四千九百九十六萬六千留に比すれば七十四億六千八百九十五萬四千留増。更に一九三一年度の二百七十七億七千四百一萬八千留に比すれば、實に百三十二億三千六百九十五萬二千留増となる。これを費目別に示せば左表の如くである。

ソ聯邦一九三三年度國家豫算	
歳入 (單位千留)	
社會化經濟收入	二八、七四八、九二二
内譯	
商品取引税	二二、七九六、二〇〇
特別商品取引基金	一、七〇〇、〇〇〇
商品外取引税	一六二、〇〇〇
協營農業税	一六八、〇〇〇
社會化經濟收益控除	一、〇五、八八七
内譯	
重工業	四一五、四八〇
地方發電所	五、四〇〇
輕工業	一一八、四二〇
林業	六〇〇
食品工業	一八五、六〇五
外國貿易	三一、六〇〇
買付機關	一三、八〇〇
農業	五、七七〇
金融機關	二五〇、〇〇〇
各共和國及び地方執行競賽	五、七〇〇
其他企業	七三、五一二
運輸及通信	二、七七五、四〇〇
内譯	
鐵道運輸	二、五一七、二〇〇
其他運輸	三、六〇〇
通信	二五四、六〇〇
八分利附内國債	八〇〇、〇〇〇
貨幣收入	五〇、〇〇〇
諸税及公課	二、〇〇〇
社會化部企業所得税	八五、四二五
消費組合貸付回收	一〇〇、〇〇〇
國營農場税	四、〇〇〇
人民資金動員	五、三六四、四二〇
内譯	
組織的蓄債	三、二二一、〇〇〇
内譯	
公募國債	二、八〇〇、〇〇〇
貯金局取扱國債	四一、〇〇〇
諸税	二、一五二、四二〇
内譯	
住宅及文化建設賦課金	一、二七〇、〇〇〇
旅客保險	二八〇、〇〇〇
個人農場税	四三二、〇〇〇
一九三三年度個人農場臨時税	三〇、〇〇〇
自然人所得税	一四〇、四二〇
其他收入	八九七、五八八

關稅	一四〇、〇〇〇
貨物輸送狀及乘車船券特別税	一八、六〇〇
雜收入	七三、九八八
社會保險中央管理部納入學生給費金	五〇〇、〇〇〇
歳入總計	三五、〇一〇、九二〇
歳出	
國民經濟	二三、九二一、〇六六
内譯	
重工業人民委員部所管工業	二、七四、九六六
内譯	
重工業	一〇、二二一、二六〇
電化事業	五三七、七〇八
輕工業人民委員部所管工業	八、三、八三〇
林業人民委員部所管工業	一、〇八、九〇〇
其他工業	六三〇、二〇〇
粒穀畜産國營農場人民委員部所管國營農場	一、五一、〇五〇
農業人民委員部所管協營農場建設及事業	一、四四、七〇三
治水事業	三八、四〇〇
供給人民委員部所管食品工業	七四七、七〇〇
財政金融	

國營商業、供給、買付機關	三、一九三、八〇〇
外國貿易	七〇、二二九
公益施設、住宅建設	一四、九七四
鐵道運輸	一一、一六三、三〇〇
水上運輸	六四四、一〇〇
各種道路、自動車運輸	三三三、七二四
航空運輸	一五六、六五〇
北洋航路管理局	二五、〇〇〇
通信	一八六、〇〇〇
勞働國防會議附屬豫備金委員會	七八〇、〇〇〇
海陸氣象臺施設	五九、〇六四
其他國民經濟融資	三二〇、四七四
社會 (地方豫算支出、四九、〇〇〇、〇〇〇留)	
文化 (社會保險豫算支出、五、〇〇〇、〇〇〇留)	
施設 (其他資金、三、〇〇〇、〇〇〇留を支出する他に)	
内譯	
教育	二、一五三、〇三八
保健	一一八、三六二
體育	八、〇八五
勞働保護、組織、社會救恤	一〇三、六九九
國防及行政	二、二六四、四三一

内譯	
陸海軍人民委員部	一、四五〇、〇〇〇
特別部隊	一一三、七〇〇
一般行政、國民經濟規制、社會文化事業行政	六九〇、七三一
國債關係支出	一、三三〇、〇〇〇
國家歳入より地方豫算への交付金	一、九四九、四〇三
其他金融機關への交付金	三九一、四五〇
内譯	
社會保險勘定	九四、六五〇
國立銀行勘定	二六六、八〇〇
國營保險局への交付金	三〇、〇〇〇
其他支出	九九〇、四六六
内譯	
人民委員會豫備金	九二二、七〇〇
其他諸基金	六七、七六六
支出總計	三三、二三〇、九二〇
國家豫備金	一、七八〇、〇〇〇
歳出總計	三五、〇一〇、九二〇

一九三三年第一・四半期の財政計畫遂行

成績

聯邦財務人民委員部は本年第一・四半期財政計畫の遂行状態に關し本年四月十三日左の如く發表した。

一、財政諸機關は一九三三年第一・四半期を次の如き成績を以つて終了した。イ、取引税徴收計畫は一〇三・五%遂行された。

ロ、住民資金動員計畫は一〇七・二%遂行された。

(その内都市八・七九%、農村一三五・二%)

都市の公債賣出計畫の遂行(九三・二%)殊に貯金局の貯金誘引計畫の遂行は最も不良である。

二、財政計畫の遂行に對し各方面から多大の注意を拂はれた結果、左記の共和國地方及び州は好成績を収めた。

住民資金動員計畫	取引税徴收計畫
ウカヤ州 一一四・二%	ウカヤ州 一〇一・一%
モルダウ州 一一六・四%	モルダウ州 一〇〇・七%
治共和國	治共和國

於ける住民資金動員計畫の遂行は孰れも不良で、殊にカザツク自治共和國(六四・三%)、タチツク共和國(六四・八%)、トルクメン共和國(六九・二%)、レニングラド州(八〇・四%)は著しく立遅れてゐる。

五、第一・四半期に於ける住民資金動員計畫及び取引税徴收計畫の遂行不良なるは次の如くである。

住民資金動員計畫	取引税徴收計畫
ウズベク共和國 六八・三%	ウズベク共和國 九三・二%
西部シベリヤ地方八一・六%	西部シベリヤ地方 九一・〇%
中央黒土州 八四・九%	中央黒土州 八五・九%
バシキル自治共和國 八二・四%	バシキル自治共和國 八六・四%
ヴォルガ下流地方八八・四%	ヴォルガ下流地方 八四・一%
キルギス自治共和國 五六・四%	キルギス自治共和國 八三・九%

公債發行

一、公債の種類

ソ聯邦政府は一九二二年三月の新經濟政策を實施する迄は一切公債を募集しな

かつたが、新經濟政策は財政方針を全く一變せしめ、先づ留安策として一九二二年五月二十日の命令に依り初めて穀物公債を募集した。

猶政府は外債を募集せんとして西歐諸國と交渉したが遂に成功せず、加之、資本國は何れも聯邦に對し、敵對行動を示したるを以て差當り外國によらず、一切内債に依り經濟上の需要を満すことに決した。

ボリシエヴィキ革命以後、一九三〇年迄に發行せられたる公債、地方債並に社債總額を擧ぐれば左表の如し。

一、各種公債	千留 四、二〇六、四〇〇
二、「オブリガチヤ」(聯邦政府保障付)	一、〇〇〇、〇〇〇
三、ソヴェート諸機關債券	一四八、七六〇

(一種の地方債又は社債にして政府の保障なし)

合計 四、五六五、一六〇

是等諸公債中には短期公債にして、既に償還済と見るべきもの七億五千萬留あ

り、是に抽籤により部分的に償還せられたるものと合すれば、其の推定額八億五千萬留に上り、是を全額中より控除せる現在残額は約三十七億一千五百十六萬留となる。

二、利息及期限

是等諸公債の利息は第一、第二穀物公債、一九二三年發行砂糖公債、一九二九年富籤付内國公債、同年内國公債は無利息なるも大抵五分乃至一割二分にして、又償還期限は五年乃至十五年である。ソ聯邦政府保障「オブリガチヤ」の利息は二分乃至九分で、期限は無利息の交通省債券の一ケ年を除き、六ケ年乃至三十一ケ年である。政府無保証「ソヴェート」機關發行債券(地方債又は社債)は大部分無利息であるが、一九三〇年に發行された自動車債券は六分である。而してその償還期限は二年乃至十ケ年である。

三、ソ聯邦新公債發行

聯邦政府が最近數年間一般労働大衆に

對し事實上強制的に購買せしめたる公債は一九二七年發行農業振興公債一億二千五百萬留を始めとし、第一回乃至第二回工業公債あつて、此合計八億五千萬留であつたが、是を回收し、同時に「五ケ年計畫を四ケ年に」なる標語を冠せる新公債を發行して、單一公債として五ケ年計畫完成に至る迄年々發賣を繼續するものである。是は一九三〇年七月三日附命令を以て公布された。

四、新公債發行の目的

此の新公債發行の目的は労働大衆の間に其條件を異にする各種の公債が存在する不利を避け、今後之を單一公債たらしめると同時に、從來の如く公債の自由賣買を禁じ、原則上長期公債となさんとするものである。新公債は一九三〇、三一年

度分として、新に發行せらるるもの八億五千萬留の外従來の公債(第一、二回工業化公債及農業經濟振興公債)との交換の爲發行せらるるもの五億留と決定せられたるが、本公債賣却は表面購置者の自由意志に任すべしとあるも一層辛辣なる強制行はるべしと見られてゐる。獨ほ本公債は自由賣買並に擔保差入れの大制限が加へられてゐる。右新公債はソ聯邦公債政策上一轉機を爲すものと稱せられてゐる。

ソヴェエト公債政策の實績

第一次五ヶ年計畫の完成期たる一九三二年は、第一回公債發行(一九二二年末)後十年、戰前ロシアの國債廢棄宣言(一九一八年初)後十五年に當る。

世界大戰前に於ける帝政ロシアの國債は八十八億留にして、その半は外債であつた。大戰中(二月革命まで)に更に二百六十二億の國債(その内四十六億留は外債)を發行した。その後臨時政府は三十六

億留の「自由」公債を發行し、百二十億留の短期證券を發行した。斯くしてソヴェエト主權は五百三十億留の國債を遺産として繼承した。

然し一九一八年一月二十一日戰前國債の廢棄を宣言し、ソヴェエト公債發行の地盤を造つた。戰時共產主義期には、經濟關係の現物取引主義化とソヴェエト紙幣の續落のため公債を發行することが出来なかつたが、新經濟政策が實施されるに及び、その氣運が醸成された。一九二二年五月、即ちチエルヴォネツ貨發行前に第一回穀物公債を、同年の秋にはチエルヴォネツ貨發行と同時に一億留の第一回富籤「金」公債を發行した。一九二三年三月には一億留の第二回穀物公債を、十一月には砂糖一億留の砂糖公債を發行した。

巨額の歳入不足(一九二二—三年度には歳入不足のため三億九千四百十萬留の國庫債券を發行した)期にはこれらの公債は豫算の均衡を計る上に於て積極的な役割を演じた。一方幣制改革も進捗し、

會化部門の主要なる公債所有者となり、然も豫定額の二二〇%を引受けた。

住民及び社會化部門よりの資金勸員五ヶ年計畫と實績を示せば左の如くである

五ヶ年計畫 (單位百萬留)	
一九二八—一九二九年	八〇〇
一九二九—一九三〇年	九五〇
一九三〇—一九三一年	一、一五〇
一九三一—一九三二年	一、四〇〇
一九三二—一九三三年	一、七〇〇
五ヶ年間合計	六、〇〇〇

實績

一九二八—一九二九年	七二五
一九二九—一九三〇年	一、二七四
特別期間	三六二
一九三一年	三、二九二
一九三二年	四、三七七
四年三ヶ月間合計	一〇、〇三〇

五ヶ年計畫に於ては公債の消却及び利子の支拂額を二十七億五千萬留と計上してゐたが、一九三二年の支拂分も加へると十一億二千五百萬留となり、即ち六億二千五百萬留の減少を見た。之は一九三〇

一九二四年までに貨幣流通も健實となり一九二五—六年度には公債需要高はその發行高を超過するやうになつた。

一九二七年に復興期を終り改造期に入つたソ聯邦は、國內工業化事業に巨額の投資を必要とするに至つたので、公債を大いに利用した。同年には總額三億二千五百萬留の三種の公債が發行された、其内の二億留は第一回工業化公債である。一九二八年には一億五千三百萬留の農業鞏化公債と五億留の第二回工業化公債が發行された。

五ヶ年計畫は六十億留の豫算財源を國家信用に求めた。その内三十一億一千七百萬留を一般民衆より、二十八億八千三百萬留を國民經濟の社會化部門(十四億二千六百萬留は貯金局引受)より勸員する計畫であつた。一般民衆よりの資金勸員手段は即ち公債である。この公債發行計畫を作成する場合、都市及び農村の住民が一九三三年までにその勞銀の二ヶ月半に相當する公債を所有するものと想定したのであつた。所が、計畫遂行の進行

年に既發大公債を「五ヶ年計畫を四ヶ年に」公債に借換へた爲めである。

斯くして、豫算に於ける公債の地位は目立つて鞏固になつた。即ち國家豫算總額に於ける公債収入の割合は、一九二八—九年度の八・七%より一九三二年の一四・六%に増加して來た。この公債よりの豫算収入は全部國民經濟に支出されてゐるが、一九三二年には國民經濟支出の二二%を占めるに至つた。戰前及び戰争中の公債を廢棄してから、第一次五ヶ年計畫の完成に至る十五年間のソヴェエト公債の實績は外國資本家の援助を受くることなく社會主義建設を促進せしめたのである。

第二次五ヶ年計畫内國債

なほソヴェエト聯邦中央執行委員會並に人民委員會は第二次五ヶ年計畫遂行資金として三十億留の内國債を募集することに決定し、一九三三年五月十四日左の通り人民委員會を公布した。

中プロレタリアートの數と勞銀支拂高は最初の豫想よりも著しく多くなつた。即ち一九三一年の月平均勞銀支拂高は計畫の九億六千二百萬留なるに對し十七億八千萬留となつた。従つて一般民衆に對する公債發行計畫の遂行も次の如く好調に進捗した。(單位、百萬留)

四年三ヶ月の賣上	
五ヶ年計畫	四、五八六
都市	三、七五〇
農村	一、五八四
計	六、一七〇
豫算繰入額	五、五二九
三、一一七	

斯かる好成绩を収めるに至つたのは、専ら住民の収入が増大したからである。殊に農村に於ては、農家の六〇%以上がコルホーズ化して金錢収入が増大したので公債の賣行率が都市よりも良かつた。

一般公債以外の住民資金勸員手段は、預金、前納、掛金、株等の任意的な拂込みである。右の如き住民の諸拂込みに依り、コペラーチヤ、國營保險局、社會保險局に於ける豫備金及自由資金が急激なる増加を見たので、これらの諸機關は社

ソヴェート聯邦政府は第二次五ヶ年計の財政的基礎を確立するため第二五ヶ年計第一年度内國債を發行する發行額は三十億留、償還期限は向ふ十ヶ年である。

通貨

國際金融經濟より孤立せるソ聯邦は、從來より資本の缺乏に加へ、産業五ヶ年計畫に基く莫大なる資金の需用並に過去兩三年に於ける穀物輸出の杜絶等の事情はソ聯邦財政上に異常なる困難を來さしめ同當局をして紙幣増發によるの外ならざらしめた。一九二八年八月一日附法律を以て何等の準備なくして發行し得る財務部の國庫券(政府紙幣)發行高を國立銀行發行高の七五%(從來は五〇%)に引上げ、更に事態に押されて實際上の増發を餘儀なくされてゐたが、遂に一九三〇年九月十八日附聯邦中央執行委員會幹部會決定を以て之を一〇〇%に迄引上げることとなつた。

をして信用機關を指導せしむることとした。

一九三〇年、社會主義建設の進捗に應じ、金融組織を之に適應せしむるため劃期的の金融改正令を公布し、國家機關、組合機關及び外國資本の参加せざる株式會社に對し、信用による商品貸付並に相互間の融通を禁止し、すべて國立銀行を経由する信用に變更し、又農業信用組合の業務を擴張し區内の農業金融を取扱はしめ、其の金融を統一せしむることとした。

聯邦國立銀行(ゴスバンク)は國家豫算及地方豫算に關する金庫事務を取扱ひ、短期貸付を集中し、發券銀行としては貨幣の流通を調節し、綜合信用計畫案を作成し、諸銀行の指導統制に任ず。一九二八年六月財務人民委員部を離れ獨立機關となり、資本金二億五千萬留を有してゐる社會主義建設特に五ヶ年計畫の實施の進捗するに従ひ、金融問題は益々重要性を帯びて來て、重要部門の投資取扱を各専門の機關に委任し、建設費の合理化を

聯邦の通貨は、國立銀行券、國庫券、及補助貨(銀、銅、青銅貨)の三種である。これが發行は夫々國立銀行及ソ聯邦財務人民委員會にして加盟共和國は自國貨幣を發行する權利を有しない。國立銀行券は一、三、五、一〇、二五、五十チエル

ウオネツの額面を以て發行され、一チエルウオネツは、純金一ゾロトニク七八・二四ドリーヤを含む舊十留金貨に等しく兌換は行はれざるも國庫券の十留に等しい。その發行は二五%まで貴金屬及確實なる外國貨幣を以て、其餘は容易に換價し得べき商品、短期手形等を以て保證するを要す、國庫券は金を基礎に一、三、五留の三種を發行し、發行額は、銀行券發行額の五〇%以内に限定せらる。補助貨たる銀貨は十哥、十五哥、二十哥、五十哥、一留、銅貨は一哥、二哥、三哥、五哥を發行し、品位、直徑、量目、公差及鑄造に關する規定は帝政時代のそれと同様である。而してその發行額は國庫券と合計して銀行券發行額の五〇%以内とすることに規定せらる。なほ昨年二月、

計る必要に迫られ、一九三二年五月聯邦財務人民委員部の管下に長期投資特殊銀行の設立を行ふことになつた。即ち工業及電氣事業の投資はプロムバンク、社會主義的農業の投資はセリホズバンク、協同組合の投資はフセコバンク、公共施設及住宅建設の投資はツエコムバンクをして取扱を行はしむることとなつた。

右特殊銀行は當該機關に於て作成し且つ規定の手續によりて裁可せらるゝ年次計畫に基づき業務を執行するものであつて、出納事務は國立銀行にて取扱ひ、聯邦に於ける金庫の單一を現實化する組織である。

國立銀行バランス(一九三二年九月一日現在)

資産之部	留
金貨及金塊	七一四、五一五、四一〇
其他貴金屬及貨幣	一七、五〇〇、九二〇
外國銀行券	二六、九八六、七五〇
外國貨幣受取手形	三、八八九、六〇〇
短期貸付證書	二、六七二、一〇七、三二〇

十哥、十五哥、二十哥のニツケル貨幣を鑄造發行する旨を公布した。

金融機關

勞農政府は一九一七年十二月銀行國有に關する法令を公布し、一切の株式銀行を國立銀行に合併したが、それ以來戰時共產主義の實施により金融信用機關は存在の意義を失ひ、國立銀行も財務人民委員部の一課となり一九二一年初頭には國內に一の信用機關をも有せざるに至つた然るに新經濟政策の實施となり、漸増する信用の需要を満足するためにロシヤ共和國國立銀行を創設し、銀行券の發行權を付與するに及び、信用制度も次第に復活し商工業の發達に伴ひ各種の銀行、信用機關の開設を見た。茲に於て各銀行、信用機關の統制を必要とし、一九二五年全聯邦的に金融計畫案を作成し、經濟建設の一般原則を指示したが、實施の方法に矛盾を生じたるを以て一九二七年更に金融制度を改革し、其の根本方針を公布し信用機關の業務の分割を計り、國立銀行

合計 三、四三五、〇〇〇、〇〇〇
負債の部
銀行券發行高 三、四三〇、三三七、六三〇
發行餘力 四、六六二、三七〇
合計 三、四三五、〇〇〇、〇〇〇
註 このバランスは近來發表を見ず。

ソ聯邦貯金局と貯金者の社會相

ソヴェート貯金局が開設されてから十年になるが、この間貯金者數と貯金高が急速度増加した。殊に第一次五ヶ年計畫に於て貯金者數は三百五十萬人から二千九百萬人に、即ち八倍以上の激増を見た。又個人の貯金高も右期間に二億一千三百萬留から九億九千四百萬留に、即ち四・五倍以上増加した。

貯金業務の進展に伴ひ貯金者の社會的構成も左表の如く著しく變化した。

(貯金者總數に對する割合)	
社會群	一九二五 一九三〇 一九三三
年十月一日現在	年十月一日現在 年一月一日現在

労働者 二二・四 二九・三(註)五七・〇
 勤務員 五一・〇 三二・〇(註)五七・〇
 農民 三・四 一九・〇 三〇・五
 其他 一三・二 二〇・七 一一・五

註 労働者と勤務員に分類せる数字がないので雇傭労働に従事する者の数を引用した。

右の表に明かな如く、労働者と農民の割合は増加し、勤務員と其他割合は減少を示してゐる。この變化は二つの原因に依るものである。その一は貯金局は當初都會に多く開設されたが、一九二八―九年度から農村に開設されるやうになつたからである。これがため初期には農民の貯金者が少なかつたが、近年に至り彼等の割合が激増して來たのである。

その二は、農業國が工業國に變化して工業労働者の數が増加した爲め、労働者の貯金者割合が増加するに至つたのである。勤務者の貯金者割合は二五年の五・一%から三〇年の三・一%に減少してゐるにも拘らず、雇傭労働に従事する者の貯金者割合は本年一月現在で過半を占めて

ゐるが、農民は僅か三分の一に過ぎない然し近年に於ける農民の經濟状態から見れば一層彼等を勧誘することが出来る筈である。

雇傭労働に従事するものと農民の間に於ける不均衡は貯金高の社會的構成に於て一層甚しく現れてゐる。前者の貯金割合は二八年十月一日の六三・三%から三年一月一日の六七・八%に増加してゐるが、農民の貯金割合は六・三%から一三・三%に増加してゐる。即ち前者は貯金の三分の二、後者は八分の一を占めてゐるのである。

一人當りの平均貯金高動態を見るに、一九二四年には十三留であつたが、二七年には六十一留に増加した。然しその後漸減して三二年末に三十四留三十一留に減少した、これは貯金局發展の初期に於て比較的餘裕のある者が貯金したが、近年に至り廣汎なる住民層を包含するやうになつたので、貯金平均高に影響を及ぼしたのである。

社會的類別に依れば、農民の平均貯金

高は二八年の三十四留二十一留から三三年初頭の十四留八十一留に減少してゐる然し、これは經濟的原因と見做すべきではない。何となれば農民の收入は農業の社會主義的改造、コルホーズ商業の振興に依り増加して來てゐるからである。これは要するに農村に於ける貯金局の活動が不十分なためである。

次に貯金を金高に類別すれば左の如くなる。

貯金高	貯金者數に對する割合	貯金總額に對する割合
五留まで	五六・八	一・九
六留より二十五留まで	一九・四	四・六
二十六留より百留まで	一一・五	一三・〇
百一留より五百留まで	九・二	三九・九
五百一留より千留まで	一・四	一八・五
千留以上	〇・七	二二・一

斯の如く、貯金者の過半数は五留以下の所謂「ルーブル」貯金者にして、貯金高は總額の僅か一・九%に過ぎない。これは大衆的に貯金勧誘運動をした時一留乃

至三留の貯金をなしたまゝ、形式上の貯金者になつてゐるに過ぎないからであるその結果百留以上の貯金は總額の八〇・五%を占めてゐるが、その貯金者割合は一・三%に過ぎないといふ状態である

国立銀行の外客預金取扱新規定

一九三二年秋ソヴェト政府は同國內に貯金及び預金を有する外國人に特別の便宜を計るため、今回ソ聯邦財務人民委員會及び国立銀行は外國貨幣を以てする二種の銀行當座預金勘定の開設を新たに許可した。右當座預金勘定は

- 一、A種當座勘定(殘高の外國送金自由)
 - 二、B種當座勘定(殘高のソ聯邦領土内送金自由)
- の二種にして、その細目は左の如し
- 一、A種外貨當座勘定
 - 一、A種外國貨幣當座勘定は外國人及び外國會社がソ聯邦内又は外國に居住す

ると否とを問はず国立銀行に於て口座を開くことを得

二、A種當座勘定開設には何等の許可手續を要せず但し合辦會社(ソ聯邦と外國との資本による)或はソ聯邦内の利權企業が此種の當座勘定を開設するには財務人民委員の許可を必要とす

三、左に掲げる外國貨幣はA種當座勘定の貸方に記入することを得(第十三項記載の分は之を除く)

イ、預金者が實際携帶し來れる外國貨幣にして税關の證明あり、且つソ聯邦入國後二ヶ月以上を経過せざるもの
 ロ、普通の銀行送金、信用狀、小切手等を問はず外國より送金し來れる外國貨幣にして、以上の支拂書類の手續が直接受取人を経由せず實際の書類によつて直接A種の當座勘定貸方に記帳せられるもの

ハ、A種の他の當座勘定から一方の勘定所有者に支拂はれ、又は他の當座勘定から、同人の勘定に繰入れられる外國貨幣

ニ、ソ聯邦国立銀行發行の旅行者用小切手国立銀行によつて支拂はるべき旅行者小切手及び外國銀行會社等の支拂命令書による外國貨幣

ホ、A種の他の當座勘定宛振出したるソ聯邦国立銀行小切手
 ヘ、國外携行又は外國宛送金を財務人民委員會に於て許可したるソ聯邦留貨等價物

ト、国立銀行の證明を有するソ聯邦公債並に該公債割増金又は利息等價物
 チ、當座勘定を有する者に保險付小包にて送附し來れる外國貨幣にして直接受取人を経由せずA種勘定貸方に記入せられるもの
 以上の外國貨幣の外、財務人民委員會の許可なくしてA種當座勘定貸方に記入する事を得ず

四、A種當座勘定を以てする支拂は外國貨幣の現金、外國取引先に當て振出したる国立銀行小切手、国立銀行發行旅行者小切手、又、當座勘定主の希望により留貨を以てす

五、A種當座勘定を以てする外國貨幣現金の支拂は國立銀行の該外貨現金所有の如何により他の等價の貨幣を以てする事あり、但し當座勘定主が右提供の外國貨幣の受取を承諾せざる時は國立銀行は要求の外貨調達に必要な期限の延期を爲し得

六、A種當座勘定によつて一端支拂はれる外貨現金は如何なる事情あるもそれが受取りたるものと同一なる事が證明せられざる限り再び該勘定に受入れれる事を得ず

七、A種當座勘定による外國宛送金爲替は要求次第直ちに取組まるべし、但しこの要求を爲し得る者は

- A、該勘定口座主
- B、該勘定に當て振出されたる小切手所有者

是に對しては何等の許可を要せず。外國宛送金の方法は當座勘定主の希望により國立銀行が現在實施せる何れの方法を採るも差支へなし、例へば、普通銀行爲替、小切手、支拂命令書、信用

全く他と異なる貨幣制度を有して居り外國紙幣の如きも一般資本主義國家におけるが如き、市中相場による自由なる交換買を禁じ。これが必要のためにはソ聯邦國立銀行において賣買値段の公定相場を公表し、これによらしめてゐる。今一九三三年六月十七日現在の、ソ聯邦公定外國紙幣賣買相場左の如し(單位ルーブル)

一、米貨一弗	賣價	買價
二、英貨一磅	一・三三	一・三九
三、埃地利貨百シエリング	六・六三	六・七〇
四、白耳義貨百ベルグ	三・三〇	三・三六
五、獨貨百ライヒマルク	一・〇〇	一・〇六
六、和蘭貨百グリエル	一・三三	一・三九
七、丁抹クローネ	一・三三	一・三九
八、伊太利貨百リラ	一・〇〇	一・〇六
九、カナダ貨一弗	一・三三	一・三九
十、佛貨百フラン	一・三三	一・三九
一一、日貨百圓	一・三三	一・三九
一二、ラトヴィヤ貨百ラトツ	一・三三	一・三九
一三、リトワ貨百リトツ	一・三三	一・三九
一四、諾威貨百クローネ	一・三三	一・三九

財政金融

狀、等外國宛送金は勘定主の希望により當該勘定の外貨以外隨意の外貨を以てする事を得。後者の場合には國立銀行は該勘定の外貨をその買入相場によつて留價に換算し、又その留金額を勘定主の希望により其の賣相場に換算す

八、A種當座勘定によるソ聯邦領土内送金は一般的原則に従ひ行ふものとす。若し該勘定主の希望ある場合は、この種の國內送金は外國貨幣を以て行ひ得るものとす

九、A種當座勘定は外國に居住し又は外國の許可を受けるソ聯邦國籍人によつても開くことを得。ソ聯邦國籍人歸國の場合は直ちに當該勘定は自動的にB種の外國貨幣當座勘定に振換へらるべし

一〇、A種當座勘定宛振出小切手の外國輸出又は發送は必ず財務人民委員會の許可を要す

- 一五、ポーランド貨百ゾット 三・九三
- 一六、土耳其貨百フント 九四・八八
- 一七、フィンランド貨百マルク 二・九〇
- 一八、チエツク貨百クローネ 五・八〇
- 一九、スエーデン貨百クローネ 三・九三
- 二〇、スイス貨百クローネ 三・五五
- 二一、エストニア貨百クローネ 三・五五

財務人民委員會部

人民委員	ゲ・エフ・グリニコ
同代理	エ・ベ・ゲンキン
同	エム・イ・カルマノウイチ
同	エル・ヤ・レーヴィン
同	ウエ・エヌ・マンツエフ
參與員	カ・カ・アボリン
同	エス・ベ・アゲエーエフ
同	エス・イ・アラロフ
同	ア・ア・ホドシユ
同	エム・イ・リフシツツ
同	エ・ウエ・ルガノフスキー

勘定主の要求により國立銀行は此種の證明書を下附する義務あり

一二、A種の當座勘定は第三項(ロ)及(ニ)に掲げたる支拂書類がソ聯邦國籍者宛振出されたるか、又はソ聯邦國籍者が該書類の所持人なる時は外國貨幣を以て借方に記入する事を得ず

一三、A種當座勘定は同様の理由によつて他のA種當座勘定宛振出されたる國立銀行小切手による外貨支拂が、若しその小切手の買手の一人がソ聯邦國籍人なる時は貸方に記入する事を得ず

一四、第七項の例外としてA種當座勘定による外國宛送金は若しこの種の勘定に對し振出したる小切手の所持者又は其の裏書人の一人が本規則の第一及び第二項によりA種の外貨當座勘定を開設する資格なき者なる時は、財務人民委員會の許可なき限り取扱はれざるものとす

外貨公定相場

社會主義經濟の國ソヴェート聯邦では

同	ア・ベ・マイミン
同	エ・ヤ・マラホフスキー
同	エム・オ・レイヘル
同	エム・ウエ・ロスリヤコフ
同	ア・デ・シユネイデル
同	ア・カ・スミルガ
同	ヤ・ア・テウミン
同	ウエ・ヤ・ウエデンスキー

國立銀行重要職員

總裁	エム・イ・カルマノウイチ
同代理	エル・エ・マリヤシン
同	ベ・ベ・ゴルブノフ

労働

労働法

一、沿革

ソ聯邦に於ける労働法はレーニンの所謂「働らざる者、食ふべからず」なる鐵則のもとに編成され、徹頭徹尾労働者の利益を原則とし、一般雇傭労働者（國家機關及び事業、公共及び個人の事業並びに機關、軍事上の機關労働者は元より、家庭内の労働者即ち女中の如きをも含む）に適用せられるものであつて、労働法に規定する労働条件より不利な労働契約又は合意は總て無効なりと定められ、絶大な權利を労働者に附與してゐる。

最初の労働法は一九一八年ソヴェート政府樹立後間もなく發布されたものであるが、其後國內の經濟的事情變遷の結果殊に新經濟政策實施以後改訂の必要を生

じ、遂に一九二二年十一月十五日より改正労働法の實施を見るに至つた。併し其後も猶ほ幾多の改訂（後章記載）を加へられて現在に至つてゐる。猶ほ現在の労働法は「ロシヤ」社會主義聯邦ソヴェート共和國労働法（クゾート）と稱し十七章百九十二條より成つてゐる。

二、雇傭

ソヴェート市民は労働部の機關を通じて任意雇傭手續をとることが出来る。併し求職者が政治的の信頼あり、又は特殊の技能を有する場合には労働部を経由しないで直接雇はれることがある。しかし此場合には雇傭契約成立後労働部の當該機關に登録しなければならぬことになつてゐる。

三、義務労働

天災又は重要な國家的事業遂行の爲め労働力の不足を生じたる場合には、總て

のソヴェート市民は人民委員會若しくは其の委任を受けたる機關の特別命令に従つて義務労働につかなければならぬことがある。併し左に掲ぐる者は義務労働を免除せられるとしてゐる、それは、

- (イ) 十八歳未満の者
- (ロ) 四十五歳以上の男子
- (ハ) 四十歳以上の婦人
- (ニ) 病氣若しくは負傷の爲、一時的労働不能者にして其恢復期にあるもの
- (ホ) 妊婦（分娩八週間前後）
- (ヘ) 乳兒を有する婦人
- (ト) 労働及軍事に依る傷病者
- (チ) 他に扶養者なき八歳以下の子供を有する母親

四、團體契約

ソヴェート労働法に云ふ團體契約とは被雇傭者を代表する職業組合と、他方雇傭主との間に締結せられる契約であつて個々の企業、經濟機關其他のため労働及雇傭の條件を定め、且將來の個人的雇傭契約の内容を決定するものである。そして團體契約の條件は、其の人々が團體契

約を締結したる職業組合の組合員たること否とに拘らず、當該企業若しくは機關に於て労働する總ての人々に之を適用するものである。

五、労働契約

労働契約は團體契約の有無に拘らず左の場合に締結するものである。

(イ) 一ケ年を越えざる一定の期間を定める場合

(ロ) 期間を定めない場合

(ハ) 一定の仕事の完成に必要な期間の労働

永續的性質の仕事の場合には雇入れ決定前、筋肉労働者は六日以内、資格を要しない責任の軽い仕事に従事する従業員は二週間以内、又、責任の重い仕事の従業員に對しては一ケ年以内の試験期を設けてから労働契約を結ぶことが出来るとしてゐる。

雇傭主は當初の契約に關係なき仕事並びに明らかに生命に危険ある仕事、若しくは労働法規の規定に適合しない仕事を要求することが出来ない、又、被雇傭者を

或る企業より他の企業に移し、若しくは同一の企業であつても、或る地方より他の地方に移す場合には労働者若しくは従業員の同意を要求する、而して若し同意のない場合には當事者の何れからも労働契約を取消することが出来る、但し右何れの場合にも保障及び賠償規定により雇傭主は解雇手當を交付しなければならぬ。

又、雇傭主が被雇傭者を解雇しうる場合は、

(イ) 企業、營造物若しくは經濟團體の一部又は全部解散し、並に其の仕事

を縮小したる場合

(ロ) 生産上の原因により一ケ年以上に亘り仕事を中止する場合

(ハ) 被雇傭者が其仕事に不適當なることの判明した場合

(ニ) 被雇傭者が相當の理由なくして契約又は内部管理規則に依り、其の負擔すべき義務を規則的に履行せざる場合

(ホ) 被雇傭者が直接其仕事に關聯して犯罪を行ひ、裁判の宣告が實行せら

れたる場合、並びに被雇傭者が一ケ年以上に亘り逮捕收監せられたる場合

(ヘ) 被雇傭者が相當の理由なくして一ケ月中に合計三日間以上作業に出頭せざる場合（一九二七年八月二十二日全露中央執行委員會議決定）

(ト) 被雇傭者が一時的に労働不能となり、其時より二ケ月を経過するも猶ほ缺勤する場合、並びに妊娠中及分娩後の者は四ケ月の期間の外、更に二ケ月間復業し得ざる場合

六、労働に對する報酬

労働報酬は普通労働時間（八時間―七時間）以下の場合時間拂とし、或は仕事の出来高拂となる。規定時間外の労働に對する報酬は特に契約に指定しなければならぬ。此の場合最初の二時間に對しては普通報酬の一倍半又其以後は毎一時間の就業に對しては二倍以上、休日或は祭日の就業に對しては二倍以下たることを得ないとしてゐる。

仕事に恒久的性質を有する場合には二

週間に一回以上の割合を以て定期的に労働金を支拂ふのである。

七、保障及び賠償

赤軍に召集せられたる労働者及び従業員は召集の爲、退職の際向ふ二週間分の平均賃銀を受取る。

労働時間中選挙権の行使を許されて居る場合には選挙権行使の爲めに要する時間中平均賃銀の支拂をうけることになつてゐる。又、労働者及び従業員が雇傭者の用務の爲め出張する場合には、其の出張の全期間中地位を維持し、且平均賃銀の外、一日につき一ヶ月の賃銀額の三十分の一を下らざる日當を受けることができる。又、労働者及び従業員が雇傭者の命令により他の地方へ移轉又は住所の変更を要する場合には實際賃銀のほか移轉による出費、滞在期間及び其後の六日間一日に就き一ヶ月の賃銀の三十分の一の計算により日當の支拂をうけることが出来る。

労働契約の章の(イ)(ロ)(ハ)に規定したような理由で、期限付又は期限を附せ

ざる労働契約が取消されたる場合には雇傭主は被雇傭主に對し二週間分の賃銀に相當する解雇手當を支拂ふか、又は二週間前に解雇通告を爲さなければならぬことになつてゐる。

一時労働不能となつた労働者及び従業員は病氣の場合は三ヶ月以内、又妊娠及分娩の場合は四ヶ月以内企業又は機關に於て現職に留まることになつてゐる。

八、労働時間

標準労働時間は一九二二年制定の労働法では八時間であるが、一九二七年十月十五日の聯邦中央執行委員會の宣言書は七時間労働の實施を決定し、一九三三年十月一日までに總ての工業、交通、通信労働者に七時間制を徹底せしむべく意氣込んでゐる。それと同時に一週五日制を採用するに至つたが、該制度が所期の効果を收め得ない事實が明らかになつたので一九三一年十二月一日から再び六日制を實施する旨聯邦人民委員會議令を以て布告した。その内容左の如し。
『五日制連續生産週間を労働制度の根

本的形式とする點は依然變りないが、連續生産制の實施中發生した缺點を是正する目的を以て來る一九三一年十二月一日以降、各種機關に對し、一時的に一週六日休日週制を採擇する。但し供給企業部門と直接關係ある各企業並びに消費組合、店舗、食堂、自治機關運輸等一般人民の文化的、物質的必要に應ずる各機關は依然無休週間を持續する。

一週六日休日制を採用する各企業は各月の六日、十二日、十八日、二十四日、三十日を以て一般的休日と定む、同時にこれら企業労働時間を六時間半から六時間に短縮する。』

猶ほ労働法によると標準労働時間を超過する職業は原則的に、十八歳以下の者は絶對に、又、遅刻によつて失ひたる時間を補ふ爲めの残業を禁止せられてゐる。

九、休 暇

總ての労働者は毎週四十二時間より少なからざる連續的休暇を受けることにな

一、爭議解決及び労働に關する法規違反事件審理機關

労働に關する法規違反事件並に雇傭労働適用に關する總ての爭議は(一)人民裁判所の特別法廷に於ける強制的手續(二)評價爭議委員會、(三)調停委員會及び、(四)爭議當事者の同數代表者に依り組織せられる仲裁々判所の仲裁手續により解決するものであるが、前記の機關は總て各特別の規程に基いて行動するものである。

(一)人民裁判所特別法廷

同法廷は労働法、労働に關する其他の總ての法規並びに團體契約の違反にして刑事手續に依つて追訴を受くべきものを取扱ふ。

同法廷の組織は議長たる人民判事及び委員二名を以て構成し、委員の一名は労働部代表者とし、他の一名は職業組合團體の代表者である。

(二)評價爭議委員會
評價爭議委員會は團體契約及び労働契

つてゐる。毎週の定休日とは地方労働課に於て職業組合ソヴェートの協議の上之を定め、又、仕事の性質上間斷なき作業を要する企業には労働者に對し都合よき週日に休暇を與へる。
此他左記祭日には労働に従事することを禁じられてゐる。

(イ)一月一日(元旦)

(ロ)一月二十二日(舊曆千九百五

年一月九日記念日)

(ハ)三月十二日(獨裁政治顛覆記念日)

(ニ)三月十八日(巴里コムミュン記念日)

(ホ)五月一日(インターナショナル記念日)

(ヘ)十一月七日(無産階級革命記念日)

一九二七年以降は十一月七、八日の二日間休日)

休日及祭日の前日に於ける労働時間は六時間を超過してはならないことになつてをり、此場合九一日の賃銀支給をうけ

出來高拂の仕事では就業しない時間に對し相當等級の賃銀率に依つて割増手當を

約の適用に關し發生する爭議並びに特に本法に規定したる問題に限り審議するものであつて、評價爭議委員會では事件の解決は當事者双方の合意によるとしてあり、合意が成立しない時は該事件を上級裁判に移すことが出来る。

但し評價爭議委員會にとつて團體契約の本質に反する爭議、團體契約の一部廢棄の要求、團體契約に新たな條件若しくは補足の條件を挿入する要求はその權限外である。

(三)調停委員會

當事者双方の同意に依り、事件を調停委員會に附することが出来る。事件を調停委員會にかけうる場合は右當事者双方の同意によるほか、爭議委員會に於て解決を見なかつた場合である、調停委員會における事件の解決も専ら兩當事者の合意によるものとしてある。

(四)仲裁裁判

事件が調停委員會に於て審理せられたるものなると否とを問はず、當時者双方の同意により之を仲裁裁判に附することが

負擔をも課せられないのである。是れソヴェート社會保險法の最も顯著なる特色にして世界に比類なきものであるが、同法制定の精神に鑑みソヴェート・ロシアとしては當然の事なりとも謂ひ得るのである。

(一)一時的勞働不能の期間賃銀全額の手當金を給與すること。

負傷又は疾病に因り若しくは分娩前後の一定期間又は家族の病氣看護の爲に一時勞働不能の場合或は近隣に發生したる傳染病の爲め隔離せられて一時勞働不能に陥りし場合には賃銀全額の手當を支給せらるゝものにして是亦他國に類例なき一特徴と謂はねばならぬ。

(ホ)社會保險機關が被保險者に依り經營を掌せらるゝこと。

社會保險の全機關は被保險者が一定の順序方法に依り選出したる代表者に依つて管理經營せられつゝありて、他國の企圖し得ざる特徴なりと誇稱せられてゐる。これ革命前勞働者の高唱せし「社會保險機關は之を被保險者即ち勞働者の手

出来る、而して國家營造物及企業に於ける爭議の場合には勞働部の機關は職業組合の請求に依り仲裁裁判所を組織する。

社會保險

一、ソヴェート社會保險

概観

ソヴェート聯邦の社會保險法は勞働法典中の一章を成し、第七十五條より第九十二條迄全十八條の極めて簡單なるものである。今、其特征と稱すべきものを列挙すれば、

(イ)社會保險の總ての種類を網羅し、保險範圍の極めて廣汎なること。

雇傭勞働者に起り得る有らゆる生活上の事故、即ち疾病、負傷、出産、廢疾、老衰、死亡、失業は勿論傳染病に因る隔離、家族の病人看護等勞働の不能及び勞働機關の喪失に對する總ての場合を悉く網羅し、且其或ものに至りては被保險者の家族にも及べるは特徴の一に數ふべきである。

(ロ)被保險者の範圍の廣汎なること。

に收めねばならぬ」との要求を容認したるものなれども、一面より云へば各種産業機關の大部分が國營であり、從て有力なる事業主なきソヴェート・ロシアに於て又政府當局者自身が悉く被保險者たる關係より觀れば敢て異とするに足らざることにして、他に比類なき國情を有するもの、當然の結果とも謂ひ得るのである。

二、社會保險料

社會保險經營に要する全費用は保險料に依り支辨せらるゝのである。ソヴェート聯邦の社會保險料は被保險者の報酬に保險料率を乗じ算出するものにして賃銀比例主義によるものである。而して保險料率には二種類あつて、一は被保險者の從事する企業の種類、性質、即ち危險、有害の程度に應じて定むる正規料率で、四等級に分類せられ、特に保護を必要とする特殊企業を除きたる總ての私、國營商業、國營輕工業、一般企業の從業者に適用せらるゝ正規の保險料率で賃銀の一六乃至二二パーセントである。

ソヴェート・ロシアの社會保險は強制保險にして、全部の被保險者に對し之を適用し、苟も他人に雇はれて報酬を受くる者は國籍、勞働の場所、種類、性質、期及報酬の多寡、支拂方法等の如何を論ぜず、悉く被保險者である。強制保險なるを以て雇傭せらるゝと同時に當然被保險者たるものにして、被雇傭者の意志如何に依るものではない。又所謂筋肉的勞働者のみに適用するにあらずして智的若しくは事務的勞働者等勞務に従事する被雇傭者一切を包含し、極めて廣汎に適用せらるゝものである。從つて被保險者の範圍の廣大なることは諸外國に其例を見ざるものである。

(ハ)保險料金額が雇傭主の負擔なること。

社會保險の料率は業務の種類により差等あるも、其料率の高低に拘らず、又、雇傭主が個人たる人と法人たる人とソヴェート・ロシア政府自身たる人とを論ぜず、將又外國人たることを問はず、保險料の全部は雇傭主の負擔に屬し、被保險者は何等の

他の一は政策上保護助長すべき特殊企業に對し、負擔輕減の目的を以て特に規定する低率の料率、即ち特定料率であつて一〇乃至一四パーセントに過ぎないので、保險料金額を負擔すべき事業主にとつて尠なからぬ負擔輕減となるのである。特定料率を適用せられるのは國營金屬工業(一〇%)、電氣機械工業(一〇%)、交通省管理の各種運輸企業(一二%)、家庭勞働(保母、下女、乳母其他)(二〇%)等である。

勞働賃銀

一九三二年四月中旬開催された全ソ聯勞働組合中央會議第九回大會に提出され、同中央會議報告中勞働者の賃銀と能率に關する部門は大要左の如くである。

一九二八年と一九三二年の一年平均賃銀を比較すると同期間中全國民經濟を通じ七〇二ルーブルより一、一〇一ルーブルに増額されたがこれは即ち五六・八%方の増大である。而して本年は一、二

〇二ルーブルに増額する計畫である。全ソ聯邦労働組合中央會議は以前國民經濟諸部門に於ける賃銀を平準化する方針を取つてゐたが、これでは作業率に影響するので一兩年來各經濟部門間の賃銀を規

制調節し、この點に於て良好な結果を納めるやうになつた。今右報告によつて過去及び現在の各種産業部門に於ける賃銀動態を擧げると左の如くである。(單位一ルーブル) 一九二八年に、

業種	一ヶ月平均賃銀		對する増額百分率	
	一九二八年	一九三一年	一九三一年	一九三二年
一、機械工業	九二・九四	一〇二・八七	一三六・〇八	四六・四
二、復寫工業	九〇・三四	一〇九・七五	二〇・七	二一・五
三、製靴業	八六・七二	一〇三・八八	一三・三	一九・八
四、金屬加工業	八五・八二	一〇一・四〇	二六・三	四一・五
五、皮革及び毛皮業	八五・七〇	一〇二・四九	一八・一	一九・六
六、化學工業	八二・〇九	一〇二・五〇	二一・一	三四・六
七、石油精製業	八一・三〇	一〇五・七五	三〇・一	四六・三
八、裁縫業	七九・七九	八八・六〇	三・八	一一・〇
九、石油探掘業	七七・九五	一〇六・一二	三六・一	五三・〇
一〇、製鐵業	七五・六一	一〇二・九四	三六・一	七五・五
一一、食品工業(砂糖を除く)	七三・七〇	八七・九四	一九・九	三〇・三
一二、製紙業	六七・〇四	九一・一〇	三五・九	三二・六
一三、羊毛業	六三・七四	八八・九二	三九・九	二八・九
一四、石炭業	六三・二七	七四・六六	一七・二	二八・九
一五、製材業	六〇・九八	九三・九五	一五・二	四八・五
一六、綿業	五九・八九	八五・〇九	四一・四	三九・五
一七、亞麻加工業	四一・五八	七〇・〇三	七八・四	一六・九
右一七部門平均	七〇・九四	九六・〇一	三三・三	五七・〇

本年の一年平均賃銀は五ヶ年計畫によつて定められた一九三三年度分平均賃銀より二〇・九%方多くなつてゐる。右は労働者各個人を受取る個人的賃銀であるが、他の各種社會保險、醫藥、教育等謂ゆる社會的賃銀も相當に増大し、昨一九三一年中右は個人的賃銀の三分の一以上に達した。そこで労働生産率即ち能率の問題であるが、この能率たるや基礎建設工事への投下資本額、一労働當りの動力増大、労働大衆の労働に對する意氣込、労働者の物質的及び文化、生活的狀態の向上等の諸要因によつてこれが發展増進を期し得るものであるが、これ等の諸要因は迅速に具備されつゝあるに拘らず、未だ豫定の成績を納めるに至らない。一九三一年の如きも所期の計畫を遂行するに至らず、賃銀の方が労働生産率より迅速に増進した狀態である。

以上紹介した労働者の賃銀に關する資料はやゝ古いが、大體においてソ聯邦における労働賃銀の概要を知り得るであらう。ソ聯邦第一次五ヶ年計畫において労働階級の福祉が如何に増進されたかについて若干の資料を補足することとする。即ち、労働賃銀支拂高は一九二八年の八十一億留から三二年の三百億留に増加し工業労働者及び勤務員の年平均賃銀は

一九二八年の八百四十三留から千四百五十六留に、全國民經濟に於ける年平均賃銀は七百二留から千三百七十四留に夫々増加した。これと同時に國家の社會保險に對する支出豫算も一九二八年の九億七千九百萬留から三二年の四十一億六千萬留に増加した。

労働組合

労働をもつて立國の大本とする現在のソヴェート聯邦に於ては労働者の組合機關たる労働組合(職業組合)の規模は極めて廣汎なものがあり、その勢力も亦絶大である。レーニンはプロレタリア獨裁制下における労働組合の役割を評して「共產主義の學校」と云ひ、又、第二回全露職業組合に於て「労働組合は新しき社會の主要なる建設者である。何となれば新社會の建設者は數百萬の大衆に外ならないからである」と云つてゐる。斯の如く労働組合の意義は重要である。然らば此労働組合は如何なる組織になつてゐるのであるか、労働組合は同一企業、若

くは同一種の職業に従事する労働者により組織せられる所であつて、別表示が如き二十三個の職業組合があり、又組合の最高機關は職業組合大會であつて、同大會に於て組合中央委員會を選出する。該委員會は各組合の代表者として各國家機關、大會、會議等に出席する權利を興へられてゐる。而して全聯邦労働組合の最高機關は「聯邦労働組合中央委員會」である。

労働組合の機能は、團體雇傭契約を締結せる當事者、即ち労働者の名に於て、各種の機關に對し行動し、又、労働及び生活上の問題に關し労働者を代表する。猶ほ労働組合に關しては労働法第十五章に其規定が掲げられてゐる。

- 一九二〇年四月(第三回當時) 三、四〇〇
- 一九二一年五月(第四回大會當時) 四、二〇〇
- 一九二二年九月(第五回大會當時) 八、五〇〇
- 一九二四年十一月(第六回大會當時) 五、〇〇〇
- 一九二六年十二月(第七回大會當時) 六、六〇〇
- 一九二八年十二月(第八回大會當時) 九、三〇〇
- 一九三二年四月(第九回大會當時) 一〇、五〇〇
- 一九三三年三月 一六、五〇四
- 一九三三年三月 一七、八六五

労働組合の現在數

第一次五ヶ年計畫は四年間に遂行された。これは社會主義的競争と突撃労働の進展に依るものである。

突撃労働者の本年初頭に於ける現在數及び各部門の労働者總數に對する割合を

一九一八年一月(第一回大會當時) 二、五〇〇
一九一九年一月(第二回大會當時) 二、五〇〇

示せば左の如くである。(單位千人)

突撃労働者數 各部門労働者總數に對する割合%

國營工業	三、三三、八	七〇・六
建設事業	一、五七、五	五九・三
鐵道運輸	六七、〇	五・四

尙ほ重要産業部門に於ける社會主義的競争及び突撃労働に參加せる最近四ヶ年の一月一日現在労働者割合は次の如き動態を示してゐる。(%)

一九〇年	一九二一年	一九三一年	一九三三年
冶金工業	三、六七	七〇・七	七五・七
化學工業	四、七三	七三・七	七二・五
紡織工業	三、六八	六六・五	七三・八
石炭業	一、五〇・九	五四・五	五四・二

ソ聯邦労働人民部廢止

ソ聯邦各人民委員部中重要な位置を占める労働人民委員部(労働省)は今回労働組合諸機關の提議並に同人民委員部の事務執行改善を目的として、同人民委員部並に其全機能を擧げて全聯邦中央労働組合會議に合併することに中央執行委員

會議長カリニン、人民委員會議長モロトフ並に全聯邦中央労働組合會議長シエウエルニツクの名を以て發表せられた。因みに今回廢止せられた労働人民部長はチホン氏である。従つて前労働人民委員部の職員は省略する。

勞農檢察人民委員部

人民委員	ヤ・エ・ルツターク
同代理	ジエ・エム・クリニツキ
同	エヌ・カ・アンチボク
參與員	ジエ・エム・ベリヨンキ
同	エム・エフ・シユキリヤトフ
同	ウエ・ゲ・フエイギン
同	ウエ・ペ・グルウセル
同	ヤ・イ・グインデイン
同	エ・ヤロスラフスキ
同	エヌ・イ・イリ
同	ア・エム・カクチン
同	ウエ・ジエ・カルボフ
同	エヌ・ウエ・クイブイシエフ
同	エフ・ウエ・レングニク
同	ゲ・エム・メリニチヤンスキ

同	ウエ・ペ・ミリユーチン
同	ア・エム・ナザレチヤン
同	エヌ・イ・ナザロフ
同	ア・ペ・パフロフ
同	ヤ・ハ・ペテルス
同	ベ・ア・ロイゼンマン
同	ヤ・デ・ローゼンタリ
同	ゲ・エム・ストレリツオフ

外國貿易

外國貿易の組織

一、政府獨占事業たる外國貿易

ソヴェート聯邦の外國貿易は國家の獨占で、之は一九一八年四月二十二日附法律に依り初めて確定した。斯の如き經濟政策との變化して確立された外國貿易政府獨占の根本主義が其後變化なく今日に至る迄繼續して居る。

此獨占は外國貿易人民委員部の手中に在り、此委員部の許可なくして、又は特に労働防衛會議に於て定めたる法律に依るに非ざれば、又人民委員會議の協賛を経たコンセンションを得るに非ざれば會社若は個人が政府と共同で、或は獨立して輸出入貿易に従事することは出来ない。此種の特權は極めて限られた關係者にの

み與へられるもので、多くは特殊の商品に制限されて居る。

二、外國貿易人民委員部

一九二五年に外國貿易委員部及內國貿易委員部の二を併合して設けた内外貿易委員部は、五年後即ち一九三〇年十一月二十二日の法律に依り再び元の二箇の獨立した機關に分立された。斯くして外國貿易委員部は再生したが、內國貿易委員部は給糧委員會と稱せられることになった。斯の如く監督權を分轄した原因は外國貿易及內國商業が夫々別々の方向に發展し、従つて之を統制する方法も獨立したものでなければならぬと云ふ所にある。內國商業にありては資本的要素は卸賣業に於て全く見られず、小賣業に於ても極めて限られた範圍に過ぎない。殊に産業化が一層進展し、其中心地に多數の人口が集まるに連れ、是等の人口に食

糧品其他の日常品供給は日に日に恐る可き數量に達する爲、之には特殊の政府機關が不斷の監督を行ふ必要がある。他方外國貿易は資本主義的競争を多分に含で行はれ、而も國際的の競争を避けることが出来ない。外國及內國貿易の兩者に關する問題は今や全く別箇のものとなり、之を同時に監督することは最早不適當と考へらるゝに至つた。

外國貿易委員部は一の全露委員會で、換言すれば國營主義の下に全ソ聯邦の外國貿易を統制し、國內及國外の如何を問はず、外國貿易に従事する凡べての機關の活動を監督するものである。

初の間は此委員部自ら實際の取引を行つたが、漸次其直接保護の下に在る他の機關に委任するに至つた。

此外國貿易委員部が再開されてより半年を経過して居るにも拘らず、其定款は未だ正式の許可を受けて居ない。然し近き内に公布されるものと思はれるが、現在では一九二三年十一月十二日に定められた先の委員會の定款が用ひられて居

る。之に依ると該委員部の主要機能は、

- (一)輸出貿易政策の確立、(二)自ら又は特に外國貿易を目的として結成された團體の手を通じて前記政策の實施の支配
- (三)關稅事務の取扱、(四)外國貿易を行ふ團體、會社の結成の四項で、此等の機能は各當局に分割され、各々の活動は外國貿易委員部の統轄する機關と協力して行はれる。此等部門の中主要なものは管理局、計畫部、貿易政策部、稅務部、輸出部、輸入部、通貨取扱部、外國貿易損失防止局、合理局、輸出品々質國家監督局である。

計畫部は毎年の統制表を作成すると共に、各種從屬的の輸出入貿易機關より提出する種々の計畫を基礎として、凡ゆる輸出入に關する計畫の作成に當る。

貿易政策部は各國との貿易上の主義、方法は勿論委員會の貿易政策に關する凡ゆる問題を決定し、外國との間の貿易若くは經濟的の協定を取極、此等の取極に基き義務の履行を監督する。

稅務部は全聯邦内の稅務機關を監督し

商代表が之に當つて居る。

各通商代表部は更に二の機關から構成されて居る。即ち(一)總括的の事務を取扱ふと共に他の一機關の貿易事務を監督し併せて代表部の存在する國に於ける凡ゆるの聯邦會社及個人の經濟活動を監督する、(二)他の一は貿易機關で之は命ぜられた輸出入政策の實行範圍内で商取引を行ふものである。此商取引を行ふ機關は普通聯邦内の重要輸出入機關の代表者を含み、又外國貿易を許可された聯邦内商工業機關からの注文を手數料を徴收して代行するものである。英國に於ける通商代表部の任務は主として前記の(一)に該當するもので、商取引は會社法に基づき一九二〇年に登録されたアルコスが主として従事して居る。ソ聯邦とは未だ條約の締結されてない米國に在てはアムトルグ・トレイディング・コーポレーションなる特殊の會社が設けられ、同國內に於て外國貿易委員會の事業を行て居る。最重要な通商代表部はベルリンにある。以上の外の無條約國に在ては貿易

稅率を定め、關稅賦課其他に關する問題の決定に當る。

輸出部は輸出貿易に關する計畫を樹てると共に、從屬機關をして商品の市場搬出を行はしむる爲の計畫を定め、此等の計畫を委員會に提出し承認を求め、他方從屬機關が前記計畫を如何に實施して居るかを監督し、輸出品の調製、包装、運搬に就ても指揮を與へる。輸入部は輸入貿易に於ける計畫及監督の任に當る。

國家監督局は輸向商品の品質を監視すると共に、必要な標準の決定に當るのである。委員會の組織の中には又外國貿易會議なる機關があり、之は他の委員會の代表者及外國貿易に關する重要な經濟機關(國立銀行、全聯邦商業會議所等)の代表者を以て構成されて居る。此會議は一九三一年二月に組織され、其目的とする所は、(一)海外市場向商品の數量増加を目的とする全聯邦内の輸出資源の調査及原料品の輸向加工の新方法の調査(二)輸向商品の品質改良法及其海外市場の要求に適應せしむる方法の調査、(三)

代理部が設けられてある。

前記以外の會社及政府の各主要機關、例へば聯邦内の各共和國の經濟會議は勿論最高經濟會議も通商代表部に對し顧問の資格で代表者を派遣する權限を與へられて居る。

外國貿易に従事する目的を以て外國に駐在する政府主要機關及會社の全代表者は、各々の通商代表部に報告書を提出し進行の状態を知らしめる事を必要として居る。

前記アルコス以外に倫敦市場に於て若干の主要ロシア産物を取扱ふ目的を以て多數の政府補助有限責任會社が英國の會社法に従て設立されて居る。

五、外國貿易許可團體

外國貿易に従事することを許された團體の中最重要なものは(一)全聯邦輸出入組合(其各々が特に限られた商品の輸出入取引を行ひ得る獨占權を有す)、(二)若干の政府産業機關に附屬する特別の自治外國貿易事務局、(三)政府の参加の下に他の團體に依り外資若しくは共同出資を以て

外國品輸入に關する改良方法の調査である。同會議の決議は委員會の承認を得て初めて効力を發生するものである。

三、委員部の内外代表機關

ソ聯邦内に於ては外國貿易委員會を代表するものは、各組合及自治共和國内の人民委員部若しくは必要と認められた團體に附屬の特別の派遣員で、外國に在てはソ聯邦の名に於て商取引を指揮監督する目的を以て設立された通商代表部が代表して居る。此等通商代表部は外國貿易委員會の支部であると共に、國外に於けるソ聯邦外交機關の一構成要素となつて居る。

各聯合及自治共和國内の委員部代表派遣員の任務は、主として各地方の外國貿易機關が委員會の命令を實行するや否やの監督、輸出入貿易政策の作成及地方に於ける輸向原料品資源の開発である。

四、通商代表部

通商代表部はソ聯邦と條約若しくは協定を結ぶ總べての國々に設置され、各代表部の長としては人民委員會の任命する通

組織された機關。

全聯邦輸出入組合及自治外國貿易事務局は夫々異つた經濟上の團體で、法人たる權利を有し、外國貿易委員會監督の下に活動して居る。是等は何れも獨立の資本を有し、其範圍内に於てのみ責任を負ふものである。然し其取引に對してはソヴェート政府は財政上の責任を負はないと共に、組合及事務局の側に於ても政府若しくは政府機關に對する責任を負担することはない。

輸出入商品の各外國貿易機關間に於ける割當は、特殊の商品を取扱ふ此等機關の夫々の専門に従て居る。輸出の場合には今日迄商品の分配に困難を感じたことはないが、之は輸出品の種類は未だ比較的少く、分類は極めて容易であることに基因する。輸入の場合には割當が錯雜し各種の輸入團體が取扱ふ可き商品の分類を決定するに特別の委員會が數箇月間努力した。此委員會の作成した分類表は二五〇〇種の商品を含み、夫々之を取扱ふ輸入貿易機關に對する割當と共に一冊の

本として最近出版された。

一機關の取扱ふ可き商品を一様に限定すべき根本主義を定あるに當り、前記委員會は若干の例外を設ける必要を感じた例へば箇々の部分品に關しては夫々の取引團體の存在するが如き機械類を完全に商品として海外に注文するが如き場合に若し分擔困難の時は機械の主要部分に關係ある團體に因て全部の注文を發するものとされて居る。

六、輸出入貿易策

外國貿易人民委員部の活動を統制する根本の要素は毎年の輸出入策で之は全聯邦に關する一般經濟政策の一部分を爲すものである。此輸出入政策は關係年度内に於て輸出若は輸入さるべき商品の數量及等級を定めるもので、之が作成に際しては工業、農業、運輸、其他國家經濟の各種部門に互り其要求を十分に研究考慮することを必要として居る。先にも述べた如く此輸入政策は外國貿易に従事する各種の輸出入機關が提出した見込書に基ついて外國貿易委員部の計畫部に於て作

成するものである。更に之は國家計畫委員會に提出されるが、此所に於ては前記計畫は他の政府機關を考慮に入れて再び審議される。次で國家計畫委員會の承認を得た場合更に勞働國防會議の議に附せられるのである。此毎年の計畫の外に詳細な年四回の計畫が外國貿易委員部の計畫部の手に依て作成される。此中には世界市價の變動、輸出品の數量の變化、外國と政治的關係の變化に依り惹起された各種の調整、變更が示され、斯くして變更された計畫は其實施期間が非常に短い爲、年一回の計畫よりは一層實際に近いものとなることは云ふ迄もない。外國貿易に關する國家の根本主義の一は出來得る限に貿易尻の不良を避けることである。輸入は慎重な統制を受け、其量も主として輸出貿易の數量に依り決定され、他方輸出貿易は住民又は國內産業の利益を害さない限り何等の制限をも受けて居ない。例へば食糧品の如き住民の過度の困難を及ぼす程ストツクを激減せしめることは出來得る限り避くる様に注意され

ソ聯邦と條約を結んで居る外國の商船は相互主義に基づきソ聯邦諸港間に於て貨物及旅客の輸送に従事することを許可されて居る。

大小沿岸貿易に従事することを許可する權限は一九三一年一月に設けられたソ聯邦の水運人民委員部の手にある、一九三〇年四月十六日締結英ソ暫定通商取極第三條に依り許與せられる最惠國待遇は大沿岸貿易に限られて居る。

全聯邦の聯合機關として Southaetha nsportが設けられてあるが、之は獨占主義を基礎とし、外國貿易委員會の監督の下にソ聯邦の外國貿易に關する各種の要求を満たすもので、即ち運輸、運送、倉庫業、備船業、荷物積込、積卸、仲仕業及代理店業等を爲すものである。

本聯合は聯邦内及外國に於て同地に在る法人及私人と契約を取結び、又ソ聯邦内外國に獨立の支店を設ける權能を與へられて居る。水運人民委員部の中には次に述ぶるが如き機能を有する特殊の會議が設けられてある。

ねばならない。

ソ聯邦輸入貿易の特徴は消費財の輸入を犠牲にしても生産材(例へば機械、トラクターの如き)の輸入量を増加することである。之は自己の産業に出來得る限り迅速に凡ゆる準備を與へんとするソ聯邦政府の希望が存する爲であるが、之に宛つ可き資金も十分でなく、加ふるに住民には適當の消費品を供給せねばならぬ。従て後者の輸入は全くの最小限度に制限されて居る。

七、貿易の許可

ソ聯邦の外國貿易は最大限度の保護政策に基礎を置いて居る。輸入貿易は內國産業と調和して統制され、海外への註文は國內に於て生産し得ない品物に限る様注意を拂つて居る。

周到な貿易の免許制度は國內農工業の保護を完全に行はしめて居る。輸出入貿易許可に關する手續は一九二五年四月十二日の人民委員會議令の中に定められてある。現行の制度の下に在ては外國貿易委員會が一般的の免許を各種の輸出入貿易

海陸輸出入貿易に對する輸送計畫を調査決定すること、外國船計畫を調査決定すること、定期船に依る運搬貨物、特殊の商品及航路に對する税率及運賃の決定輸出入商品輸送に際して聯邦及外國船の參加割合の決定、ソ聯邦及外國船の就航すべき定期航路計畫の決定、ソ聯邦内諸港に於ける荷物積込、積卸作業の形式決定、外國船及輸出入商品の運送に關し各團體間の紛争解決、各港灣使用に關する規定を決定する。

英國及獨逸並ソヴェイト通商代表部内には備船部なるものが設けられ、ソ聯邦及此等諸國との間の海運、運送に關し發生すべき各種の事務を取扱ふものである。

一九三〇年十二月の法律に依り莫斯科の全聯邦西部商業會議所内に海事調停委員會が設けられた。

之は海難審判若はソヴェイトの船舶又はソヴェイトの領海内で起つた海難救助等に關し、將來起るべき紛争はソヴェイト聯邦内に在ては前記委員會に於て解決

團體に與へ、輸出計畫に依て定められた範圍内に於て夫々振當られた特殊商品の輸出を許可して居る。更に此免許を得た團體は更に先の總括的免許を以て許された範圍内で夫々特殊の取引に對し別々の許可を與へて居る。輸入も亦輸出と同様の方法を以て行はれて居る。數箇の工場若は或場合には全工業を以て成立するトラストは其毎年の計畫に定められた制限内に於て國外より輸入を要する商品の見込書を適當な輸入貿易機關に提出する事更に後者の團體は是等の要求の全額に基づき自己の活動計畫を外國貿易委員會に提示して許可を求めらる。此許可が與へられた時は總括的免許が輸入機關に與へられ、更に此輸入機關は與へられた總括免許の範圍内で特殊商品の海外よりの輸入に對し箇々の免許を與へることになる。

輸出免許は六箇月間、輸入免許は三箇月間の有効期限を有つて居る。尙輸出入貿易の免許期限は外國貿易人民委員會に依つてのみ延長することが出来る。

八、海運と備船

さるべきことを目的として設けられたのである。

九、税関手続及税率

輸出入商品は全部税関を通過し、此際貿易許可證若は免許證を提出せねばならない。現行の輸出入税は一九三〇年一月二十一日に中央執行委員及人民委員會會議の承認を経たものである。従来税率は時々變更され、現行のものは舊税率に比して非常に簡單である。税率は國際間の協定に依て變更されることがある。

一〇、特惠關稅

特種の税率を適用されて居る國々は伊太利、諾威、トルコ、ベルシア及ラトヴィアで、特惠通商條約の締結されて居るのは、ドイツ、リシアニア、アイスランド、丁抹、瑞典及エストニアである。一九三〇年四月十六日英國との間に締結された暫定通商條約中には最惠國條款を含んで居る。

ムルマンスク港を通過する輸出入貿易には特殊の税率が規定されてあるが、之はムルマンスク港（北氷洋に臨むアルハ

ンゲル沿岸地方）及ムルマン鐵道に依る運輸を一層盛ならしめんが爲である。

又東方諸國との貿易を助長する爲に裏海の諸港を經、若は黑海から東に蒙古及中華民國北部に至る間の亞細亞諸國との國境を越へて行はれる輸入貿易には特別の輸入税率が定められて居た。然るにトルコ及ベルシアと特別税率に關する協商が成立した結果、今日では此特別税率はアフガニスタン、蒙古、タンナ、トウーヴア（唐努烏梁海、外蒙古の一部）

外國貿易紛争調停機

關設置に關する法令

ソ聯邦中央執行委員會及び人民委員會は外國貿易紛争調停委員會設置に關し、一九三二年六月十六日附を以て次の如き法令を發布した。即ち

ソ聯邦中央執行委員會及び人民委員會法令第四〇一八三七號全ソ聯邦商業會議所内調停委員會設置の件

一、外國貿易事務に關連せる紛争、又は外國商社及ソヴェート經濟機關との間

を決定す

一、外國貿易委員會の審理決定は最終的にして抗告を許さず

二、外國貿易調停委員會の決定は委員會の定めたる對手方に對し並に決定期間内に當事者之を實行せざるべからず若し此の決議を期日内に實行せざるときは、該決定は聯邦共和國民法強制法を適用し、調停裁判所の決定に移す

三、外國貿易調停委員會手續に關する規定は全聯邦商業會議所幹部の承認を要す

ソ聯邦中央執行委員會議長

エム・カリーニン

ソ聯邦人民委員會副議長

クイブイシエフ

而して右調停委員會設立案は愈々具體化し、全聯邦商業會議所より左の如き顔振れの發表があつた。是によれば委員は各人民委員部、參與級の人が多く定員十五名にして任期は一ケ年、尙紛争當事者は該委員會に對して自己の利益を代表すべき者を指定し、此代理人は外國市民中

に發生せる紛争解決の爲外國貿易調停委員會を全聯邦商業會議所内に設置す

二、外國貿易調停委員會は全聯邦商業會議所幹部により商業、工業、交通及び其他の機關並に外國貿易専門家中より任期一ケ年を以て選任せられたる委員十五名より成立す

三、外國貿易調停委員會はその委員中より委員長及び副委員長を選出す

四、紛争の解決を外國貿易調停委員會に依頼する場合、當事者は外國貿易調停委員會委員中より各調停人一名宛を指名す

五、調停人は外國貿易調停委員會委員中より調停人任命後十五日間以内に審判人一名を選出す。若し前記期間中に調停人によつて審判人選出に至らざるときは外國貿易調停委員會委員長は委員會委員中より審判人を任命す

六、當事者は相互の同意によつて外國貿易調停委員會に對し調停人の任命を委任する事を得、此の場合に委員會委員長は委員會委員中より任命せる一名の

より選定し得ることになつてゐる。

エス・アラロフ

エル・アーカス

カー・ウエツヂエ

デー・ウエイカ

ペー・ウエレンコフ

デー・ウイツトケル

カー・ダニシエフスキー

アー・ゲンキン

ウエー・イワノフ

イー・レンゲル

アー・マリツキ

財務人民委員部參與會員
國立銀行理事會員
重工業人民委員部參與會員
兼ソヴェート聯邦商業會議所長代理
ロシア共和國重工業人民委員部委員
毛皮協同組合中央部議長
護謨協同組合中央部議長
森林人民委員部長代理
輕工業人民委員部參與會員
輕工業モスクワ局長
ソヴェート聯邦商業會議所幹部會員
ロシア共和國人民委員部國家調停委員

エフ・ラビノウイチ

外國貿易人民
委員部參與會
員

エム・ライヘル

財務人民委員
部參與會員

エー・ローゼンタル

水運人民委員
部參與會員

尙ほ調停委員會議長の選舉されるまで
ウエー・イワノフが臨時外國調停委員會
議長に指名さる。

ソ聯邦の在外通商

機關

ソ聯邦が國家獨占貿易主義の下に外國
に駐在せしめてゐる外國に於て商取引を
行ふ通商機關は通商代表部、通商代理部
及其他貿易機關に區別され正式外交關係
を有する國には通商代表部を置き、其他
の國には代理部又は駐在國の法規による
會社組織の機關を設けてゐるが其の數は
漸次増加して最近ソ聯邦の在外通商機關
は二十九ヶ國に設けられるに至つた。そ
の駐在國名及び駐劄通商代表部所在地

は左の通りである。

(モスクワ全ソ聯邦商業會議所發表)

一、通商代表部

- 一、英國—駐劄通商代表 ヤンソン
(ロンドン・ブツシユ・ハウス)
- 二、埃太利—右同
- (維納—ザイツェル・ストラッセ一號)
- 三、獨逸—駐劄通商代表 イ・ヤ・ウエイ
チエル
- (柏林—リンデンシトラッセ二一四)
- 四、デンマーク—右同
(コペンハーゲン市ウエストレ
・ブルヴァイル四)
- 五、伊太利—右同 エム・ア・レウエツン
(ゼノア・セツテンプロ・四二)
- 六、ラトウイヤー—右同ボジズタイシエフ
(リガ市アルベル街・一一)
- 七、波 蘭—右同 ヤ・カ・オベリ
(ワルシヨウ市マルシヤルコフ
スカ—一三)
- 八、土耳其—右同 ホドロフスキー
(スタンブール市グラン・リュ・

一五二

ドベラ)

- 九、フィンランド—右同 エム・エル・ス
タコフスキー
(ヘルシングフォルス市アルベ
ルチンカツ二五)
- 十、チエツク—右同ベ・エス・ソローキン
(ブラーグ市リュツウオワ街一
一)
- 十一、瑞典—右同 カムデラギ
(ストックホルム市クンガガタ
ン四A)
- 十二、エストニア—右同 ゲ・カ・クリン
ゲル
(タリン市モルスカヤ・一九)
- 十三、諾 威—右同 イ・ウエ・ロゴジニ
スキー
(オロス市トルデンスキヨルド
ブラツセ五—一)
- 十四、リトワニヤ—右同
(カウナス市ライスヴェクス・
アレイ)
- 十五、決 斯—右同イ・ベ・シエフツオフ
(テヘラン市)

十六、外蒙古—右同

(ウラン・バートル)

十七、ギリシヤ—右同

(雅典市ベチツシオン街一四一)

十八、滿洲國—右同

(哈爾濱市キタイスカヤ二一七)

十九、佛 國—右同

エム・ゲ・グレイウ
イチ

(巴里—リュ・ドラ・ヴィユ・レ
ヴォリ)

二〇、タナントウワ共和国

(リズイル市)

二一、日 本—右同

コチエトフ
(東京市麴町區丸ノ内仲通五號
館)

二二、クルヂヤ

(ホルゴス市)

二三、カシニガル(新疆)

(トルケシタン)

二四、チユグチャク(新疆)

(バフチイ)

二五、マザル・シエリフ(アフガニスタン)

(テルメーズ)

二六、ガラツト(アフガニスタン)
(クシカ)

二、外國駐在貿易機關

- 一、アルコス株式會社 英國 ブツシユ
・ハウス・ロンドン
- 二、アムトルグ貿易會社 米國 紐育・
ファイフス・アヴェニュー二六一
- 三、ユズアムトルグ會社 アルゼンチン
ヴエノスアイレス市アベニ
ダ・デ・マヨ

外國貿易の實績

(一)外國貿易十五

年の成果

ソ聯邦當局は一九三二年が建國十五周
年記念に當るので、同國の産業、文化各
方面に於ける十五ヶ年間の實績を種々の
形式の下に續々發表しつゝあるが、同國
外國貿易十五ヶ年間の成果に關しては次
の如く語つてゐる。即ち

ソ聯邦對外貿易の獨占制度が施行され
たのは一九一八年四月二十二日であつ
た。革命後最初の二ヶ年は外國より經
濟封鎖を受けてゐたので、對外貿易は
全然行はれなかつた。此の經濟封鎖は
ソ聯邦國民經濟に多大の損害を與へた
ばかりでなく、世界の經濟界にも病的
影響を及ぼし、例へばソ聯邦特産物た
る小麥、木材、石油、穀物、麻等の輸出
皆無のため資本主義各國の經濟界は變
態的狀況を呈するに至つた。經濟封鎖
が取除かれてから、ソ聯邦の對外經濟
關係は漸次恢復するに至り、一九二〇
年になつて、對外貿易は辛く二千萬留
内外を擧げ得るに至つた。一九二〇年
から二二年までのソ聯邦輸入品は主と
して食料品と一般需要品であつた。革
命後一九二二年迄のソ聯邦對外貿易を
第一期とすれば、第二期は一九二三年
から一九二五年迄となすことが出来る
此の期間にはソ聯邦の輸出貿易は急激
に恢復發展の徴候を現はし、一方國民
經濟の發展と共に輸入は生産的品目を

選定するやうになり、例へば、原料、半製品の如き商品が首位を占めた代り第一期に王座を占めてゐた消費品の輸入は極めて僅少の部分に占めるに過ぎなくなつた。一九二四、二五年度の對外貿易總額は百二十八億二百萬留に激増し、此中輸出五億五千五百萬留、輸入七億二千三百萬留であつた。

對外貿易の第三期は一九二六年から一九二九年迄を指すことが出来よう。此の期間にソ聯邦の國民經濟は著しく復興し従つて輸出機關は工業及び第二流品の輸出を擴張する計畫を試みるに至り、此期間の輸入品は急速に發展した。ソ聯邦工業に需要するものが大部分を占めた。原料の輸入と共に工業用機械設備農業用機械並トラクターの輸入が激増するに至り、それに引換へ消費品の輸入は一〇%にまで減少した。一九二八、二九年度、外國貿易總額は十七億千四百萬留に達したが、此の中輸出八億七千八百萬留、輸入八億三千六百萬留であつた。此の他、一九二九年三ヶ

月間（一九二九年度迄ソ聯邦會計年度は三月から翌年九月まで）の中間期に於ける對外貿易額は五億一千萬留である。

ソ聯邦對外貿易の第四期、即ち現在の段階に於けるソ聯邦對外貿易は一九二九年末より始まつた資本主義諸國に於ける經濟恐慌の結果、當然その影響を蒙つて複雑且つ困難となり、殊に禁止的な關稅引上策はソ聯邦商品に對して向けられたかの如き感があり、事情は極めて悪化し、加ふるに世界市場に於ける一般商品市價の暴落があり、且つ英、佛、獨、日本其他最大資本主義諸國の外國貿易高が二三個減少したのに拘らず差したる減退を示さなかつた。即ち一九三〇年の對外貿易總額は二十次に最近數年間の外國貿易趨勢は左の如くである。（單位二千留）

年次	輸出	輸入	總貿易高	増減
一九三〇年一月—十二月	一、〇三三、三七一	一、〇五八、八三五	二、〇九二、一六六	
一九三一年一月—十二月	八二一、三三〇	一、一〇五、〇三四	一、九二六、三四四	▲一七五、九三三
一九三二年一月—十二月	五六三、八八四	六九八、六九三	一二六二、五七七	▲六五三、六六七
一九三三年一月—三月	一一一、一〇三	八八、四〇一	二〇〇、五〇四	▲二六、一五三

(二) 一九三二—三三年のソ聯邦對外貿易各國別統計

ソ聯邦外國貿易人民委員部發表に係る一九三二年一月より十二月に至る一ヶ年間の同國對外貿易總額は左の通りである。

輸出入	數量	金額
輸出	一七、五四七、〇六一	五六三、八八四
輸入	二二、三〇〇、二一一	六九八、六九三
合計	一九、八四七、二七三	一二六二、五七七
入超額		一三四、八〇九

を各國別に示せば、左の通りである。（單位噸、千留）

外國貿易	昨年十二月間		前年同期間	
	數量	金額	數量	金額
日本	七四六、五九九	一〇、一九九	七三〇、九四〇	一九八四〇
濠洲	一三、一五九	四、七六六	三三、四八〇	一三、六六八
英領植民地	三、五三四	六	三	六
英國	八五、五九九	五、八六一	三、九〇九	三、〇六一
埃國	一四、一七	一、二九三	三七、〇四〇	二、三三四
英領國	四、四三三	四、〇〇〇	一四、一五一	二、〇三八
英國	四、二六五、一七〇	一三四、三二一	六八七、三三三	三六、〇七一
英領植民地	三、五、五七四	九〇、九三三	三五〇、一七九	七、三八一
亞爾然丁	三三、三六三	三、三四三	六〇三、一九〇	二、八〇八
亞爾然丁	五、七二四	三、七〇九	八、九一九	五、〇一九
亞爾然丁	三、八八六	六、七五	六、二七四	三、一三九

阿富汗	輸	四、七三六	輸	一、八二七	輸	七、三二〇
獨逸	輸	一〇、九七八	輸	一四、五七四	輸	一一、五三三
白耳義	輸	一一、〇〇三	輸	二一、七六三	輸	一一、六二五
印度	輸	一、六三〇、四四七	輸	九六、〇六一	輸	一三九、三八
西班牙	輸	一、三三、〇〇九	輸	三四、四二一	輸	四二〇、六四五
愛蘭	輸	七二、六七七	輸	一八、八八七	輸	一八、四三八
伊太利	輸	四、三三三	輸	六、一三九	輸	三、五二七
新彊省	輸	一九八、五五一	輸	四、九〇三	輸	一〇、一五三
和蘭	輸	一三三、七二五	輸	四、五五七	輸	九、二四〇
カナダ	輸	四、五〇、八八九	輸	八、〇七九	輸	三、四七〇
希臘	輸	一、五九八	輸	一、五三	輸	三、〇六九
	輸	三、四〇七	輸	一、九七九	輸	一、三四五
	輸	二、〇六四、八六四	輸	三六、〇九五	輸	三九、八二〇
	輸	二七、〇九三	輸	三、一四四	輸	二九、七五五
	輸	五、〇三二	輸	一、〇一一	輸	一
	輸	四、五三〇	輸	三、〇五八	輸	一四四
	輸	八、〇〇六	輸	一五、六九八	輸	一三、九五四
	輸	三、八三八	輸	一一、三〇五	輸	一〇、二二
	輸	九三、九八八	輸	三〇、八〇〇	輸	三九、二六五
	輸	三六、六七九	輸	一一、七〇八	輸	一三、六五四
	輸	六三九、五五一	輸	九、三〇三	輸	一〇、〇八一
	輸	一、一一五	輸	四八一	輸	一、〇四五

丁抹	輸	二八、三三九	輸	六、五三六	輸	一三、六五五
エジプト	輸	五、七五九	輸	三、七六〇	輸	四、七三六
イエメン	輸	四九、三三六	輸	六、六一・一	輸	三、六八一
支那	輸	一、〇四八	輸	九四六	輸	一九、八一〇
ラトヴィヤ	輸	六、六六六	輸	四九三	輸	一、一〇〇
リトワニヤ	輸	五二	輸	三七	輸	三五二
蒙古	輸	八、〇八六	輸	二九、五〇	輸	一〇、六九四
諾威	輸	五九、七八	輸	五、八八八	輸	六、九三一
波斯	輸	一一〇、九七九	輸	九、六三三	輸	二七、八一〇
波蘭	輸	一一、四〇四	輸	五、七七〇	輸	一四、五四九
ルーマニヤ	輸	三六八、二四三	輸	四、一三七	輸	四、一六五
米國	輸	三、五六三	輸	一、一六二	輸	一、三六三
	輸	五、四、四五三	輸	四、三九五	輸	三七、三四三
	輸	五、四、五〇八	輸	一九、三七八	輸	三八、八三三
	輸	三、八、〇八六	輸	三、八一九	輸	三、九六八
	輸	一、四三、四三三	輸	一、四、一三七	輸	一八、九二〇
	輸	一、四三、四四六	輸	二、五、五三三	輸	三三、四七六
	輸	一、五七、六四五	輸	四九、九四〇	輸	四六、四四三
	輸	五九、九五二	輸	四、六九五	輸	七、五二〇
	輸	八一、五二三	輸	五、五三二	輸	三、一七三
	輸	七四、六二七	輸	一、三三八	輸	一、三五二
	輸	二	輸	一	輸	一、三五二
	輸	六三、四、三五〇	輸	一七、〇六三	輸	三、六九〇

肉類	二、三三六	五八七	三、二五三	一、一五五
養鳥類及野禽類	一〇、〇三〇	四、一三一	一八、四五〇	九、六三七
羽毛	八五四	五四二	一、三三八	一、四五五
絹製品	四三一	一、一六三	九二五	二、九五五
其他の牧畜及養禽生産物合計	二、六六三	九〇三	四、二四七	二、一三九
第三類 漁獵生産物合計	三、四三三	四九、五四九	五、六〇八	七、三九五
毛皮	三、九八七、九五九	四、六七三	二、九六三、七三〇	五、一九九
漁業生産物	二七、六一	六、三三八	五〇、〇〇二	一五、三三〇
其他漁獵生産物	三、七四八	六六〇	三、一五五	七六七
以上農業生産物輸出合計	二、三三六、八〇八	一七九、〇九七	五、五七〇、二七四	三四三、二五五
B 工業				
第四類 木材及木材乾溜製品合計	五、五七五、四三三	八〇、一五五	六〇、九九、三九八	一一、五三〇
挽材類	二、六三八、三四〇	四三、六八三	二、七六二、一五八	六七、五〇七
ベニヤ板	九六、一三六	八、五五三	六、一五一	六、九六一
其他の製材	三三七、六四四	四、九一〇	三三九、八八三	六、七六一
未製材	二、六〇三、七一一	二、三三六	三、〇一〇、〇三〇	三三、三六四
木材乾溜製品	三〇、六二二	一、六四四	一六、一七六	一、六〇七
第五類 食料品合計	六四〇、六四四	五、二三五	八〇七、三九七	八三、四三三
砂糖	七六、三二	一三、七九八	三、一九九	三、六八九
植物油	三七、九〇四	四、四〇三	二六、九六二	四、八三六
植物性油	四一六、五三〇	一三、六五九	三三八、六〇〇	一四、一四八
油粕	三一、九一七	四、六〇二	三一、三六七	五、三四九
製粉	一八、六九五	八、四三三	二八、三八五	一五、九四〇
罐詰類				

第六類 其他の食料品	四五、二八九	六、六六二	六九、五四五	九、九四三
鑛業生産物合計	八、七六九、四五四	一三、八、五七五	八、九七五、〇一四	一五、七五五
石炭及コークス	一、七六〇、一九三	一三、三三八	一、六七四、八一	一四、一八二
石油製品	六、〇一、三〇一	一〇五、三三五	五、二三四、三〇二	一一五、六六三
其他の鑛業生産物	一五三、一六九	二、五七七	一三三、三六三	三、七五八
第七類 其他の工業部門生産品合計	三三四、七四四	一四、八六二	三三六、八三三	一一六、五六六
曹達	四〇、七四六	二、二二五	五八、三三九	四、四三八
陶磁器硝子製品	二〇、七七七	四、三八八	一三、五一四	四、三五八
ゴム製品	一、五六九	二、四〇〇	一、六六五	三、五三九
織物及同製品	一九、二九五	五、三六二	一六、六七〇	四、八、三五
亞麻及麻製品	一、四七〇	七九九	一、一三三	九七三
金屬製品及電氣製品	一七、〇七三	九、八七〇	一四、〇六三	八、五〇二
未加工金屬	六、三五八	九、四四三	二、七六六	二、一三五
金物屑	一三、七四〇	二二	三〇、三三八	五九九
ボロ類	一七、九三九	一、七三三	一九、六六八	二、〇五五
其他工業製品	一〇、五三六	三三、五三三	八七、五五〇	三、九〇三
以上工業生産物輸出合計	一五、三三〇、三五四	三八四、七八七	一六、三〇八、八三三	一一六、五六六
輸出合計	一七、五四七、〇六三	五六三、八八四	二、七七八、九〇六	八二、三二〇

二、ソ聯邦の外國よりの輸入品

第一類 食料品及嗜好品合計	四〇六、八九一	五一、六九六	一六、〇六八	四六、九九九
粒穀類	二四八、二三五	二四、〇六六	五、二九七	一〇、七六八
外國貿易				一六一

果實類	一三、六八	二、九九四	八、六〇四	一、五三九
香料	一九五	九一	三九九	三三三
茶類	一五、九九九	七、五一	三〇、七〇八	一三、六三三
魚類	七、六八八	七、八六六	四八、〇七六	七、五三四
其他	五、三六	八、九三八	三、九八四	一三、二〇四
第二類 畜類、同生產物及同製品合計	一三、七〇四	三六、三六一	一五、九四四	五五、六五四
畜類	一〇〇、六三	一八、四三	一五、二七七	三六、一三六
獸脂	四三	二八九	八、六六七	一、六三九
未加工皮革	一六、一八六	六、三九七	一八、七四三	一〇、〇六一
加工皮革	六九四	一、〇〇六	一、九五九	三、九七五
毛皮	五六三	六、〇七一	五三八	四、三九九
第三類 木材、木製品、籠製品、各種植物、植物種子合計	六一七	一、二八七	一四、八七〇	四、一三七
種子類	一、八三〇	九三	四、四六〇	二、四六〇
其他	四、三四一	三六五	一〇、四一〇	一、六七七
第四類 礦物性建築材料及同製品合計	七、四六四	五、三七三	三三、〇六七	一三、〇四六
第五類 燃料アスファルト樹脂及同製粉製物合計	八五、〇三三	一〇、〇〇六	一三八、九九一	一七、八五三
第六類 化學原料及同生產物合計	二七、〇五三	八、三三三	一六三、五六四	三三、五五〇
硫黃及硫黃華	三、〇一一	一九四	三三、三四六	一、二九七
硝石類	二、一六六	三三〇	三、三三〇	四三七
植物性油	六、三三三	一、七八一	四、二八一	九一四
化學生產物	一〇、八七一	四、〇〇〇	八六、五〇三	一四、一三三

第七類 染料類

二、二八三

一、〇六六

一、九七一

一、三三三

鑛石、金屬及各種金屬製品合計	一、四三三、一八六	四五五、四八一	三、三六、三八六	七、八、〇〇九
黑色金屬	八九、四九七	七六、六六〇	一、四七、九五三	二四、五六〇
有色金屬	七三、八〇八	三九、〇六〇	一一、五六三	四九、三六九
銅製品	六七三	一、五五四	八六九	二、一五九
鐵製品	一〇九、四五六	四三、六六〇	二四三、三三三	九〇、八七〇
鐵力製品	六八〇	三七八	一、八四〇	一、五三〇
各種針金	三三、一三七	五、六八九	三八、五八九	九、一三三
各種製品	一、三〇一	七七五	五、三三七	二、五六〇
各種金屬製品	八五	一、〇三八	三五六	一、三三五
手工業器具	六	三三六	四一〇	一、一五四
農業器具	〇・四	二	三	四
機械類	三四一、三五六	二二三、九三三	二二七、四八三	二四〇、七三三
農業機械	五七六	五九九	一〇五、八〇一	九七、五三八
同部分品	五〇、〇三五	五九、九九六	九〇、五六六	九八、八三六
自動・モーター運輸機關	一三、五五六	八、三九〇	三四、九三五	三七、五五六
鐵道車輛	一四、三三二	五、四九四	二、三三六	八、七三三
船舶類	三九、八六六	八、一〇九	三五、九三一	一一、六〇〇
第八類 電氣用品及精密機械合計	四八、六四	七七、一五四	三七、四七八	六八、八四一
化學用機械	一、四三	一一、九三八	一、五六一	一四、八七八
電氣機械	三七、九五	四三、四〇六	一九、五七〇	三〇、三三三
同附屬品	一九、三八六	三三、四八三	一六、三三三	三三、一五六

時計	六	三三	九	三九四
其他	六	一五	九	九〇
第九類 紙及印刷物合計	四、三六	一、三八	九七、七四三	六、四四三
製紙原料	三、三〇	三〇七	六八、八三三	三、四八三
紙類	六四	四四	二九、〇三八	三、五六四
其他	三六三	六九七	三三	三九五
第十類 紡績材料及同製品、ぼろ合計	六、七八	五、七九	一三九、七三九	九一、二七六
絹類	二〇五	一、六七	一三九	九〇七
羊毛類	三、七四	三、九四	三〇、七三〇	三、三〇一
紡糸	五七	六七	四〇八	六三六
綿織物	八	三三	九六	四八〇
亞麻及麻製品	二、四一	一、三六	七、一五五	四、四九三
其他	三	五	三	三三
第十一類 前述の類別以外の商品合計	三	五	六	三三
輸入合計	二、三〇〇、二二	六九八、六三	三、五六四、三五	一、一〇五、〇三四
輸出合計	一九、八七、七三	一、三三、五七七	三五、三四、三五八	一九二六、二四四

(四)一九三二年度主要品別貿易趨勢

一、主要品の輸出状況

1、穀物の輸出大減退

ソ聯邦海外輸出品中で、その大宗たる農産物の輸出状況は著しく減退した。今一九三二年(一月—十二月)の輸出を前年に比較すると数量六六%金額六三%を減じ、ソ聯邦農村問題不振の蹟を裏書した。次に品目別及國別を列記しやう。

△品目別	昨年十二月月間		前年同期間	
	數量	金額	數量	金額
小麦	五七、四九三	一八、七五	三、四九、九六	七、二二
裸麦	四七、四六	一三、七九	一、〇八、八三五	三、九〇
大麦	四九、三六	一、六七	九三、八七九	三六、八五
燕麦	一七、三三〇	六、二四	三三七、〇五	一三、〇三
燕麥	二九〇、三三	六、二四	九六、九六	二、一五八
蜀黍	四〇、六一	一、六四	六〇、六三	二、五七七
元豆	二八三	一、七	一、〇三	六九
扁豆	四、七九	三、四六	五八、七〇	三、六九
挽穀物	五九三	八	二七三	八四
稷	四、六〇四	八五	三、四三五	七〇一
米	七三	三九	一、一〇〇	二七五
其他	一、八三五	七	一、八六五	八
合計	一、七三、三〇〇	五六、八〇〇	五、二八、八三七	一五七、六三五
△仕向國別	六八〇	五	三五、三五八	七四三
英太	一、〇八七、六三八	三、四八	三、三〇六、三〇四	九八、四六三
亞爾然	三〇、五九六	九四〇	二、一四八	一〇六
白耳	五、一〇七	三、三九四	三三、五一	一、〇一一
獨逸	一三六、三三三	四、三三三	五三六、六四	一六、六〇九
和蘭			一八八、二五	五、四九七
外國貿易			一六五	

希臘	一四、四六一	四、九七三	一〇七、八三三	三、四八四
土耳其	五〇、三五五	一、四四五	一四六、〇二四	四、二六六
意大利	一〇三、三七七	—	二、五四三	三三
羅馬尼亞	一、七五五	三、三九一	三三六、〇六七	一〇、八九七
蒙古	五、一七八	九六	九、〇一一	二七五
諾威	一八、〇六〇	九六三	四、三七九	八六三
米國	六、七六三	五七七	五八、四六三	一、五九三
土耳其	七、五三〇	二二七	二、三三三	八九
芬蘭	三三、三〇七	六〇八一	六〇、七七一	一、九六〇
佛國	四、四〇七	一、〇九〇	四、三三七	一、三四五
瑞典	五、四四	一、三六三	一一、三九〇	四三五
エストニア	一、〇五一	三〇	三三、三〇七	一、〇四九
其他諸國	五三四	三六	七〇、四二一	二、〇八〇
合計	—	—	九、六六六	三三七

ロ、世界に進出する露油輸出の内容

ソ聯邦に於ける石油資源の豊富であることは、世界的に有名であつたが、その開發に當り技術的に幼稚であり、又帝制時代には未だ工業的大規模の設備なく従つて海外へ輸出するところまでには容易でなかつたが、帝制時代の權力の失墜と同時に社會主義國家の樹立となり、國內戦も間もなく沈靜し、國を擧げて産業開發及び工業立國に重點を置き、時に一九二八年第一次五ヶ年計畫の實施されるや石油資源開發に當つて莫大なる投資を爲し、漸次増産計畫を立て、今や世界の石油界に飛躍擡頭し海外にその輸出市場の販路擴張に努めつゝあるが、同國原油及び石油製品の對外輸出狀況は左記の如くである。

(單位數量—噸、金額—千留)

品名	三二一年十二月月間		三二一年同期	
	數量	金額	數量	金額
原油	五三、五六六	七、五四七	三三、一七五	六、七〇八
ベネジン	一、九四〇、〇七〇	四八、〇三三	一、六五、四六六	四九、一三六
リグロイン	四三、一七五	五九	五〇、六〇八	一、一〇〇
燈滑油	八四、一五〇	三〇、七〇一	七〇〇、八五四	三三、四七五
潤滑油	四、二二九	一、五三八	四、三三七	一、七七〇
軸油	二九、二八七	八〇五	三三、二〇三	八三七
機械油	一三五、九六三	四、九九七	一七三、七九〇	七、七三五
シリンダー油	三〇、六四四	九八四	三三、六四〇	一、八三四
モーター油	七三、二〇〇	八〇四	五四、一四〇	九二
燃料用重油	一、八五三、六二七	一一、〇四七	一、七八、六〇二	一六、一三五
ガソリン	五四三、三三三	七、〇三三	四三三、六七七	六、六七四
其他	四、〇七六	三〇九	七、四九九	三七四
合計	六、〇〇九、五三九	一〇五、三三三	五、三九、一二七	一一五、〇〇〇
仕向國別輸出	(單位數量—噸、金額—千留)			
日本	三六八、〇三四	五、三六四	一九一、七三九	三、四八八
英國	五九七、一八三	一〇、九二〇	一、〇八四、三七六	二七、三八五
阿富	一、七三九	二七九	一、四七八	二六三
白耳	二七一、九九七	五、四三七	二七三、四六〇	六、九五〇
獨逸	五三三、〇三九	一〇、四七九	三九九、三〇一	一一、〇九六
和蘭	六九、七〇三	一、〇八六	五三、六九三	一、一五六
希臘	六〇、〇九〇	一、一〇一	六三、七三六	一、四三六
外國貿易	—	—	—	—

丁抹	101,035	1,143	109,054	1,458
エジプト	268,039	3,800	136,356	1,532
印度	191,435	4,455	149,088	4,380
西班牙	431,051	7,880	133,160	2,633
伊太利	1,039,519	10,762	1,079,733	15,068
支那	94,509	2,292	39,344	1,807
ラトビア	17,656	499	19,896	582
リトワニヤ	13,960	343	13,859	395
蒙古	8,124	2,016	4,992	1,271
諸威	63,663	69	33,984	363
波蘭	65,436	69	58,074	4,857
米國	38,124	593	19,645	283
ツル	405	71	197	39
トルコ	123,133	1,785	158,463	2,954
芬蘭	19,755	1,005	9,835	491
佛典	967,334	18,430	837,495	18,203
◎エストニア	27,610	4,366	17,163	3,553
エスタニア	4,914	163	11,129	395
其他諸國	168	6	104,361	306
合計	6,011,301	105,285	5,334,301	115,633

ハ、ソ聯邦の石油タンク船

ソヴェート石油の海外輸出が今後如何なる影響を石油界に及ぼすかについては、今の處種々の意見があり、ソ聯邦の石油輸送能力についても果して自國のタンカーによつて對諸國輸送に堪へ得るや疑問視されてゐるが、ソ聯邦の船名録に登載された

るソヴェート・タンカー十隻の船名並に噸數建造期左の如し

船名	總噸數	建造期	ネフテシンチケート	八、三八	一九三八年
アズネフチ	4,877	一九三五年	フルスオイルプロド	836	一九三〇年
エムパネフチ	7,791	一九三九年	ソヴェートスカヤネフチ	8,204	一九三九年
クロズネフチ	4,969	一九三六年	ソユーズ・ゴルラボーチツク	7,000	一九三〇年
クロズヌイ	611	一九三六年	ソユーズ・メタリストフ	7,800	一九三〇年
マイコツプ	1,771	一九三九年	合計	51,037	一九三〇年

右の外最近建造されたるもの數隻あるも未だ船名録に登録され居らず詳細不明である。

二、露材の對外國輸出狀況

世界陸地の六分の一の廣大なる領土を有するソ聯邦に於ける森林の面積は實に素晴らしいものであつて、これが林業に當つて當局が發拓獎勵に努めつゝあることは第一次五ヶ年計畫の投資額を見ても判明する如く、又木材の海外輸出もソ聯邦の主要輸出品中の對外國受取勘定の最大の役割を演じてゐるものである。三二年度對外國輸出狀況は左記の如くである

(備考—金額はF.O.B.價額)

製材	噸		千留		薪	噸		千留		丸太其他	噸		千留	
	噸	千留	噸	千留		噸	千留	噸	千留		噸	千留	噸	千留
日本	3,801	6	28	3	33,663	1,833	—	—	—	—	—	—	—	—
濠洲	4,988	32	56	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
英國	1,245,337	30,039	38,410	3,106	73,452	7,092	—	—	—	—	—	—	—	—
アルゼンチン	18,473	303	3,534	280	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
阿富汗	26	2	39	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
白耳義	154,233	2,606	2,197	177	178,955	1,474	—	—	—	—	—	—	—	—
獨逸	347,597	4,224	6,422	558	339,403	3,032	—	—	—	—	—	—	—	—
和蘭	434,755	7,110	3,421	333	337,238	2,523	—	—	—	—	—	—	—	—
外國貿易	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

英	白	獨	和	丁	伊	米	佛	其
三二九	二、三五三	四、三三三	九三三	三、四五三	一、七三四	一、三二六	一、三二六	一、三五
三	三、四	六、三三	二、七	四、一	三、三六	一、七	三、六	元
一七二	八、五五	七、四九九	一、四九九	一、五	三、〇三六	三、九	三、九	三、七

へ、ロシア砂糖の對外出廻狀況

ロシア砂糖が各國に出廻を始めて一時は豫想外の勢力を張り、國際糖業界に異常なセンセーションを捲起したものであるが一九三二年來其の輸出は俄に減退して一昨年に比し金額に於て實に六割の激減を示した。

△輸出總額

阿	英	合	精	ザ
五、五三三	一、	六、一三	三、七九	三、九三三
二、〇一〇	一、	一、三、七九	八、七三五	四、〇六三
二、七、九三七	六、六〇九	三、九、九六〇	五、一、八〇八	二、七、九六〇
五、七、七三二	一、七、〇〇四	三、九、九六七	三、九、九六九	二、〇、〇三〇
二、五、八七	一、一、〇四	三、六、八九	三、三、六八九	三、〇、〇三〇

二、主要品の輸入狀況

イ、ソ聯邦の製茶輸入近況

ソ聯邦は昨年中に靜岡を中心に本邦綠茶五百七十六萬八千六百二十二封度を買付けた外、臺灣でも綠茶九十萬封度を買付け、日本茶業界に對し活氣を添へてゐるが、同國が果して一ヶ年どの位外國から輸入してゐるか、一九三二年（一月—十二月）の輸入茶を前年に比較すると左の通りで、綠茶に於ては斷然日本が優勢を占め、且つ相當の好評を博し、將來の輸出は發展を可能づけられてゐる。

ソ聯邦の外茶輸入高（單位 噸、千留）

獨	和	支	西	印	埃	希	和	獨
六、六五四	七、八三七	六、八四三	一、七六六	三、五五	一、七六六	二、一七	三、九四八	三、九四八
三、五九	三、〇五	四、三八	九、七六	三、六	七	二、〇四四	五、九六四	五、九六四
六、六〇九	九、三、五四三	八、〇四六	一、六四二	三、〇、七一一	三、六三三	四、三、三三	二、一、三三五	二、一、三三五
一、七、〇〇四	五、七、七	五、七、七	一、六四二	三、〇、七一一	三、六三三	四、三、三三	二、一、三三五	二、一、三三五
九、九一	一、一、〇四	一、一、〇四	八、九	二、一、〇五	二、一、〇五	二、一、〇五	二、一、〇五	二、一、〇五

三二年十二月間

三一年同期間

紅茶	八、一三六	四、三〇三	六、八六三	四、七二二
綠茶	三、一四四	一、七〇八	五、五八〇	五、三三三
だん茶	四、六九六	一、七四〇	八、二六七	二、五六八
合計	一五、九四九	七、七五一	三〇、七〇八	一三、六三三
日本	二、五五八	一、二四五	四、〇三〇	三、〇五〇
印度	四、一〇八	二、三三四	二、六七〇	一、九三五
支那	五、六六八	二、六三四	一一、五九七	五、四三八
其他諸國	三、三三五	一、五五八	二、四〇一	二、三二九

ロ、ソ聯邦の機械輸入狀況

ソ聯邦は社會主義建設のため多くの機械を必要とするが、特に一九三三年より第二次五ヶ年計畫における極東開發には地理的關係から見てもソ聯邦の日本の機械輸入が有望であるから、ソ聯邦の世界市場より一九三二年（一月—十二月）の機械輸入狀況を掲げる。（單位 噸、千留）

合計	二四、三五六	三三、九三三	二七、四八三	二四〇、七三三
日本	四〇四	四四五	八〇〇	五九七
暹羅	一、三三三	一、三三九	二、七八〇	三、五八〇
英國	四九、六〇五	四五、九三六	二一、二四四	二五、一五八
獨逸	一六六、三三三	一三六、八二二	一三、七四三	一三三、七〇四
伊太利	三、三九七	四、〇五三	一、三五五	一、八五八
ラトヴィヤ	—	—	八	一五

一九三二年十二月間

一九三一年同期間

ソ聯邦の各國との主要通商關係

一、獨逸との通商

イ、最近三ヶ年間の貿易關係

波蘭	六〇五	七三九
米國	八、三三三	四五〇
芬蘭	九六	一、三〇七
佛國	九三	一、五三三
チエッコ	四、六三八	三、六一
瑞典	六八	一、五六七
瑞典	一、〇六三	一、八三五

品名	一九三〇年	一九三一年	一九三二年
壓搾機及槌	三二、	五七、	九四、
各種ポンプ	一八、	五一、	五四、
精選機	一三、	六五、	八二、
貨物引揚機	一〇、	二八、	五〇、
送風機	九、	二七、	四六、
電機類	五、	九、	二一、

ソ聯邦と獨逸との通商は一九二五年の協定とその後の諸條約によつて非常に圓滑に發展した。従つて此の間に、ソ聯邦との通過は獨逸經濟の重要部分となつた。一九三一年にソ聯邦は獨逸の輸出に於て第四位を占めてゐたが、一九三二年には第二位を占めるに至つた。併し、一九三一年以來のソ聯邦の對獨貿易のバランスに於て借方が著く好轉して來てゐる事實

を没却してはならない。例へば過去三年間（一九三〇、一九三一、一九三二年）に於ける對獨貿易の支拂帳尻は五億五千萬留（ソ聯邦稅關統計）の巨額に達した。此の事實は、諸國家が多種多様な方法をもつて自國の貿易バランスを平衡せしめやうと努力してゐる今日、特に注意に値する。對ソ通商條件に従ひながらも、獨逸政府は此の重要な問題を決して看過してはゐないと思はれる。

最近獨逸に於ては農業保護關稅の實施が強化されてゐるが、これはソ聯邦の輸出の利益を大いに傷つけるものである。獨逸内に於けるソ聯邦の諸組織に對する公然、非公然の介入、第一に「獨逸工業聯合」に對する介入もソ聯邦の輸出を相當傷つけた。

ソ聯邦と獨逸との通商は世界大戰終結後間もなく取引關係が再開された。最初ソ側は現金支拂を爲せるため對ソ取引金融問題は最近七年間に於けるが如く重要な役割を演じてゐなかつたが、年の経過と共に現金支拂率漸減し手形を以て支拂はんとするに至れり。而して同手形の支拂期間も最初は三ヶ月までの短期なりしがソ聯邦政府の外國工業製品輸入増加に伴ひ漸次長期となり、之より生ずる困難を救ふため一九二三年の獨ソ穀物協定及び一九二五年の一億馬克短期九ヶ月信用協定が成立した。其後ソ側は大規模の工業化計畫を立つると共に其支拂に二年乃至四年の長期信用を賦與せしむ事を要求せるが如何なる大會社も之に伴ふ危険を引受くるを欲せざりしを以て茲に獨逸工業をして長期信用の基礎に於て比較的多額の注文を引受けしめ、以てソ聯邦市場再獲得を可能ならしむるためには國家の積極的援助を必要とすべしとの主張擡頭し遂に一九二六年春三億六千五百萬馬克の取引に對する聯邦及各邦の六割(聯邦

三割五分、各邦二割五分)損失保證引受を見た。

ハ、クレヂット運用方法

右損失保證引受制度の採用と同時に經濟省統轄の下に聯省委員會組織せられ保證申出に關する決定を爲す權限を與へられたるがその事務的取扱は獨逸信託會社に委託せられたり。更に對ソ金融を取扱はしむるため工業金融會社を創設せるが間もなく第一銀行團組織され同銀行團を通じて一億八千萬馬克の手形を割引した。

對露長期取引に對しては右の如く聯邦及び各邦に於て損失保證を引受くる事と爲れるが其後に至り十二月未滿の短期取引に對し輸出信用保險C案により「ヘルメス」信用保險會社をして取引額の七割までの保險を引受けしめた。尤もかかる短期取引については一九三二年夏迄は何等金融問題の統一的解決を見ず、從つて關係輸出商社は自力を以て之が金融を計るの外なく、多くの場合に於て多大の割引料を支拂はざるを得ざりしが昨年八

月之がため第九銀行團組織せられ、茲に始めて統一的金融を受け得るに至つた。一九二六年の三億馬克取引協定に基く注文終了後に於ける長期取引は一九三〇年に至るまでは第二乃至第五銀行團によりて金融を受けたるが、第五銀行團立成と共に初めて「ゴールドジスコンドバンク」再割引者となり第六・第七・第八・第十及第十A銀行團に於ては同行の代りに「ライヒスバンク」再割引を引受くる事となつた。尤も第九銀行團に於ては「ゴールドジスコントバンク」が再び再割引を行つたのである。

銀行團引受の露國割引手形

成立時期	關係銀行數	割引手形總額
第一銀行團	一九二六年九月	一八〇百萬馬克
第二	一九二九年三月	三〇〇同
第三	一九三〇年四月	三〇〇同
第四	同 十二月	一四、五〇〇同

會社及びヘルヘス會社を経由せざるを當然自由なる對ソ取引は何等重要なる意義を有せず其詳細は獨逸側に於て判明して居ない。

ホ、短資協定に依る對ソ取引金融

一九三三年二月十七日改訂商議を了し三月一日より三四年二月廿八日まで有效となつた獨逸に於ける短期外資据置新協定中登錄馬克預託金に關する規定は最重要なる意義を有する處外國債權者は十四日以前にライヒスバンクに通告し且つその異議なき限り同登錄馬克を如何なる種類の用途にも使用するを得べく此範圍内に於て對ソ取引金融も亦可能なるものと認められてゐる。債權者側に於て之に對し相當興味を有してゐることは一九三二年末約二千馬克に達する勞農産木材の對英供給を獨逸に於ける登錄馬克を以て融通せる事實に鑑みるも推測に難くない(英露通商斷交前の報道に依るに英國銀行團は更に三千萬馬克乃至三千五百萬馬克の對英木材供給を登錄馬克を以て融通せんことを計畫してゐた)。其の金融方法

第五	同	一九三二年 二月	一〇〇	同
第六	同	同 九月	一五〇	同
第七	同	同 十二月	一五〇	同
第八	同	一九三三年 四月	一六〇	同
第九	同	同 八月	一四〇	同
第十	同	同 九月	二一〇	同
第十A	同	一九三三年 五月	一四〇	同
銀行團	同	合計八萬六千	同	同

ニ、短資協定と獨逸の對ソ取引

一九三二年に於けるソ聯邦の對獨逸注文は前年の九億二千萬馬克より、四億二千萬馬克に減退した。(ソ聯邦の對獨逸輸出額は一九三一年三億三百萬馬克一九三二年一億九千七百萬馬克)

此の中三億七千五百萬馬克は獨逸信託會社を通じて聯邦及び各邦より保證せられたる長期取引にして其の品種別を示せば左の如し。

品 種	金額(單位千馬克)
器具製造機械	八〇、九四〇
紡績機械	五七六
印刷機械	七八二

を見るに先づ債権者側よりソ聯邦代表部に九ヶ月乃至十八ヶ月を期限として登録馬克を融通し之に對しソ側の手形を引取る外通常在ソ貨物を擔保とするものなりといふ。従つて授信者は對ソ取引に關する一般的信用危険の外擔保貨物が如何なる價格にて賣却せらるゝかの危険をも取受けざるべからざるを以て登録馬克に依る對露取引金融には自ら制限存すべく消息通方面に於ては此の目的の爲使用せらるゝ登録馬克は六千萬馬克乃至一億馬克に過ぎず、又之に適せる取引の範圍も主としてソ聯邦よりの木材、石油及毛皮等の供給に止るものと見られてゐる。一九三三年中に支拂期限到來すべきソ聯邦の對獨引受手形は相當多額に上るべきを以て右登録馬克融通は近く獨逸銀行團よりソ聯邦金生産前貸として提供せんとする五千萬馬克と共にソ側に取引からぬ利益を齎すであらう。

尙ほソ側の獨貨に依る償還額はライヒスバンクの監督に屬する新設信託會社に拂込むべく同社は拂込金額及其投資に付

き詳細なる記録を爲すを以て新協定の管理に屬する預金を登録預託金と稱す。

二、伊太利との貿易

伊太利との貿易關係は相互に利益を與へ圓滑に發展して來た。此の貿易關係は一九二四年の通商條約とその後に締結された諸條約に基礎を置くものである。

伊太利市場に如何なる物資を注文すべきかは、數年前まではソ聯邦に殆んど解つてゐなかつた。其のために外國貿易人民委員部及びその他人民委員會の役員は伊太利から輸入し得る工業品を研究し、その結果伊太利に對しベヤリング、電氣機關車、電氣機械、その他各種の機械を大量的に注文した。斯くしてソ聯邦は伊太利にとつて各種物資の主要購買者となつたのである。これがため伊太利との通商締結初頭及び戦前に於ける貿易に比較して、ソ聯邦對伊輸出及び伊太利よりの輸入の相互關係は著しく變化した。戦前に於けるロシアは伊太利に對して購買額よりも四倍多く輸出してゐた。それに比

して最近四ヶ年の貿易狀態は左掲の表の如く變化してゐる。(ソ聯邦稅關統計、單位千留)

伊太利に對する ソ聯邦の輸出	伊太利よりソ 聯邦への輸入
一九二九年 三、〇〇〇	八、〇〇〇
一九三〇年 三、〇〇〇	一、〇〇〇
一九三一年 四、〇〇〇	三〇、〇〇〇
一九三二年 三六、〇〇〇	三七、〇〇〇

伊太利の統計は此の表とは少々違つた數字を示してゐるのは事實であるが、貿易バランスの發展傾向はいづれの統計の示すところも同じである。ソ聯邦の貿易バランスの受取勘定は、ソ聯邦の統計によつて見る如く、最近三ヶ年に金額に於ても割合に於ても低減して來た。ソ聯邦政府は目下伊太利政府と外國貿易に關する補足的條約の締結を行はんとしてゐるが、これはソ聯邦の通商條約を今後益々鞏固せしめるであらう。

三、佛國との通商

佛國とソ聯邦の貿易關係は、今日まで

満足すべき狀態を呈してゐない。これは通商協定の缺如及び同國に於けるソ聯邦の注文に金融する鞏固なる機關の缺除がその原因となつてゐる。佛國政府の支配的地位にあつた或る人々の態度も極く最近まで、ソ側が對佛通商關係の正常化を妨げてゐたが、併しこれ等の人はソ聯邦の對佛輸出に反對する公然たる手段を採らなかつた。最近、特に不侵略條約調印後、此の情勢は幾分好轉して來た。佛國及びソ聯邦は、近き將來に於て兩國の利益に即したる通商關係の發展のため必要なる努力を拂はねばならない。

而して一九三二年九月松方幸次郎氏とソヴェート「石油輸出」聯合との間にモスクワに於て露油供給契約締結後間もなく右「石油輸出」聯合と佛國下院燃料委員會議長シャルル・パロン氏との間に期限五ヶ年の露油供給に關する契約が調印せられた。松方氏と同様三三年春供給第一船が佛國に向け發せらるゝことになつたが、右に關しバクー及びクロースヌイ地方の油田並にソヴェート精油事業の

實地觀察を遂げたパロン氏はソヴェート側新聞記者に對し左の如き感想を述べてゐる。

貴國に於ける精油技術の向上と、品位高き各種の製油を生産してゐる現状を見て意を強くした。歐洲戦争前まで貴國は僅か五六種の製油しか出さなかつたが、現在では輕油を初め溶解點の高いアスファルトに至るまで三十種以上の石油製品を出してゐる。尙ほ貴國は石油のほかに我々の需要する各種の原料を佛國に輸出する可能性をもつてゐるから、若し佛國政府が現在失業者に年々支拂つてゐる失業手當に相當する金額を我國の輸出業者に對する國家補償の増額に廻したら、之に對しソ聯邦及我國失業者全體を救済するだけの大注文を年々我國に向つて發することと信じる。

四、北米合衆國との通商

北米合衆國とソ聯邦の貿易關係は一九三〇年及び三一年まで進展した、此の期

間に於ける合衆國からのソ聯邦への輸入額は三〇年は二億六千四百萬留、三一年に二億三千萬留に達した。北米合衆國に對するソ聯邦の注文は、米國の重要工業部門に對して大なる役割を演じた。然るに、ソヴェート物資の對米輸出は今日に至るまで少からず妨害された。事實に於て、ソ聯邦が輸入代金として米國に支拂つたソヴェート産金は輸入禁止の厄にさへ遭遇した。

この外、ソ側の注文に對する金融問題に於ても、合衆國はヨーロッパよりも遙かに短期間のクレヂットを提供してゐる外交關係及び通商相互關係の正常なる法規的基礎の缺除せるソ聯邦對米貿易に影響を與へずにはゐなかつた。

斯かる事實の結果が、ソ聯邦が三一年三二年の間に、米國に對する注文を極度に減少せしめねばならぬ理由であつた。米國産物資の購入は、一九三二年に於ては、前年に比して七、五分の一に減少した。而してソ側が合衆國より多量に輸入してゐた機械類をソ側に於て製造する

ために此の種の工業を國內に起す必要にせまられた。併し、夫れであるからといつて今日ソ聯邦が合衆國から一物も購買するには及ばぬといふものではない。否北米合衆國の如く、ソ聯邦に對する大なる輸出は容易に見出すことは出来ない。又、北米合衆國はソヴェート物資集散の大市場ともなることが出来るであらう。

五、英國との通商

英國との通商關係に就ては少し詳細に述べる必要がある。一九二七年に英國の保守黨内閣によつて斷絶されたソ英外交關係は一九二九年に於て恢復され而して一九三〇年四月十六日附の通商暫定條約が署名されて以來、英國との通商は急速に發展しはじめた。而してソ聯邦は、一九三〇年に英國の輸出貿易に於て占めてゐた第十六位の地位から一躍して一九三二年には第七位を占むるに至つた。此の間に英國の輸出貿易に於て占むるソ聯邦の割合は二倍以上になつた。殊に

一九三二年に於て、前年よりも多く英國から輸入した國はソ聯邦のみであつた。ソ聯邦は英國に對して、英國の必要とする原料(木材、石油)を與へ、英國からは優秀な機械や器具並に黑色金屬及び同製品を購買した。ソ聯邦税關統計によれば、英國から輸入された重要品目は左の如くである。(單位 千留)

機械類及び器具	一九三二年 三、五〇〇	一九三一年 四、九〇〇
電氣機械類	三、〇〇〇	四、三〇〇
銑鐵、鋼鐵製品	八、〇〇〇	五、一〇〇
黑色金屬	五、九〇〇	九、七〇〇
機械部分品	六、四〇〇	四、七〇〇
ニツケル	二、四〇〇	一、九〇〇
總計	五〇、八〇〇	七、七〇〇

ソ側の注文が英國の重要工業部門に如何に大なる影響を與へたかは次の數字によつて知ることが出来る。即ち一九三一年に於ける英國の機械輸出總額は三千三百萬磅であつたが、そのうちソ聯邦への輸出額は四百四十萬磅であつた。而して

一九三二年に於ける英國の機械輸出總額は二千九百五十萬磅に低減したが、ソヴェートの資料によれば、そのうちソ聯邦への輸入額は七百五十萬磅即ち全體の二五%強に相當してゐる。此處に各種機械の輸入狀態に關するより明かな數字がある。(此の數字を一九三二年度に於ける駐英ソヴェート代表部の報告から採つた)即ちソ聯邦の英國製旋盤の輸入は一九三一年に百四十三萬四千磅、一九三二年に二百九萬四千磅であつたが、それは前記年間に於ける英國の旋盤輸出總額の七四%と八四%を占めるものであつた。換言すれば、英國工業の狀態が、將來惡化しても、英國の旋盤工業だけは少くともその生産力の七〇%を發揮することが出来る譯である。ソ聯邦は一九三二年に於て英國の電氣機械及びボイラーの輸出中、第一位を占めた。その金額は百二十萬磅といふ壓倒的數字を示し、此の種機械の輸出額の二五%を占めてゐる。然るに前々からソ聯邦との通商關係を

たが、それはソ側が惹起したものではない。アフガニスタンとの通商 ソ聯邦とアフガニスタンとの間には通商條約が締結されてゐない。貿易關係は狭い基礎の上で行はれてゐる、これは國境貿易の範圍を脱してゐないからである。然し此貿易は兩國に利益を齎す程度まで増加せしめることが出来るであらう。蒙古及び唐努(ウリヤンハイ)との通商 此等の民族共和國とソ聯邦の外國貿易は漸次増大しつゝある。此等の國が世界恐慌の影響を受けないのは、ソ聯邦の友誼的通商政策の結果によつて説明されるのみである。ソ聯邦の對外貿易は此等の國の國民經濟を著しく助けてゐる。特に、畜産業の向上、手工業の發展及び道路運輸業の向上に著しい援助を與へてゐる。新疆(西方支那)との通商 西方支那との通商は圓滑に進んでゐる。西方支那に對するソ聯邦の輸出は異常に増加し、同時に西方支那からの輸入も大に發展し

破壊せんと努めてゐる現在の英國政府は右の事情を無視して一九三〇年四月十六日附の通商暫定條約を破棄せんと試みたそののみならず、英國政府は、スパイ行動及び妨害行動をなしたる英國人をソヴェート裁判に附することを牽制するため一九三三年四月十九日英國はソヴェート重要物資輸入禁止令を發した。過去に於ては、かゝる手段によつて、英國に隸屬せる國から何等かの結果を得られたかもしれないが、然し今回の英國政府の態度は現實を無視せるものと言はねばならぬ。

六、ソ聯邦及其他諸國との關係

一九三一年三月十六日に締結されたる通商條約及び一九三二年四月十六日に於ける補足的協定に基礎を置く對土貿易は兩國に利益を齎して發展して來た。近年ソ聯邦は、土耳其の重要輸出品(絨毛、家畜)に於て七〇%乃至八〇%に上る大なる地位を占めてゐる。土耳其に於ける

工業建設事業に對するソ聯邦の長期クレヂット設定に關する一九三二年度の協定は、土耳其との通商關係の鞏化を實證するものである。今日、この協定は既に實現されはじめてゐる。スエーデン、ノルウェー、デンマーク、ギリシヤとの通商も正常の狀態で進んでゐる。フィンランド及びポーランドとの貿易關係は相當の活況を呈してゐるが、特にポーランドの實業とソ聯邦の經濟機關との間には、以前に増して繁密な事業上の接觸が行はれてゐる。リトアニア及びエストニアとの通商關係も淀みなく進んでゐる。ラトヴィヤとの通商關係は近年貿易上の活況が稍々減じて來た。

ベルシヤとの通商 ベルシヤとソ聯邦の通商相互關係は一九三一年の協定によつて生じた。この協定に基いてソ聯邦の外國貿易は、その活動開始初頭に於て正常に發展した。遺憾ながら一九三二年以來、ベルシヤとの通商相互關係には、その正常なる發展を妨げる混亂が入つて來

てゐる。

日本との通商 ソ聯邦對日貿易は概して圓滑に發展してゐる。日本はソ側の多くの物資に對して興味を示してゐる。他方日本には、ソ側の求むる物資を購買し得る可能性がある。特に極東地方に對しその可能性がある。(別掲通商關係の部参照)

支那との通商 長年月に亘る支那との國交斷絶は同國とソ聯邦の貿易高を極度に縮少した。然し、ソ支兩國間の貿易擴張には希望をもつことが出来る。

外國貿易十五ヶ年祝賀會に於けるローゼンゴリツ氏の演説の結論

外國貿易獨占の現字とソ聯邦の重要國民經濟部門の發展は、我國の外國市場に於て極めて大なる掛引の能力を我々に與へるのである。これが即ち資本主義諸國に對する我國の優越である。而してこの優越は今日外國貿易制度に課せられてゐる新しい諸任務の解決に可能性を與へな

ければならない。特にこの優越性は、新市場に應じたる物資の輸出の可能性を與へ、それが不可能なる場合には他の物資を輸出する可能性を與へるものである。最近八年間に、輸出品目は五十種から八百種に増加した、而して第一次五ヶ年計畫の初頭に輸入された多くの物資は、五ヶ年計畫の末には却つて輸出される物資となつた。

農業生産物の輸出	七〇%	一九二八年	一九三三年
工業生産物の輸出	一〇%	四四%	六四%

而して、此等の物資の中に於ても、重要な輸出物資の割合が増加したのである。(ベニヤ板、石油製品、加工毛皮等)我々には輸出生産物の質を高める任務が課せられてゐる。

而して又、外國貿易制度には輸入活動に於ける重大な諸任務が課せられてゐる。此處で私は、外國で購入する物資の値段引下げ運動を一層盛んにすることに注意をうながし度いと思ふ。我國に於ては現

外國貿易の國營なくして我等は大工業、小集團農業も亦社會主義の基礎をも建設する事が出来なかつたであらう外國貿易の國營を實施する事に依り始めて我等は五ヶ年計畫を四ヶ年にて完成しソヴェート聯邦を工業國に變移せしめ得たのである。

外國貿易に關する法令が發布され、共產黨が「我が國の如く」之を擁護せんと宣言してから最早十五ヶ年になる而して今こそ我等はソヴェート聯邦は世界に於ける經濟的且つ工業的獨立社會主義國家になつたといふ事が出来る譯である。外國貿易國營によつて保護された經濟の力強き發達により現に先進資本主義各國の基礎をも揺がしつゝある世界經濟恐慌は未だソヴェート國境を越す事は出来ないのである。革命以前に於て輸入の最大部分が資本家地主の消費に宛てられる項目であつたのに反し、今日に於ては機械類、即ち發電所、自動車、トラクター、冶金其他諸工場用の機械ばかりであり之こそ過去

のロシヤになくして後進國を工業國になし革命的速度による工業並に社會主義的農業の發展に必要なものであるかくして工業生産は一九一三年の百億ルーブルより一九三二年には三百四十ルーブルに躍進し、一九二八年より一九三二年に至る四ヶ年間に重工業生産高は四倍以上となり、輕工業も亦殆んど二倍となり、この間人口は約八分を増加した。之こそ人口増加と國家收入増加の重要な證據である。

外國貿易人民委員部

人民委員	ア・ペ・ローゼンゴリツ	同
代理	シヤ・ジエ・エリヤワ	同
	ア・ウエ・オゼルスキー	同
	イ・ヤ・ウエイトセル	同
	エス・カ・スヂーン	同
	ベ・ウエ・アニケーエフ	同
參與員	デ・エス・ウエイカ	同
	ベ・エス・ペレニキー	同
	イ・ウエ・ボエフ	同
	エヌ・ア・ボゴロモフ	同

在既に、拂過ぎの排除、高過ぎるクレヂットの排除、輸入物資の質的改善の要求を實施すべき客觀的可能性がある。蓋し恐慌裡にある資本主義商館は凡ゆる場合に賣渡す物資の質を低下するからである。

ソ聯邦は、今日に至るまで比較的高價に買入れながらも、世界に於て最も正確な支拂者である。従つて契約條項に相應した良質の機械、半製品及びその他輸入物資を買ひ、且つ受け取ることを要求し得るものである、又是非共そのやうにせねばならぬ。

國家獨占十五週年とブラウダ

外國貿易國營十五週年記念日に際し共產黨機關ブラウダ紙は四月廿二日の紙上に左の如き論説を掲げ過去十五ヶ年間に於ける外國貿易國營の功績を讃へてゐる。計畫經濟の一部としての外國貿易國營は屢々反對勢力より攻撃を受けたが、我等は全國一致して之を防護した。

同	エス・ゲ・ブロン	同
同	エム・ゲ・ブロンスキー	同
同	カ・ハ・ダニシエフスキー	同
同	エス・エム・ドボライツキー	同
同	エル・ハ・フレツドリシユソン	同
同	エム・ゲ・グレウイチ	同
同	エス・ベ・ジュコフスキー	同
同	エム・ア・カツチエル	同
同	エム・エム・ハリトノフ	同
同	エフ・エフ・キレウイツ	同
同	ア・ア・キツシン	同
同	ア・エフ・ニン	同
同	ウエ・エヌ・コチエトフ	同
同	ベ・イ・クラエフスキー	同
同	ウエ・ア・クウルツ	同
同	エム・ア・ロガノフスキー	同
同	エス・ア・メツシング	同
同	ベ・イ・ブラフニク	同
同	ハ・ヤ・ラビノウイチ	同
同	エヌ・エヌ・ローム	同
同	ヤ・ア・ソコリン	同
同	エム・エル・ソロキン	同
同	ア・エム・タマリン	同

ソヴェート國內商業

全聯邦共產黨中央委員會議決議

一、ソヴェート商業の發展

一九三二年九月に開かれた全聯邦共產黨中央委員會議はソヴェート商業の發達に關する決議を行つたが以下その骨子を紹介する。

ソヴェート商業の發達問題において我々は成功したか？ 勿論成功してゐる。それを立證するのは總會の決議中に引用されてゐる數字である。

然しながら近來發達したわが國の商業は可なり不満足なものである。これはまだ個人經營者を充分に驅逐してゐない。將來これを全面的に發達せしめることが必要である。

次に、黨は市場に於る商品数を増加す

兎場においてである。これらの先進的な組織に平行する必要がある。

尙ほ各種の家畜や家禽類の飼養の發達を勞働者間に全面的に獎勵する必要がある。

現在重大な意義を帯びてゐるものは社會的養育組織である。わが國の社會的養育團體は約一千五百萬人のために活動してをり、莫大な資本を運用してゐる。しかしこれらの資本は正しく利用されてゐない。多くの經營者、専門家、若干の各地の黨組織は今日まで該問題に充分な注意を向けてゐない。

三、今後のソヴェート商業政策

今や、社會的養育問題、協同組合およびソヴェート商業に對する官僚主義的怠慢や、紳士の輕蔑に訣別すべき時でありなほ共產主義者にとつては勞働者の境遇改善より以上に高價な任務は存しないことを徹底的に學びとらしめるやう、經濟組織、勞働組織及び各地の黨諸組織の注

ソヴェート國內商業

ることに成功したか？ 勿論成功してゐる。特に成功したのは農村への商品供給の問題においてである。

然しながら多くの地域においては需用過多が見られるにも拘らず、やはり商品不足を告げて居り、常に商品の強制的選擇が行はれてゐる。

肝要なのは市場のための商品の數量を増大することであり、また我々の掌中にある商品資源をなほ一層巧みに、且つ自由自在に運用することである。

二、協同組合

我々の商業機關、特に協同組合は二つの基本的な形態によつて、自己の商品を得る。即ち大量供給と購入とである。

協同組合の任務および、協同組合内に活動してゐる共產黨員の任務は次のことにある。即ち、この反黨の方針の決定的

意を協同組合、並にソヴェート商業に向けしむべき時である。

然るに、ソヴェート商業の發達は、これを組織すべき才能に依據するは勿論、なほ黨の各部分内に存在してゐるところの、ソヴェート商業に對する輕視的傾向の決定的な征服に係つてゐる。またそれは、わが國の商品的資源および廣汎な市場のために作業してゐるわが國工業に、極めて多大に關係を有してゐる。

黨は斷じて輕工業の發達を輕視しなかつた。わが國工業の生産は一九二八年より一九三二年迄に一六〇％餘増大した。わが國においては近年輕工業の多くの新部門が發展し、その或る部門（革の履物類、裁縫）は戦前に比較して自己の生産を著しく増大した。食糧工業についてはもはや云々するまでもない。

第十六回黨大會において同志スタリーンは中央委員會の政治報告のなかで次の如く述べてゐる。

「わが國工業の發達における新事實は取りわけ我々が迅速なテムポをもつて重

な征服と、購入の最大限の發展、協同組合特にZ R K（工場の名稱）の企業に附屬してゐる協同組合の独自の供給上の基礎の擴大、都市近接地の經濟の今後の開發等である。

右が、ソヴェート協同組合を鞏固にし勞働者に對する供給問題を改善する現實的な方法である。

しかしそれがためには以下のことが必要である。即ち、協同組合の中堅分子を強壯ならしめること、畜積の事務を統制すること、集團農場との取引によつて我々が入手しうる資力を極めて廣汎に、且つ充分に利用すること、これである。その場合ソヴェート商業、特に集團農場商業の右翼日和見主義的な、しかし本質的にはブルジョア自由主義的な理解と決定的に闘争し、なほ投機や投機的價格と決定的に闘争しつゝ、買占人や投機師を除外することは勿論である。

箇々の協同組合組織および企業は各自の經營の組織において大なる達成を遂げてゐる。即ち蔬菜集團農場、酪農場、養

輕工業を發達せしめる可能性を今や得てゐることにある」

一九三二年の春、中央委員會は重工業の線および、産業協同組合の線による廣汎な必要品の生産増加に關する決定を行つた。然るに中央委員會總會の決議はこれらの決定の實踐に關する重工業人民委員會並に産業協同組合の不十分な活動を指摘してゐる。なほ中央委員會總會の決議は、一般必要品の生産を擴大させるための廣大な計畫を指示してゐる。

右の計畫遂行の條件は、一般必要品の生産をもつて人民委員會（特に輕工業人民委員會）並に産業協同組合の指導的活動の不足を斷然清算することであり、輕工業に對する黨諸組織の注意を決定的に強化することである。

然しながら、わが國の全ソヴェート經濟と同様、輕工業を迅速に發達させる爲の必須條件であり、廣汎な必要品の充分な量をもつて商品流通のすべての部分を満足させるための須条件たるものは、わが國社會主義建設の基礎である重工業

しかもまづ第一にその指導的部門である有色金屬冶金を愈々鞏固にすることである。

とは言へ、わが國の有色金屬冶金の大なる可能性は充分に利用されてをらず、しかも冶金は計畫（特に鋼鐵の生産および賃銀に關する）より著しく後れて、殘餘のすべての工業部門の發達を阻止してゐる。今日かゝる事實が發生してゐるのは工場、企業合同、勞働組合および黨諸組織の悪しき活動の結果であり、また重工業人民委員會の側よりの具體的指導の不充分の結果である。

こゝにおいて、中央委員會の決議は有色金屬冶金の發達と、我國の全經濟活動を阻害するその立後れの清算とにおける決定的な急轉點とならねばならないのである。それがために必要なのは第一に、有色金屬冶金そのものと、それが指導するすべての環の活動を改善することである。

更にそれがために必要なのは黨全體および、凡ての經濟組織の側よりの冶金に

對する注意を強化することである。石炭工業並に運輸の方面が從來立後れてゐる結果、現在わが國の冶金の今後の發達は忽にすべからざる脅威を受けてゐる。如何にかしてこの脅威を豫防することが肝要である。

なほ中央委員會總會は、社會主義建設の當面の問題に關する多くの最重要な決議を行つた。これらの諸決議を中心として、黨全體およびその指導の下にあらゆる勞働者並に集團農場大衆が動員されねばならぬのである。

ソヴェート集團農場商業の全面的な發達の成功、協同組合の活動、社會的養育の改善、プロレタリア並に勤勞大衆への供給問題の決定的な改善。

經濟的並に黨諸組織を一般消耗品の生産に向けること、これなくしては勞働者に對する物品供給の實際的な堅實な改善は不可能である。

わが國工業の最重要な指導部門たる有色金屬冶金の立後れの清算。
わが國經濟のすべての部分における統

並に穀類倉庫は九千に及んでゐる。
消費組合中央同盟は一九三二年度に一萬三千百の店舗を開設したが、そのうち都市においては五千四百、農村においては七千七百、なほ二萬二千五百の一般倉庫並に穀類倉庫が設備されてゐる。消費組合の小賣網は本年度に二〇%ほど増大し、店舗は十六萬七千七百、一般倉庫並に穀類倉庫は四萬八千七百に及んでゐる。

二、中央委員會の決議實現のため、供給人民委員會産業合同の卸賣の基礎網は全國に亘つて發達した。三月一日より九月一日までに開設された地方の卸賣の基礎は六百三十五、そのうち極東十四、東部シベリア六、西部シベリア二十七、中部アジヤ二十三、カザクスタン二十六。供給人民委員會の國營商業および消費組合が發展させた各地區間商業の基礎網は、供給人民委員會所屬のものが七十四消費組合中央同盟所屬のものが二百八十八。その上消費組合中央同盟は三十八の地方基礎を開設してゐる。
しかし供給人民委員會工業部、協同組

ソヴェート國內商業

制的なポリシエヴィキ的指導の保證。
第一次五ヶ年計畫完成の保證と第二次五ヶ年計畫への接近の實現等々。

四、ソヴェート商業の發達に就て

供給人民委員會並にソヴェート聯邦消費組合中央同盟の報告、並にソヴェート商業の發達に關聯する中央委員會決議の遂行に關する中央統制委員會——勞農監督の連帶報告を聴取した後、全聯邦共產黨（ポリシエヴィキ）中央委員會總會は次の如く決定する。

一、各種商業網の發達強化に關する中央委員會の決議實現のため、ソヴェート聯邦供給人民委員會は一九三二年度に七千百の店舗を開設したが、そのうち地方都市においては二千八百、農村地方においては四千八十、なほ同年度に五千九百の新規の穀類倉庫と一般倉庫が設備された。供給人民委員會による國營商業の小賣網は一九三二年度の七ヶ月間に約六七%増大し、店舗は二萬六千三百、一般倉庫

合、國營商業の卸賣の基礎が數の上で著しく發達したにも拘らず、多くの産業並に商業組織はなほ依然として倉庫や運送機關であり、強制的な選擇により、また他の商業組織に損傷を與へるが如き自己の管轄下の小賣の實行によつて、屢々機械的に商品を分配してゐる。モスクワ、レニングラード、およびその他の諸都市における、之等諸都市の直接的に商業してゐる網による菓子、煙草、バター、罐詰類の卸賣の基礎や支部を通らずに行はれる割當の如き積極的な事實と相並んで、多くの場合直接に小賣商業網にゆきうる多くの商品が卸賣の基礎にまき散らされてゐる。これはそれぞれの地區における産業の基礎および商業組織の不充分な配置等が、商品流通における輸送の喰ひ違ひや、澁滞といふ結果を招いてゐるからである。

三、商業網の著しい發展、商品流通の著しい發達にも拘らず、商業機關の活動に於ては中央委員會の一聯の決議の中で指摘されてゐる缺陷が今日に至るもなほ

除かれてゐない。これを立證するものに次の如き事實がある。即ち商品の機械的分配や、各地區における需用の不充分な算定の結果、他の地域においてこれらの商品を賣捌かぬことによつて生ずる一地域における生産過剩、商品流通の固定化これによつて生ずる強制的選擇の適用、近時發生してゐるところの、國家價格政策の實踐における規律の弛緩、該政策の直接的な歪曲、運用費、特に管理機關や餘分の商業代理部の増設に關する運用費の増大、最後に、商業機關の主要關係者の充分なる検査の不履行および商業機關への異分子の侵入を立證してゐるところの商業機關内部の横領や、私消事件等。

四、市場外の需用者に對する在荷の減少を考慮に入れての、特に農村の爲の工業製品の市場在荷の擴大に關し、又、市場外の需用者への商品の優先的な卒先的な配給方法の廢止に關する全聯邦共產黨（ポリシエヴィキ）中央委員會決議の遂行にあたり、最近三ヶ月間に（三月より六月に至る）商品の配給の實狀は市場の需

用者、特に農村にとつて有利に變更されてゐる。

十二種の工業製品の配給に對する最初の計畫の十五億ルーブルから十八億ルーブルまでの増大に關する、しかし初めの半ヶ年には充分遂行されなかつた中央委員會の決議も、最近數ヶ月は可成りの速度で實行され、それは全聯邦共產黨中央委員會の指令が決定してゐる範圍における農村への一年間の商品搬入を保證してゐる。それについて注意せねばならぬのは、地區によつて商品搬入が時機に適してゐないこと、並に各地區の經濟的特殊性を充分に算定しないこと、等である。中央委員會の決議にも拘らず、一九三二年度においては農業上のストックを助成するための工業製品の特別資金の縮小状態は極めて不満なものである。特に農村の商業諸機關、殊に協同組合の實際においては、屢々黨並にソヴェート諸機關の直接的指摘によれば、正しい商品流通の秩序において店舗で商品を販賣する代りに、需用者へ集團農場をも含めての種の

々なグループに對する一覽表による商品の放態な使用や分配が行はれてゐる。

供給人民委員部

人民委員	ア・イ・ミコヤン
同代理	ペ・ヤ・ウオルコフ
同	エム・ア・ホブリヤニキン
同	エム・ア・チエルノフ
同	エヌ・ペ・ブリユハノフ
同	エム・エヌ・ベレンキー
同	カ・ウエ・ウハノフ
同	エフ・イ・アンドレヤノフ
同	ベ・エヌ・アウデエーエフ
同	ア・エス・シャトハン
同	エヌ・ベ・エイスマント
同	エヌ・ヤ・グロツスマン
同	ア・エル・グイリンスキー
同	エヌ・ベ・イングロフ
同	ア・エム・ユリソフ
同	エヌ・ゲ・イブノフ
同	エル・ヤ・キシス
同	ベ・イ・コロモイツエフ

同	エフ・デ・コルニウシン
同	エム・エフ・レヴィテイン
同	イ・エス・ロバチエフ
同	エヌ・イ・マルコフ
同	ア・エル・モロチニコフ
同	カ・ヤ・ローゼンタリ
同	カ・ベ・ヴィガンダ
同	イ・ベ・ウオロビエフ
同	エル・ア・ゾーリン

交通運輸

交通運輸概観

一、交通運輸沿革

歐亞大陸に跨がり、世界陸地の六分の一といふ擴大なる領土を有するソヴェート聯邦に於ては、交通運輸は殊更重大な意義を持つて居るが、しかも帝政時代より此方面で極めて貧弱なる遺産を受けついでたこと、世界大戦、内亂等のためその貧弱なる運輸機關を更に極度の荒廢に歸せしめたことはソヴェートの交通運輸を一層困難なものとした。

新經濟政策に入つて、交通機關の復舊に大なる注意が向けられたが、資金の不足と技術の幼稚とは充分にその成果を収むるに至らなかつた。

其後一九二五、六年頃から其復舊のテンポも増加し、陸上交通の方面では一九二六、七年に至り遂に戦前の水準にまで

復活するに至つた。即ち一九一三年の鐵道貨物輸送總額一億三千二百萬噸に對して一九二四・二五年度には八千四百萬噸に過ぎなかつたが、一九二五・二六年度には一億一千七百萬噸に増加し、二六・二七年度には一億三千四百萬噸となつて、一九一三年の水準を超過すること二百萬噸を示した。

然るに其後五箇年計畫の時代に入つて廣大なるソ聯邦の各地に社會主義的大工業の諸企業が發達し、一方コルホズ化運動のテンポ増進によつて農業の改造目覺ましく、生産諸力は廣き戦線を敷いて展開され、建設の増大、消費の増加は、種々なる貨物の輸送に對する需要を著しく高めるに至つた。

しかも陸上、水上運輸の實情は、この増大せる需要に應ずべくあまりに遅れてゐたため、ソヴェート爲政者の間には交通運輸の社會主義的大改造といふ新しい

スローガンが提出されるに至つた。日本鐵道技術家の招聘による運輸機關修繕技術の日本化運動も、一九三一年における水運人民委員部の新設も、同年秋の聯邦共產黨中央委員會總會における運輸問題の大討議も、交通人民委員部長ルヒモウイチを罷免して、有能の聞え高き黨中央の統制委員會議長アンドレーフ氏を同部長に新任したのも、交通運輸の大改造を行ふべき課題としての前提であることは明である。

一九三三年度運輸計畫

鐵道、水運、路運、空運に對する本年度投資額は、二十九億四千百十萬留にして、鐵道輸送貨物量は三億噸とし、平均一晝夜積載は五萬七千車と豫定され、水運輸送貨物は河運七千七百萬噸、海運五千八百萬噸とされてゐる。鐵道従業員は百四十九萬四千人、水運従業員は二十四萬六千人、勞銀増加は鐵道にて七%水運にて七五%を標準としてゐる。

(一) 鐵道の部

一、革命後の鐵道事業経緯

革命當時露國の鐵道延長四萬キロメートルは革命戦の犠牲となり、一九一八年の全國貨物輸送高は歐洲大戰前に比較し六〇%の大激減となり、汽罐車の修繕の如き百八十日乃至二百日を要したのであるがソ聯邦政權確立せられて以後十五ヶ年間に全國の鐵道新設延長は一萬八千八百八軒に増加し、鐵道建設第一次五ヶ年計畫によつて一九二九年から一九三二年の四ヶ年間に既に五ヶ年計畫の豫定建設延長の九〇%以上を遂行した。今、革命後より第一次五ヶ年計畫開始年度に至る迄の十ヶ年間の鐵道網の延長米突數を見るに左の如し。

一九一八年	一〇六九軒
一九一九年	七一
一九二〇年	一九七
一九二一年	二〇〇
一九二二年	二一八

第一次五ヶ年計畫開始前に建設された鐵道中其延長數並に經濟的見地より重要な意義をもつてゐるのは左の諸鐵道である。

- 一、オレンブルグ、ポスト。ウラル間 (三二八軒) 一九一九年竣工
- 二、スラウゴロド、パウロダル間 (一八九軒) 一九二四年竣工
- 三、アポストロオ、ヘルソン間 (一五四軒)
- 四、アチンスク、アタカン間 (四六〇軒)
- 五、コリチュギノ、クズネツク間 (一八一軒)

以上一九二五、二六年度間に竣工而して第一次五ヶ年計畫によつて建設された鐵道總軒數は五、六五三軒で是を年度別にすれば左の通りである。

一九二八・二九年 三一軒

一九二八・三〇年 四〇八

一九三〇年 二、六〇四

一九三一年 一、一一四

一九三二年 一、四九六

今、東支鐵道發行「ウエストニクマンチュリー」によれば第一次五ヶ年計畫によつて建設せられた新線數は五十線、その延長五千五百二十三軒に達してゐる。而して鐵道建設第一次五ヶ年計畫の成果として特筆すべきはトルケスタンとシベリヤを連結する彼のトルク・シブ鐵道の開通である。

- 一、トルク・シブ鐵道—是はトルケスタんに於ける棉花工業の發展を助成すると共に廉價なシベリヤ産穀物を中央アジアに供給する點と支那新疆地方との經濟關係發展とに於て、又、戰略上から見るも極めて重要性を有するものである。
- 二、ウラル・クズバス鐵道—これはウラル地方の豊富な礦産物とクズネツク地方産石炭との相互輸送上重要な鐵道である
- 三、トロイツク・オルスク鐵道—延長

一九二七—二八年 七三、三

一九二八—二九年 一五六、〇

一九二九—三〇年 二六五、〇

一九三〇年中間年度 五八、六

一九三一年 三五七、〇

一九三二年 五一三、〇

二、一九三三年鐵道計畫

一九三三年度の計畫は前年度に開始された仕事の完成とバイカル、アムール幹線の建設やウルシヤ、カルイムスカヤ鐵道の復線工事の様な大規模な幾つかの仕事の繼續を要求してゐる。また三三年中にはドンバス、モスクワ間超幹線の大部分及びクズネツク、マグニトストロイ間の復線工事が完成する筈である。此の二幹線は國民經濟上非常な重要性を有してゐる。現在ドンバス、モスクワ間の連絡は頗る貧弱で之が爲めに經濟上の課題の解決に甚だ困難を感じてゐることは當事者のよく知る所である。其れ故モスクワドンバス間の超幹線の大部分を三三年中に開通せしめるといふ事は非常に重要で

四百一キロメートル)及び同支線カルタラ・マクニトナヤ鐵道(延長百四十五キロメートル)—是は直接マクニトゴルスク大綜合工場に連絡するものである。

四、ホロウオエ・アクモリンスク・カラガンダ鐵道(延長四百六十キロメートル)—是は農業の盛な同地方の爲め特設せられたもので一方カラガンダの炭礦地方と連絡するものである。一九三一年開通。

五、ノウオシビルスク・レニンスク鐵道(延長二百九十五キロメートル)及び同支線クズネツク・ムンドウイバシ鐵道—是はクズネツク炭をウラルの鑛産地方に供給せしめる點に重要な役割を演じてゐる。

六、ブリヤンスク・ウヤジマ鐵道(延長二百三十四キロメートル)—是は南部地方とレニングラードを連絡する新鐵道で一九三二年開通す。

右の他、第一次五ヶ年計畫期間中に建設開通を見た新鐵道はメウオベリツフ、リルキ・チエルニゴフ、ウオルトチ、

同年の産業計畫の一大構成部をなすものである。クズネツク、マグニトロイ間の複線工事に就いても、同様のことを言ふことが出来る。相互に依存的關係のある此の二つの大工場(マグニトロイはクズネツクの石炭を使用して操業し、クズネツキー工場はマグニトロイで採掘される鑛石を使用して操業)を連絡する線路が不十分なために、クズネツクの冶金工場もマグニトロイの諸工場も非常な困難を感じてゐる。其れ故この複線が三三年中に開通するといふことは同じく同年度産業計畫の一大構成分子をなすものである。鐵道の建設費としては二十九億四千百萬留が支出せられる豫定であつて、建設に對する固定投資の根本方針は他の産業部門の場合と同様直接運用に關係ある對象に集中する方針であつて、特に一九三三―三四年の秋冬季の輸送を目標とする。

而して新線建設の最終的數字は尙ほ多少の變更を見るであらうが、ソ聯邦に於て非公式に發表せられたる計畫案によれば、

北部地方	二〇一三軒
レニングラード州	四九九
西部州	四三〇
モスクワ州	六七五
イワノフカ州	五四九
ニジエゴロド地方	六八五
タタル共和國	三三七
中央ウオルガ地方	三三七
中央黒土地方	七二〇
下ウオルガ地方	六八八
北高架索	一、一八九
クリミヤ	一〇〇
ウラル	一、〇七三
パンキル共和國	四八六

三、第二次鐵道五ヶ年計畫新線

ば、新線建設の延長距離三萬五千四百キロメートル、此の中に二萬五千キロメートルは第二次五ヶ年計畫期間中に工事を完成開通に至らしむべく、右二萬五千キロメートル新線建設を地方別に示せば左の通りである。

カサクスタン	三、六〇一
西部西伯利	二、七三四
ブリヤト蒙古	二六五
東部西伯利	二、二一五
極東地方	三八五
ウクライナ	一、八八六
後高架索	六五六
中央アジア	一、八〇九
其他	一、六六八
合計	二五、〇〇〇

殘餘の一萬四千キロメートル新線建設は第二次五ヶ年計畫進行中に着手し開通を見るのは一九三八年後の豫定である。尙、三三年度の道路建設計畫は同年度目録記載の全聯邦道路中七五%が完成する筈で、尙ほ道路建設では各共和國及び地方の豫算による建設が大きな役割を演じなければならぬ。

四、ソ聯式列車自動停止機の試験

鐵道事故の大部分は機關士の信號無視に起因するもので、ソ聯邦に於ても閉鎖

信號の無視通過は一九三一年には毎日平均十件に及んでゐる。

交通人民委員部の研究所リヤボフ、リフシツ、サヴィコフの三氏は、誘電作用に依る自動停止機を共同作成し、これを自動軌道車に取付けて三三年一月十四日モスクワ附近の驛で實驗した。自動軌道車が停止信號の出でゐる信號柱に近づくと、自動停止機は音響を發し同時に同機の孔口に赤色が現れる。次いでブレーキがかかるやうになつてゐる。此の場合、機關士が信號を無視して列車を進めやうとしても、ブレーキがかかるのである。數回試験したか何れも良好で、閉鎖信號に近づくと自動的に停止した。近く機關車に取付けて試験する筈である。

五、超速飛行列車の發明

交通人民委員部の學術研究員ワルドネル氏は高架索單軌道を疾走する超速飛行列車を發明した。この飛行列車は、普通列車を二本並行に結びつけたやうな鞍型を呈してをり、軌道の兩側に客車がある

列車の兩首端にはプロペラを裝備し、電氣モーターを使用すれば平均時速二百五十料に及び、ロケット式動力を使用すればそれ以上の速力が出るものと見られてゐる。

飛行列車の運行は氣象や氣候上の影響(堆雪、暴風雨、濃霧、砂塵等)を全く受けない。運行の内部抵抗力は二本軌道に比し三五%少ない。

ワルドネル氏の飛行列車は、獨逸のエルベルヘルト鐵道に使用されてゐる懸垂列車よりも多くの優點を有してゐる。例へば、速力に於ては懸垂列車よりも大であり、架設には大量の金屬を要しない又運行上の安全率も大である。

推定換算に依れば、乗客運送上に於ける經費の節約はモスクワ―レニングラド間の「十月鐵道」だけでも年に一千百萬留に達し、右區間に於ける乗客の時間節約は一年に三千五百萬延べ時間に達する見込みである。

ワルドネル氏の設計した飛行列車模型の試験は中央航空力學研究所で行はれた

が、好成績を挙げた。三二年秋開かれた勞働國防協議會附屬發明事業委員會の鑑定會議は、ワルドネル氏の發明に對しその充分なる實現性と重要性を認めた。

(一) 郵電の部

一九三三年郵電計畫概要

三三年度計畫は通信業務の根本的改善に必要な總ての前提條件を創設する筈で其の固定投資額は二億千五百萬留即ち前年度よりも二六%の増加となつてゐる。計畫によれば各小管區の中心城市に例外なく電信の連絡を設けることとなる。現在では電信連絡の存する小管區は九三%であるが、三三年中に其れが、一〇〇%に達する豫定である。また現在州の中心城市と電話の連絡を有する小管區の中心城市は全體の五四%に過ぎないが、三三年中に六四%とする筈である。ウクライナ、北部コーカサス、モスコ州、及びウラル地方の小管區中心城市は三三年末

には殆んど全部州の中心都市との間に電話の架設を見るといふことを特に強調しなければならぬ。ソヴエト、機械トラクター配給所、及び小管區中心都市に於ける電話の擴張と、大規模なソヴエト及び機械トラクター配給所内部の電話の架設を行ふと同時に三三年度には村落ソヴエト電話架設率を三二・六%から三七%に増加させる計畫である。郵便事業網は三千百三十局に増大する。また都市に於ける電話網の能率は三二%増大せしめる筈である。

通信の發達を計る是等の處置を完からしめるには通信用具を生産する工業特に弱電流工業が通信業務に對する自己の職分を一層よく果すことが必要である。是は急速度を以つて進みつゝあるソ聯邦の社會主義的建設が要求してゐる。何となれば通信の現状は此の速度よりも遅れてゐるからである。

イ、モスクワ・上海間の直通無線電信

郵電人民委員部ラヂオ管理局は、モスクワ上海間の直通無線電信

クワ上海間の直接無線電信の聯絡試験を完了した。兩局間の距離が大なるにも拘らず、試験成績は頗る良好であつた。使用波長は二十五米乃至四十五米であつた。近くこの兩局間に營業が開始されることになつてゐる。

ロ、モスクワ・浦鹽間の直通電話

モスクワ及び浦鹽無電局の懸命の努力により兩市間の無電通話に成功した。右使用は國營漁業機關に許可せられたが、斯くしてモスクワ漁業本部は浦鹽漁業部との電話聯絡によつて報告の聴取、指令の傳達を計り、從來兎角滯滞勝ちであつた極東漁業事務の進捗に一大改革を來すものと期待せられてゐる。國營漁業部は無電局殊勲者に對し五百留宛の賞金を贈ることになつた。

ハ、ソ聯邦郵便料金の變更

三三年度二月二十五日ソヴエト聯邦國民經濟會議決議により書留並に普通國內郵便物に關する郵便料金表が決定された。それによると二十五瓦まで市内書留封緘書信は三十哥、同市外書留は四十哥である。

更に二十瓦を増す毎に市内五哥、市外十哥増である。市内普通封緘書信は二十瓦まで十哥で、市外普通書信二十哥である。更に二十瓦を増す毎に市内普通書信は五哥、市外は十哥増である。各種の帶封郵便物は百瓦毎に四哥である。因にその他の書信郵便料については變更がない。

ニ、ソ聯邦の郵電施設面目一新

ソ聯邦連絡人民委員部は三三年度に於ける豫定計畫を發表したがその計畫によると次の如き數字となる。

三三年度に於ける郵便局が取扱ふ手紙と端書とは十八億八千四百萬通(三三年度より二一%の増加)となり、印刷書狀は九千萬通(三三年度より二三%の増加)となり、新聞と定期刊行物は六百萬部(三三年度より二〇%の増加)となり、小包は四千二百萬個(三三年度より一七%の増加)に上つてゐる。次に郵便物配達に要する時間は都市中心地内では七時間マシントラクター・ステーションや労働者のセツトルメント内では八時間、村落では十時間を越えるやうな事はない。更に

三三年度中には百輛の新郵便車が諸鐵道に使用され、四百九十臺の郵便物運搬車と四千九百十臺の自轉が供給車される豫定である。又、二十二ヶ所の郵便局が機械化されることになつてゐる。次に各都市の電信電話擴張費として五千七百萬留が割當てられ、一方架線費として千四百五十萬留が割當てられてゐる。

(三) 水運の部

一、ソヴエトの水運概観

ソヴエト聯邦は北はバルチック海、白海、北氷洋、南は裏海、黒海、東は太平洋に面し、其海岸線三萬九千軒に達してゐる。かく海岸線は長大であるが、その大部分は冬季結氷し、航運の便を欲したため外國貿易の大半を海運によるにも拘らずソヴエト聯邦の水運は比較的發達してゐない。殊に歐洲大戰内亂の打撃深刻でその所有船舶は非常に少いため、大部分外國の船舶に仰いでゐる。バルチック海

黒海、極東等には造船所を有してゐるが諸外國に比し、可なり造船技術劣つてゐるため、この方の活動も大して見るべきものがない。

- 主なる港名左の如し。
一、白海及北氷洋——オルハンゲリスク港、バルマンスクー港
二、バルチック海——レーニングラード港
三、黒海及オゾフ海——オデッサ港、ニコラエフスク港、ノウオロシースク港、バツーム港、マリウポリ港
四、太平洋——浦鹽斯德港、ニコラエフスク港、アレクサンドロフスク港、ベトロパロフスク港
五、裏海——アストラハン港、バクウ港

ソヴエト聯邦は一方その廣大なる領土内にヴォルガ、ドン、ドネーブル、ドウイナ、アムール、レナ、オビ、エニセイ等世界的大河を擁する關係上、河川運輸も亦重要意義を有して居る。之等海上及河川運輸は、現在ソヴエト聯邦水運人民委員部によつて指導統制

されてゐるが、直接の經營機關中最大なるものは、ソウトルグフロト(ソヴエト商船隊本部)で、これはソヴエト聯邦の海運中、裏海を除く黒海、バルチック海、太平洋、北氷洋等の航運に従事し、その輸送貨物數量は、一九二五年一百六十萬七千噸であつたものが、一九二八年には二百一十一萬四千八百一十一噸に増加してゐる。

ソウトルグフロトに次ぐ大水運經營企業は國營裏海汽船會社で、これも一九二五年の貨物輸送數量二百一十一萬四千噸に對して、一九二八年には五百八十一萬噸に増加してゐる。各ソ聯邦内の各種木材企業ツェントロ・ソユーズ等もそれ自身に所屬する諸船舶を有してゐる。例へば「セーウエルザツプ・レス」(西北木材)は二十七隻の汽船と其他船舶七百五十隻を有し、「カレル・レス」(カレリ共和国木材)は各種船舶百六十五隻を有してゐる。ツェントロ・ソユーズは汽船十四、其他三十九隻を有してゐる。尙ソヴエト政府が、最近に至り特に

この水運方面を如何に重大視して来たか
は一九三一年における水運事業實際投資
額三億一千二百萬ルーブルに對して、一
九三二年には四億二千萬ルーブルの投資
を豫定した事實によつてもこれを知ること
が出来る。

二、一九三二年の 水運計畫

一九三二年の航行期間を通じソ聯邦は
河川水路に依り貨物六五、九(百萬噸)
乗客四六(百萬人)を輸送する計畫にな
つてゐる。即ち國內に從横する河川を以
て、石油九〇五(百萬噸)、穀物四〇七
(百萬噸)、木材九(百萬噸)、石炭一(百
萬噸)等々を低廉なる河川輸送を以て輸
送し、以て鐵道運輸の逼迫を緩和せんと
してゐるわけである。右の水陸輸送計畫
は昨一九三一年の實際輸送成績に比し貨
物二八〇七%、乗客三九%の増大である。
一九三二年に於ける水路運輸は船舶
修繕の遅延労働の組織不備等の原因に依
り七二%しか遂行されなかつた。中央ア

シヤ諸水路に於ける一九三二年の航行開
始は三月十五日からであり、ドネーブル
河、ヴォルガ河等は四月半ばよりである
が、船舶修繕はこの航行開始期までに充
分には間に合ひさうもない。次に海運方
面を見ると、一九三二年全聯邦諸港灣の
貨物輸送計畫は六八、二六二(千噸)、國
營船舶の貨物輸送計畫は二一、一七七(千
噸)と決定され、これを昨年と比較する
と、その仕事の量は港灣貨物輸送四二%
増、國營船舶貨物輸送四九%である。

而してこの計畫を實行するには二六四
隻の船舶を修繕し、四八隻を根本から改
建しなければならぬ。現在水路運輸は
牽引力一四、二四四噸、石油タンク船の
積載噸數一九、一二七噸不足してゐる。
然るに造船業の注文履行テンポは尙ほ
遅々たるものあり、一九三一年の全航行
期を通じて船造業は新規汽船、重油船牽
引力三九、八〇〇噸河川非蒸汽船積載重
一〇、九六〇噸を建造したのみで、こ
れは所期計畫の約半ばにしか達しない。
而して一九三二年の船舶建造注文履行成

績も昨年と似たり寄つたりで今尙ほ著し
き進捗は示してゐないやうである。

三、一九三二年度海運 界の躍進

ソ聯邦海運界の發展は他の産業部門と
同様目ざましき進出振りを示してゐる。
即ち過去四ヶ年間ソ聯邦政府が海運發展
のため投資せる金額は五億二百萬留であ
るが、革命直後ソ聯邦の所有船舶數は僅
かに百九十五隻、總噸數二十萬八千噸に
過ぎなかつた。而して多くは對外戦争及
び國內戰當時覆没し、一部は白軍露人に
よつて外國に賣船された爲め船腹充足の
必要上外國船を購入し、又、自國造船所
の復興に鋭意努力した結果、現在のソ聯
邦の船舶數は四百隻、此の總噸數は七十
萬噸に達するに至つた。今、一九三一年
の貨物輸送高を見るに千四百六十萬噸で
一九二五年に比較すると實に約三倍の増
加であり、又、輸送旅客數も昨年度は二
百七十萬人に達した。殊に注目し値する
のは港灣の發展であつて、過去四ヶ年間

に港灣修築の爲めに投資したる額は一億
二千五百萬留で、各港灣の貨物出入高も
戦前の一九一三年度の四千四百三十萬噸
から一九三一年度には四千八百三十萬噸
に増加した。現在ソ聯邦の諸港灣埠頭は
殆んど機械化され、倉庫、冷藏庫、エレヴ
エーター等完備し、殊にレニングラード
港の如きは貨物の出入最も多く、歐洲第
一の名がある。最近では北海方面に新港
灣の建設計畫を進め、ベチョーラ河口、
白海のソコロ、北樺太のアレクサンドロ
フスク、カムチャツカのベトロパウロフ
スクには既に築港工事が進捗中である。

四、一九三三年水運計畫

イ、北極定期航路開設

三三年より北極に於ける定期航路開始
のため種々準備を進めてゐるが、同航路
配置の碎氷船は丁抹のコーベンハーゲン
附近のブルミストル・ライン造船所で四
五月中に竣工する積載噸數三千二百噸、
速力十二浬半のものを配船すべく、同船
は竣工と同時に浦鹽に廻航し直ちに浦鹽

コリマ、レナ、ウランゲル島間の北極定
期航路に就くことになつてゐる。北極定
期航路の開始は極地の發開のみならずソ
聯邦政治經濟上からも重要視せられてゐ
る。

ロ、白海・バルチック間 運河完成

豫て建設中の白海とバルチック海を繋
ぐ河は愈々三三年五月二十五日を以て開
通したが、その延長二百二十六軒に達し
同運河はカレリヤ地方の森林地帯及び湖
沼地帯を通過してゐる。この工事は一ヶ
年の記録的短時日をもつて完成された。
現在は曳船と吃水の深い小形船舶を通す
のみだが、將來は巨大な大洋汽船をも通
し得るやうに水深を深められる筈である
五月末から定期旅客及び貨物運輸が開始
されるが、それに就航するのは木材その
他を積載した荷足を曳航する曳船十二隻
である。而して三三年中に白海・バルチ
ック運河によつて運搬される貨物は一、
一四三、〇〇〇噸の豫定である。尙ほ人
口稠密な土地には既に埠頭の建物が初め

(四) 民間航空

一、民間航空沿革

ソ聯邦に於ける民間航空の創始は一九
二三年からであつて、同年「ドプロレス」
(ロシヤ義勇航空界)が組織され、ドイツ
より數臺の飛行機を買入れたのが始であ
る。一九二四年には、ソ聯邦に於ける最
初の航空路がモスクワ—ニジニイ・ノヴ
ゴロド間(四百二十軒)に開設された。然
し、飛行場の設備が不完全であつたため
間もなく閉鎖された。

一九二五年には、ソヴェート民間航空
界は六臺の飛行機を以てモスクワ—北京
間を翔破した。中央アジアには二航空路
が開設され、又飛行寫眞測量の實驗飛行

も行はれた。

一九二六年は、「ウクルヴオズドフプリーチ」、「ドブロレス」等の民間飛行協會の發展期であつた。一九二七年には「ドブロレス」はイルクツクイボダイボーヤクツク間の飛行路を開設した。従來この間の陸上輸送には二十日乃至三十日を要したが、飛行機に依る様になつてから二三日に短縮された。

一九二八年には民間航空界の活動範圍が擴大されて、飛行機の數も増加した。一九二九年には航空界の組織替と勢力の中央化が行はれ、「ウクルヴオズドフプリーチ」は「ドブロレス」に合併された。モスクワ—イルクツク間(四千七百五十軒)大航空路の開設も此年である。

一九三〇年には民間航空界が改造された。聯邦政府は「ドブロレス」を廢止して之の代りに「全聯邦民間航空事業合同」を組織し、以て今日の任務に適應せしむるに至つたのである。
一九三一年に政府は此の機關に一億五千萬留を支出した。

二、ソ聯航空網の發達趨勢

ソ聯邦の民間飛行は逐年長速の發達を遂げ來つたが今航空路線の發達趨勢を示すれば

- 一九二二年 一、二〇〇軒
- 一九二三年 一、六一〇
- 一九二四年 四、四〇〇
- 一九二五年 四、九八四
- 一九二六年 六、三九二
- 一九二七年 七、〇二〇
- 一九二八年 一一、九七一
- 一九二九年 一八、三四二
- 一九三〇年 二五、六三二
- 一九三一年 四〇、〇〇〇
- 一九三二年 五一、〇二八

然るに民間飛行による貨物輸送高は航空路線の延長にも拘らず不成績で三二年度末迄の豫想を含む第一次五ヶ年計畫に於ては豫定の僅かに四三・八%を示したに過ぎない。然るに三三年より開始される第二次五ヶ年計畫に於ては現在のソ聯

三、一九三二年航空事業

ソ聯邦民間航空事業合同によつてなされた一九三二年度の定期航空計畫の立案によると、一九三一年度には大小四十八線の空路が開かれ、その總延長においても世界無比の壯觀を呈する事となつた。今夏真先に開かれるモスクワ—浦蘆線始め主要航空線左の如し。

- 一、モスクワ—スウエルドロフスク—ノウオンビルスク—イルクツク—フロラー—浦蘆(八〇四二軒)
- 二四、バクウ—クラスノウオドスク(二九〇軒)
- 二五、タシケント—ウラチエベ—スターリンナバド(三二二軒)

四、定期航空網の擴張

聯邦に於ける航空事業は、軍事航空を除けば、すべて聯邦人民委員會に直屬する航空事業管理本部に統轄される。従つて空運も、右本部の管理に屬する事業の一部であつて、國內を縱横に連絡する航空路網により、旅客、郵便物、貨物の輸送に従事する。一九三二年末現在の定期航空路の總延長は五一、二八軒であつたが、本年に入つて、レニングラド—ベトロザウオドスク(三六五軒)バク—タシケント(一七〇〇軒)アルハンゲリスク—イジマ(五八五軒)合計二六〇〇軒の新航空路を開通した。ソ聯邦主都モスクワを中心として四方に放射する定期航空路を西より北に順次に示せば次の如し。(一)モスクワ—ミンスク(二)モスクワ—リガ—ベルリン(三)モスクワ—レニング

- 二、モスクワ—ベルリン線
(註—以上二線によつて西ヨオロッパは完全に極東と連結される)
- 三、スウエルドロフスク—タウダーノ—ウイ・ボルト(今夏新線にて二、〇〇〇軒)
- 四、モスクワ—ミネラリヌイエ・ウオズイ—バクウ
- 五、モスクワ—ロストフ・ナド—ソ—チ—チフリヌ—バクウ(昨夏新線にて一、四五〇軒)
- 六、エリスター—アストラハン
- 七、クラスノウオドスク—チヤルチユイ—タシケント—(今夏新線にて一、六五〇軒)
- 八、マグニトゴルスク—クスタナイ、セ—ミバラチンスク(今夏新線にて一、二〇〇軒)
- 九、ヤクーツク—ネサメーツヌイ—ルフロフ(今夏新線にて一、二〇〇軒)
- 一〇、ヤクーツク—ウイリユイスク(今夏新線にて五〇〇軒)
- 一一、クラスノウオドスク—ズギンスコ

- エ—(同一、六〇〇軒)
- 二一、ウイチム—ホダイホ(同三八〇軒)
- 二三、クズネツク—ミヌシンスク—クイズイル(同七〇〇軒)
- 二四、アルハンゲリスク—コトラス—ス—イクツイワル—(同九三〇軒)
- 二五、アルハンゲリスク—チリマ河口—イジマ(同五八五軒)
- 一六、モスクワ—スモレンスク—ミンスク—ブリヤンスク—キーエフ(七九〇軒)
- 一七、カザン—ウフア—マグニトゴルスク(七二〇軒)
- 一八、モスクワ—ウオロネジ—スターリ—ングラード(同九四五軒)
- 一九、モスクワ—レ—ニングラード(六四四軒)
- 二〇、レ—ニングラード—ベトロバウ—ロフスク(三六五軒)
- 二一、ペンザ—サラトフ(一九〇軒)
- 二二、マリンスク—アレクサンドロフスク(北樺太二八〇軒)
- 二三、ドネプロベトروفスク—シムフエ—ロポリ(四三五軒)

ラドーリガ(四)モスクワ—スウェルド
ロフスク—ノヴォシビルスク—イルクツ
ク—ハバロフスク—ウラヂオストク(八、
八四七軒)(五)モスクワ—カザン—ウ
フ—アマグニトゴルスク—カラガンダ—
アルマアタ(六)モスクワ—サマラー—
レンブルグ—アクモリンスク—タシケン
ト(三、〇九四軒)(七)モスクワ—ウオロ
ネジ—スタリングラド(八)モスクワ—ハ
リコフ—ロストフ—ベチゴルスク—バク
—チフリス(三、〇二五軒)(九)モスク
ワ—キエフ—オデッサ。又極東方面にあ
つてはハバロフスクを中心としウラヂウ
オストクに至る航路の他にハバロフスク
—マリインスク—ニジネ・アムルスク(舊
ニコラエフスク)—オハ(一、一八〇軒)
マリインスク—アレクサンドロフスク
(二八〇軒)ニジネ・アムルスク—オホツ
ク—ノガエウ—ハリユゾウ—オ—ペトロ
パウロフスク(二、九七一軒)がある。

五、一九三三年の民間航空計畫

飛行の重要區域に於ける飛行機及びモ
ーターの總數は一九三三年中に倍化するが
これによつて、民間飛行の新紀元が劃さ
れる次第である。

六、極東民間航空網の擴張

三三年二月はソ聯邦民間航空事業開設
十週年に相當するが極東に於ては一九二
九年漸く民間航空事業の開始を見たにも
拘らず爾來急激なる發展を來し、一九三
一年度の開設航路は二千百十キロメー
トルに、三二年度には既に二千五百五十
キロメートルに延長され、一九三三年度
の計畫案によれば總延長七千九百二十五
キロメートルの擴張が豫定されてゐる。
一方旅客輸送數は一九三〇年度五百二十
名、三二年度千二十四名、三三年度は三
千七百六十四名を、又郵便物輸送高は一
九三〇年度二三噸三四、三二年度二三噸
二、三三年度は一六四噸二の豫定である
尙ほ今後二ケ年間に極東航路の總延長
は十倍され、且つ北海、オホツク海沿岸

モスクワに開催された航空路管理局長
會議に於て、本年の民間航空發展につき
協議が行れた。これに關し「航空輸送」
會社副社長ヂリヤエフ氏は次の如く語つ
た。

ソ聯邦内に於ける主要航空幹線の郵便
乗客定期航空は五月十日から開始される
民間航空隊は五月から十一月までの間に
二百萬噸の輸送計畫を遂行することに
なつてゐる。春の休航期は飛行場及飛行
機の細密なる準備に利用され、操縦士及
び機師はこの期間に資格向上のため講
習を受けた。

本年の航空期には、地方機關の資金で
開設された次の四航路が營業を開始す
る。即ちモスクワ—ヴォロネヂ—スタリ
ングラド間、ハリコフ—ボルタワ—キエ
フ間、スタリナバド—バウナバド間及び
タシケンド—クラスノヴォドスタ間これ
である。

次に既設航路に於ける郵便乗客飛行
は著しく強化される。本年は世界的大幹
線たるモスクワ—浦鹽間に定期郵便聯絡

各地、カムサツカ、チュコトスキイ半島
並に北樺太定期航路の開設を見る筈で
あるが、茲に注目すべきは北樺太の冬期
定期飛行の計畫である。

七、一九三三年大飛行計畫

一九三三年に行はれる大飛行計畫中、
その距離と任務に於て最も大なるものは
二月に行はれるモスクワとカムチャツカ
のペトロパウロフスク間往復の大飛行で
ある。操縦者はヴォドピヤノフ氏にして
その使用機はソヴェト産モーター「ビ
ー五」を裝備せる「エム一七」型郵便飛
行機である。同機には夜間飛行に必要な
る裝備を行ふ筈である。

この飛行の目的は、右航路の冬期に
於ける定期飛行條件の研究、新なる乗客
航路の探查、飛行機及び乗務員の長距
離飛行試験である。

航路は、オムスク、イルクツク、ル
フロヴォ、ハバロフスク、オホツク、ペ
トロパウロフスクである。ペトロパウロ

を行ふ筈である。モスクワ—ノヴォシビ
ルスク間の乗客飛行は擴大される。モス
クワ—チフリス間の長距離乗客航路は
本年からオルヂヨニキゼとチフリス間の
山頂横斷を行ふ。その外、本年は小管區
及び州の中心都市とコルホズ及びソフホ
ズ間の航空聯絡を盛んにする。これに使
用する飛行機は、飛行場の設備に多額の
資金を要しない「ウ—二號」型である。

郵便乗客航路の使用機は従来の「K
五號」「アント九號」「ベ五號」型以外
にソ聯邦で設計作製せる電氣溶接應用の
「スタリ二號」及び「スタリ三號」型であ
る。

即ち三三年度に比して民間航空路網を
七五%だけ延長し、其の業務を一年間に
二倍乃至二倍半に擴張する豫定である。
飛行機の生産的利用は空中撮影に於いて
一倍半、農業及び林業に對する飛行機の
利用に於いて約二倍とする計畫である、
また四大航路を中心とする業務が著し
く擴張され、主要工業地方特に東部の航
空路が大いに擴張される筈である。民間

フスクには二晝夜休息して同地を出發し
同一航路をモスクワに歸ることになつて
ゐる。この飛行延長距離は二萬二千五百
軒にし、その内三百軒は陸上機で海上を
翔破せねばならぬ。所要日數は順調に行
けば十三四日の見込みである。
又飛行家ミヘフ氏は同様の任務遂行
のため、モーター二基裝備の「アント十
九」型飛行機を使用し今夏モスクワ—ハ
バロフスク間を飛行することになつてゐ
る。

尙ほソヴェト最大の飛行機「アント
十四」型機も現存主要航路の一つを選
びこれを翔破する計畫である。これは、
長距離飛行に於ける機械の性能試験、並
に主要運輸航路に同機使用の適否決定
を目的とせるものである。

外國行乘車船券の外貨發賣

ソヴェト聯邦の外國行乘車船券獨占發
賣業者たる「インツォーリスト」社に於て
は三二年來外國行乘車船券を外貨幣に
てのみ販賣することになつてゐるに拘ら

予實際は其の取扱は區々で外國行乘車船券の外貨による販賣は勵行されてゐなかつたが三三年二月十日以後外國行乘車船券は「インツェーリスト」に於て必ず外國貨幣（弗貨、磅貨、圓貨、其他外國貨）を以て發賣するやうソ聯邦政府より嚴命された。但し在ソ聯邦外國公館の館員、使用人は右の取扱方法より除外せられる旨左記の通り外務人民委員部より發表された。

- 一、モスクワに在る外國公館の館員及び使用人は從來通りソヴェート聯邦内たると國外行たるとに拘らず露貨を以て乘車船券を購入することを得
- 二、右に依る外國行乘車船券の着驛はソ聯邦交通人民委員會と外國側鐵道との間に存する協定にて定められ居る終端驛迄に限る。
- 三、乘車船券購入は要求書に外務人民委員會議禮部の裏書を得て後「インツェーリスト」社事務所に爲されたし
- 四、ソ聯邦各地に在る外國領事館に對しても同様の取扱を爲すべき旨各地外務

部代表に訓令せり

第二號に規定された外國側鐵道の終端驛はモスクワ發の場合、ローマ、ウィーン、ベルリン、ブラーグ、ワルソー、リガ、タリリン、カウナス、ヘルシングフォルス、東京、ハルビン等の諸地である。右の結果從來日本よりソヴェート聯邦經由ヨーロッパに向ふ旅客にして發地に於て着地迄の歌亞聯絡乘車券を購求する事なく浦鹽迄の地方的連帶乘車券を購求し同地インツェーリストに於て更にヨーロッパ迄の乘車船券を露貨を以て購求する向もありたるが右は今後全く不可能になりたるにつきソ聯邦經由歐洲行旅客聯絡乘車券を購求する要がある。

外國人ソ聯通關規則改正

ソヴェート聯邦に於ては同國に移住し來れる外國市民の家財並に觀光外國人の外國よりの物品携入に關する通關規則を左の通り定め之を實施してゐるが右改正の要點は無稅通關の品目に食料品、書籍

家具、寢具、寫眞機を追加許容した。

一、ソヴェート聯邦に永住のため移住し來り、若くはソヴェート聯邦内の勤務に招聘せらるゝ外國人には自家用品は別表の限度に於て無特許及び無稅にて通關せらるゝものとす。
二、旅券に觀光者たる旨の査證を有する觀光外國人には別表の第一乃至四八號第五四、五九、六一及六二號に列記せらるゝ物品の無稅無特許輸入權付與せらるゝものとす。

品名	男一人	女一人
一、外用被服、其中防寒外套一着以上	四點	四點
二、頭飾物、其中に毛皮帽一個以上	四點	四點
三、手 暖	—	二個
四、毛皮肩掛	—	二個
五、履物及新底三組	六足	六足
六、家庭用スリッパ	二足	二足
七、首巻若は肩掛	二個	二個
八、男子用衣服	四組	—

九、婦人用衣裳	四組
一〇、上用婦人ジャケット	六組
一一、就寢用婦人ジャケット	六個
一二、外用スカート	六個
一三、下 着	一二組
一四、手 拭	一二組
一五、男子用及婦人用靴下	一二足
一六、鼻紙用ハンカチーフ	一八個
一七、瓦斯織等の頭部用ハンカチーフ	三個
一八、男子用上シャツ	九個
一九、カラー	一八個
二〇、カフス	一二個
二一、ネクタイ	一二個
二二、寢臺用敷布	六個
二三、枕	三個
二四、毛織肩掛若は毛布	三個
二五、暖下着及男子用スエーター	六個
二六、編みたる婦人用ジャケット及スボン	六個

二七、手 袋	三組
二八、男子、婦人用防寒靴	二足
二九、傘	二本
三〇、杖	二本
三一、婦人用革製手提袋	二個
三二、手提紙入	一個
三三、刻煙草	〇、二疋
三四、開かれたるオデコロン重量二五〇瓦以下	一瓶
三五、開かれたる香水重量一五〇瓦以下	一瓶
三六、開かれたる化粧石鹼	三個
三七、固形白粉五〇瓦以下若は粉白粉一五〇瓦以下開かれたる有様に	一箱
三八、かみそり用具	一組

三九、自家用品、化粧品、小間物（くし、ブラシ、旅行用化粧箱、ペンナイフ、ライター、萬年筆、萬年筆用インク、自動鉛筆、煙管、煙草入、吹口）—各品に付二個以下合計一人に付五疋以下	—
四〇、小兒用衣類、下着、履物—小兒一人に付六組但し外套は一人に付四點以下	—
四一、食料品は各品に付規定量の制限なく道中に必要なる數量	—
四二、書籍其他の印刷物、手書—重量三五〇疋以下	—
四三、食器其他食堂及臺所用品—重量一〇〇疋以下	—
四四、魔法瓶	一個
四五、硝子玉及眞珠、珊瑚、非寶石にて作りたる首飾—各品に付一個宛但し一人に付三點以下	—
四六、アルコール飲料は開かれたる有様にリットル以下	—
四七、金、銀、白金及寶石よりの製品は外貨證明書に記入し自由の限度に	—

於て

- 備考II貴金屬製品を含む各種の化粧用具及貴金屬の裝飾を有する杖は道中必要な數量は外貨證明書に記入せずして輸入することを得
- 四八、携行せらるゝ物品を入れたるトランク、大型トランク、箱、旅行用手提箱、小箱等は全部備考I小箱、箱、トランク、其他旅客用品を入れるべき容器を装ひ單に外見の爲物品を容れたる包装物は之を無税にて通關せられず
- 四九、室内用具(机、椅子、ソファ、戸棚、鏡)―三室三下の備付たること
- 五〇、寢臺用及乳母車 家族一人に付一個限
- 五一、羽子蒲團、寢臺用蒲團其他一人に付各品二個以下
- 五二、類する玩具及之に 一〇疋以下
- 五三、堅ピアノ、若はグラランドピアノ 一個に限る
- 五四、提琴、ギター、其他樂器(再輸出すべき旨旅券に記入の事)
- 五五、手工業器具、學術用器具器械等 一〇〇疋以下
- 五六、文房具、製圖用品、ペンナイフ等 一〇疋以下
- 五七、絨氈、戸張等 六四疋以下
- 五八、前項記載以外の各種小家財品 一人に對して三點以下
- 五九、自轉車(再輸出すべき旨旅券に記入のこと) 一人一臺限
- 六〇、縫機 一臺宛に付一臺宛
- 六一、タイプライター(再輸出すべき旨旅券に記入のこと) 一臺宛
- 六二、寫眞機、ラヂオ受信機及ラヂオ附屬品(再輸出すべき旨旅券に記入の事) 一臺宛に付一臺宛
- 六三、自動自轉車、乗用自轉車(再輸出すべき旨旅券に記入のこと) 一臺宛に付一臺宛
- 六四、スポーツ用衣服及用具は各スポーツ

ツに付一組宛

交通人民委員部

交通人民委員部は、總括人民委員部に屬し、ソヴェート聯邦領土に於ける陸上交通を掌る。

- 交通人民委員部
- 人民委員 ア・ア・アンドレーエフ
- 同代理 ベ・エス・シユシユコフ
- 同 イ・エヌ・ミロノフ
- 同 ゲ・イ・ブラゴニラオフ
- 同 ア・エム・アモソフ
- 同 ウエ・ア・キシユキン
- 同 ウエ・エス・シャトフ
- 同 ベ・ベ・ビリク
- 同 幹部會員
- 同 エム・イ・フルウムキン
- 同 カ・ゲ・イヴノフ
- 同 エム・イ・カラシニコフ
- 同 エヌ・イ・レチエンコ
- 同 エル・ア・マメンドス
- 同 ア・ベ・バフロフ
- 同 ウエ・ベ・ボスチエーエフ
- 同 ヤ・デ・ローゼンタリ

聯絡人民委員部

- 人民委員 ア・イ・ルイコフ
- 同代理 ア・エム・リユボーウイチ
- 同 エム・エル・グラノフスキ
- 同 エル・エム・ブーニン
- 同 參與員
- 同 ウエ・ベ・シヨスタコウイチ
- 同 エヌ・ア・グリゴリエフ
- 同 エフ・ヤ・コーン
- 同 エ・エヌ・コチニコフ
- 同 ア・エム・マカール
- 同 ペ・デ・マラホウイチ
- 同 カ・ア・メホノシン
- 同 エ・エフ・ロスミロウイチ
- 同 ア・ウエ・ウオロビエフ
- 同 エ・ウエ・ヒルシユフェルド
- 國際部長

水運人民委員部

水運人民委員部は海上、水上の交通を司りその所屬に關係なく全水運の行動を

交 通

中央民間航空隊管理局

- 局長 ア・ジエ・ゴリツマン
- 同 ヤ・ヤ・アンヴェルト
- 同 エム・エス・ベレジン

社會施設

都市建設

一、新都市の建設

聯邦各地における五ヶ年計畫遂行過程にあるソヴェート聯邦工業化の急速な發展とともに、新しい都市、新しい工業中心地が生れ、發達してゐる。一九〇六年における人口調査の際には單に草原と森林とにすぎなかつた場所に、今日は既に新たに建設された都市の新しい建物が増加してゐる。且つまたこれら新都市の人口は既に數萬人に達してゐる所も少くない。新しい工場が建設され、新しい堅坑と鑛坑とが開拓され、その周圍には、最初は一時的なバラツクから成る小村落が生れ、次いでこの村落は急速に完全な都市に轉化しつゝある。同時に、革命前には單に大規模の移住地にすぎず、往々都市として數へられなかつた舊都市が擴大

しつゝある。ソヴェート聯邦における都市の人口がいかに急速に増加してゐるかについては、革命前には都市人口は二百萬人であつたが、一九三一年には既に三千四百萬人を超えたことによつても明らかである。曾て一九二六年には、人口十萬人を超す大都市は、全聯邦人口調査によれば三十一であつたのに、一九三一年には既に四十五を數へるに至つた。

都市における新しい住宅建設のために多額の金が費され、住宅建設のための國庫支出は毎年増加してゐる。一九二九—三〇年には、特別街區を含んで、住宅建設に七億三千萬ルーブル、コミュニティー建設に三億ルーブル費されたとすれば、一九三一年における住宅建設のための支出は、十億ルーブルに増加し、コミュニティー建設費は九億ルーブルに増加した。今一九三二年には住宅並にコミュニティー建設に二

十五億ルーブル投下される筈である。

かゝる大規模な住宅建設が全都市人口および、特に労働者人口の物質的並に文化的・生活條件を改善するのは云ふまでもない。革命前までは都市の中心における優良な街區にはブルジョアジーのみ住むことができ、労働者は場末に住むか、或は穴藏や半穴藏、或は隅つこなどに住み、しかも一室に幾人も居住してゐたのである。労働者街には水道、下水、電燈その他、近代都市の便宜がなく、非衛生的な生活條件は住民の死亡率を増大せしめたが、勿論傳染病流行の際には特に然りである。電車は、革命前まではペテルブルグ、モスクワ、エカテリノスラフ、ハリコフ、キエフの如き最大都市にだけ存在してゐたにすぎず、同じ事が下水に就ても言ひうるのであつて、之も僅かにブルジョア地域にのみ敷設されてゐた。

現在では電車は、バクー、ウオロネー、ジュ、グロズヌイ、マケエフカ、ミンスク、ノギンスク、ベルム、スウエルドロフスク、スモレンスク、スターリノ、ツ

ねばならない。

新都市建設のいま一つの原則は、労働者や勤勞者の家が近隣の工場からの煙雲に覆はれないやうにするため、並木路や公園によつて生産的工業の地域を住宅地域から離すことである。新都市は、自己の個人的經營を行ふ必要をなくする目的を以て社會的食堂、洗濯場、育兒園と託兒所、圖書館、クラブ、劇場、活動寫眞館、病院、學校、競技場を持たねばならない。各家庭が毎日食事の準備、下衣の洗濯、その他家庭の仕事に従事する必要がなくなる時には、どんな時間と労働とが節約されるであらうか、また完全な社會主義社會建設の送上にいかに大なる前進をなし得るであらうかに就ては今更述べるまでもない事である。しかも希望者には自己の個人經營を行ふ可能性が保留されるのである。住宅そのものが働く者の労働の場所から遠く離れてゐてはならず、且つ前述した如く、公園や並木路の綠帯によつてそれから分離されてゐねばならない。新都市における家屋は、屋内

にできるだけ多くの光と空氣が入るやう水道、下水、蒸氣または瓦斯煖爐およびその他の便利な設備を設置するやうに建設されるのである。新しい家屋の多くは近代的型に建設され、主要な注意はそれらの家屋の外観に向けられず、堅牢と便利と部屋の配置の合理性に向けられるのである。ソヴェートの建築型はなほ完成されてゐないが、右の事は若し新しい建築がいかに急速に建てられねばならぬかに注意を拂ふなら理解されるのである。形の美しさや外観に多くの注意を拂ふ時間が充分でない。そしてソヴェート建築の型についての問題はもう一度將來において決定されるであらう。

二、舊都市の改造

新しい都市の建設と共に、モスクワやレーニングラードの如き、舊くして最重要な中心地の改造が行はれ、革命後その外観を一變した。實際、兩都市においては非常な人口過剩を見、建築は人口の増加に間に合はないほどである。兩都市に

ーラ、チエリヤビンスク、シャフタ、エリヴァニ、スタラヤ、ルーサ、およびその他多くの都市において電車が敷設されてゐる。下水は既に七十の都市に設備されてゐる。都市における人口の死亡率は戦前と比較すると半分に減少してゐる。新都市の建設は計畫通りに行はれてゐる。屢々事實上の建設は計畫を追ひ越してゐるけれども、新移住地の計畫化、および移住地の再建事業に對する根本原則を作成するためにコミュニティー經濟學會が創設されたが、該學會は、この事業の科學的研究の中心部である。新都市建設のかゝる根本原則の一つは都市と農村との間の相違の廢棄である。工業の中心地は農民層が自己の生産物をもつて自ら都市へ行き、そこで必要な工業製品を買ひ得るやう、耕作地域に圍まれてゐなければならぬ。新都市の計畫化に際しては法外な人口又は官廳の集中を許すべきではない。そして各地域は出来る限り自己の食堂、浴場、洗濯場、クラブ、學校およびその他同様の社會的用途機關を活用せ

おける人口増加の急速さについては次の数字が雄辯に物語つてゐる。即ち革命前はモスクワの人口は百六十一萬八千人であつたが、一九二〇年には百二萬七千人に減少した。

然るに一九三一年には二百八十萬人に増加した。レーニングラードにおいては一九二二年には僅か七十萬人、即ち、以前の人口の約四分の一しか残つてゐなかつた、といふのは、中心地がモスクワに移轉されたので、レーニングラードの人口が激減したのである。けれども一九三一年には、そこに新しい工場が開設されたために、人口は再び二百二十三萬八千人に増加した。

最後の一年間にモスクワにおける新家庭内の新しい宿舎は約七萬五千人を收容したが、一九三二年には新宿舎は二十五萬人を收容する筈である。多くの新しい家屋が工業的企業から近いモスクワの町はづれに建てられた。これまでの丸石を敷いた舗道を壊して、アスファルトの舗装道路が設備され、一聯の家屋群のため

ける最初の發達活動寫眞館が開設された。またその地には、大さにおいては聯邦中第四位を占めるラヂオ放送局が存在してゐる。

それに劣らず顯著なのは、その地方の中心であるドツツネ盆地における、以前のユゾフキ(舊民族名)の部落の發展で、今は人口二十萬人に上る大都市となり、その一年毎の増加は異常にも二〇%以上を越えてゐる。この都市の發展はドンバスにおける石炭工場の發展によつて齎された。

けれども、これらの都市または居住地は同じく以前に存在してゐたとしても、幾多の現存の都市は文字通り何一つない空地に生れ出たのである。かゝる都市のうち例へばマグニツトゴルスク市がある。三年前にはマグニツト山麓に最初の天幕が張られたが、今では既にマグニツトゴルスク大冶金工場の最初の熔鑛爐がコークス・化學コンビネーション同様に仕事を開始した。そして建設された工場の周圍に都市が生れ、該都市は一九三一

に中央煖爐が建設されてゐる。交通機關は改善され、新しい電車軌道が敷設され多くの乗合自動車線が開設され、地下鐵道建設事業が着手された。この地下鐵は一九三四年一月に竣工する筈である。更にまたモスクワ河とヴォルガ河とに結びつける運河建設の準備が行はれてゐるがこれはソヴェート聯邦のヨーロッパの部分における最大の水路である。荒廢し不必要となつた多くの古い教會は今では取除かれ、價値ある記念物と認められるその他の舊蹟は、博物館として保存されてゐる。例へば、有名なクレムリン宮殿はその舊い總ての城壁と高樓と共に保存されてゐる。若干の家屋は増築されてゐる。とはいへ、アメリカ式に人口の法外な集積を齎すやうな摩天樓の如きは全然建築されない。

かゝる住宅やコミュニターの建築はレーニングラードにおいて行はれてゐる。ここでは同じく労働者のための新しい家屋が建設され、水道網が擴大され、都市の電燈が増大し新しい電車軌道が敷設され

てゐる。レーニングラード港が改築され擴大され、最近同市で「緑のカンパニア」(綠樹植附デー)舉行の際には約十萬本の樹木が植ゑられた。

ハリコフ、バクー、スヴェルドロフスク、ノウオンビルスク、タンケント、オデッサ、スターリングラードの如き他の大都市にも、かゝる建築と改造とが行はれてゐる。殊に一九二〇年には僅か六萬七千人の人口しかなかつたのに、一九三〇年には既に廿一萬五千人に達した西部シベリア邊境の中心地たるノウオンビルスクの發展は顯著である。此都市に鑛業に必要な機械製作の大工場が建設されてをり、そこでは約二萬の労働者が従業するであらう。同じく一年に二千五百臺のコムバイン製作を豫定するコムバイン工場が建築されてをり、該工事は既に本年の終りに最初のコムバインを作出す筈である。トラクター工場や製紙工場も建築されてゐる。都市のかゝる工場の發展と共に新しい旅館、クラブが建築され、文化と休息の公園が建設され、シベリアによ

が開始されるや、漸次新しい都市が建設され始めたのである。一九三〇年の一月にはヒビノゴルスクには僅か百六十人の居住民しかゐなかつたのに、一九三一年の初めには同地に既に一萬五千人居住するに至り、今やその人口は四萬人に達してゐる。家屋の建設は、その地で採掘されるヒビン山燐灰石そのものが家屋の建設に利用されるといふことによつて容易になつてゐる。この都市には既に乗合自動車もあり、種々な都市的建物も建築されてゐる。

三、都市建設の意義

極く最近まで東部シベリアにおける人家少き村落であつたチエレムホーヴォは現在では東部シベリアの大都市の一つであるが、第二次五ヶ年計畫において該都市はこの地方の最も重要な石炭工業並に冶金工業の中心地となる筈である。一九三四年の終りには都市では電力五萬キロワットの水力發電所の建設が完了する筈であり、第二次五ヶ年計畫の終りにはそ

の能力は三千万キロワットに達する筈である。この発電所はアンガラストロイの基礎として役立つであらう。該都市の人口は今では既に四萬人を數へてゐる。西部シベリアの大中心地は漸次タズネツツ盆地におけるケメロヴォ村となりつゝある。この地には石炭工業と化學工業の諸企業が集中されてゐる。一九二三年にはこの村落には僅か一萬一千人の居住民がゐたにすぎなかつたが、一九三一年には約四萬八千人となり、一九三二年一月には新都市の人口は既に九萬人を超えてゐた。この都市における住宅建設に本年は約二百萬ルーブル支出された。

新しい都市は、極北における北極圏にさへ建設されつゝある。三年前にはエニシエ河口には若干の泥小屋からなる屯集所があつたが、今ではこの地は數百の大人家屋があるイガルカの大都市となり、人口は大凡一萬三千人を數へてゐる。イガルカは大きい港となり、この港によつてエニシエ河を浮送される材木の輸出が既に現在行はれてゐる。その地には三つの

挽材工場があり、そのうちの一つは最新技術によつて造られてゐる。イガルカ港は今のところ一時的のものではあるが、遠洋汽船が航行し得るが如き大きな海港が建造されつゝある。今年には都市建設に千六百萬ルーブル支出された。大劇場が開場されソヴェートの家や労働者宮殿が建設され技術學校や若干の初等學校も存在してゐる。一九三七年までには都市の人口は五、六萬人まで増加する豫想である。その時には、この地は全世界における極北圏での最も人口の多い工業的中心地となるであらう。

種々なソヴェート共和國が散在してゐる中央アジアにおいても新都市が建設されてゐる。眞に現在の首府ターヂキスタン・スタリナバッドは、革命までは合計六百の住民を有してゐた小村落デュシヤンベであつたのだ。今やスタリナバッドは六萬人の人口を有してゐる。該都市には二つの劇場が建設され、ソヴェート聯邦科學學會支部が創設され、赤軍兵舎、病院、學校及び托兒所が存在してゐる。

また都市には電燈が設けられ、乗合自動車も開設されてゐる。スタリナバッドの工業的基礎には、アフガニスタンの國境にあるヴァクシユストロイ(水力發電所)と機械製作工場とがある。

ソヴェート・キルギスの首府は、以前にはビシベツクと稱せられ、人口四、六千人を有してゐたフルンゼ市である。現在では同市の人口は殆んど十萬人に達してゐる。該都市には多くの新しい工場、即ち、砂糖工場、紡績工場、製薬工場、罐詰工場、精米工場、マカロニ製造工場および若干の煉瓦製造工場が建設されてゐる。該都市には大炊事場、公衆浴場、および公衆洗濯場、地方博物館、科學研究所、政府官舎、女子醫學專門學校および普通技術學校、農業學校、國民劇場、労働者劇場、國營競技場が存在してゐる。既に五つの活動寫眞館が開業してをり、新しい旅館やクラブが開かれてをり、一般に文化的建設は急速に發展してゐる。つい最近のこと、ソヴェート聯邦の遠境、カザクスタンのバルハツジュ湖北岸

十分一キロ

浴場—百二十ヶ所
機械化せるクリーニング場—百二十ヶ所

五、モスクワに歐羅巴

一の大ホテル建設

すべて大の字づくめのソ聯邦五ヶ年計畫建設事業に又一つ新に大の字が附加された。モスクワ市ソヴェート政廳では同市のオホトヌイリヤードに室の數一千、宿泊者數一千五百名、總容積三十一萬六千六百四十立方メートルといふ歐羅巴一の大ホテル建設計畫を立て、已に此程基礎工事を終つた由で、ホテル内には一千二百平方メートルの大規模な大衆的レストランあり、觀客三千人收容の劇場あり、オーケストラ用其他幾つかの大ホールあり、大圖書室ありといつた風に設備の點でも萬遺漏なきを期して居り、來年一杯には竣成を見るべしと。

六、各地に建設される新劇場

ロシア共和國人民委員會議は、同共和

ながら、ソヴェート領土の外貌を著しく變形せしめてゐる新しい都市は以上の如く發展し、建設されてゐるのである。これらの新しい都市の基礎には、五ヶ年計畫によつて建設されてゐるあれやこれやの工業的企業が役立つてゐる。この計畫の遂行と共に、ソヴェート聯邦における新しい工業的中心地としてこれらの諸都市の意義は増大するであらう。

四、一九三三年度都市建設事業

ソ聯邦本年の都市計畫建設費は住宅建設に一、八〇〇百萬ルーブル、公共事業建設に九〇〇百萬ルーブルと計上されてゐるが、その事業は左の如くである。

- 住宅—千六百萬平方メートル
- 新規水道—三十ヶ所(その水道線延長千四百軒)
- 電車新設—四百五十キロメートル
- 新規下水—三百七十キロメートル
- 新規バス交通地點—百十ヶ所
- モスクワ地下鐵—十一キロメートルと

において豊富な銅鑛の層が発見された。そこでこの銅鑛採掘を開始することに決定し、その後で直ちに巨大な銅コンピネーション・バルハツシユストロイが建設された。其地域に銅工業が發展すると共に、新しい都市コウヌラードが建設された。此新都市には有名なドネプロストロイと殆ど同じ力を有する水力發電所が建設される筈である。今年には住宅建設に二千四百萬ルーブル支出され、且つ新都市の人口は五萬人に達すると豫定されてゐる。建設はカレリヤの如きかくも遅れた地域においても行はれてゐる。その地には、革命までは單に小漁村にすぎなかつたカンダラクシヤの新都市が急速に發展してゐる。現在ではその地に大きい挽材工場が活動してをり、魚罐詰工場が建設され、且つその都市の人口は即ち一萬二千人に上つてゐる。カンダラクシヤは北部の大都市に轉化し、なほ第二次五箇年計畫の終りには恐らく約九萬の住民を有するに至るであらう。

農村人口の都市への轉移を強化せしめ

國內に於ける一九三三年の劇場新建築計畫を決定した。

右の計畫に依れば、メイエリホルド劇場建築に百七十萬留、ネミロウイチ・ダンチエンコ劇場に三十萬留、モスクワの「藝術家町」の研究所及住宅建築に百二十萬留、ワフタンゴフ劇場附屬技術學校増築に二十萬五千留を支出する。

イワノヴォオ市の劇場建築に百五十萬留同市の曲藝場建築に十萬留を、ロストフ・ナ・ドンの劇場建築に百萬留支出する。其他ノヴォシビルスクに百五十萬留、スヴェドロフスクに十萬留、ニジニー・タギルに十萬留を支出して劇場を建築することになつてゐる。

住宅建設

一、全聯邦に技師・専門家の住宅大建設

ソ聯邦人民委員會議及び同共產黨中央委員會は住宅建設増進の追加的手段として専門家、學者、技師、技工等各種企業、

教育機關、官廳等に働く人々の住宅状態改善のため本年春より向ふ二ヶ年間に住宅一一五〇〇を有する住宅用ビルディング一〇二棟を建設することに決定した。

六、ヤクーツ一棟、六七、ヤロスラウリ一棟（以上各ビルディング共住宅五〇〇〇）
右ビルディング内の住宅は各三部屋乃至四部屋とし炊事場その他諸式つきとしてこれが建築費及び材料供給は全部ソ聯邦の支辨とすることになつてゐる。

二、三十億留に達する住宅建築計畫

ロシア共和国住宅建築組合中央聯合會に於ては、住宅建築第二次五ヶ年計畫を決定した。この計畫に依れば、五ヶ年間に三千萬平方メートルの住宅をロシア共和国内に建築することになつてゐる。

その内、二千百萬平方メートルは都布に、主としてウラル、モスクワ、レニングラート、北高架索等に建築する。尙ほ托兒所、洗濯所、公衆公堂等の文化・社會施設用

建築及び増築費として三三年は三千萬留を支出する計畫である。大建築は主としてアバストマン、ツハルトボ、ボルヂョム、キスロフドスクの諸地方で行はれるオデツサには設備の完備した兒童保養所を建築することになつてゐる。社會保險局は被保險者に保養所及び休息の家を利用せしめるため本年二億留を支出する計畫である。

三、ソ聯邦特別休日設定

ソ聯邦では現在五日間労働、六日目休日制を原則として採用しつゝある一方、同國の各商港では従來の如く六日間労働日曜日制を實行してゐるが、ソ聯邦各商港では日曜日並に労働法第三條に準據する左記全聯邦の六日大國祭日の外、更に地方別による一九三三年特別六休日設定を發表してゐる。因みに六日大祭日は左の通りである。

- 一月一日——新年
- 一月二十二日——一九〇五年舊曆一月九日(血の日曜日)及びレ

としては五百萬平方メートルを、別荘用としては二百萬平方メートルを建築する。又ソフホーゾ及び機械・トラクター配給所には二百萬平方メートルの家屋を建築する。これに要する建築費は三十億留に達する筈である。

國民保健

一、國民保健費十九億留

ソ聯邦政府は國民保險には相當意を用ゐてゐるものゝ如く、其の支出する年豫算額も相當巨額に上つてゐるモスクワ全聯邦商業會議所報によれば左の如き數字になつてゐる。

- △國民保健費
- 一九二七—二八年 五五二百萬留
- 一九二八—二九年(五ヶ年計畫初年度) 六七〇百萬留
- 一九三二年 一、八九五・三百萬留

右の如くソ聯邦國民保健費支出額は五ヶ年計畫の四ヶ年間に三倍の増加になつてゐる。又、各種の療養所入所者数は一九二九・三〇年度には九三五・〇〇〇人で

あつたが、一九三二年には二、二五〇、〇〇〇人に激増し、此中労働者は八〇%を占めてゐる。因みに危険物取扱労働者は療養所入所に際し他の労働者に對し優先權をもつてゐる。五ヶ年計畫によつてクリミヤ及び高架索に多くの療養所が開設され、其他汽船の海上療養所、公園等幾多の施設が行はれてゐる。尙ほ政府の社會保健支出額は一九二八—二九年の四二一、三〇〇、〇〇〇留から、一九三一年の七八三、二〇〇、〇〇〇留に激増、一九三三年度には一人當り四十一留に達してゐる。

二、一九三三年の保養所と休息の家

ソヴェート聯邦に於ける保養所と休息の家について、中央社會保險局長コトフ氏の談に依れば、三三年社會保險機關に於ては保養所及び温泉に十七萬五千人、休息の家に百三十四萬人を送ることになつてゐる。

社會保險局は、保養所及び休息の家の

一ニオン死去

- 三月十二日——帝政轉覆紀念日
- 三月十八日——巴里コンミュン
- 五月一日及二日——國際労働者休日
- 十一月七日及八日——十月革命紀念祭
- 一週労働制を採用しつゝある諸機關は以上六日大祭日の外、一九三三年度に於ては尙特別六休日を持つことに法律を以て規定せられたが、右特別六休日はソ聯邦の各港灣關係機關にも適用せられてゐる此の六休日は地方により異なるものにして左の如し。
- アゼルバイジャン共和国
- 二月廿三日——赤軍記念日
- 三月 八日——國際婦人日
- 四月廿八日——ソヴェート政權樹立記念日
- 七月 四日——ソヴェート憲法發布
- 九月二十日——廿六名のバクター執政官處刑記念日
- 十二月十三日——後高架索聯邦建設記念日
- アルメニアン共和国

二月廿三日——赤軍記念日
 三月 八日——國際婦人日
 七月 六日——ソヴェート憲法發布
 九月二十日——廿六名のバクトー執政官
 處刑記念日
 十一月廿九日——ソヴェート政權樹立記念日
 念日
 十二月十三日——後高架索聯邦記念日
 ○ヂョルヂヤン共和國
 二月廿五日——ソヴェート政權樹立記念日
 念日
 六月十九日
 七月十七日
 八月廿一日
 九月十一日
 九月二十日——廿六名のバクトー執政官
 處刑記念日
 ○ロシア共和國(極東地方)
 二月廿三日
 三月 八日——國際婦人日
 四月十七日
 七月 六日——ソヴェート憲法發布
 八月一日

十月十四日
 ○クリミア自治共和國
 四月十七日——レナ河に於ける労働者
 大衆に對する死刑執行日
 三月十九日——集團化記念日
 八月 六日——工業化記念日
 十月十四日——收穫祭
 十一月十五日——クリミア解放記念日
 十一月十七日——ソ聯邦労働組合記念日
 ○レニングラード州
 三月 六日——コムンテルン創立記念日
 三月十四日——マルクス没後五十年祭
 四月十七日——レナ河に於ける労働者
 大衆に對する死刑執行日
 七月 六日——憲法發布記念日
 七月十七日——一九一七年七月ペトロ
 グラード革命記念日
 十月廿一日——收穫祭及び集團化記念日
 ○カレリア自治共和國
 二月廿三日——赤軍記念日
 三月 八日——國際婦人日
 四月十五日——カレリア白軍掃滅記念日
 七月十二日——ソヴェート・カレリヤ

建設十五週年
 九月 六日——國際青年日
 十月十四日——收穫祭、集團化記念日
 ○北部高架索
 二月廿三日——赤軍記念日
 三月 八日——國際婦人日
 四月廿二日——レーニン誕生日
 七月 六日——憲法發布記念日
 八月三十日——集團化記念日
 九月十五日——收穫記念日
 ○ウクライナ共和國
 六月五日——集團化記念日
 七月六日——憲法發布記念日
 八月一日——工業化記念日
 九月六日——國際青年日
 十月二日——收穫祭
 十二月廿四日——ウクライナ共和國憲
 法發布記念日
 註—週休及び六大祭日前日の労働時間は
 六時間を超過するを得ず但し右特別休
 日の前日労働時間は平生通りとす。其
 他の聯邦加盟共和國並に諸地方の特別
 休日追つて公表すべし。

文化施設

教育

一、教育の根本方針

革命によつて一擧ソヴェート政權を樹立したポリシエウイキーは、新秩序の樹立、經濟の建設、國家發展の爲、更に世界唯一の労働者農民の國家を形成して、聯邦憲法に所謂「有産階級を抑壓し人による人の搾取を廢止し、並に階級の區別も國家的權力も存在せざる共產主義を實現する爲、プロレタリアの獨立を保障する」には此目的のための教育を必要とすることは當然である。而して是等の目的を貫徹するには、

第一、革命の成果及びソヴェート政權を擁護し、共產主義社會に至る道程として社會主義を建設することを要し、教育を以て之が實現の具となすべく、ブルジョアの手段化を防止しなければならぬ

文化施設

此の目的のために

- イ、教育の中央集權
- ロ、教育及學問の政治化
- ハ、教育の解放殊に労働者及農民の優先權
- 第二、從來後れてゐた國民文化の程度を大に向上せしめることを要する、此の爲には教育の奨励、就中普通教育の普及其内容の變更及無學者並に一般民衆の教育を緊急とするが故に
- イ、労働學校の制度を定め、この職業教育と連絡せしめ、普通教育の内容を生産的勤勞に結びつけ、宗教と絶縁せしむ
- ロ、普通教育の義務的國民皆教制度を實施し、教育を無料とすること
- ハ、被服學用品を官給し
- ニ、無學者を教育して國民皆教の實を擧げ年少浮浪者收容教育を行ひ

ホ、校外教育機關を設けるなどの諸方針が生じる。

- 第三、經濟建設の根本問題たる工業化及農業の發達に必要な技術及技術者を養成することを要する。これ故に
 - イ、實用を主とし、普通教育と調和せる職業教育を興すこと
 - ロ、高等教育を専門職業教育化するの方針
 - 第四、婦人を解放し、其啓發を圖ることを必要とするが故に
 - イ、學齡前の教育を發達せしむ
 - ロ、男女を共學とし、教育上男女を平等とする
 - 第五、國家文化の發達及經濟建設を基礎として、國內多種の異民族の開發を要するが故に
 - イ、少數民族の教育を興し
 - ロ、諸民族をして教育上、自主權を有せしめ、就中各母語により、教育を行ふの自由を認めるの方針となつて居る
- 而して次の三つに分類されてゐる。

イ、一般教育

三歳以下の幼児の教育は、各所（各地方）の保健部の管理に属し、托兒所、幼童の家、母及幼児の家等にて之を行ふ。三歳以上七歳以下の児童は、學齡前兒童の家及子供の廣場に於て、單一勞働學校への豫備教育を施す、此等兒童の數は約百萬人である。單一勞働學校は普通教育の基本的機關であつて満八歳より入學せしめてをり、男女共學である。大體九年制にして第一級四ヶ年第二級五ヶ年に分れ、第一級及第二級前期（三年）の合計七ヶ年は普通の教育及政治教育を施してゐる。第二級後期の二ヶ年は、多少職業教育をも授けてゐる。

七年制勞働學校は、單一勞働學校第一級四年、第二級三年を合せたものであつて、前記九年制學校の第二級後期を除外したものである。

七年制工場徒弟學校は他の七年制單一勞働學校と同種であるけれども勞働時間體育及其の地方の工業に關係深き學科の時間を増し、多少技術教育化したもので

てゐる。

技術學校は中等程度の職業教育機關の一であつて、各分科に於ける理論的及實際的教育を行ふものである。師範科、音樂科、工藝科、醫科、社會經濟科、農村經濟科、藝術科に分れ修業年限四年であつて、社會に於ける中堅指導者の養成を目的とする。入學資格は年齢十五歳以上第二級勞働學校前期（七年）及職業技術學校卒業以上とする。

勞働豫備學校は各大學及専門學校に附屬する學校であつて、勞働者及農民にして大學又は専門學校へ入學するに正則なる豫備教育を有しないものゝために設けられてゐる。修業年限は四ヶ年であつて晝夜の二部に分たれる。入學年齢は十七歳乃至三十歳、夜間部は二ヶ年、晝間部は三ヶ年の勞働履歴を有し、普通教育を修了し、一般政治的豫備知識を有することを入學の條件としてゐる。

大學及専門學校は、聯邦に於ける最高學府であつて、工科、農科、醫科、社會經濟科、教育科、藝術科に分たれ、十七

ある。

農村青年學校は社會教育と同時に農村に必要な知識を授け、教化せられた農民を養成するを目的としてゐる。十二歳乃至十六歳の者を入學せしめ、修業年限は三年である。最近共營農村學校と改稱されてゐる。

ロ、職業教育

職業教育は工業及農村經濟、師範教育、公衆衛生、文藝等すべてに對し、適當なる從業員を養成するものであつて、職業教育は九年制勞働學校卒業後之を實施するを理想としてゐるが、實際は一般經濟状態低きため之を實行し得ない。當分勞働學校第一級（四ヶ年）修業者を入學せしめてゐる。

工場徒弟學校は主として大中工業の經營に係り、七年制技術教育の卒業者を入學せしめ、其の工場内に於て實地に機械のハンドルを握る傍ら職業及社會教育を受けるものであつて、主として熟練工の養成を目的とし、その卒業年限は職業の種類により異つてゐる。入學年齢は十四

歳以上の男女を入學せしめる。勞働豫備校卒業者は無試験其他は入學試験を受け農民、勞働者及其の子弟教育從業員及其の子弟の順にて入學を許される。

ソ聯邦に於ては國民をして國家統治、工業管理又は公共企業管理につき充分の理解を有せしむる必要を認め、勞働組合産業組合、其他の機關の協力により國民の政治教化に多大な努力を拂ひつゝあるが、其の施設の主なるものは左の如くである。

文盲清算委員會は読み書きの能力のない無學者に普通教育を施すことを目的とする機關である。共產黨中央委員會は全文盲を清算する方針にて熱心に活躍しつゝある。

勞働者講習會及農民講習會は勞働者及農民が單に文盲の域を脱し、読み書きをなし得る程度に満足しないで、更に進んでより高き教育を受けるために設置せられる講習會であつて、殆ど全部は夜間講習であつて、工場勞働者に對するものは一年乃至三年、農民に對するものは一年

歳以上である。

勞働幼年學校は生産に従事する青年勞働者に對する生産の實習、専門的及一般的知識の教育を兼ね授け、勞働者の技術及能率の向上を目的としてゐる。單一勞働學校四年を卒へた十四歳乃至十六歳までの者を入學せしめてをり、修業年限は二年乃至四年である。

夜間勞働者學校は地方の大工業又は同種工業の共同設立に依り、勞働者の技術の向上を促し、其の専門に應じ理論を教授してゐる。普通教育終了したもの限り、入學を許可し、修業の年限は一様ではない。

職業教習所は家内工業の職工の養成を目的とし、單一勞働學校の第一級（四年）修業を最低の資格とし、子供の家で教育せられた者及孤兒に入學優先権を與へてゐる。

職業技藝學校は熟練勞働者に各自の専門に應じ高等教育を授くるものであつて、修業年限は二年乃至四年とし、第一級勞働學校を修了したものを入學せしめ

乃至二年を以て修業年限とする。

勞働大學は前記講習を卒へた者であつて、更に進んで専門的研究を希望する者を收容する學校である。政治經濟、文學又は専門的職業教育を施すも其地方の入學者の希望によつて教授細目を定める。此學校は名稱は大學であるが實際は職業的傾向を有する普通教育機關である。

ハ、成人教育

獨學及自習機關の主なるものは、圖書館、クラブ、讀書の家、赤い部屋及通信教授である。圖書館は、都市にあるものは、大部分勞働組合の經營で、農村にあるものは、殆ど國營である。小村にあつては巡回文庫の制を設けてゐる。

クラブは都市及工場地帯に多く、主として勞働組合の管理である、いづれのクラブにも、子供室を設け幼児を預かり、婦人の勞働に便ならしめてゐる。

讀書の家は農村に於て、都市のクラブに相當するものである。讀書の家の如く獨立した家屋でなくて、或る家の一室等を利用し、その一隅を赤布で飾り、多く

レーニンの像を掲げ、新聞雑誌を備へたものを赤い部屋と稱してゐる。讀書の家には出版物宣傳文書を備ふるほか、映畫ラヂオ等の設備がある。音楽、芝居等を催す以外に、各種講習會、研究會、展覽會の開催に利用する。

通信教授は學齡期に教育を受けなかつた成人に對し、普通教育を通信教授の方法によつて授くるのを目的としてゐる。主要都市に通信の機關を設け、學習者に參考書及問題を送附し、學習者は解答を郵送すれば、答案を採點し説明し、更に新しい問題を送附する方法を以て行はれてゐる。

なほラヂオを利用する通信教授も近來盛に行はれるやうになつた。

二、一九三二年の國民教育

一九三二年のソ聯邦における各種學校就學者の數は著しく増大する筈である。大衆的型の教育機關における就學者の數を前年と比較すると、次の通りである

同ルケメン 六〇、七
タジツク同 六〇、八

合計 二五、四、七〇

(註、一九三二—三三年度に於て初等義務教育の現實は完成される筈)

ロ、ソ聯邦中學校生徒數(單位千人)

國別	一九三二—	一九三三—
ロシア聯邦	三二、一	三二、一
共和國	一、三二、八	一、六八、九
ウクライナ	五、四、五	八、三、三
共和國	七、六	一一、五
白ロシア同	一一、八	一三、九、三
後高架索聯	一、六、一	一六、二
ウズベツク	一、九、八〇	二、七、八、二
共和國	〇、三	一、五
トルクメン	〇、三	一、五
タジツク同	〇、三	一、五
合計	一、九、八〇	二、七、八、二

三、ソ聯邦の文盲清算運動

ソ聯邦では社會主義發展の根本條件

文化施設

五百萬人のうち四千五百萬人は農村住民である。

また大學專門學校、技術學校、勞働者大學豫備校の就學者は次の通りである。

一九三二年	一九三三年	増加率(千人)	
大學專門學校	三〇七、二	四八、九	三六、三
技術學校	五五、二	八五、五	四七、八
勞働者大學豫備校	三〇、四	二七、〇	四九、一
合計	一、二、四、四	一、五、四	四五、一

この外一九三二年に工場徒弟學校在學生は百六十九萬人に達する。

イ、ソ聯邦小學校生徒數(單位千人)

國別	一九三二—	一九三三—
ロシア聯邦	三二、一	三二、一
共和國	一〇、五、六、四	一三、二、六、〇
ウクライナ	三、一、六、六	三、四、三、七
共和國	六、〇、五、八	六、七、三、七
白ロシア同	六、四、五	七、五、八
後高架索聯	三、六、四	三、六、四
邦共和國	三、六、四	三、六、四
ウズベツク	三、六、四	三、六、四

左のうちで一九三二年就學者の減少するのは、學齡超過者學校と文盲清算學校であるが、前者は學齡期に就學しなかつた様な若者は大體收容しきつたので、だん／＼減少するのであり、文盲清算學校も、一九三一年で全部清算される豫定だから減少するのである。この二つの事實は共にソヴェート聯邦の文化事業の進歩を語るものである。

一九三二年の計畫は特に農村住民文化水準の向上に留意してゐる。これは都市では既に一人も文盲者がいない程文化の水準は高められてゐるが、農村ではそれに至らないからである。本年の在學數五千

として文盲清算に努めつゝあり、文盲清算協會をつくつて校内、校外教育網の發展により之が達成を期して居り、政府がその教化の對象とする十六歳より五十歳に至る文盲は年々過速度にその數を減じ現に一九三〇年八月より一九三二年八月に至る二ケ年間に露西亞共和國のみにて一千九百萬の文盲乃至半文盲教化に成功したが文盲總數に對するその教化率を主要各地方別に見るときは、

モスクワ地方	八二・三%
レーニンград地方	九一%
ウラル地方	七四・六%
イワノフ工業地方	七〇%
ヴォルガ下流地方	八九・二%

四、教育用宣傳飛行機

大衆政治教育作業に使用すべき宣傳飛行機「マクシム・ゴリキー」號は、世界最新技術を網羅して製作することになつてゐる。使用材料は悉くソヴェート國産品であるから、この飛行機はソヴェート技術的威力の縮圖と言つてもよい。

五、ソ聯邦のローマ字化

ソ聯邦は各民族、各人種の寄合世帯といふも過言ではなく、現在全聯邦を組織する民族及び種族の數は實に百八十二の多きに達し、其中革命前迄文字を有するものは半數にも足らず、加之、其の大部分は習得に多大の困難を要する漢字又はアラビヤ文字を使用してゐたのであるが革命後各民族の文化運動勃興すると共に

學士院外の學術研究施設としては、各人民委員部所屬の學術研究所がある。一九二八年には其の數二百二十四であつたが、一九三二年末には七百七十を數ふるに至つた。就中重工業人民委員部の百五十一、勞働人民委員部の六十九、農業人民委員部の七十六、ロシア共和國保健人民委員部の百等は近年に増設されたものである。

マルクス主義研究機關の設備は、政府の最も努力せる所であつて、巨額の費用をこれに投資しつゝある。右機關中最も權威のあるのは共產主義アカデミーである。

共產主義アカデミーは一九一八年の創設にかゝり、聯邦中央執行委員會に直屬してゐる。會員は悉くマルクス主義一流の理論家で、一切の學術部門を網羅し、各部門に就きマルクス主義的方法論を研究し、且つこの方法により學術の研究を行ひつゝある。アカデミーは幾多の研究所及部を包括し、之に附屬する多數の學會を指導する。

一九二二年右アカデミーより、マルクス・エンゲルス研究所を分離した。此研究所は科學的社會主義並に革命的共產主義の發生及發達の研究を目的としてゐる

一九二四年にはレーニン研究所の設立を見た。この研究所はレーニン生活及言行の研究、レーニン主義諸問題の研究、黨及コミンテルンの歴史の研究を目的とするものである。近年この兩研究所を合同しマルクス・エンゲルス・レーニン研究所と稱してゐる。

二、科學研究の新任務

ソヴェート聯邦の科學研究機關は、社會科學に屬するものも、自然科學に屬するものもすべて例外なく五箇年計畫によつて具體化されつゝある社會主義建設の嵐の如き躍進的現段階において、それぞれの特種職能の上に新なる任務を附與され、もしくは遂行しつゝある。

この任務の外に立つが如き機關は、例へその外見が直接それと縁故のないやうに見へたとしても、今日ではせつたたいに

之等機關の中其組織、内容、任務等において第一位に推されるのはソヴェート同盟科學アカデミーで、同盟人民委員會議(ブルジョア國家の閣議)に直屬しレーニングラードに存在する。比較的我國に知られてゐないその組織内容について左に紹介する。

ソヴェート聯邦科學アカデミー

- 一、目的
 - A、新なる發見及び新なる研究方法によつて科學を發達せしむること
 - B、國家の自然的資源を研究し、その利用に便すること
 - C、科學的研究の結果を工業、經濟及文化の上に應用せしめる事を目的とし、之に附帶して科學的發表並に出版を行ひ、直接科學者を養成する

二、組織

科學アカデミーを物理、數學部と、人文科學部とに分つ、人文科學部は史學、言語學、經濟學、社會學等を含む。科學アカデミーはそれ自身に直屬する

存しない。

マルクス主義農學者第一回全國大會(一九二九年十二月二十七日)に於て、スターリン氏はソヴェート國家に於ける農業集團化運動の偉大なる進撃を指摘した後、ソヴェート現段階に於ける理論(學術)研究の意義について次の如く述べてゐる。

「併しながら我々が、社會主義建設の實踐的方面に於ける成功を誇りうる根據を持つてゐるとしても、一般的には經濟的分野において、特殊には農業經濟の分野において、我々が同じ程度の成功を理論的方面に於ても收めてゐると斷言するのは誤である。否、寧ろ理論的方面に於ける活動は、實際的方面のそれに追隨して居らず、又我々は實際的方面の成功と理論的思想的發展との間に多少の間隙をさへ持つてゐると言はなければならぬ。ところが、理論的活動はたゞに實踐的活動に追從することをもつて能とすべきでなく、それを追ひ越し、實踐家をして社會主義の勝利のための闘争に武裝せしめる

やう仕向けてゆく事が必要である。」
都市及び農村に於ける社會主義經濟建設のポリシエヴィキ的テンポによる成功は、學術研究の方面における發達のテンポよりも著しく進んでゐるため、スターリンの指摘したやうなギャップが生じたのであつたが、爾來一年ソヴェート聯邦の全科學研究機關はこのギャップを埋め進んで實踐を追ひ越して進むために、凡ゆる努力を拂ひ、すでにその分野で相當の實績をすらしつゝある。

三、科學研究機關

現在ソヴェート聯邦における各種科學研究機關の數は約一千に達してゐるが其中には(一)國家豫算によるもの、(二)國家の補助を受けるもの、(三)獨立せるもの、三種があり、之を研究の種目別に分てば、(イ)物理、數學研究機關、(ロ)自然科學研究機關、(ハ)人文科學研究機關(ニ)教育研究機關、(ホ)各地方を研究する機關、(ヘ)藝術的圖書館、(ト)藝術研究機關等である。

- 研究所(インスチテュート)、博物館、實驗所、委員會等の科學研究機關(一九二七、八年現在四〇を算せるも遙かに増加せる筈)を有し、又將來之を必要に應じて新設することが出来る、附屬研究機關の主なるものは左の如し。
 - A、物理數學研究所(理論數學、應用數學、機械學、純正物理學、實驗物理學、地球物理學の研究)
 - B、化學研究所
 - C、高架索歴史考古學研究所
 - D、チノリス言語學研究所
 - E、露西亞及隣接國人種調査常設委員會
 - F、ソヴェート聯邦自然生産力研究常設委員會(ソヴェート聯邦自然富源の研究、實驗、研究機關の統一等を行ふ)
 - G、其の他の委員會
 - 「常設地震委員會」、「常設北極委員會」、「バイカル湖研究委員會」、「學術探檢委員會」、「熱帶國研究委員會」、「プーシキン及ツルゲーネフ著作出版

版委員会」、「スラブ研究委員会」、
 「國立考古學委員會」、「常設歴史委
 員會」、「露西亞ヴィザンチン歴史辭
 典委員會」、「東洋學者委員會」、「露
 西亞語辭典出版委員會」、「方言表作
 成委員會」、「舊露語研究委員會」
 H、博物館は左の五つ

「植物學博物館」、「動物學博物館」、
 「地質礦物學博物館」、「人類學・人種
 學博物館」、「亞細亞博物館」

I、「ブーシキンの家」(博物館の一種)
 J、試験所

「植物生理試験所」、「動物學試験所」
 「生理學試験所」

K、セヴァストポール生物學研究所、
 太陽研究國際同盟支部

L、圖書館(藏書三百五十萬卷)書庫、
 出版部

M、以上の外「天文觀測所」、「水理學
 研究所」、「國立ラヂオ研究所」

三、會員

科學アカデミーは、A、正會員、B、
 名譽會員、C、準會員、D、學術勤務

人クルプスカヤ女史を名譽會員に選舉し
 準會員には左の人々を選舉した。

數學及び自然科學部には

ポールアドリエン、モリス、ダリク
 (イギリス)、チャルリス・バルソン
 ス(イギリス)、エス・イ・ワウイロ
 フ、ア・ウエ・ポライ・コシツ教授、
 エム・ア・シヤテレン教授、エヌ・
 エス・ストレレツキイ、エ・ウエ・ブ
 リツケ教授、エム・ア・ホンチ・ブル
 エウイチ、イ・ア・ラツポ・ダニレフ
 スキイ、ゲ・ウエ・コロツフ、エル・
 イ・ブラソポフ。

社會科學部には

エフ・チルレル、エワ・チエルティン
 グレン(ドイツ)、エ・ノルデン、エ
 ス・ベ・オブノルスキイ、エス・ムラ
 デノフ、エヌ・ケ・ビクサノフ、ウ
 エ・エヌ・チエルヌイシエフ、ウ・ウ
 イルケン。

猶ほ臨時總會に於て本會員を除名され
 た者はエス・プラトノフ、エ・タルレ、エ
 ヌ・リハチエフ、エム・リュバフスキーで

員の四種より成る。

A、正會員

ソヴェート聯邦の市民にして重要な
 る發見をなし學術上に貢獻したる者
 より選舉す

B、名譽會員

ソヴェート聯邦市民又は外國人にし
 て世界的貢獻をなした者から選出す

C、準會員

科學界に名譽ある學者中から科學ア
 カデミーが之を選び、アカデミー會
 員總會の承認したる者

D、學術勤務員

有功なる研究又は實驗をなし、或は
 専門學識を以て有名なる者にして科
 學アカデミーの事業に參與す

一九二九年一月補缺選舉の結果になる
 正會員の數左の如し。

A、物理學部 三一人

B、人文科學部 五四人

四、管理

科學アカデミー常任委員會は研究上管
 理上の最高權を有し會長一人、會長代

ある、之は反革命陰謀に参加した事實が
 判明したためである。

此他聯邦科學アカデミーに準すべき同
 種の機關は、革命後キエフ(ウクライナ
 科學アカデミー)及びミンスク(白露科學
 アカデミー)の二箇所にも設置せられ、
 當該共和國における學術上の最高權威機
 關となつてゐる。

四、マルクス主義學術
 特別研究機關

マルクス主義學術研究施設の最高峰は
 ソ聯邦中央執行委員會附屬の共產主義ア
 カデミーである。一九一八年の創立にか
 り、一九二三年まで社會主義アカデミ
 ーと稱されてゐた。會員は悉くマルクス
 主義の一流理論家で、會長はエム・ボクロ
 フスキーである。

共產主義アカデミーは幾多の研究
 所(哲學、ソヴェート建設史、世界政策等)
 及びセクションに岐れてゐる。共產主義
 の學術的研究及自然科学の唯物史觀的研
 究の中心である。

理二人(任期五年)、幹事、會員、各部
 書記より成る。

現在科學アカデミー會長は著名の地
 質學者アレクサンドル・ペトロウイチ・
 カルビンスキー教授にして、氏は一八
 八六年すでに科學アカデミー(舊稱
 ロシヤ帝國學士院)の會員に選舉され
 た。

會長代理はクリヂヤノフスキー氏及コ
 マロフ教授である。

科學アカデミーの總會(月一回)及部
 總會(月一回)は常任委員會の召集によ
 つて開かれる。特別總會は主要なる事
 件の發生に際して及び毎年二回開かれ
 正會員は正會員關係部會に出席の義務
 を負ふ。

五、其他

科學アカデミーは其郵税無くして郵便
 物の發受を行ふことを得、且つ其發受
 する印刷物手寫物は檢閲を要せぬ様特
 權を有す。
 尙ほ一九三〇年にはアカデミー會員の
 人的構成に變動あり、新にレーニン未亡

共產アカデミー

組織

(1) 目的及事業

共產アカデミーの目的は一、「マルク
 ス」主義及「レーニン」主義に関する問
 題の研究。二、「ブルジョアの」「マ
 ルクス」主義破壊に對する防衛。三、
 社會科學及自然科学に「マルクス」主義
 を入れ、且理想主義を排除する事にあ
 り、其事業としては一、總ての學問に
 就き研究を行ひ、二、國內及外國の「マ
 ルクス」主義研究機關及研究者の協力
 を計り、三、「マルクス」主義及「レー
 ニン」主義の理論及實際に關する高級
 資格ある研究者を養成し、四、是等の
 主義の民衆に對する普及を圖る爲め講
 演、討論等を催し、五、調査隊を派遣
 し、六、出版を行ふ。

(2) 構成

共產アカデミーは八部、三研究學院、
 若干の委員會及研究會より成り、出版
 部及圖書館の外に附屬の三學術協會が
 ある。

共産アカデミーの八部と是に附屬する委員等左の通りである。

- 一、經濟部 附屬の經濟地理會及「ソヴェート」國民經濟「セミナー」あり。
- 二、農業部 農民革命研究委員會之に附屬す。
- 三、「コーペラチヴ」部
- 四、法律及國家原理部 東方民族研究委員會之に附屬す。
- 五、國際婦人運動理論及實際研究部
- 六、方法論及歴史研究部
- 七、自然科學及數學部
- 八、哲學部
- 九、文學及美術部

因に從來の科學方法論部は一九二八年より廢せられ、自然科學及數學部と哲學部に分屬せしめられたこととなつた。研究學院には左の如きものがある。

- 一〇、ソヴェート建設學院
- 一一、世界經濟政治研究學院
- 一二、最高神經作用研究學院

右の外

- 一三、黨建設研究會
- 一四、宗教思想研究會
- 附屬學術協會には
- 一五、「マルクス」主義統計學者協會
- 一六、「マルクス」主義歴史學者協會
- 一七、物質主義生物學者協會

(3) 會 員

共産アカデミーは正會員、準會員、學術專門家及研究勤務員を有する。一、正會員は其の「マルクス」主義及「レーニン」主義思想に就き命名あり、又は、學術的研究を發表し、若くは實際的活動をなせる者より選舉せられ、共産アカデミーの機關の事業に與り、學術勤務員及研究員の研究を指導する。二、準會員は「マルクス」主義及「レーニン」主義に就き著名な學問的研究を發表したるものより選舉せられる。三、學術勤務員は學問的研究により著名な者より選ばれる。

マルクス・エンゲルス研究學院

一九二三年の創設にかゝり、聯邦中央執行委員會に屬し、モスクワに所在し

科學的社會主義の發達の研究、同主義者及其先覺者の著述の研究及出版を目的とし、理論及歴史の研究室、圖書保管部、圖書館、博物館及出版部を有つてゐる。此の學院は藏書の豊富を以て名聲あり、その獨逸史研究室だけでも四萬五千部を有し、斯の如く多數の獨逸革命運動史の資料を蒐集した處は他にその類例なしと稱されてゐる。此の學院の主要なる事業は、「マルクス」及「エンゲルス」全集ドイツ語版(全四十卷)、同ロシア語、(八卷)、其他ブレハーフ、カウツキイ其他の全集である此他「レーニン」研究學院(一九二三年三月創立、共産黨中央委員會附屬)、ロシア社會科學研究學院聯合、聯邦東方研究學術聯合、國立物質文化學院、經濟研究學院、經濟要素研究學院、國際農業研究學院等がある。

五、人工降雨研究

所の計畫

應用科學の研究發達に多大の努力を傾

注しつゝあるソヴェート聯邦は今回人工降雨研究所なる學術機關をモスクワに新設した。追つて支部をレーニングラード、オデツサ、サラトフ、タンケント及びアスハバッドに開設する豫定であるが、同研究所の研究題目は單に人工降雨、人造雲にとどまらず降雨の中止、雲霧解消等の研究に關する業績を發表する筈である。レーニングラード支部には有數の學者を配し、氣流に影響を與ふべき高壓電流、エツキス光線、紫外線、ラデオ・アクチヴ光線等を設備し、一九三三年の夏季には早拔地方にテストを行ひ冬季にはモスクワ附近で降雪試験を行ふ豫定であるが、興味あるテストの一つとして注目されてゐるのは長き輪狀ケーブルを以て支へたる特別裝置機の鎖により都會の降雪を隣接地方に移動せしめる試験である

出 版

一、ソヴェート出版界

ソ聯邦の第一次五ヶ年計畫は重工業

文化施設

は勿論のこと、學術文化の發展にも多大の躍進を示したが、之に關して過去五ヶ年に於ける出版物の増加を見るに、一九二八年の初期に於て聯邦間に於て發刊せられた新聞數は五五七種、其の發行部數は九百萬部であつたが、一九三二年に於ては實に六、六八三種發行部數三千五百萬に達し六十三種の國語が使用された。又一九二八年に於てはソ聯邦共和國内の特異民族の發行する新聞は二〇五種なりしに對し一九三二年の終りに右は一、六二〇種に上つた。次に一九二八年に發行された書籍數は二億二千六百萬部なりしが一九三二年には八億三千六百萬部即之を戰前一九一三年の書籍發行部數と比較する時は實に七倍半の激増を示してゐる。帝政ロシアは一九一三年に新聞紙八百五十九種、發行部數二百七十萬部、書籍二萬八千種、發行部數一億一千三百四十萬冊を有してゐたが、ソ聯邦は一九三一年に新聞五千四百種、發行部數三千五百萬部、書籍五萬三千八百種、發行部數八億三千五百二十萬冊を發行した。一九

三二年に於ける新聞發行部數は三千八百萬部に達してゐる。

ソ聯邦印刷物の特徴となつてゐるのは民族的印刷物の増大したことである。今日ソ聯邦で發行されてゐる新聞を言語から見れば六十種に及び、書籍は八十三種に及んでゐる。第二次五ヶ年計畫に於てはソ聯邦内に居住してゐる民族は悉くその民族語に依る印刷物を有するに至るであらう。

ソ聯邦圖書中央局の資料に依れば、一九一八年より一九三一年に至る書籍發行部數の増加割合は左の如くである。ロシア共和國一六四〇%、ペロルンヤ共和國一三、〇七一%、ソクライナ共和國一三七五%、アゼルバイジャン一、二九二%、アルメニヤ一、二七〇%、グルジヤ一、六三九%、ウズベキスタン及びタジクスタン一、九三七%、トルクメニスタン一、三三三%。

二、ソヴェート主

要新聞名

二二七

イ、「ブラウダ」(眞理)

一九三二年五月五日二十年記念日を迎えた「ブラウダ」は全聯邦共産黨中央委員會並にモスクワ委員會の機關新聞である。その創刊は一九二二年五月五日で、ソヴェートの出版デーは此のブラウダ創刊の日を選んだのである。發行數部も聯邦中第一で、一九三二年一月一日現在では二、五〇〇、〇〇〇を突破し、一九三二年末には三、五〇〇、〇〇〇部まで増加の豫定である。主筆はエム・ア・サウエリエフ。

ロ、「イズヴェスチヤ」(報道)

全聯邦ソヴェート中央執行委員會及全露ソヴェート中央執行委員會の機關紙。此の新聞は本年三月十三日に十五周年記念日を迎へた。一九一七年舊曆二月二十八日、即ち二月革命後にペテログラード勞兵ソヴェートの機關紙として創刊。ソヴェート制度の發展とともに、「イズヴェスチヤ」もまた發展して、ソヴェート中央執行委員會機關紙、次いで、全聯邦中央委員會の正式機關紙となつた。現在

の主筆はイ・エム・グロンスキーである。

發行部數約二、〇〇〇、〇〇〇

ハ、「エコノミチエスカヤ」

ジーズニ(經濟生活)

最初勞働及國防委員會議(ストー)及聯邦國民經濟最高會議の機關紙であつたが、一九三〇年三月一日から通商、交通財政三人民委員部の機關紙となり、更に昨年二月から國家計畫委員會及財政人民委員部の機關紙となつた。三二年に入つて紙幅を狭めた。一九三一年の發行部數は一四〇、〇〇〇である。主筆はエル・エ・ウイスベルグ。

「サイングストリアリザイ

チユ」(工業化のために)

重工業人民委員部の機關紙。その名の如くソ聯邦の工業化運動の指導に任じてゐる。主筆はヴェ・エ・ス・ボグセマスキー一九三一年平均發行部數二三〇、〇〇〇今年末には五〇〇、〇〇〇部に増加の豫定。

ニ、「トルード」(勞働)

全聯邦勞働組合中央會議機關新聞、主

筆はア・カ・アポリン。

ホ、「クラスナヤ・ズヴェスタ」

(赤い星)

革命軍事會議の機關紙で赤軍の政治教育上大なる役割を演じてゐる。主筆はエム・エム・ラング。ソヴェート國防意識の一層の鞏化と關連し、現在三〇〇、〇〇〇部以上の發行部數を有するものと想像されてゐる。

ヘ、「コムソモリスカヤ・ブラウダ」

(コムソモルのブラウダ)

ア・エム・トロイツキーが主筆である。レーニン共産青年主義同盟中央委員會機關紙。

ト、「ソチアリスチーチエスコエ・ゼムレデーリエ」(社會主義農業)

全聯邦農業人民委員部、コルホズ中央本部、粒穀トラスト等の機關紙。主筆はイ・デ・ウエルメンツェフ。「ベドノター」紙を併合して、現在では發行部數二十萬乃至三十萬に達するであらう。

チ、「ラボチヤヤ・ガゼータ」

(勞働新聞)

四、勞働農民通信員

一九二八年十一月(第四回全聯邦勞働農民通信員會議)迄の勞働農民通信員の數は約五十萬人で、一九三〇年前半期における計算によれば該通信員の數は百二十萬を下らない。

一九三〇年度一月二十五日附決議において全聯邦共産黨中央執行委員會は經濟計畫遂行問題に關する諸新聞の態度を難詰してゐるが、中央執行委員は二月附書面の形式をもつて經濟建設の特殊指導法に關聯して新聞界の決定的立直しを要求してゐる。この指令は新聞界立直しの重要な動機となり、新聞界においても自己批判が益々活潑となり、一九二八、二九年度新聞界自己批判で最も指標的な課題となつたのは所謂スモレンスク、アストラハン、アルテモフスク事件であつた。そして一九三〇年度的特色的な自己批判の對照は産業財政計畫、播種カンパニヤ、漁獲、木材買附等の成績に關するものであつた。

全聯邦共産黨中央委員會機關紙。主筆はウエ・ゲ・ヒロフ。一九三一年の發行部數四六〇〇、〇〇〇で、本年中には倍加の豫定。

リ、「クレスチヤンスカヤ」

ガゼータ(農民新聞)

これは全聯邦共産黨中央委員會の大衆的なコルホズ新聞で、日刊でなく三日毎に發行される。現在三百萬出て居る。

三、一九三二年の

新聞發行狀態

一九三二年五月五日の出版デーを期して發表された一九三二年一月一日現在のソヴェート聯邦新聞數は五千六百種に達し、之を戦前のロシア帝國新聞數八百五十九種に對比する時は正に六倍半の増加であるが更に全新聞の發行部數は三千五百萬部に達し戦前の十倍に相當する。其他戦前との重大なる變化は戦前全新聞の二〇%がペテログラード及びモスクワに於て發行されてゐたが、今日では兩大都市に於けるそれは僅か全新聞の二%に過

一九二八年	八、八〇〇、〇〇〇部
一九三二年	三五、〇〇〇、〇〇〇部
一九三三年	四〇、〇〇〇、〇〇〇部
一月一日	
一九三三年	
一月一日	
一九三三年	
一月一日	

(計畫數字)

多くの新聞の根本的な缺陷を挙げれば政治的誤謬、輕跳、陳腐、煽情的、問題究明の不徹底、編輯機關改造の遲疑逡巡、社會主義建設遂行過程の報道不充分、社會主義展開の新條件下における労働農業通信員運動に對する指導の不足等である。是等の缺陷は黨籍記者連の缺陷並びに現業地における黨指導の不徹底さを曝露するものである。新聞紙、殊に職業組合新聞の検査並びに「清掃」を斷行した際、編輯部内に多數の異分子が混在してゐることが判つて大問題になつたことがある。新聞従業員の主要な缺點は政治教育の未熟、ジャーナリストとしての經驗淺きことなどを擧げることが出来るが、又、黨籍にある者三三・九%、労働者出身一六・二%といふような割合をも考慮に入れなければならない。それから従業員の頻繁な交迭もソヴェト新聞界の大なる缺點である。例へば同一新聞を一年未滿で退社するもの六〇%からあり、そして事務的職業から新聞界に轉じたもの三一・一%、黨の仕事から轉職したものの

二・九%職業組合から轉じたもの三・二%、經濟機關からのもの〇・四%、コペラチヅからの者〇・九%と云ふ割合である。それから記者二千六十九人の中千九百七十四名(九五・四%)は實に再準備教育未終了者であつた。従つて現在の重要問題は新聞従業員の選擇、登用、準備教育、再教育の問題である。

一九三〇、三一年度の學年期からマルクス主義講座内に新聞部が開設され、多くの共產黨高等學校内にも新聞記者養成及び再教育講座が議せられてゐる。一方新聞社内部機關の「清掃」と、各機關へ労働者を登用することなども問題になつてゐる。

五、書籍及び雜誌

國內工業化、農業集團化、社會主義建設問題の解決、文化事業の發展等の結果、書籍、雜誌の需要は著しく増加した。書籍發行數の増加率は各民族共和國及び州において殊に顯著で、書籍種類及び用紙の増加は次のような數字を示してゐる。

白ロシヤ

一九二八、二九年	二二、五百萬枚
一九二九、三〇年	五〇百萬枚
後コーカサス共和國	
一九二七、二八年	三五、五百萬枚
一九二八、二九年	四二、五百萬枚
一九二九、三〇年	五五百萬枚

ソ聯邦諸民族中央出版所にかゝる出版物枚數は一九二八年度の千七百萬枚に對し、七千五百萬枚に達してゐる。ウクライナ共和國における技術關係書籍は二八、二九年度に比較し、二九、三〇年度には六倍の増加である。

六、ロシヤ共和國における書籍發行高

書籍發行部數は激増したにもかゝらば、需要が著しく減少した。國立出版所刊行物の平均發行部數は一九二八年度の二萬八千部から一九二九年度には四萬八千五百部に増加した。一九二九年末二萬部を印刷したマルクスの「資本論」は一ヶ月で賣切れ、十萬部増刷したスターリン

の「レーニン主義の諸問題」は五十萬部刷つて之を完全に賣盡してしまつた。技術關係及び大衆向書籍の賣行きも亦素晴らしく、例へば一九三〇年三月に出たアチンスキイの「フォルドゾン・トラクター」(第四版四萬部)、「インターナショナル・トラクター」(第三版六萬六千部)の如きは僅々一ヶ月間に十二萬部の注文を受けた。第十六回黨大會決議は百萬部。一九二九年中央執行委員會十一月幹部會決議百五十萬部。スターリンの有名な論文でパンフレットになつた「成功からの眩暈」は實に千二百萬部を賣盡したのである。

大衆向政治叢書「コペイカ叢書」は百五十萬乃至三百萬部出る。全國の雜誌發行部數はさう急激な増加を示してゐないが、最近一年半乃至二年間に出版された雜誌の種類は殆んど技術農業、政治關係のものに限られた感があり、一九三〇年の技術雜誌は一九二九年の二倍で一億三百萬枚、政治雜誌は雜誌中の首位を占め二億七千七百枚(印刷全紙)である。雜誌の生産が新聞、書籍に

比して振はないのは用紙の不足や、小雜誌の廢刊や、最近の傾向として大衆向書籍の洪水などが原因であらう。

宗 教

一、宗教の現状

信教の自由に付てはロシヤ社會主義聯邦ソヴェト共和國憲法の保障するところである。之は社會主義に在りては民衆を社會的連帶以外の一切の羈絆より解放し、個性の完全なる自由を保障せむことを理想となすに由るものと認む可きところ、革命當時以來無神の宣傳及反宗教運動の行はれて來たのは元來超自然力の存在を前提とする宗教的信仰が唯物史觀に即する科學的社會主義の理論に反するものであると共に、在來の宗教を以て搾取階級の傀儡と墮し一般民衆の奴隸的服従を強制する一方便と化せるものなりとし社會主義化せられた社會の施設には民衆を經濟的に解放すると共に、マルクスが宗教は人民に對する阿片であると説ける所に従ひ、宗教的迷信を打破し以て民衆

を精神的にも解放するを要すとの觀念に基礎を置くものと認む可く、而して右に付ては共產黨綱領中に於て反宗教運動は科學的宣傳の啓蒙に依るの外暴力を用ひて妄に民衆の反感を買ふ可からざるを戒め、又黨の決議に於ても村落に於ける節度なき反宗教運動が、却て所期の目的に反するものであることを戒めて居る。然るに不拘最近年を逐つて反宗教運動が熾烈となり、大規模の宣傳および多數の宗教的建物の閉鎖除去が行はれ又對人的壓迫例へば「セクタント」に對する峻烈なる壓迫を見るに至るのみでなく、一九二九年四月開催せられた第十四回全露ソヴェト大會に於てロシヤ共和國憲法第四條は改正せられて「労働民衆に眞の良心の自由を保障する爲國家と教會並學校と教會とを分離し、又信教宗教的宣傳の自由を、人民に認む」とせられ、信教の自由は依然認めらるるも從來反宗教的宣傳と共に認められてゐた宗教的宣傳の自由は保證せられざることとなつた。

此の一九二九年四月八日發布の新法律

は一九二八年一月二十三日附の國家及學校と教會分離に關する根本法に其淵源を有するものであるが、特に本法律を發布したのは一九二八年に發布せられたる右根本法の施行細則及其後の法令が過渡期の規則であつて現時の要求に適せないので鑑み、之に代らしめやうとするものであつて、本法律は右諸法令と甚しく其の内容を異にしてをる。今其の主なる點を擧ぐれば。

先づ第一に本法律は一九一八年の根本法は凡ゆる名稱の祭祀聯合に適用せらるべきを定め(第一條)以て其施行法が其適用の範圍を詳細に定めたるも、尙且適用を受ざけるあるべきを防ぎ、人員の多少を問はず、苟くも團體又は集團を組織する宗教的結合は凡て登記しなければ何等の活動を爲すを得ざることとし(第二條、第三條、第四條)且宗教團體團員、及其の各種機關の構成人員を届け出づるの義務を負はしめ(第八條)團體の執行機關の人員中個々の者を忌避する權利を留保し(第十四條)又許可を得て開かれた宗

教大會に其の執行機關の名簿と共に大會の資料提出の義務を負はしめ(第二十條)各方面より團體を監督するの途を開き、又祭祀財産の管理及使用に關係する契約は之を締結するを得るも(第十一條第一項)同契約は商業的又は工業的目的を内容とするを得ないといふのであつた。

二、反宗教運動

斯の新しい法律の發布された一九二九年より一九三〇年にかけて、宗教彈壓運動は其の頂點に達し、爲めに各國宗教團體の注意を喚起するに至り、殊にローマ法王は一九三〇年二月教書を發表してロシア基督教徒の爲めに全世界に呼びかけ、次でカンタベリー大監督が之に應じて世論の喚起につとめた。此の結果、西歐及びアメリカの反ソヴェートの感情が非常に激發されるに至り、ソ聯官憲は形勢の重大なるを感知し、三月十五日附の共產黨中央委員會の指令にて政策緩和の意を發表した。それによれば人民の社會的、任意的希望を無視したる行政處分に

人の會員を有してゐる。この團體の活動に就てはローマ法王はその宗教的反動性によつて、「道徳及び文化の退歩」であると絶叫し、海外の白系ロシア人と各國の反動勢力とは結びついて宗教防禦の十字軍を起させやうとしたことがある。

猶ほ反宗教運動のため、専門の反宗教學校、反宗教學科、反宗教雜誌、書籍、反宗教示威運動、假裝行列等を行ひ、特に反宗教的出版物に力を注いでゐる。反宗教運動が年々如何に發展し行くかは、反宗教運動専門の新聞雜誌中、最も勢力のある新聞「ベズボジニク」が、一九二七年度の發行部數六萬二千五百十四部から一九三〇年度には三十七萬五千部に激増してゐる事實を知れば充分である。

赤色スポーツ

一、ソヴェート

スポーツ概観

イ、革命前のスポーツ

革命前まではロシアに於けるスポーツ

文化施設

よる教會堂の閉鎖行爲を斷然中止し、實際に農民の絶對多數による場合には州執行委員會の承認を経てのみ教會堂閉鎖を許可することを公布した。此の指令によつて幾分表面の彈壓的態度は緩和された如くであるが、他方、共產黨の反宗教政策とゲ・ベ・ウの反宗教的活動があつて、憲法并に法律を空文化させてゐる事實は見逃すことが出来ない。特に「ゲ・ベ・ウ」の活動は潜行的にして、而も最も凄じき勢力を有してゐる。此の本部には「秘密活動部第六課」なるものがあつて、對宗教方針は細大洩らさず此處で處理せられてゐる。如何にゲ・ベ・ウの活動が猛烈であるかは、學校教員にして教會に行く者を監視し、發見するときは直ちに解職し又學生でも教會へ行つたのを發見すると上級の學校に入學する特權を剝奪される此外、政府の運動ではないが、民間の義勇的、有志者な反宗教運動として「戰闘的無神論者同盟」といふのがある。創立以後既に六年であるが、今日では労働者農民及一般労働階級を含んだ三百五十萬

て來た。と同時に單獨競技又は綜合競技のスポーツの團體が組織されはじめた。

この運動は日と共に隆んになり、廣汎な青年層をとらへた。それは一つの中央部から發せられるところの組織的な毎日のコーチを要求した。そして一九二三年の六月七日全露中央執行委員幹部會の決議に基き、常任委員會の權限をもつて全露中央執行委員會幹部會附屬の最高體育委員會が組織された。委員會の構成メンバーは人民の體育事業に關係ある機關の代表者であつた。またこの委員會には教化人民委員部、保健人民委員部、労働組合および他の機關代表者も參加した。

洲、縣、郡、地方の中心地には同じ様な體育委員會が設けられた。最高體育委員會および地方の體育委員會は、體育運動の發展と教化のために豫算から特別支出をする權利をもつてゐた。これ等の支出は體育講師の養成、スタヂオ、競技場スケート場、スキー小屋(ヒュツテ)および他の施設のために使はれ、また體育に關する通俗的並に科學的文獻の發行に使

體育方面の運動は、充分の發展をとげてゐなかつた。モスクワ、昔のペテルブルグ、ハリコフ、ロストフ・ナ・ドン、キエフその他數ヶ所の都市に於て小規模の體育團體があつたが、それとても加盟者は數十人に過ぎず、主として中等學校の生徒と知識労働者が之に參加してゐる。

參加人員が少ない結果これ等の團體でやるスポーツの種類も従つて、非常に制限されたものであつた。その當時廣く行はれた競技は、スケート、スキー、フットボール、體操跳躍等であつた。當時の大衆はスポーツの發展に注意を向けることが非常に少なかつた。むしろ正確に言ふならば、大衆には競技が殆んどなかつたか、または全くなかつた。そうでなければ大衆はかうした競技を見ることを好まなかつた。

ロ、革命後のスポーツ

國內戦が終り、全工業や農業が復興しはじめからは廣汎な大衆の状態は非常に幸福になり、青年達の間には暇な時間を文化的に過さうと云ふ希望があらはれ

はれた。

最高體育委員會の組織と共に體育運動の指導と統制は國家の手中に握られることになつた。

下級の體育機關は次の如くである。工場、製造場、鐵道區、水運機關その他に附屬する體育團體は、當該産業の勞働組合の指導下にある。體育團體には選舉によつた五人の委員からなる體育部がありそれは事業を指導する以外に有給の體育指導者を備つてゐる。體育事業に要する費用は、事業の體育資金から支拂はれる。體育團體の代表者は當該組合の洲又は管區の體育部の構成メンバーとなり、後者の代表者は勞働組合評議會の體育部の構成メンバーとなる。體育團體の體育部は、任期は一ケ年である。仕事があまく行かない場合は、體育委員會は任期以前にやめさせられることすらある。

學校内の體育は多數の指導者網をもつてゐるところの教化人民委員部諸機關がこれを指導する。學校の體育は生徒の必須科目であるが、生徒は一應醫師の許可

をうける。

保健のための諸機關には大きな、併も責任ある任務が課せられてゐる。それは勞働組合の體育團體のみならず學校内の體育に従事してゐるあらゆる人々に對して醫學上の統制をしてゐる。この目的のために醫學統制部をもつてゐる。この任務は體育部従業者の健康状態を監督し統制することにある。この外保健機關は休息所、サナトリウム、および療養所の體育事業の指導をもする。斯界の權威に乞ふて體育の講習を開くこともある。

コルホーズおよびサフホーズ内體育は勞働組合體育團體の援助を受け、體育委員會がこれを指導する。勞働組合體育團體は、その多數が農村體育團體の後援者となつてゐる。

手工業コオペレーションの會員間の體育事業は勞働組合内のそれに準じてゐる。

二、ソヴェートのスポーツマン

(一) スポーツのため勞働者を生産から引離すやうなことを絶対に避けること

(二) 十月一日を期して體育デーを舉行すること

等を掲げてゐる。

此の指令に依つても明な如く、ソヴェート・スポーツの特徴は、それが生産や勞働生活との最も密接なる有機的聯繫の下に發展せしめられて行くところにある。

ソヴェート・スポーツマンであり、拳闘家である駐日ソヴェート通商代表部のカラリヨフ氏は、ソヴェート・スポーツの特殊性について次に掲げるやうな説明を下してゐる。

「我がソヴェートのスポーツマンは、舊ロシアのスポーツマンや又現在外國に於けるスポーツマンとは非常に異つてゐる。我國のスポーツマンには、唯一の競技種目に對する専門化や、その完成などは要求されてゐない。ソヴェート・スポーツマンに要求されるところは廣汎な社

ソヴェート・スポーツの最も重要な指導機關となつてゐるものは、一九二二年六月、全露ソヴェート中央執行委員幹部會の決議に基いて、同會直屬の機關として創設された最高體育委員會である。會長は嘗て全露共產黨モスクワ支部書記長の要職につき、今も全聯邦勞働組合中央評議會幹部會員を兼任する黨の有力者エヌ・ケー・アンチポフ氏である。州、縣、郡地方の各ソヴェート機關内には、この最高體育委員會の地方機關として、體育委員會が設置されて居り、それが各勞働組合關係(工場、鑛山、交通機關、職場等)の下級體育團體や、大、中、小學校内の體育團體を指導して體育の生産への適合競技の組織、スタヂオの新設擴張、指導者の養成、文献の發行を始め體育の正しい普及と發展に努めてゐる。

最高體育委員會によつて下級機關に發せられた最近の指令中、就中重要なものと言はれてゐるのは一九三〇年のそれで、(一) 生産戦線に立つスポーツマンを突撃隊に引入れること

會性である。一人のスポーツマンに對して、遊んだり、走つたり、飛んだり、スキーをやつたりすることが要求される。

又モーターを動かしたり、初歩の衛生知識を覚えたり、生産の過程に、乃至は勞働の生活に體育を應用し、各種の企業や諸機關に於いて、優秀な生産者となることが要求される。

然し、だからと云つて競技を無視してゐるのでもなければ、又競技に於ける優秀な成績を輕視してゐる譯でもない。反對に赤色スポーツ・インターに加盟する各國との、又ソヴェート各共和國間の、各都市間の、各工場間のスポーツ競技は隨時隨所に組織され、その度に陸上、水上等に於ける新記録はつくられてゐるのである。そしてそれ等の多くに於いて、殊にスキー、スケート等はすでに世界記録にスレ〜のところで達してゐるものもある。

今、一九三二年に至るソヴェート・スポーツ競技のレコードを示せば、大體左の如くである。

種目	年號	記録
六〇米	一九二二年	六秒二
一〇〇米	同	一〇秒一
二〇〇米	一九二三年	二一秒二
四〇〇米	同	四九秒八
一、〇〇米	一九三三年	二分三〇秒一
一、五〇米	一九三三年	四分二秒
五、〇〇米	同	一四分四〇秒二
一〇、〇〇米	同	三二分四〇秒
フイールド		
立巾飛	一九三三年	三米二〇
走巾飛	一九三三年	七米一五
双盤投	一九三三年	七四米五五
スケート		
五〇〇米	一九三三年	四三秒
一、五〇米	一九三三年	一分二〇秒五
五、〇〇米	同	八分二秒二
一〇、〇〇米	一九三三年	一六分五〇秒
スキー		
二〇〇米	一九三〇年	一時間一〇分一〇秒
三〇〇米	同	一時間五二分二五秒

五〇 軒 一九三二年 三時間一七分五秒
 自轉車競走
 一、〇〇米 一九三二年 一分五秒
 五〇 軒 同 三五分五三秒
 一〇〇軒 一九三二年 二時間五十八分三秒

三、スポーツ團體
 及び會員數

ソ聯邦國民經濟計算
 (中央局資料に依る)

スポーツ團體數	同會員數
一九一三年 一	三〇,〇〇〇
一九二七年 一三,八〇三	九二,〇〇〇
一九三一年 二四,三〇四	三,八〇〇,〇〇〇
一九三二年 二八,五七〇	六,〇〇〇,〇〇〇

四、赤色スポーツ大會

資本主義諸國の國際オリンピック並に第二インターナショナル系のリュツチェルン・スポーツインターナショナルに對抗して四百五十萬の會員を擁する赤色スポーツインターナショナルを結成し、其的組織單位となつてゐる。ソ聯邦では

有力なものとしてされてゐる。最近のラヂオ發展狀態を表記すれば左の如し。

放送局數	電力(單位キロワット)
一九二八年十月 二二	一三、五
一九三二年一月 一〇〇,〇〇	一,〇〇〇,〇〇
一九三三年一月(豫定) 一、八七、四	

ソヴェート・ラヂオの根本目的は聯邦内の勞働者大衆に出来るだけ廣汎に凡ゆる重大な事件特に社會主義建設に關する政府のプランと指導を知らしめ、それによつてそれらのプラン實行に彼等を組織結合させること及び各地の重要工業(石炭採掘、機械製作、農業經濟學等)に關する技術の宣傳をするにあるが、そのプログラムの内容を分析すれば

主題	中央放送局	地方放送局
政治問題	五二・六%	四五%
教育問題	一七・四%	二〇%
技術問題	二八・八%	三五%
雜	一・二%	

既に全聯邦中央執行委員會直屬最高體育委員會の統制下に四百萬の勞働者農民スポーツマンを動員し、之を社會主義建設の別動隊として活動せしめつゝあるが全聯邦勞働組合中央評議會ではレーニングラードに勞働組合全國スポーツ大會を開催し、數日に亘り、トラック、フィールド、槍投、砲丸投、自轉車競争、ゴロドグ等各種運動種目につき競技を行ひ種々の新記録を出したが、全國から集る選手二千五百五十名、此中五百五十名は中央亞細亞其他ソ聯邦民族代表の選手であつた。最終日には體育進行が行はれ全聯邦勞働組合評議會スポーツ組織委員長アポリーン氏、同體育局長ボフ氏等の演説、講評等があつた。尙勞働組合中央評議會では優勝選手に對し三萬留の賞金を與へた。

ラヂオ

一、ソヴェート・ラヂオの概観

ソヴェート聯邦のラヂオは政治的には

二、ソ聯邦赤い電波の擴大

ソヴェート聯邦の階級的ラヂオ放送は「赤い電波」として歐亞隣接諸國の爲政者をなやまして居り、殊にモスクワに於ける共產黨インターナショナル放送局は電力四十キロワット、波長一、四五〇を有し同國でも從來最強のものとなつて來ただけに此電波の支配圈内にある諸外國の脅威的であつたが、此程レーニングラードより達せる情報によれば同市のコミンテルン(共產黨インターナショナル)ラヂオ製作工場では、同市に五〇〇キロワットの電力量を有する大ラヂオ放送局新設準備を進めつゝあり、既に主要機械の製作並に組立を終り六月中には試験的放送開始の段取となつた由にておそくも今年九月末迄には正式放送開始に入るべく其の曉には新放送局の強大さと地理的接近とにみて西歐諸國の支配階級は一層大なる脅威に曝さるべく、之に對して何等かの防空設備を施すことの必要が豫想さ

ナルコムボチテル(郵便電信人民委員會)の管理に屬してゐるが、このナルコムボチテルの仕事、即ち郵便、電信、電話、ラヂオに關する仕事はソヴェート聯邦では神經系統の活動と呼ばれてゐるものである。ラヂオはこの神經系統の中では一番新しいもので、一番敏感なものであることは説明するまでもない。従つてソヴェート聯邦のラヂオの發達は世界の勞働者ラヂオ運動を促進させるといふ理由で、また従つて世界の勞働者がラヂオによつて結合する機會を造り得るといふ理由で、資本主義諸國家は短波長の放送に制限を與へてゐるといふことは注目すべきである。

資本主義諸國のラヂオとソヴェート聯邦のそれとの根本的相違は、前者が有産階級支持と營利主義とに終始するに反して、後者が大衆教化の媒介に設立してゐる點である。今やソヴェート聯邦全土のラヂオ化は、その規模に於て世界第一と稱せられ特にモスクワ近郊にあるコミンテルン・ラヂオ放送局は歐洲に於て最も

ソ聯邦全土 地方(註)

一九三一年年度	三六,〇〇時	一
一九三二年年度	七〇,三〇時	四、七四時
一九三三年年度	一〇三,三〇時	九、八四時

(註) 勞働組合關係放送局を除く

一九三一年以後の數字は未だ示されてゐないが多數放送局の新設により放送時間計數が著しく増加したことは容易に想像し得ることであり、現在の正式届出聴取者數は大體一百万と見られて居り、我國と大體同數である。今最近三年間の正式聴取者増加趨勢を表示すれば左の如し
 一九二七年四月一日——一五七千人
 一九三〇年一月一日——五八八千人

一九三二年一月一日—一、〇〇〇千人

三、極東地方放送局擴張

ソ聯邦第二次五ヶ年計畫ラヂオ放送局増設案によれば全國總數五十八局となり此の結果極東地方は四局、即ちペトロパウロフスク(一〇キロワット)、ハバロフスク(一〇〇キロワット)、ブラゴウエンチエンスク(二五キロワット)、北樺太亞港(一〇キロワット)となる。

民族文化

民族文化概観

一九一七年の十月革命は帝政時代極度に抑壓されたるソヴェートの少數民族即ち大ロシア以外八十有餘を以て數ふる民族の解放をもたらし、爾來今日までソヴェート諸民族の文化的水準は著しく高まつて來た。

而してソヴェート政府の民族文化に對する指導政策は形式においては民族的、内容においては××主義的といふにあ

る。即ちその使用する文學の如きはその民族自身の固有のものを使用せしむるが、しかもそこに、盛る内容はプロレタリアートのインターナショナルリズムに基づくものである。

少數民族の文化水準向上を示すものは彼等の間における教育網の擴大と普及である。この點で最も進んでゐるのはジョルジャ及びアルメニアで、一九三〇年度前者においては全學齡兒童の九七・七%を後者においては八、一四%が就學するに至つた。

最も廣汎な民族經濟並に行政的活動諸部門の幹部教育は凡ての民族共和國や洲において非常なスピードで進んでゐる。

一九二八年には四九の言語で出版される百三十の雑誌と二〇一の新聞とがあつたが、一九三〇年には五八の言語で書かれる三七五の雑誌と三四九の新聞とがあつた。この比率は今日更に著しく進んで來てゐる筈である。殊に少數民族語労働者新聞の發行部數は一九三〇年すでに二年前の七倍以上に上つた。各共和國には民

族語の本を出すため國立出版所が設けられてゐる。

民族藝術の發展も著しく殊に一九三〇年夏モスクワに全ソヴェート民族藝術オリムピックが開催され十八の民族代表劇團と十の民衆劇團、九つの民族映畫會社が參加して互にその藝術的達成を競ひ合つて以後、民族藝術の發達には拍車が加へられた。

ソヴェート聯邦諸民族の藝術的創造は一段の發展を示してゐる。即ち、一昨年の全聯邦の藝術オリムピアドに次いで民族藝術オリムピアドか昨年中に四回開催された——ウラル地方、ヴォルガ地方、ドイツ人共和國、カレリヤ北カフカズ等に於てである。

ロシア共和國では各民族劇はその數四十五に達し、そこで三十三種の異なつた言語によつて芝居が演ぜられてゐる。

ソ聯邦に於ける民族藝術の發展の目覺ましい一例としてウクライナ代表ベネコヴィチの報告を擧げて見よう。ウクライナ共和國における廣義の藝術教育の狀況

て著しく強化され、擴大されてきたのである。

だがこの素晴らしい發展のかけにも勿論そこには尙さまさまの缺陷や弱點は潜んでゐる。例へば今日のソヴェートにおける社會主義經濟建設の嵐のやうに急激な發展テンポに比する時は、文學運動の發展テンポが尙著しく立ち遅れ跛を引いてゐること、藝術的技術が擴大されたテーマを充分に藝術化する迄には進んでゐないこと、作家のマルクス・レーニン主義的意識が充分に作品に浸透してゐないこと、作家の生活と労働社會の生活との間にギャップがあること等は最も代表的なものであると見なしてゐる。だがこれらの殆んど全部は成長するものに特有な云はゞ己むをえない弱點であり、缺陷であつて、いつか清算さるべき性質のものである。否、現に時と共に清算が急がれより高い完成へと進みつゝある。だからこれを例へば資本主義諸國のいはゆるブルジョア文學に見るやうな、致命的な、どうしやうもない缺陷や弱點と同視するこ

文學

一、ソヴェートの文學概観

革命の十四年間、ソヴェート・ロシアは政治的鬭争と經濟的建設に灼熱した激動の中でありながら、藝術の全戦線においても亦、多彩で夥しい、そして世界的尺度において高く評價さるべき數多くの成果、優れたる作品を生み出した。

プロレタリア革命は藝術を破壊し、藝術の存在と相容れないとしたブルジョアジーの見解、又鐵の獨裁時代にはプロレタリアートの階級的藝術は花開かないとするトロツキー、ウオロンスキー一派の見解は實踐において完全にくつがえされ

とは出来ない。資本主義諸國において吾々の現在見てゐるものは、その經濟政治的矛盾の成熟につれて益々深化し、擴大されゆく藝術文化の危機である。反動化である。いわゆるエロ、グロ、ナンセンス的傾向への完全なる顛落である。それはすでにその歴史的使命を終り、進歩的役割を疾うの昔喪失してしまつた。

併せてソヴェート文學といつても、それは單色ではない。そこにはプロレタリア文學を先頭に、農民文學、同伴者文學、新ブルジョア文學 種々の文學的分派や潮流が混在し、著るしく多様性を帯びてゐる、そして現在それらの分派の主要な特色を示すならば、

一、プロ文學とブルジョア文學の中間に介する同伴者（正確には革命的文學的同伴者）の益々急激化された分裂の過程

二、同伴者の右翼の轉化による新ブルジョア文學の結成

三、同伴者の左翼並に農民文學のプロレタリアートへの接近

ソヴェートに於ける階級的敵即ちブルジョア種の各種の部隊は、ソヴェート政府並に黨の社會民主主義的變質及び資本主義の復活に希望をかけ、プロレタリアートと農民の同盟の決裂に期待し、富農に味方して國の工業化と農業の社會化に反對し、且つソヴェート政治を抑壓專制の政治と化して、自らのために政治的自由を獲得しやうと努めてゐる。

文學作品の中にこの階級的敵のイデオロギーを反映したものが、新ブルジョア文學である。

近く日本に再遊を豫報されてゐるボリス・ピリニヤークが、国外亡命露人の出版機關を通じて一九二九年に發表した小説「赤い樹」はその典型的なもので、ソヴェートの經濟政策は都市においては革命前から残存したものを消耗したに過ぎず農村においては中産農民や手堅く維持されて來た百姓生活を貧農に振り落しただけである。ソヴェート・ロシアには何等の社會主義的建設もない。新經濟政策への轉換は「社會主義的試驗」の落第であ

四、プロレタリア文學の質的量的成長
と文學戦線のボリシエヰキ化
五、新ブルジョア文學とプロレタリア文學との階級闘争の尖鋭化

二、右翼同伴者並に新ブルジョア文學

同伴者の名稱は四五年前迄非プロレタリア的ソヴェート文學の殆んど全部の層を引つくるめて包含してゐた。従つてこの中にアレクセイ・トルストイからピリニヤーク、マヤコフスキーに至る全部の文學層はつらねられ、ソヴェート文學の藝術的指導者は完全に彼等の手に握られてゐた。然るに今日ではこの名稱はすでにソヴェート作家の大きな層を引つくるめて總稱するに不適當となつた。何故なら舊同伴者の大部の者がプロレタリア革命の進行と反比例して時と共に右傾化しすでに革命の同伴者ではなくなり、或者はその作品において階級的敵の陣營に移行してしまつたからである。

革命の事業が先に破壊された個所を恢復する段階、即ち新經濟政策の初期の段階

階にあつては、極端な政治的反動でない限り、殆んど大部の作家が同伴者であり得た。現に黨の文藝政策に關する一九二五年の全露共産黨中央委員會の決議はソヴェート社會をイデオロギー的に反動化しやうとするスメナウエヒ（目標轉換派）型の作家をすべし、未だ同伴者の中に加へてゐた。

しかし現在はずでに變つて來た。社會主義建設事業が進み文化革命が進行しつゝある段階においては、スメナウエヒはすでに同伴者ではない。かゝる段階においてはたゞかゝる段階の必要に應じ、文學的活動を通じて社會主義建設に何等かの寄與をなしうる者のみが同伴者の名をもつて呼び得る。この種同伴者も相當存在するにはするがこれはいづれ後述することとして、前者即ち革命に同伴することをやめ、いづれかの驛で途中下車して以來時と共に右傾し反動化した作家は今如何なる文學的活動をしてゐるであらうか？
新ブルジョア文學の結成がそれである。

つた」といふのがその主要な内容をなしてゐる。これはその内容が極端に反ソヴェートの形であり、その發表の形式が全く反革命的であると云ふので、ソヴェート文壇並に社會のうがうたる非難攻撃を受け、これを動因として、ピリニヤーク等を中心とするソヴェート文壇最右翼の作家團體「全露作家組合」は一九二九年十二月大會を開き、「文學的活動によつて社會主義建設に参加する作家のみ本組合員たるを得るものなり」と全組合員の前に政治的要求を提出し、且つその名稱も「ソヴェート作家同盟」と改稱され、一聯の反動作家を列外に放り出して再組織を行ふに至つた。

ウエシニコフの小説「デコリテ」の中には、富農と貧農とが如何にその世帯を取り換えたか、しかも怠け者の貧農が辛棒人の富農の世帯を衰亡に導いたかを書いてゐる。ウエシニコフによれば人間は互に階級的利害によつて異なるのではなく、辛棒と知慧の程度によつて異なることになつてゐる。ピリニヤークの報告文學

「中部黒土州」は全部社會主義的工業化への反對を内容として居り、「ヴォルガは裏海に注ぐ」は最近東京朝日の「オベリスク」欄、讀賣の文藝欄等に彼が依然ソヴェートの文學的同伴者たることを示してゐる云々と紹介されてゐたが、事實は全く然らず、これは前記「赤い樹」の換骨脱腿したもので、アウエルバツフ始めソヴェートのプロレタリア批評家はいづれもこれを典型的な新ブルジョア作品なりと評してゐる。

更に女流作家セイフリナナの作品「自慢」フセワロド・イワノフの「邸宅」レオノフの「ソーチ」、ザミヤーチンの諸作、ブルガークの戯曲「紫の島」其他はいづれも富農もしくはネツプマン乃至反動ブルジョア種のイデオロギーを内容としてゐる。
セルゲフツェンスキーの「孔雀」はボリシエヰズムといふ意地悪のみ、づくが、舊ロシアのインテリゲンツイヤといふ華麗な孔雀を喰ひ殺したといふ極めて見え透いた象徴的比喩が盛られてゐる。

若し是等に加ふるにエフ・クリエエフや、エヌ・クルイテコフの詩のやうな露骨に富農のイデオロギーを盛つたものや一九二八、九年から現れかけたブルジョア通俗小説の復興をあげるなら反動的傾向が相當に強く舊同伴者作家の可なり廣汎なる層を捉へてゐることを知り得るであらう。後者の例としては、ハジムラート・ムグエフ描くところの通俗小説「火の前足」が挙げられる。

この小説の中で、佛蘭西の通俗小説家へ・ベヌアのよく描く、上流社會の主人公流の位置を占めるものは「崇高な」英雄革命家である。

舊同伴者の多くの作家、特に反動化した作家は、テーマを現代から離れて過去の世界に求めてゐる。又或作家例へばピリニヤークの如きは作家にとつては何を描くか？ が問題ではなくて、如何に描くかが問題の全部であると相變らず古い題目を繰り返してゐる。ところでここに皮肉なことは政治否定論者ピリニヤークの「赤い樹」や、「ゾオルガはカスピ海に

三、左翼同伴者の文學

注ぐ」の中に作家の明確な反プロレタリア的政治意識が無花果の葉の蔭から蔽ひがたく露出してゐることである。又一部の作家は時代と融和しがたい英雄的孤獨者、一個人主義者とその作品の中に理想化し、プロレタリアートの集團主義と明確な對立を示してゐることである。これらの諸傾向はいづれもソヴェート現社會の否定、それからの離反と逆行、捨てられた戀人のやうにブルジョア社會の古巢に對する愛着を曝露してゐるものに外ならない。

だが政治と文化の戦線における二面的プロセスの進行は今日のソヴェート・ロシア、即ち五箇年計畫による社會主義的改造期のロシアの特色である。即ち舊同伴者右翼の反動化、新ブルジョア化と並んで、その左翼は益々意識的にプロレタリアートに接近し、社會主義建設事業に参加せんとする希望を表示してゐる。彼等の中の或者——例へば構成派に屬する作家團——は同伴者の名を肩とせず。

参加せんとする心からの希望である。

然し此の派も専門上の危険も誤謬も持つて居る。此のグループの作家の大多數にとつて基本的誤謬は工業技術の役割を法外に吹聴して、イデオロギー及び政治の重要性の評価が足らず、尙之に關聯してソヴェート・インテリゲンツィヤ主として技術インテリゲンツィヤの役割を誇張して居ることである。イデオロギーの役割に對する無理解の點がレレ派全部（今では崩壊）の特徴であつた。「毛皮會社」に於て、セリヴィンスキーはソヴェート・インテリゲンツィヤの問題を提出して、冷靜にプロレタリア、インテリゲンツィヤに對照せしめて居る。

斯くして、レーニンのスローガン「誰が誰を」は現在ソヴェート文學にも完全に適用される。何故なら今ソヴェート、ロシアではプロレタリア文學と新ブルジョア文學との間に眞の同伴者作家を獲得する爲めの闘争が熾烈に行はれて居るからである。

四、農民文學の位置

プロレタリア文學と密接な聯繫を保つて進んで居るものにソヴェート農民文學がある。農民文學は未だ非常に低い發達段階にはあるが、重要なことはそれが漸次前進しつゝあることである。農村を書き、それと有機的に結ばれて居る作家が必ずしも總て農民作家ではない。農民文學者に屬せしめ得ないのはクルイテコフやクリューエフの様な富農の階級的利害の藝術的代辯者達である。他面、貧農及び中農大衆の感情の藝術的表現者たる農民文學は絶えず其の作家中からプロレタリア作家への移行發展を創り出しつゝある。即ちこれらの者は、農民ではなくてプロレタリアートの觀點から農村を取扱ふに至つたのである。農民作家は一九二九年六月の第一回全露大會に其の仕事の決算を行つた（其後、プロレタリア・ホルホズ作家同盟が結成された）

五、プロレタリア文學

だがソヴェート文壇最大の特徴を形成せるものは、プロレタリア文學の著しい質的成長である。それはすでに初期

此の同伴者左派の特徴はプロレタリア革命に接近しプロレタリアの建設事業に

幼稚な稽古の段階から脱出した。そして社會主義建設の現段階を最も有機的客觀的に描寫するためプロレタリア・レーリズムの道を掘り深めつゝある。それは自己の流派とスタイルの形成のために、そして藝術的ヘゲモニー確立のために戦つてゐる。

ソヴェエト文學の全體系中に於てプロレタリア文學の占むる比重は著しく増大した。現實のテーマの範圍は擴大し、だゞに著名作家の頭數ばかりでなく、若い作家の人数も著しく増えた。又それはマルクス・レーニン主義を武器として藝術的方法論の問題の更により高い討究を遂げた。

プロレタリア文學の質的量的成長の當然の結果として、労働者讀者の數も亦激増を示し、労働者讀者の側からの、より高い藝術作品提供に對する需要——所謂社會的註文が發せられつゝある。イリイチ工場労働者のプロ作家に對する宣言（後述）の如きそれを證するものである。最近におけるプロレタリア文學作品中に

熱と元氣——これこそプロレタリア作家の取り上げべきテーマである。』

マルクス主義批評家ベスパーロフ氏はブラウダ紙上で、このイリイチ工場労働者の宣言の正當さを裏付けると共に一方プロレタリア作家の今日取り上げべき題材の中に労働階級の國際的闘争の問題農村の社會主義的改造の問題、階級としての富農清算の問題等を加ふべきことを指摘してゐる。

イリイチ工場労働者の宣言は、今日プロレタリア作家の生産する文學作品と進歩的労働者讀者大衆の側からの文學的要求とが尙著しいギャップをもつてゐること語るものである。

六、ソヴェエト報告文學

此の最も困難な課題の解決にプロレタリア文學は漸く着手しかけて居るに過ぎないが社會主義建設の新段階を藝術に上せよと云ふ社會的註文の履行に對する慾求は一方報告文學乃至藝術的素描の形式を大いに發達させやうとして居る。此の形式は大きな形式例へば長篇小説等が

は次の如きものがあげられる。ア・フアデーエフの小説「ウデゲからの最後の者」ユー・リベデンスキーの「轉換」、最近出版されたエム・シヨロホーフの「靜かなるドン」の終編、イワン・カタエフの「心臓」ダイ・レヂエフの「淺瀬を渡りて」カー・エルドベルグの「支那物語」、コーチンの「乙女等」アー・ノウイーコフのリボイー、ゲー・ニキーフオロフ、エフ・グラートコフ其他の純文藝作品、若き作家の作品の一斑（ペー・ゴルバトフの「細胞」、エム・コロソフの短篇、イ・ブラーヂニンの「飛躍」ヤ・シウエードフの「エルバザール」プラトシキンの「道路」等プロレタリア作家の劇作の一斑を挙げれば、ウエー・キルシヨーフの「風の町」、リベデンスキーの「高味」、カラワエワ、ピル・ベロツエルコロフスキー、グレボフ其他の戯曲、勿論以上のもの全部が全部優秀な作品であると云ふわけではない。然し最近一、二年間におけるプロレタリア作家の收穫として何等かの意味でソヴェエト文壇に感銘を與へたものと云

讀者に與へ得ないものを讀者に與へやうとするのである。殊にソヴェエト文學の發展のテンポが、經濟戦線に於ける社會主義建設の嵐の如き發達テンポに著しく遅れてゐる今日此の形式が創造され、要求されてゐるのは極めて自然であると思ふことが出来る。

報告文學の代表的なものとしてはスターフスキーの「コザツク村」を挙げるこゝが出来、北コーカサスに於ける穀物買上、イスバーフの「銃と書物を以て」（現在の赤軍兵營生活）ガリーン及びウイシネフスキー共働勞作「作業室にて」（労働者の生活）ジীগ其他である。プロレタリア作家は報告文學の新しい

生きたテーマを掴むため各都市の大工場地方の社會化農場等に群をなして視察見學に赴きつゝある。

例へばウエ・ガジン、ウエ・ルゴフ、エス・グロマン・ミナエフ等プロ作家の一行は、一九二九年夏金屬労働組合中央委員會の委任を受けて、ウラル、スターリングラード、ロストフ、チルチ等の大

ふことが出来る。

然しプロレタリア文學は尙その題材の方面で又藝術的技術の方面でさまざまの缺陷をもつてゐる。これについてつい先頃イリイチ工場の労働者が宣言の形式で次の如く今日のプロレタリア文學を評してゐるのは意味深長である。

「プロレタリア作家は労働階級の生活、その社會主義建設戦線に於ける闘争について書いてゐるけれども、彼等は未だ労働者とその習俗、その生活、その闘争を十分に知らない。何故なら彼等はそれ（労働者の生活）から遠く隔り、それに密接せず、その興味、要求と溶け合はず、多く自分の閉ざされた個人主義的生活の中に生きてゐるからである。』「現在書くべきことは何であるかと云ふに、労働者が今では變つて以前と別のものになつてゐるといふことである。其の生活、習俗、社會主義建設における役割及び重要性、工場に於ける社會主義的労働の新形式と方法、突撃部隊及び社會主義的競争による生産、社會主義のための闘争における

金屬工業地帯に旅行し労働者たちに文藝講演、詩の朗讀等種々の働きかけをなすと共に、工場労働生活から、必要なさまざまな題材を吸ひ取つて、これを幾つもの報告文學の形式に發表した。

又一九三〇年、國立出版社は數萬ルーブルの資金をプロレタリア作家左翼同伴者並に農民作家團體に提供しそれらの團體中から約一百名の作家を選んで地方の大工場、集團經營農場等に派遣しその視察見學の結果に成る作品を、國立出版社から刊行しつゝある。それらの中に作家數名の共働勞作になる報告文學が、ぞくぞく創られつゝあることも特記しなければならぬ。

七、突撃部隊の文學

突撃部隊は、今日の嵐のやうな社會主義建設時代のソヴェエト・ロシアを最も生き生きと特徴づける労働の社會主義的形式である。これはその外形に基いて、「コムミュン突撃部隊」「集團經營突撃部隊」「貫通突撃部隊」「合理化突撃部隊」等にわかれてゐる。突撃部隊はこれも今

日ソヴェート・ロシアの生産労働を特徴づける「社會主義的競争」と時を同じうして生れたものではあるが、當初にあつてはそれは必しも社會的競争の基礎的な形態でもなければまた支配的な形態でもなかつた。

しかしながら突撃部隊の擴張と鞏化につれ、社會主義的競争と突撃部隊とは同一の形態の両面となるに至つた。

突撃部隊に組織された労働者は、労働規律、サボタージュの清算に關し、又労働能率——製品の一定規格の遂行と品質に關して義務を負ふことになつてゐる。

今日突撃部隊に屬する労働者は一萬人以上に達し、都市及び集團經營農村等に於てのみならず、カムチャツカの沖に蟹取る蟹工船に至るまでこの突撃労働部隊を編成してはゆるボリシエヴィキ的漁撈を営みつゝある。

ロシア・プロレタリア作家同盟ラツプの當面のスローガンは、「この突撃労働部隊に面を向けよ！」である。即ちソヴェート労働者の精鋭分子を文學の世界に

誘引して、彼等に創作を書かせ詩を創らせると共に、又鑑賞の方面からも文學作品に親しませることである。これについてはソヴェート・プロレタリア文學運動の指導理論家アヴェルバツフ氏が最近次のやうに書いてゐるのを見てわかる。

『今日においてはすでに「ラツプは工場へ」といふだけでは不十分である。今日においては「突撃部隊に面を向けよ」といふスローガンがラツプが労働者化するための鍵鎖とならなければならぬ。社會主義工業化の中心形態から論ずるならば彼はプロレタリア文學運動の中心形態にならなければならぬし、又なるであらう併し文學への突撃隊員の誘引は只單に新しい作家に對する檄をなしてゐるばかりではない。それは最も重要な任務をなしてゐる。その解決にはラツプは進んで手段を講じなければならない。』

ラツプのかゝる働きかけによつて、労働者突撃隊員の文學への誘引彼等の文學的活動が始められつゝある。勿論その文學的活動は質においても量においても

未だ現在のところ幼稚な段階にとゞまつてゐる。然しそれが明日の文學の中心形態とならうとしてゐる事實は見逃してはならない。特にこゝに一項を割いて紹介する所以である。

八、文藝出版界

廣汎な讀者大衆特にプロレタリア大衆の眞正なる藝術的文學に對する需要は異常に増大した。此の需要の現はれは、廣汎な讀者大衆はプロレタリア作家の優れた作品を提供することに成功せる『小説新聞』(ローマン・ガゼータ)の發行と、國立出版所が古典及びプロレタリア作家のものを廉價に提供する『廉價文庫』出版計畫成功の事實の中に看取される。文學雜誌の數も、其の發行部數と共に増えた。『十月』は三千から一萬に、『若き親衛隊』は六千から一萬一萬二千に、『星』は三十四千から九千に、然かも發行部數の増加したのは文壇右翼を目ざしてゐる雜誌(『赤い處女地』や『新世界』の如き)ではなくて、正にプロレタリア作家及び左翼同伴者を主として居る雜誌である

新しい雜誌も生れた。例へば農民作家團體の機關誌「ソヴェートの土」一九二九年末から出てゐるラツプ(全露プロレタリア作家同盟)の大衆向雜誌がそれである。全ソヴェート・プロレタリア作家同盟總聯合に統合されたるソヴェート同盟各地方のプロレタリア作家も亦、印刷用紙の拂底にも拘らず自己の機關誌を刊行して、プロレタリア文學の新しい處女地を開拓しつゝある。その中には、「西伯利の火」及び「純正」(以上西伯利)、「昂揚」(ドン河畔ロストフ市)、「ガールト」(チエルランヌイ・シリヤフ)、「文學定期市場」(「新種族」前衛)、「プロレタリアート」(「赤い言葉」(以上ウクライナ)、「若者」(「火焰」及び「ウズウイシヤ」(以上白ロシア)等がある。

尚最近に至つて、ラツプは、「ラツプ」と稱する年六回の定期刊行雜誌を發行し出したが、これは「文學哨所」などと共に、ソヴェート・プロレタリア文學の理論的指導機關として、相當高く評價されていゝ雜誌である。長い間ソヴェート文

藝出版界の一角を賑合してゐた「作家の讀者」と稱する新聞はトロツキ、ウオロンスキの傾向や種々の偏向を示してゐたが先頃遂に廢刊となつた。

九、ラツプの解消

レーニンは言つた。文學には機械的平均化や多數決などは許せない。創造性と個性、思想と空想、形式と内容の廣い範圍を認めることは絶対に必要である。と。ここにラツプ解消の問題がある。だがラツプとは何であつたか。革命によつて生れた若い階級意識ある作家の諸集團が相集つて結成されたのがラツプ(全露プロレタリア作家協會)及びオアツプ(全聯邦露プロレタリア作家協會)であつた。成立期におけるこの團體はマルクス主義の道に立つて、ロシア古典の長所を汲み、殊にネツプ時代に現はれた諸傾向を滅し、勝てるプロレタリアートの文學の基礎を置いた。ところが今ではその使命は終つた。それは狹隘な宗派團體となり、全ソ聯邦の

作家に「法を制定」したり、プロレタリア文學の方向を指令したり、若い才能ある作家を白眼視して、同伴者や同盟者の陣營に突きやつてしまふ。

ラツプの活動は二三ヶ月前から「ブラウダ」や「コンソモルスカヤ・ブラウダ」で大いに批判されてゐるが、五月九日の「ブラウダ」社説は根本的な誤謬を指摘してゐる。ラツプはプロレタリア文學の進歩を助けないうで、それを閉塞する。ラツプ及びオアツプはソヴェート作家を動員しないで、隔離する。黨の決定はこれら作家協會を解消し、ソヴェート政府を支持し、社會主義建設に参加せんとする一切の作家を、單一のソヴェート作家團體に合一することを要求してゐる、と。

演劇

一、革命初期の演劇

ソ聯邦では政治における演劇の役割が如何に重要視されてゐるか特殊の興味を喚起する。ソ聯邦では現在所謂純藝術

主義はその支持者を益々失ひつゝある。是等の簡單な、判りきつた真理さへソ聯邦演劇關係者がこれを體得するまでには容易でなかつた。しかし次のことを想起するならば敢て驚くに足りない十月革命以前の演劇は舊貴族、地主及ブルジョア文化の雰囲気中に生長し、基礎を固め來つたので、これが直ち十月革命を體得するには非常に困難な事であつたのである。劇場及びその關係者は全ロシアのインテリゲンチヤと藝術家達と共に演劇のソヴェート化を行つたのである。演劇は文學が通つてきたと同様の道程を辿つてきた。しかし文學に較べては遙かに遅れてゐた。演劇インテリゲンチヤの間に行つた運動の最も特徴的なものはモスクワ藝術座であつた。後期のナロードニキ運動を取扱つたような(トレネフの「プガチエフ反亂」)白軍擁護の(「トルビン時代」)、革命により壓迫せられた小人物への同情(レオノフの「フウンチロフスク」)等の如き過程を経由して「敵意」ある中立的態度にその色彩を塗り替へ、ソヴェートの題目

〔裝甲列車〕、「封鎖」、「我が青春」に轉向したが、この過程は總ての舊演劇關係者にとつては驚異的なものであつた。

プロレタリア獨裁の鞏化、その經濟組織の成功、これと關聯して技術的インテリゲンチヤの急速な分解作用と、他方藝術インテリゲンチヤの革命的、急進的分子の生長とは舊演劇をして新らしきソヴェート式軌道への轉向を速かならしめた。

二、一九二七年以後の演劇

一九二七年黨會議に於て演劇に關する問題を討議し、ソヴェート演劇今後の發展に就き次の點を決定した。即ちソヴェート演劇は舊文化の遺産を批判的に咀嚼し、時代性への適合を求め、左翼演劇運動を援助し、プロレタリア戯曲の生長を奨励し、労働階級に敵意を有するイデオロギーとの鬭争を行ふことであつた。以上は一九二七年の演劇黨會議規定の大意である。

命第十周年に相當し、劃期的シーズンであつた。メイエルホリド劇場、革命劇場モスクワ州労働組合會議劇場等の新銳の左翼劇場は云ふまでもなく、舊劇場ですらその上演目録中に「裝甲自働車」、「リュボーイ・ヤロワヤ」等を加えたのであつた。併し現在のところ演劇はソヴェート文化戰中未だ進出の遅れてゐる部門であることを否むわけに行かない。演劇は社會主義建設のテンポに追はれてゐない。その程度は文學の領域におけると全く同様である。

三、工業化と演劇

ソ聯邦をして工業化せしめ、農業國から一躍工業國に轉向せしめた偉大なる過程が舞台藝術の上に何等の反響をもたらしなかつた。劇界の歩みは誠に遅々たるものがあつた。そればかりではない。一九三〇年には藝術主義の舊イデオロギー復活の徴候さへあつたのである。しかも此年には舞臺の上にトロツキー、半トロツキー的、或は右傾的氣分さへ看取されたのである。例へば戯曲「黨員章」、「ナ

タリヤ・タルボワ」、「面目を忘れて」の如きかかる傾向の代辯者であつた。

偉大な工業化の成功は労働階級の文化的慾求を著しく昂揚せしめた。演劇の問題は現在では廣汎なプロレタリア大衆の切實な問題である。彼等は最早單なる顧客ではない。演劇への組織的影響を與へんとする顧客である。彼等は單なる藝術の慾求者ではなく、生産者である。何となればプロレタリア大衆は演劇が社會主義建設の協力者であることを要求してゐるからである。又、集團化しつゝある農村は演劇に對して全く新しき慾求をもつてゐる。

しかし現在のところ演劇はこれらの原因は一體何處にあるのか? 社會主義改造の演劇となるためには單に善良なる意志と、「ソヴェートのプラットフォームに於て」だけでは決して満足とはいへない。世界觀の再建が必要である。演劇及びその關係者が眞に今日の再建期に歩調を合せんとするならば、單に教科書的意義における政治教育者といふばかりでなく、

プロレタリアートの哲學、マルクス主義的世界觀獲得の意味における政治教育者とならなければならぬ。従つて演劇に於ける創作法の問題も、文學に於けると同様、演劇の實在に關する問題となるのである。

四、演劇労働者の進出

演劇の「政治性」、プロレタリア世界觀の爲めの鬭争のほか、創作的衰耗を克服しなければならぬ。演劇に對するプロレタリア的影響を鞏化せしめる手段は極めて多いが、先づ次のようなものである。キルシオン、アフィノゲノフ、グレボフ、ベズイミョンスキー、ピリ・ペロツェルコフスキー其他のプロレタリア劇作術に従ふこと、演劇への労働者の進出を旺んならしめること、工場をして各劇場を主宰せしめること(これは最近漸く始まつた)。

職業的劇場が非常に特權的待遇をうけてゐながら、獨立の労働者及び農民劇團體が最近まで冷遇されてゐたのは、此の方面における文化事業に以前の職業組合

指導者の日和見主義的傾向が反映されてゐたことを示すものである。現在大衆的藝術に對して職業組合も藝術事務局も大した注意を拂つてゐないのは遺憾とせられてゐる。

一 等閑視された分野に民族劇場がある。一九三〇年夏モスクワに開催されたソ聯邦諸民族演劇及び藝術オリンピックはレニンの民族政策が民族藝術の上に如何に大きな功績を齎したかを證明した。十四ヶ國語をもつて十七劇場が幾多の劇を上演し、それらの多くはいづれもモスクワ舊劇場をして羨望せしめるに充分であつた。

大衆の爲めの藝術といふ問題は、即ち演劇を社會主義建設擔當者の隊列に参加せしめるといふ問題は必然演劇の技術的再建の必要を意味する。「トラクトロ・ストロイ」、「ドネプロストロイ」等の大工業工場は、それらの建設者に相應しい劇場をもつてゐない。

藝術の五ヶ年計畫案中に含まれてある通り、數千人を收容する新劇場の建設(口

ストフ市において此種の大劇場建設が開始された。や、工場地方、コルホーズ、ソフホーズ地方における劇場の適宜配置や、プロレタリア新演劇指導者の養成等が當面の問題となつてゐる。

美術

一、ソヴェート畫壇概観

ソヴェート・ロシアの『造型藝術』は、文學に見られるやうな大きな遺産をもつてゐない。造型藝術、特に繪畫について言へば、この國は過去の巨匠として、僅かにレーピン、セロフ、ウルーベリ、カログイン、スリコフ、の名を誇りうるに過ぎない。

十年革命に先行する時代、即ち二十世紀初頭におけるこの國の繪畫は、西歐畫壇の諸々のイズム——セザンヌ主義未來派立體派表現派——の内容、形式、技術を攝取しようとする努力のなかではぐくまれた。この時代の畫家で、現在もソヴェート畫壇に活躍しつゝある二三名をあげ

るならば『生活』派の名譽會長であり、『最高美術技術専門學校』教授の要職にある、ベ・コンチャロフスキーと、『四美術』社の統率者であり、好んで東洋風の作品をもつるベ・エ・タズネツォフに指を屈すべきだらう。

十月革命——戰時共產主義の時代——新經濟政策の時代——かうした標識を以て刻印づけられる十年に近い歲月には、『美術界』のみならず、社會のあらゆる方面を不安な混沌が支配してゐた。美術家達も、甘美なる『純藝術』の殿堂にあつて陶酔的雰圍氣を樂むことは出来ないで、『工業藝術』の仕事に動員され、ボスター描き、裝飾等に従はねばならなかつた。従つて、『記念碑的な製作』が生れなかつたのは當然なことであつた。

しかし革命後十年を経た頃には、ソヴェート畫壇も、堅固な、明快な指導的線——純粹な『リアリズム』の上に立ち、積極的な、本格的な建設方面に進むに至つた。
一九二六年頃には、『アフルル』『四美

術』『オスト』『ブイチャイヨ』『ジャル・ツウエト』『マコヴエツ』等の美術團體が存在してゐた。そしてその後、『クルイロ』『ツエフ・ジチアブリスツェフ』『オムフ』等の團體が発生した。

『アフルル』は後に『アフル』と改稱したが、この團體は『プロレタリア・リアズム』を主唱し、『藝術を大衆の中へ』なる標語をかゝり、一九二八年五月の第一回聯合總會における宣言でかう言つてゐる。——『最も廣汎な勤勞大衆に解る、リアリスチックな形式で、眞の革命的現實を美術的に變形し、その美術的、社會的仕事によつて社會主義的建設に能動的に參與する義務が、われわれプロレタリア革命の美術家の上にあるのだ。』

尙、同總會に萬國の革命的美術家の統一的組織たる『インテル・アフル』の建設を宣言した。

二、今日の繪畫界

二九年度には優秀なる作家の個人展や各團體の展覽會が絶間なく開かれ、畫壇は華々しく躍動してゐるのが感じられた。

に上り、映畫壁畫との關係が共に検討されてゐる。

音楽

一、革命と音楽

音楽もまた他の藝術諸分野と同様、一九一七年十一月の變革によつて始めて、一億の勞農大衆の前に解放された。グリシカ、チャイコフスキー、リムスキー、コルサコフ、スクリヤピン、ボロヂン、ムツグンスキイ等世界的に傑出した多數の作曲家樂人をその國土に有しながらも、帝政治下の壓しつゝぶされた重苦しい條件の下でロシアの大衆は完全に音楽の世界から閉め出されてゐた。チャイコフスキーを享樂し得るのは文化的な貴族層がブルジョア化したインテリゲンツィヤか兎に角少數の限られたる特權社會層の間においてのみであつた。従つて舊ロシアにおいては偉大なる音楽藝術の生産をもちながらしかもそれに對する廣汎なる需要(聴衆)を缺いてゐるといつたやうな變則

的なきらばな状態に置かれてあつた。ところがプロレタリア革命はこの關係の上に鋭い一線を劃した。一億の勞農大衆が素朴な耳を持つて生れたばかりの新しい聴手として音楽の世界に登場した。だがこの音楽が、解放から創造へのコースを取り始めたのは藝術の他の部門、少くも文學や演劇よりもおくれれてゐた。四百万を擁するソヴェート勞働組合、就中工場勞働者の團體が、音楽の修得をその議事日程に上したのは一九二一、二年頃であつた。勞働者や農民の子弟が積極的に音楽學校に入學するやうになつたのは、それよりも更におくれて一九二三年であつた。だがその後現在に至る比較的短年月にソヴェートのプロレタリア音楽は、その質の上において、又その量の上において如何に目覺ましい發展を遂げたことだらう。

二、勞働者音樂團の成長

今日では都市金屬工の組合も、坑山に炭掘る坑夫の組合も、否それらに所屬する工場といふ工場、鑛山職場といふ職場

が、三一年には最早、かうした多彩な雰圍氣は影をひそめてゐた。言ふまでもなく、かうした推移、變化は五ヶ年計畫の直接的な影響であつて、畫家達もまた、五ヶ年計畫の諸事業のために動員され、彩管を携へて、工場、農村、鑛山地に赴き、それら『主題』を攫み、所謂報告畫のために全精力をたゞこまねばならぬ。私は、昨春、『クズネツキイ・モスト』の美術學校跡で、報告畫展覽會を觀たが變角的な、巨大な製作に對しては全く壓倒された。中でも、カツツマン、レンツウロフ、ペトロフ・ヴォヅキン、等の作品は一きは光彩を放つてゐた。

最近『オスト』はその總會で解散を決議したとのことであるし、『オムフ』『四美術』等も漸次に解體現象を現しつゝある。これは五ヶ年計畫の成功的遂行に伴ひ、美術團體の内部において、左翼、右翼間に内部的闘争が尖鋭化し左翼の勢力の著しい増強が齎した結果である。

マルクス主義藝術學の進歩に準じて、繪畫においても創作方法の諸問題が議題

苟も労働者の四、五十人以上集中する、組織の中で「ムジカ・リヌイ・クルジヨク」(音楽サークル)を最少一團持たないものは存しない。多いものは三團四團も有し、團員の如きも一個宛最少十何人から最大二百、三百を擁してゐる。是れ等の音楽サークルの人員を全ソヴェート同盟において總計すれば、すでに今日四十萬人以上に達してゐると云はれる。その種類は、

- 一、合唱團(總數の大半を占めてゐる)
- 二、吹奏樂團
- 三、民族樂器合奏團(各種の民族樂器による)
- 四、手風琴合奏團
- 五、管絃樂團
- 六、オーケストラ

等極めて簡易なるものから始めて今日では音樂の殆んど全部にわたつてゐる。彼等は概ね職業的な専門の指揮者(モスクワ、レニングラード等の大都市においては往々にして一流大家をその中に含めてゐる)を、そのグループに随時招いて

また一方、演奏する樂曲(例へばワグナーの曲の如き)によつては九十五人以上の樂員を必要とする場合がある。この場合には百四十人でも百六十人でも自由にこの國立歌劇場のオーケストラから組織することが出来る。また一夜に一方で國立歌劇場のオペラ乃至バレエの上演を行ひながら同時に別の場所で交響樂の演奏會も開ける譯である。

かうした伸縮自在の巧妙な組織をもつオーケストラは、文化事業のすべてが殆ど國家の手で統一實踐されつゝあるソヴェートの生活組織にはじめて實現し得るものである。

モスクワには、右の外に放送局交響樂團がある。これは二三年前に組織されたもので、やはりソヴェート第一流の大管絃樂團である。

この樂團はベルスインプランスの創立者として提琴家として有名なツェイトリン教授を中心として約百名の優秀な樂人によつて組織され、ラヂオ放送を第一の目標とし、普通の演奏會にも出演してゐる。

日曜祭日は勿論、晝休みの時間、終業後をも利用して熱心に、「インターナショナル」、「赤い旗」、ソヴェート民謡(レーニンを歌つたもの、労働を讃へたものなど特に多い)を合唱する。

労働者樂團の技術の進展につれ、その合唱し、もしくは演奏する主題の内容も次第に藝術的に高級となり、複雑化してゆく。シューベルトの「軍隊行進曲」グリークの「インフォルクトン」からチャイコフスキー、スクリヤピン、プロコフエフ、ストラヴィンスキー、モツアルト等のやゝ複雑なもの、又、ベートヴェンの第一から第九に至るシムフォニーの演奏等に進み、彼等の手でオペラを上演するまでに至つた。

三、モスクワの交響樂團

モスクワに於ける最大の交響樂團は、國立大劇場のオケストラである。これは實質的に全聯邦最大の樂團であり、世界第一流のスインプフォニーオーケストラであることは、毎年ソヴェートに招かれる外國の著名指揮者達のひとしく言明して

る。以上の他、指揮者サラヂエエフの指揮するスクリヤピン音樂技術學校のオーケストラ、及び世界的に有名なベルスインプランス(指揮者無し)の交響樂團もあるが、その組織に就いてはこゝでは略す。

四、レニングラードの交響樂團

レニングラードには古い歴史をもつたファイルハアモニー協會がある。これは國立アカデミック・ファイルハアモニー、オーケストラとして數年前までは大作曲家グラズーノフ以下スーク・ニコライ・マリユ、ガウク、ベルジャエフ、ドラニシニコフ等を指揮者として、普通の演奏會や労働者のための演奏會を豫約演奏制度で繼續的に行つてゐた。

現在ではグラズーノフは外國旅行中でガウクが首席指揮者として専ら活動してゐる。

國立ファイルハモニーは、その歴史が古いただけに、ラサル街に堂々たる大演奏會

ある通りでその總人員は二百八十五名、何れもソヴェート第一流の樂人を網羅してゐる。

この二百八十五名の樂員は、九十五宛三つのグループに別たれ、一つのグループが休めば二つのグループがオペラやバレエや交響樂演奏のために活動することの出来るやうな組織になつてゐる。これは國立歌劇場の上演や演奏會が夏のシーズン中を除けば年中一日も休むことなしに繼續せられることに備へて考案された組織である。

即ち、ソヴェートの民衆には一年中五日間の國家的休日(祭日)がある外、平素は五日毎に一日の休日をもつことになつてゐる。しかもこれは各職業組合毎にそれ／＼休日をもたれるやうに日が別たれてゐるから、全體から見れば、毎日どの組合かの休日があることになる。だから大衆がその休日毎にオペラを觀、演奏會を聴くとしても、歌劇場や演奏會場はそのシーズン中は無休で仕事を續けなければならぬ。

レニングラードにはこの他に、國立歌劇オーケストラ、國立音樂院交響樂團があるが、従前から西歐文化との交流の激しい土地柄だけに、毎シーズン外國の著名な指揮者や獨奏家の客演も多く、モスクワに劣らぬすばらしい伎倆をもつてゐる。

近年レーニングラードに招かれた世界的指揮者としては、オット・クレムペラー、ヘルマン・アベンドロツト、フレイツステイツドリ、ブルノ、ワルター・フェリツクス・ワインガルトナー、エリツヒ・クライバー、フリツ・ブツシュ、オスカ・フリード等の獨逸系の人達をはじめ、ピエル・モントウ、アレクサンドル・ツエムリンスキー、アルバート・コイツ等々、殆ど世界第一流の指揮者がシーズン毎に客演してゐる。

映 畫

一、映畫の目的

映畫はソ聯邦においては他の藝術の中で、勤勞者の生活に最も深く浸透してゐる藝術部門である。ソ聯邦では映畫は勞働者及び農民に對して如何に働き、如何に新らしき技術を利用すべきかを教育する道具であり、氣象及び技術上の文盲を撲滅すべき手段として利用されなければならぬものとされてゐる。

二、産業の一部門としての映画

一九二九、三〇年度には既にソヴェト映畫事業は産業の特殊部門として現はれ、單にフィルム、映畫劇場の問題ばかりでなく、映畫用各種機械の生産、寫眞化學工業の問題とも結びつき國內の映畫化を妨げる外國製品の驅逐策にも多大の關係を有つに至つたのである。

映畫事業の中心機關を確立するために

映畫網の發展は農村においては未だ大したことはないが、然しフィルムの生産數に追いつき、貸附基金の不足を訴へるほどであつた。

それにもかゝらず一九二九・三〇年度に於てはこの映畫網は大飛躍をなし、二八・二九年度に比し一七二%の増加であつた。一九二七・二八年度ソ聯邦全土における映畫配置數は八千三百組、此中四千六百組は都市で、三千七百組は農村、大部分は移動映畫であつた。一九二八・二九年度には映畫の配置數は一萬一千八百に増加した、此中都市五千三百、農村六千七百、五ヶ年計畫による一九二九・三〇年度の豫定配置數は二萬七百で、此中都市五千七百、農村一萬五千であつた。しかし現在のところ、映寫機の不足から一千だけ配置不能である。

以上記す通り、一九二九・三〇年度には、農村における配置數の増加により、都市との均衡がとれてきた。

組織の變更を必要とするに至り、一九三〇年十一月十三日附ソ聯邦人民委員會法令を以て總ての映畫事業は其の藝術的、イデオロギー的指導方針は從來の如く聯邦共和國教育人民委員會の監督下に置くが、その他の方面は總てソ聯邦國民經濟最高會議の所管に移すこととなつた。總ての映畫及び寫眞工業、並びに映畫の貸附、經營事業を統一した全聯邦映畫合同「ソユニズ・キノ」を組織し、これによつて從來の不統一を清算し、映畫事業を國民經濟最高委員會の一般産業指導方針に置くことが出來た。

昨年度の業績に徴するに、映畫事業發展のテンポは國民經濟發展のそれに比較して劣勢にある。國內に於ける生フィルム生産組織が不完全な状態にある限り、映畫事業の廣汎な發展を期待し得られない。映寫機械の製作方面も農業經濟社會化部分における文化運動の躍進と共に農村における映畫網の需要を充つに足りず、殊に機械部分品の供給不足によつて農村の映畫化に支障を來してゐる。

三、第一回全聯邦映画會議の決議

サユニズキノ主催で、一九三二年一月中旬モスクワに開催された「ソヴェト聯邦映畫化問題に關する第一回全聯邦會議」の決議が最近發表された。同會議では聯邦内の映畫全般的動向並に批判、一九三二年度計畫及第二五ヶ年計畫が審議されたがその一部を數字を中心として一瞥すれば、

先づ映畫網の發展に目覺ましいテンポが觀られる、即ち映畫館の數は

一九一七年初期(革命前)	一、〇四五
一九二七年十月一日	七、二五一
一九三〇年十月一日	二一、九八五
一九三一年一月一日	二二、七〇四
一九三二年一月一日	三二、〇〇〇

尙一九三一年に於る映畫觀客延人員は約十億、一九三二年度はその二倍二十億の觀客が豫想されて居り、これが目的遂行には聯邦全體の平均成長率は七二%に達しなければならぬ。又各映畫網に充

一九二九、三〇年度に於て映畫フィルム製作所の新設を開始し、既に建設を終つたものもある。そして既に操業を開始した製作所はキエフ市の「ウフク」、チリス市「ヂョルジャ國立映畫工業」、タシュケント市「ウズベク・ゴスキノ」等がある。映畫都市「ソヴェト・ハリウツド」、モスクワのポツィリフ映畫製作所は未だ完成に至つてゐない。

映畫製作所のテンポが社會主義建設のテンポに比して遅れてゐる他の原因は映畫脚本の拂底と、映畫製作における合理化操作の行はれてゐないことである。生産費の昂騰した割合に、製品は依然として質的に改善されてゐないのである。政治教育方面の映畫の製作も頗る不振である。映畫製作に對する産業資金計畫案が實施されなかつたことが映畫脚本危機を産んだ客觀的原因ではないやうである。最大の原因は映畫脚本家の養成不足と、プロレタリア作家及び勞働通信員を此方面に利用することの不成功などを教へることが出來る。

當される映畫機械類の數は

一九三二年	三八、〇〇〇
一九三三年	六〇、五〇〇
一九三四年	七二、五〇〇
一九三五年	八八、六〇〇
一九三六年	一〇八、三〇〇
一九三七年 (第二五ヶ年計畫最終年度)	一二二、五〇〇

自國映畫の製作激増は今や外國輸入映畫を驅逐しつゝある。

自國映畫	外國映畫	
一九二九年十月一日	一五、八六本	五、四六本
一九三二年七月一日	二七、四七本	二、〇八七本
尙第二五ヶ年計畫による映畫數の發表豫想は		

無聲映畫	音 畫	
一九三二年	三二〇	八七
一九三三年	六六〇	一九三
一九三四年	九五〇	三〇七
一九三五年	一、一五〇	五五〇
一九三六年	一、五五〇	五八五
一九三七年	一、九〇〇	一、三五〇

生フィルム及資金

右計畫達成に要する生フィルムは

- 一九三二年 四、四〇〇萬米
- 一九三三年 九、八〇〇
- 一九三四年 二五、三〇〇
- 一九三五年 三三、二〇〇
- 一九三六年 四七、九〇〇
- 一九三七年 五五、七〇〇

尙ほ聯邦映畫化に要する資金は一九三一年度の二千三百萬留に對して一九三二年度は一億三千二十一萬一千留が計上された。

四、ソ聯邦大映畫製作工場建設

ソヴェート映畫は大衆の社會主義的文化教育普及の有力なる機關として國家が最大の關心を拂ひつゝあるものであるがソ聯邦商業會議所報(六月八日)によればカザン市近郊の一村落に目下大映畫製作工場建設中の由にて、其フィルム年産高は一億五千米突の豫定であつて、工場内には研究室各分課等三十有餘を有し従業員用大食堂の如き一時に一千五百人を容

るゝに足り、其他病院、クラブ等をも附屬せしめ、特に工場はカザン發電所より特別電力の配給を受けることになつてゐる。而して建設費は二千五百萬留で、従業員四千、其の大部分は女性である。目下該工場に就業すべき従業員は専門學校で教育中の由である。尙ほ、該カザン映畫工場は恐らく規模及び生産高より言ふも米國を凌ぐ世界第一のものとなるであらう。

五、「人生案内」巴里で絶讃

ソヴェート映畫「人生案内」(原名プチムファ・フ・ジズニ)は日本でも映畫ファンの中に多大の感銘を與へた本年輸入映畫の壓巻であつたが、藝術の本場巴里でも目下この映畫は連日ファンの人氣を呼び、各新聞紙も賞讃の辭を掲げてゐる。例へば「マタン」は「感激といふ語以外批評の言葉がない。形式も内容も最大級の賞讃に値する」と言ひ、「プチ・ジュナル」は「最も興味あり、最も美しき傑

作である」と賞讃し、警察新聞の「グベルテ」まで「素敵な場面で一切を償ひ、職業映畫スターのない代り、ムスターアといふ唯一の俳優を發見した」と書いてゐる。

文化税徴收 (補遺)

一九三一年一月三十日附ソ聯邦中央執行委員會布告を以て第一回文化税なるものを各官衙、企業、機關従業員及び労働者の二月上旬俸給中より徴收すべきことを命令した。徴税の方針は一月中の總收入(俸給、時間外労働賃銀其他)を標準として左の割合によつて徴收する。

- 給料 七五—一〇〇留—二%
 - 同 一〇〇—一二五 —二・五%
 - 同 一二五—一五〇 —二・七五%
 - 同 一五〇—二〇〇 —三%
 - 同 二〇〇—二五〇 —三・二五%
 - 同 二五〇—三〇〇 —三・五%
 - 同 三〇〇留以上 —三・七五%
- 但し七五留以下の收入労働者及び従業員は文化税納附の義務を免ぜられる。

婦人と兒童

婦人

一、革命初期の大事業

勤勞階級の政府としてのソヴェート政府は、その成立後數ヶ月にして、早くも婦人の地位に關する法律の大改革を行つた。現在のソヴェート共和國の法律では婦人の地位を微塵も男子の從屬的な者と認めてゐないのである。共和前の法律の如き婦人を弱者と見做して特別の權利を與へる代り、男子との對等權を認めず、結婚によつて産れた子供の處置、並びにその扶養に關し、子の父に對する婦人の裁判權を認めてゐる舊離婚法の如きを却つて婦人を侮蔑するものと稱してゐるのである。

斯る觀點からソヴェート政府は勤勞大衆にとつて不正なものとして舊結婚法を廢棄して、世界最初の絶對男女平等權

婦人と兒童

を確立したのである。この男女平等權の確認こそソヴェート國家にとつて最初にして、又最も重要な事業の一であつた。

歐洲に於て最も進歩せる國々ですら、家庭のデモクラシー、男女同權を口に唱えてゐるものゝ、離婚、其他婦人の法律的地位については依然として婦人は男子の從屬約立場にあるのに、文化の低き、加之、數百年來の歴史を有する男子專制の舊ロシアに、突如として絶對男女同權の法律を布いたことは、直接人間性の核心に觸れる問題だけに、ソヴェート政府にとつて大革命事業の一つであつたには違ひない。従つてソヴェート當局が他の革命的達成に比してこの結婚法(親族法の一を爲すもの)の確立を誇負して止まないのも周囲の事情より首肯しうるのである。

二、文盲退治の前夜に立つソヴェート婦人

蒙昧と無智からの婦人解放の方面でも同様に極めて多くの事業が爲し遂げられた。一九二六年十二月十七日に行はれたソヴェート聯邦のヨーロッパ部分に對しての國勢調査に依ると、既に読み書きの出来る婦人が、年齢十六歳から三十五歳迄に就て云ふなら、都市では八八・三%であり、農村では四七・四%である。年齢三十五歳から五十歳迄に就て云ふなら、都市では六二・二%農村では二一・一%であつた。

文盲であつたのは主として農村地方の既婚婦人であつた。之等に對する文盲退治は未だ完全には成功してゐない。然し一九二四—二五年に於ける文盲退治運動では僅かに五〇八、九〇〇人が學校に收容されたに過ぎなかつたのに、一九三一—三二年に於ては七、九二九、二〇〇人—殆ど八萬人即ち前者の一六倍以上の

文盲が收容された。かくてソ聯邦は今や完全なる婦人文盲退治の前夜に立つてゐると云ふことが出来よう。

三、男女共學と婦人教育の躍進

ソヴェート權力の最初の事業の一つは男女共學の宣言で、少女は少年と全く同じ事を同一學校で學ぶのである。ソ聯邦に於ける普通教育の施行は根本的に婦人文盲を退治しつゝある。普通義務教育は無智からの婦人の解放にとつて特殊な意義を有してゐる。此の領域に於ては最近數ヶ年の間に特に素晴らしい成功が收められた。即ち、七年前の一九二四―二五年には初等學校(都市及び農村を含む)で僅かに二百七十七萬七千七百人の少女が學んだに過ぎなかつたが、一九三一―三二年に於ては八百二十四萬四千四百人の少女が學んだのである。尙、個々の都市及び州に於ては既に七年制の義務教育が施行され、又近々の中に十五歳未満の凡ての少女が必ず學校へ行かねばならないやうになるのであつて、これに依つて婦人の立遅れ状態を斷然喰ひ止め得るであらうことは明かである。

更に、ソ聯邦では廣く婦人に對して労働者大學豫科、技術學校、高等專門學校及高等技術專門學校への門戸が開放されてゐる。今、一九二五―六年と一九三一―三二年との兩學年に於ける就學者中の婦人の數を比較すると次の通りである。

學校名	一九三一―二六年	一九三一―三二年
労働者大學豫科	六、八〇〇人	一七、七〇〇人
技術學校	七、五〇〇人	二七、三〇〇人
高等專門學校及高等技術專門學校	五〇、七〇〇人	一〇、八〇〇人

四、生産戦線の戦士へ

婦人の完全なる解放及び婦人の男子に對する眞實なる平等の爲には社會的經濟と一般生産労働への婦人の参加が必要である。今日ソ聯邦の諸企業及諸公共機關に働いてゐる婦人の數は五百七十一萬五千二人である。突撃隊運動は工業に働い

てゐる婦人の七一〇パーセントを占めてゐる。

ソ聯邦に於ける婦人労働者の勞銀は、労働の量と質に基いて支拂はれてゐる。一九三二年には婦人労働者を多數採用したので、労働者全體に對する婦人労働者の割合は著しく増大した。紡織、裁縫、メリヤス、護莫、食料等の部門に於ける婦人労働者の割合は今では壓倒的である。尙ほ重工業に於ても婦人労働者は可成り廣く採用されて來た。例へば石炭業に於ける婦人労働者の割合は過去一年間に七三%から一二三%に、基礎化學工業に於ては二倍に、機械製作工業に於ては一倍半に夫々増大した。又國民經濟の季節部門に於ても最近婦人労働が採用され、大建設に従事してゐる十二萬五千人の労働者中二〇%は婦人である。小數民族の婦人労働者も増加してゐる。例へばタタール共和國に於ける全労働者中婦人は四一%を占め、ダケスタン共和國では三五%を占めてゐる。

婦人労働は國家機關及び商業内でも増

大してゐる。例へば、治療衛生事業、教育に従事してゐる勤務員は殆んど婦人であつて、七五%以上に達してゐる。官廳に勤務してゐる婦人の數は、ロシア共和國のみでも一九三二年には三十六萬人に達してゐた。

婦人労働の資格向上は相當の成績を挙げ、今日では男子の獨占と考へられてゐた領域に於ても参加する様になつた。例へば、旅盤、斷截等の作業に従事してゐる婦人を職場内で見ると普通の現象となつてゐる。而して婦人の生産効果も男子に比較して劣つてゐないのみではなく場合に依つては優れてゐることもある。

五、婦人労働者數の増加と將來

最近モスクワ・イズヴェスチヤ紙所載のソ聯邦勞務人民委員部統計によると、一九二九年度には婦人労働者數は八十二萬七千六百人であつたものが、第一次五ヶ年計畫完成年度には百七十萬人を算へ全産業部労働者の三三%が婦人労働者に

よつて占められてゐる。一九三三年度一月以降に於いては農村經濟部を除外せる總ての産業部門に参加する婦人労働者數は全労働者數の三三・七%、即ち六百萬人と算定されてゐる。

斯くの如く國民經濟各種部門に於ける勇敢なる婦人労働者の増加は至難なる産業計畫を容易に遂行せしむるとともに、社會主義建設の速度を促進せしめるのである。何故ならば一九二〇年レーニンの爲した有名な演説に「ソヴェート政府は此の經濟建設に方つて總ての勤勞者を有たねばならぬからである。黨員も、非黨員も、男も、女も、ソヴェート權力によつて開始された此の方針は數百人ではない、數百萬人の女性が此の事業に参加することによつてのみ、初めてその前進を見るものである」と言ふのがある。此のレーニンの言葉は現在實踐に移され、生産行程の技術化、労働條件の改善、文化生活諸施設の發展等により從來婦人に不可能とされてゐた冶金工業または鑛業等の諸部門にも

容易に婦人を労働に参加せしめ得るやうになつた。

彼女等が生産の諸技術を獲得しこれを社會主義的労働に忠實に反映せしめる一例を挙げれば、モスクワ電氣工場に於ける労働時間遂行率は婦人八〇%、男子七三・六%を示してゐる。かゝる例はレーニングラードの各種企業に於いても屢々見受けられる。婦人幹部の移動も男子幹部に比較すると、著しく固定的で、ウラル機械工場の一例を示すと、同工場に於ける婦人移動率は三六%、男子移動率は五二・五%で、一九三二年度一月に於ける衝撃隊員組成率は婦人六五・三%、男子六四%である。

斯くの如く現在では婦人労働者は、その質に於て決して男子の労働者に劣るものでないといふ結論を多數の例が證明してゐる。ソヴェート聯邦は今開始から國民經濟第二次五ヶ年計畫家施に着手したが、計畫遂行に於ける婦人労働の役割がますます向上して行くことは一點の疑ひをはさむ餘地もない。

六、第二次五ヶ年計畫と婦人の地位

ソヴェート聯邦では國を擧げて五ヶ年計畫完成の爲のあらゆる犠牲、あらゆる苦難を忍んで努力してゐるが、ソヴェート婦人も帝政時代の女性の型を全然破りプロレタリアートの祖國建設の爲、各種社會主義部門にあつて盛んに活躍してをり、自ら進んで生産部門に入る女性の數は年を追ふて増加し、一九二四年より二八年までに婦人労働者の數は約二倍の増加を示してゐる。彼女達は女性解放の爲勇敢に闘つてゐるのみではなく、國民經濟各種産業部門に入り込んで五ヶ年計畫遂行に多大なる貢献を齎してゐる。

七、ソヴェート婦人の政治生活

工場に於ける労働や集團農場に於ける労働は婦人の意識を彌が上にも昂揚せしめてゐる。一九二二年に於ける婦人黨員は僅かに四萬六千八百八十三人であつたが、

九二六年に於ける全婦人代議員の數は九萬五千人であつたが、一九三二年には既にその數は二百五十萬人に上つた。農村ソヴェートに於ける婦人の百分率に於ける婦人のパーセントも高められた。一九二六年に於ける婦人代議員數は九九%であつたが、一九三二年には二一%になつた。區執行委員會に於ける婦人の數は八・一%から二〇・五%に高められた。都市ソヴェートに於ける婦人の數は一八%であつたが、現在では二五・八%に及んでゐる。これまでに六回召集された中央執行委員會の構成に於ては婦人委員及候補者の數が次第に増大して來てゐる。第一回中央執行委員會に於ては僅かに五人の婦人委員と七人の候補者がゐただけであつたが、第六回中央執行委員會に於ては既に九十六人の婦人委員と七十人の候補者とがゐた。

十、婦人解放の展望

ソ聯邦の婦人はソ聯邦國家の發展と共に生長してゐる。彼女等はこれらの發展

今では五十一萬二千人である。尤もこれは黨の一般的生長の基礎に比すると、僅かに全黨員の一六%を構成してゐるに過ぎない。が、婦人黨員數が現に増大しつつある事は疑ひないことで、即ち一九二二年には僅かに全黨員數の七七%に過ぎなかつたのであつた。青年同盟の婦人同盟員は一九二四年には六萬三千八百四十六人であつたが、現在では百六十二萬四千五百七十人である。即ち、一九二四年には全青年同盟員數の一五・七%を占めてゐたに過ぎなかつたが、現在では三〇・三%にまで高められてゐるのである。

八、社會保護の發達と家事よりの解放

一九二七年のソ聯邦都市に於ける託兒所は四千九百二十ヶ所であつたが、一九三二年には、八十七萬九千七百ヶ所になり、又農村地方に於ける季節託兒所は一九一七年には三萬五千ヶ所であつたが、一九三三年には六百三十四萬ヶ所になつた。

への積極的参加者である。以上掲げた若干の數字は最も有餘なもので、凡ての人が熟知せる事柄に就て述べてゐるのであるが、それらを總體として綜合した數字は、非常に意義ある事實を雄辯に物語つてゐる。即ちこれらの數字は、ソヴェート權力が過去十五ヶ年間に無階級の社會建設の途上に於て達成した婦人解放事業に於ける偉大なる結果を物語つてゐるのである。

十一、男女關係

ソヴェート法では男女の絶對々等權を認めた結果、男女關係にも多大の變革を齎らし、婚姻制度は世界無比の自由解放主義となり、婚姻及び離婚の自由を認められてゐる。即ちソヴェートの結婚法では事實上の夫婦關係を以て、これに登記婚と同一の法律的效果を賦與し、又、離婚の場合には單に口頭又は書面を以て離婚登記を要求することが出來て、別に裁判所の手續を必要としない。そして配偶者は一方的届出によつて離婚をすることが出

學齡前兒童養育機關（託兒所、幼稚園等々）に於ける兒童數は一九二四年一五年には六萬三百人であつたが、一九三一三二年には二百七十五萬五千人になつてゐる。

社會的給養（社會給養人民委員部その他の施設）による民衆への給養は益々増大してゐる。此の増大には特に著しいものがある。一九二九年には未だ社會的給養は僅かに、七十三萬三百人を給養してゐたに過ぎなかつたが、今日では既に一千五十萬人の多數を給養してゐる。

だが勿論これは未だ最初の第一歩に過ぎないのであつて、兒童の凡てを託兒所及び學齡前兒童養育機關に收容し、婦人の凡てを豪所から完全に解放すべく、此の仕事に一層の努力が拂はれつつある。

九、寵の束縛を脱してソヴェートの新生活へ

家庭の仕事からの、家庭の束縛からの婦人解放の事業の發展は、社會的労働に對する婦人の關心を愈々昂めてゐる。

來る。此場合登記所は其の相手方に對し婚姻の終了を通告するだけでいゝのである。姓の如きも當事者の選擇主義を採り登記の場合には配偶者の一方の姓を共通に名乗ることも出来るが、事實婚の場合には別に規定がないから、各々從來の姓を名乗つても差支ひないことになつてゐる。問題になるのは出生子の扶養であるが、若し父親と認定されたものに就て問題の起る時は裁判所は止むを得ず幾人かの相手方男子中の一人を父と認定して扶養の義務を負はせることになつてゐる。

兒童

一、兒童に對する設備の沿革

野蠻な露帝のロシアには、託兒所は工業都市にも農村にも一ヶ所もなかつた。而も乳幼兒の死亡率は、イギリス一三%ドイツ一九・二%に對して、ロシアは二七%であつた。この簡単な事實は現在のロシアを理解する上に大事なことである

それ故に我々はロシアの託児所の沿革を見るためには革命の年即ち一九一七年から出發すればよい。この年、工業都市に於て初めて、一四の託児所が作られた。これが次年には七八、更に一二六、五六五と激増して一九二五年迄に五八四に達した。一九二三年に於ける数の半減（九一四から四四七へ）は、新經濟政策による。中央資金の一時的停止に原因してゐる。農村に於ける夏期臨時託児所は一九二二年頃初めて一二五造られたが、一九二五年迄には、一、八五三に達した。農村に於ける常設託児所は一九二五年に至つて初めて現れた。その年までには又、託児相談所、妊婦相談所、母性乳兒ホーム、等の凡ゆる施設が完備した。これらは一九一九年決議された黨の教育綱領の實現である。そして、これは内外共に最も困難なる時期に於ける成果であつた。最近においてこれらの數次は次の如く變化してゐる。

都市託児所兒童數は一九三二年に於て八十七萬九千七百（一九一七年には四、九二〇）農村季節臨時託児所兒童數は六百三十四萬（一九一七年には三萬五千）兒童園兒童（三歳から七歳まで）數は、一九一八年の二十萬人に對して、一九三一年に於て二百七十五萬五千人、一九三二年には八百萬人である。これらは、五百萬人の婦人が生産に参加してゐる事實と照應してゐる。

二、託児所と幼稚園の意義

ソヴェート聯邦では託児所といふのは生後三ヶ月から三歳までの乳幼時を、母親が勞働に従事してゐる間委託される施設を意味してゐる。三歳以上七歳まで、（ソヴェート聯邦では滿八歳が就學年齢である）の幼兒の謂ゆる學齡前教育の施設は、兒童園と呼ばれる。そしてこの二つの概念の區別は極めて明確で、監督官廳も、前者は保健人民委員會が當り、後者は教育人民委員會が當つてゐる。日本でいへば内務省と文部省の區別である。ところが、我が國に於て一般に行はれる

てゐる概念に従ふと、託児所は即ち、「工場街又は農村に於ける幼稚園」といふ意味になるのである。

三歳以下の幼兒の託児所は、我國では寧ろ「乳兒託児所」といふ特別の呼び方をされてゐる。

託児所の概念を右の如くロシア流に解して、兒童園（幼稚園）と區別することは、一ばん明快なやうに思はれる。ただしさうする時は、兩者は一貫した、兒童保護若は教育體系中の、年齢によつて區別された二つの段階として、名稱も極めて自然だからである。しかし、かゝる區別の方法はそれ自身、一元的な社會組織を前提としてのみ可能であつて、我々が謂ゆる託児所と謂ゆる幼稚園との區別を問題にしてゐる場合に於ては、我々は寧ろ我々自身の概念によつたがよいと思ふ。同一年齡の兒童を二種の施設に收容してゐる如き社會を前提として、託児所と幼稚園の區別を我々は問題にしてゐるのであるから。さて、託児所と幼稚園とは如何に違ふか？ それは第一に歴史的な

差異であり、本質上の相違である。

幼稚園に就て云ふならば、それが純粹に絶對的に、教育的動機から生れたものだとは勿論云はれ得ない。これは一般に兒童に對する關心、尊重の思想そのものについても同様である。「紀元前少しも人格を認められず墮胎され殺されてゐた」小兒が、又、スパルタの國家によつてタイゲトスの山中に遺棄されてゐた虚弱兒童が、キリストが「幼兒等を許せ、我に來るを止むな、天國は斯の如きもの國なり」と言ひ出したからと云つて急に、大事にされ保護される様になつた譯では決してない。それが可能になるためには、無制限な生産に伴ひうる農業生産力の發展と、虚弱兒童をも收容しうる國家の經濟的軍事的條件の發展が必須である。兒童愛護尊重の思想はかゝる物質的條件の後に來る。

それ故に、幼稚園は歴史的發生的に見て、教育的な目的のものであるといつても、それは比較的な意味に於てである。然り、比較的な意味に於て幼稚園は本來教

育的な施設である。一般に兒童が尊重及愛護の對象となりうる如き社會若は階級に於て、幼兒の心理的な發達を觀察し、よりよき發達のための一定の法則を發見して、それらを系統的に適用しようとする試みは、容易に考へ得られることである。かゝる仕事は當然先づ、家庭に於ける仕事として認識される。

三、兒童の校外教育

ソヴェート・ロシアに於ける兒童の校外教育は、藝術教育、科學教育、體育との三つに大別されてゐる。

イ、藝術教育

而して藝術教育ではまづ中央兒童藝術教育會館といふものがあり、更に此下に小さな藝術教育會館が各區毎に四十二もある。この會館の中には子供の劇場が必ずあつて、普通の劇や人形劇を上演してゐる。役者は皆大人がやつてゐるのであるが、これを始めたのはまだ日も浅いが既に上演目録も出來たし子供のための演出形式も出來てゐる。又この劇場では劇

の他に子供に適當な映畫も上映され、そして係員は觀にきた子供が、どんな場面を喜んだか笑つたかを一々記入して研究してゐる。また會館では兒童の作つた彫刻、手工藝品、繪畫等の展覽會も開かれる。

音樂教育も又こゝでやつて居りヴァイオリンとかピアノとかそれ／＼サークルを作らして教育し子供だけの合唱團や吹奏團まで作つてやつてゐる。以上は皆この會館の中で行はれるのであるが移動的形式をとつて會館外にも進出する。それからソヴェート・ロシアにだけあるものとしては、子供の劇場が特に存在してゐることである。一等有名なのはナタリヤサーツの「子供劇場」であるが、これは教育會館内の劇場の延長であり擴大された、専門化されたもので、こゝの休憩所では、子供（觀客）が集まつて遊戯をしたり劇場の係員がナゾをだして當てさしたり、社會問題と今觀た芝居と結びつけて質問して、子供に解答させたりしてゐる。演出の方面でも舞臺上だけの芝居でなく役

者が舞臺の上から観客（子供）に何かと呼びかけて、丁度遊戯の一部分が芝居に取り入れられた形である。此劇場にも移動劇場があつて、學校やピオニールの野外演習の場所や、田舎の集團農場や、街の廣場に進出して子供のために芝居をやつてゐる。

ロ、科學教育

次に科學教育の方面では兒童博物館がある。モスクワの博物館では特に子供のための案内書が作られて説明も教育家がこれに當り、年齢に従つて何を見てから何を見た方がより効果的かその見方を指導してゐる。

どんな博物館にも兒童博物館があつてゐて子供の入場者は大したものである。例へばモスクワの工藝博物館だけで三十二年の一年間に約五十萬人トレチャーフ美術館に約二十萬人といふ數を示してゐる。この子供だけの博物館があつて子供の本、動植物その他の模型をはじめ科學、技術に關するものを列べるほか印刷室もあつて子供が自由に印刷出来るやう

になつてゐる。そしてかうした兒童博物館には大人の博物館のやうな「手を觸れるべからず」といふ揭示が絶対になく自由に子供が手にして彼等の創作能力を働かせるやうに設備されてゐる。兒童圖書館も全市モスクワに至るところにあつて、本を貸出すればかりでなく一つのテーマを子供に與へてこれに關係する本を列べさせたり館員と會談したり子供の會議を開いたり、圖書館を中心にして兒童の文化的仕事が盛んに行はれてゐる。「童話の夕べ」も専門家に頼んで行はれるが童話も現實に近いものを話してゐるし子供もその方を喜んでゐる、子供もなか／＼積極的に年上の子供は自分の経験から年下の子供に適當な本を選んでやつたり又音讀して聞かせたりしてゐる。市内各所には兒童技術研究所が設けられてあつて、子供のための仕事場に當てゐる。こゝでは自分の知つてゐる科學と技術とをもつて色々なものを作つたり發明したりし、その指導は皆大人の技師たちが當つてゐる。

ハ、體 育

それから旅行者協會に兒童部があつて成るたけ近い地域からだん／＼旅行に親しませてゐる、こゝでは旅行を健康と娛樂のためばかりであつてはならないといふので、風俗、氣候等自然科學的な知識も植付けてゐる。最後に體育の方面であるが之も兒童の運動場が諸所にあつてテニス、バレーボール、水泳、各種の子供に適した運動をし、また體育學校では主として託兒所の子供たちを取上げて研究してゐる。

四、最近ソ聯邦の兒童娛樂設備

兒童専門の映畫館一つ有たぬ日本の子供にとつてうらやましい話はソ聯邦の兒童劇場の發達と設備である。「社會主義の完全な實現は次の時代の兒童に待たねばならぬ」と言つたレーニンの言葉を實踐に移してゐるソ聯邦では兒童の教育殊にその藝術を通しての所謂國民教育に注意と努力を拂つてゐる事は非常なもので

各種の兒童藝術教化機關が設けられてゐる外、現在ロシア共和国内だけでも「兒童藝術教育會館」といふ兒童藝術の綜合機關が廿一ヶ所あり、兒童劇場が六十四、

人形芝居二十、演劇専門學校が四つある。是は兒童劇場専門の俳優を養成する學校である。此外音樂専門學校三十一、造型美術専門學校十三ある。皆これが兒童専門のものである事は言ふを俟たない。而して學校總數の四分の一はラヂオ設備があり、四千二百二十六校は活動機械の装置をもつてゐる。モスクワには教育人民委員會ア・ブブリーフの名を冠した兒童中央藝術教育會館といふ兒童教育の總元縮みみたいなのがあり各學校に於ける兒童の藝術教育を指導してゐる。兒童劇場に上演すべき戯曲については目下全聯邦一流の戯曲作家が熱心に研究中であるが尙ほ兒童専門のオペラ劇場設立案も議せられてゐる。これ等は兒童専門の映畫館一つ持たぬ日本の子供から言へば月とすつぽんの差である。兒童藝術教育第二次五ヶ年計畫では兒童劇場だけでも其の數は五百ヶ

所に達するといはれてゐる。何と美ましくではないか？

兒童の讀書芝居

モスクワには二年程前から特に子供に見せる爲に作つた人形芝居がある。子供には「子供の藝術」を興へようといふので出來たのだ。ワフタンコフ劇場の創立者として有名な演出家ワフタンコフの弟子だつたシュヴェンベルグが創立者で名前は人形芝居と云はないで讀書芝居となつてゐる。シュヴェンベルグによると、此芝居の目的は子供には子供の藝術を芝居といふ見えてすぐ分る形式で興へよう、そしてその傍ら讀書の欲望と習慣をつけよう、といふのである。

創立以來日が浅いが國立出版所と協力してこの芝居はどん／＼子供の大衆の中に這入つて行つた。上演回數は千回以上觀衆の數は大人と子供といれて三十五萬に上つてゐる。これ以外にまだ地方をまはる巡回芝居が四つあつて、ソ聯邦のあらゆる町々、村々を巡回してゐる。

繪本芝居の設立者シュヴェンベルグは頗る多方面な人で、自分で伴奏の方も引受ければ、又使ひ手や台詞つけ役ともなつて活躍する。

脚本は、極く幼い子供の方のと、それよりすこし年上の方のと二つに分れてゐる。その小さい方の脚本で人氣のあるのは「ベトルーシユカと鷲」だ。其他の脚本もみんな頗る奔放な仕組みを見せてゐる。例へば「ベトルーシユカの旅」は眼覺めたる人形が全國の新しい大工場をまはる。ドニエプロストロイではベトルーシユカが機械の知識がない爲に飛んでもない危い事を仕出かして、危く溺れることとなる。「又三つの革命」では難しい理論抜きで歴史の課程が教へられる。人形達がツァール、ケレンスキーと謀反してゆく、頗る巧みに仕組まれた諷刺劇である。

かういふ工合に一切難しい理窟を抜きにした芝居がどん／＼子供の中に這入つてゆき、大衆教育の問題を本當に具體的に解決してゐる。

